別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画		
事　項	記　入　欄	備　考
計画の区分	大学院の設置	
フリガナ 設置者	ｺｳﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝｵｵｻｶ 公立大学法人大阪	
フリガナ 大学の名称	ｵｵｻｶｺｳﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝ 大阪公立大学大学院（Osaka Metropolitan University,Graduate School）	
大学本部の位置	大阪府大阪市阿倍野区旭町1-2-7	
大学の目的	大阪公立大学大学院は、広い視野に立って、専門分野における学術の理論及び応用を教授研究し、高い倫理観を持った高度な専門職業人並びに学術の研究者及び教授者の育成を図り、もって文化の進展並びに地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的とする。	
新設学部等の目的	＜現代システム科学研究科＞ 【現代システム科学専攻（博士前期課程）】 　現代システム科学研究科 現代システム科学専攻（博士前期課程）は、環境学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、臨床心理学、認知行動科学の各専門領域における教育研究を深化させるとともに、持続可能な社会の実現を目指して領域横断的な学問的交流・協働を促進することにより、従来の学術領域の枠組みにとらわれない発想にもとづく教育研究を推進し、自らの専門領域における高度な研究を遂行する能力と、他領域の研究を理解し協働する力を兼ね備え、実社会における問題に適切かつ効果的な解決策を提供することで持続可能な社会の実現に貢献する人材を養成することを目的とする。 【現代システム科学専攻(博士後期課程)】 　現代システム科学研究科 現代システム科学専攻（博士後期課程）は、環境学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、心理学の各専門領域における教育研究を深化させるとともに、持続可能な社会の実現を目指して領域横断的な学問的交流・協働を促進することにより、従来の学術領域の枠組みにとらわれない発想にもとづく教育研究を推進し、自らの専門領域に関する先端的な知識、高度な研究を自律的に遂行することができる分析力・思考力、研究者としての高い倫理観、研究成果を継続的に世界に向けて発信していく能力を有し、高度な研究を通して持続可能な社会の実現に貢献する人材を養成することを目的とする。	
	＜文学研究科＞ 【哲学歴史学専攻（博士前期課程）】 　文学研究科 哲学歴史学専攻（博士前期課程）では、人間の社会と文化の構造・発展を明らかにし、人間のあり方を歴史と文化のなかに追求するため、人間文化の基礎を研究する哲学と歴史学を統合して、人間の社会とその文化の本質と普遍的価値、さらにその変容を明らかにすることを目指し、専門分野への深い知識に加えて、関連分野にも視野を広げられる研究者、広い知識と教養をもった専門職業人となり得る人材を養成することを目的とする。 【人間行動学専攻（博士前期課程）】 　文学研究科 人間行動学専攻（博士前期課程）では、人間行動の特性や人間と社会および文化の関係を、とくに社会問題、教育問題や文化摩擦など現代社会が抱える諸問題を視野に入れて、学際的に捉えるため、フィールドワークや実験という行動科学の方法論を基礎に、実証的なデータに基づく分析と理解や理論化を重視した人間行動に関する実証的な研究方法を修得することによって、現実の社会や人間を客観的に観察する能力を涵養し、研究職のみならず、高度な専門的知識と技術をもった人材を養成することを目的とする。 【言語文化学専攻（博士前期課程）】 　文学研究科 言語文化学専攻（博士前期課程）では、言語にかかわる文化現象の諸領域、すなわち、言語学、文学、文化学およびその関連領域を、言語を通じて根源的に解明するため、従来の言語単位の専門分野と、言語応用学という言語横断的分野とを合わせて学修すると共に、さらに西洋古典学、エリアスタディーズなどの分野をも含めた総合的な言語文化学を修得し、鋭い言語感覚と言語運用能力を備えて、研究者、専門職業人を問わず国際社会において活躍し得る人材を養成することを目的とする。 【文化構想学専攻（博士前期課程）】 　文学研究科 文化構想学専攻（博士前期課程）では、さまざまな文化や文化的事象を、社会的実践の場において積極的に活用することで文化のもつ力をさらに高めるとともに、現代社会が抱える諸課題の解決に資する文化を主導的に構想するため、新たな文化の創出、比較文化的・多文化共生的な認識、文化の応用的・実践的活用のそれぞれに対する専門的知見を併せ持ちながら、文化や文化的事象をさまざまな課題解決に活用することができる能力を修得し、研究者、専門職業人のいずれの進路においても、文化の活用を理論と実践の双方で牽引できる人材を養成することを目的とする。 【哲学歴史学専攻（博士後期課程）】 　文学研究科 哲学歴史学専攻（博士後期課程）では、人間の社会と文化の構造・発展を明らかにし、人間のあり方を歴史と文化のなかに追求するため、人間文化の基礎を研究する哲学と歴史学を統合して、人間の社会とその文化の本質と普遍的価値、さらにその変容を明らかにすることを目指し、専門分野への深い知識に加えて、関連分野にも視野を広げられる研究者、広い知識と教養をもった専門職業人となり得る人材を養成することを目的とする。	

【人間行動学専攻（博士後期課程）】
文学研究科 人間行動学専攻（博士後期課程）では、人間行動の特性や人間と社会および文化の関係を、とくに社会問題、教育問題や文化摩擦など現代社会が抱える諸問題を視野に入れて、学際的に捉えるため、フィールドワークや実験という行動科学の方法論を基礎に、実証的なデータに基づく分析と理解や理論化を重視した人間行動に関する実証的な研究方法を修得することによって、現実の社会や人間を客観的に観察する能力を涵養し、研究職のみならず、高度な専門的知識と技術をもった人材を養成することを目的とする。

【言語文化学専攻（博士後期課程）】
文学研究科 言語文化学専攻（博士後期課程）では、言語にかかわる文化現象の諸領域、すなわち、言語学、文学、文化学およびその関連領域を、言語を通じて根源的に解明するため、従来の言語単位の専門分野と、言語応用学という言語横断的分野とを合わせて学修すると共に、さらに西洋古典学、エリアスタディーズなどの分野をも含めた総合的な言語文化学を修得し、鋭い言語感覚と言語運用能力を備えて、研究者、専門職業人を問わず国際社会において活躍し得る人材を養成することを目的とする。

【文化構想学専攻（博士後期課程）】
文学研究科 文化構想学専攻（博士後期課程）では、さまざまな文化や文化的事象を、社会的実践の場において積極的に活用することで文化のもつ力をさらに高めるとともに、現代社会が抱える諸課題の解決に資する文化を主導的に構想するため、新たな文化の創出、比較文化的・多文化共生的な認識、文化の応用的・実践的活用のそれぞれに対する専門的知見を併せ持ちながら、文化や文化的事象をさまざまな課題解決に活用することができる能力を修得し、研究者、専門職業人のいずれの進路においても、文化の活用を理論と実践の双方で牽引できる人材を養成することを目的とする。

＜法学研究科＞
【法学政治学専攻（博士前期課程）】
法学研究科 法学政治学専攻（博士前期課程）では、高度な水準で法学・政治学の研究を遂行するとともに、民主主義社会の中核を担う市民を養成する高い能力を有する研究者、あるいは複雑化する日本社会・国際社会が抱える様々な問題に向き合い、より専門的な法学・政治学の知見を基礎とした合理的判断に基づき、粘り強く解決の道を探ることのできる自立的な高度職業人となる人材を養成することを目的とする。

【法曹養成専攻（専門職学位課程）】
法学研究科 法曹養成専攻（専門職学位課程）は、複雑な利益対立が生じる都市とそれを中軸として形成される現代社会において、様々な法的問題に即応できる高度な法的能力を備えた真のプロフェッションとして、複雑化しかつ多面化する企業の法的ニーズに対応し、社会的弱者を深く理解しそれに共感することができ、多発する国際取引にかかわる紛争や外国人を当事者とする紛争などに的確に対応できる法曹として活躍できる人材を養成することを目的とする。

【法学政治学専攻（博士後期課程）】
法学研究科 法学政治学専攻（博士後期課程）では、ますます複雑化する日本社会・国際社会が抱える様々な問題の解決に貢献することをめざし、高い倫理性に裏付けられた深い教養と豊かな学識に加え、高度な水準で法学・政治学の研究を遂行するとともに、民主主義社会の中核を担う市民を養成する高い能力を有する研究者となり得る人材を養成することを目的とする。

＜経済学研究科＞
【経済学専攻（博士前期課程）】
経済学研究科 経済学専攻（博士前期課程）では、グローバルな経済社会に関する幅広い知見と高い倫理観を備え、社会の発展に貢献できるエコノミスト、並びに国内外における経済関係領域において専門的知識と主体的行動力を生かしながら活躍することのできるエコノミストなど、国内外における経済関係領域において専門的知識と主体的行動力を生かしながら活躍することのできる人材を養成することを目的とする。

【経済学専攻（博士後期課程）】
経済学研究科 経済学専攻（博士後期課程）では、高度な専門分野の知識を備え、各分野における最先端の高度かつ独創的な研究に必要な分析能力を持ち、問題に対して解決案を提案できるエコノミスト、並びに専門的知識と豊富なキャリアを生かしながら国際的な経済活動の舞台で活躍することのできるエコノミストなど、専門的知識と豊富なキャリアを生かしながら国際的な経済活動の舞台で活躍することのできる人材を養成することを目的とする。

＜経営学研究科＞
【グローバルビジネス専攻（博士前期課程）】
経営学研究科 グローバルビジネス専攻（博士前期課程）では、経営諸科学、会計学、金融・流通及び地域企業・都市発展に関する専門知識を有し、現代のビジネスとビジネス社会における諸課題を自ら発見する課題発見能力、それらの解決に向けた政策提言能力、変革マインドを兼ね備え、幅広い分野で活躍できる「ジェネラル・スペシャリスト」を養成することを目的とする。

【グローバルビジネス専攻（博士後期課程）】
経営学研究科 グローバルビジネス専攻（博士後期課程）では、「ジェネラル・スペシャリスト」としてさらに経営諸科学、会計学、金融・流通及び地域企業・都市発展に関する専門知識を深め、現代のビジネスとビジネス社会における諸課題を自ら発見する課題発見能力、複合的な視野を持ってそれらの解決に向けた政策提言能力、変革マインドを十分に兼ね備えた研究者や高度職業人として幅広く活躍できる人材を養成することを目的とする。

＜都市経営研究科＞
【都市経営専攻（博士前期課程）】
都市経営研究科 都市経営専攻（博士前期課程）では、都市経営の基礎知識を取得し、都市政策・地域経済、都市行政、都市ビジネス、医療・福祉イノベーション経営のいずれかの専門分野における課題解決に向けた研究能力を身に付け、政策、行政・公共、ＮＰＯ、ビジネス、医療・福祉・非営利組織のいずれかの分野で高度の専門性をもった課題解決の応用能力を有し、政策、行政・公共、ＮＰＯ、ビジネス、医療・福祉・非営利組織などの分野で各セクターのサスティナビリティを向上させるイノベーションを推進し得る人材を養成することを目的とする。

【都市経営専攻（博士後期課程）】
都市経営研究科 都市経営専攻（博士後期課程）では、都市経営の諸課題に関する専門領域における深く広い知識と能力を備え、都市経営の諸課題を解決する新しい知見を開拓し、更にそれを体系化・深化させるような創造的で高い倫理的識見を備えた実務的研究者としての高度な研究能力を備え、都市を支える政策、行政・公共、プランナー、ＮＰＯ、ビジネス、医療・福祉・非営利組織等の主要なセクターのサスティナビリティを向上させるイノベーションを推進し得る人材を養成することを目的とする。

＜情報学研究科＞
【基幹情報学専攻（博士前期課程）】
情報学研究科 基幹情報学専攻（博士前期課程）では、情報学において社会や技術のパラダイムシフトが起こっても、その変化に追随あるいは先導できるように、人間の持つ認識、理解、推論、学習などの知的な能力をコンピュータ上で実現するための知識と技能、対象をシステムとして捉えモデル化する能力を習得し、システム全体として最適解を求めることができる知識と技能などの基幹となる専門領域に関する豊かな教養と深い知識、それを応用・展開できるよう関連領域に関する幅広い教養と高度な知識、高い倫理観を身に付け、技術者や研究者としてグローバル社会において必要となるトータルなコミュニケーション能力を持った人材を養成することを目的とする。

【学際情報学専攻（博士前期課程）】
情報学研究科 学際情報学専攻（博士前期課程）では、高度情報化社会の基礎となる情報に関連する専門分野の知識や技能、知識科学及び情報システム工学と社会科学などの他分野との融合による新たな価値を創造するためのシステムデザイン能力、技術の進歩及び社会の変容に対応できる科学的な分析力・ 思考力を身に付け、技術的な側面のみならず、人々や社会の日常活動に不可欠な情報システムを実現するために、情報通信技術がもたらす社会への影響を深く理解し、専門職業人として高い倫理観、使命感及び責任感を持って社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

【基幹情報学専攻（博士後期課程）】
情報学研究科 基幹情報学専攻（博士後期課程）では、情報学において、時代の変遷と共に価値観の変化や多様化が起こったとしても、その根底に流れる不変の真理を探求するため、博士前期課程で身に付けた知能情報とシステム情報に関する知識、技能や教養をさらに高めながら、他分野に応用することができ、自ら研究課題を設定、解決および実践する能力と、自分のプレゼンスを発信する能力、研究やプロジェクト等をマネジメントとする能力を身に付け、これらを駆使してグローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。

【学際情報学専攻（博士後期課程）】
情報学研究科 学際情報学専攻（博士後期課程）では、価値観の変遷や多様化する現代社会が抱える様々な問題に対応するために、博士前期課程で身に付けた知識やシステムデザイン能力をさらに高めることで、自らの専門領域を深化、発展させ、領域を横断し、隣接諸領域との学問的交流を促進する従来の枠組みにとらわれない発想にもとづく研究開発を推進して持続可能な社会に貢献できる能力を身に付け、他領域の研究者と協働でき、現代社会への俯瞰的視点に基づく学術研究を通した高い洞察力を持って、現代社会が抱える諸問題を解決するための新たな情報システムや情報サービスを展開、マネジメントして自立的に専門知識や理論の形成ができる人材を養成することを目的とする。

＜理学研究科＞
【数学専攻（博士前期課程）】
理学研究科 数学専攻（博士前期課程）では、数学に関する高度な研究能力、主体的な探究心、高い学識、創造力、倫理観、コミュニケーション能力を有し、数学の高度化と発展に対応できる人材、並びに、修得した専門知識を通して広く社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

【物理学専攻（博士前期課程）】
理学研究科 物理学専攻（博士前期課程）では、高度な研究能力・研究経験、豊かな学識を生かして、物理学の高度化と発展に対応できる人材、並びに主体的な探究心、高い学識、創造力、倫理観、コミュニケーション能力を有し、先端科学技術の発展を通して広く社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

【化学専攻（博士前期課程）】
理学研究科 化学専攻（博士前期課程）では、学部レベルでの化学の基礎学力の上に立って、より専門性の高い化学実践能力と専門領域において必要とされる国際的視野を養い、一つの分野に特化するのではなく化学を中心とする学際領域に対する興味と理解を持ち、化学の理論に基づいて、仮説の立案、実験的検証を含む化学研究の一連のプロセスを実践することができる高度専門職業人及び研究者となり得る人材を養成することを目的とする。

【生物学専攻（博士前期課程）】
理学研究科 生物学専攻（博士前期課程）では、生物学に関する高度な研究能力・研究経験、豊かな学識を活かして、国際的に活躍する研究者、科学技術の発展に貢献できる人材、及び産業界等における研究者・技術者や高度な政策立案を担い得る行政職員など、社会の各般において活躍できる人材を養成することを目的とする。

【地球学専攻（博士前期課程）】
理学研究科 地球学専攻（博士前期課程）では、地球学分野に関する豊かな教養と高い倫理観を身に付け、地球学の高度化と発展に対応できる人材、並びに科学技術を通して広く社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

	【生物化学専攻（博士前期課程）】 理学研究科 生物化学専攻（博士前期課程）では、生物化学分野の専門的な知識とともに、論理的思考力や幅広い教養を身に付け、主体的な探究心をもって、ヒトのさまざまな疾病の発症メカニズムの解明、疾病の予防方法の確立、創薬などに向けた最先端研究に取り組み、科学技術の開発・研究に貢献できる研究者・技術者等に必要なディスカッション能力、発表能力、問題解決能力、論理的思考力を持った人材を養成することを目的とする。 【数学専攻（博士後期課程）】 理学研究科 数学専攻（博士後期課程）では、数学の高度な専門知識の修得、学問の深化・発展を重視した教育研究を行い、新たな研究計画の立案や評価を行うための能力、ディスカッション能力を身に付け、研究開発において主導的な役割を果たすことのできる、大学等の教育研究者、研究機関の研究者として、世界最先端の研究を通じて、高度な専門知識、創造的開発能力を持って数学とその周辺領域の研究に寄与できる人材を養成することを目的とする。 【物理学専攻（博士後期課程）】 理学研究科 物理学専攻（博士後期課程）では、物理学の高度な専門知識の修得、学問の深化・発展を重視した教育研究を行い、新たな研究計画の立案や評価を行うための能力、ディスカッション能力を身に付け、高度な専門知識、創造的開発能力を持って科学・技術の開発研究に寄与できる人材を養成することを目的とする。 【化学専攻（博士後期課程）】 理学研究科 化学専攻（博士後期課程）では、化学現象を見抜く卓越した洞察力、新しい化学を発信する研究能力とともに、境界領域含む科学の研究領域に広い視野を持ち、新しい化学領域を提案、開拓することができる高度専門職業人・研究者を養成することを目的とする。 【生物学専攻（博士後期課程）】 理学研究科 生物学専攻（博士後期課程）では、生物学分野の研究を通して、高度な研究力とともに新たな研究計画の立案や評価を行うための能力、ディスカッション能力を身に付け、研究開発において主導的な役割を果たし、かつ高い倫理観を持って社会の発展に寄与し得る自立した人材を養成することを目的とする。 【地球学専攻（博士後期課程）】 理学研究科 地球学専攻（博士後期課程）では、地球学分野の先端的研究を通して、学問の深化・発展を重視した教育研究を行い、高度な専門知識、創造力を身に付け、大学等の教育研究者や研究機関の研究者として、科学技術の開発、地球環境問題の解決に大きく寄与できる人材を養成することを目的とする。 【生物化学専攻（博士後期課程）】 理学研究科 生物化学専攻（博士後期課程）では、生物化学分野の高度な専門知識とともに研究の立案、推進、評価を行うための高度な能力を身に付け、世界で活躍できる高度専門性を持つ教育研究者や研究機関の研究者として、研究開発において主導的な役割を果たし、社会の発展に大きく寄与し得る人材を養成することを目的とする。	
	＜工学研究科＞ 【航空宇宙海洋系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 航空宇宙海洋系専攻（博士前期課程）では、航空宇宙工学分野及び海洋システム工学分野の基盤的技術の有機的な連携により、航空機・宇宙機、並びに船舶や海中航行体など、人類のフロンティアにおける様々なシステムについての先端的総合工学分野の専門性を身に付け、人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和を目指し、未来を担う技術者・研究者として活躍できる人材を養成することを目的とする。 【機械系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 機械系専攻（博士前期課程）では、機械工学を中心とした幅広い学理、専門知識、論理性、創造性と、豊かな人間性及び倫理観を持ち併せ、地域社会から地球規模までの機械工学を含む幅広い分野における重要な課題について、材料からシステム、環境、エネルギーまで、原子・分子レベルのナノ・マイクロスケールから社会のマクロスケールまで多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、人にも環境にも優しい持続可能な社会の構築に向け、先導的にその克服･解決を発想し実践できる人材を養成することを目的とする。 【都市系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 都市系専攻（博士前期課程）では、持続可能な成熟都市を実現するために地域・社会が抱える課題に関連する研究を進展させ、計画系、環境系、構造系における技術力、実践力及び応用力を身に付け、都市に関する問題解決のために主体的に行動し、指導的な役割を果たすことができる技術者・研究者となり得る人材を養成することを目的とする。 【電子物理系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 電子物理系専攻（博士前期課程）では、今後の社会を支え、サステイナブルな社会の実現を加速するため、電子物理工学の発展を支える両輪となる電子物性と電子物材料の高度な専門知識を有し、エレクトロニクス・デバイスの開発や技術の融合など高度な価値創造を行える能力を身に付け、新たな工学的価値を創成し得る能力を備えた人材を養成することを目的とする。	

	【電気電子系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 電気電子系専攻（博士前期課程）では、電力システム、電気電子システム、システム制御技術、情報通信技術、ネットワーク技術、電気情報システム、知能ロボティクス及び生産システム設計・管理技術などの電気電子システム工学分野の専門知識を持ち、広範なシステム設計能力と情報活用能力、幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観に基づき電気電子システム工学領域における課題の解決に自立して取り組み国際的に活躍できる技術者・研究者となり得る人材を養成することを目的とする。 【物質化学生命系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 物質化学生命系専攻（博士前期課程）では、物理学、化学、及び生命科学に基づく新物質の創製や新機能の創出を通して、基礎から応用に至るまで科学の学理を総合的に理解し、化学物質の分析、合成、及び物性評価に関する幅広い知識と確かな技術を身に付けるとともに、新技術、新概念の創出、さらに資源循環を総合的に含む工業プロセスの構築に資する先導的研究を推進することにより、先端的かつ総合的な工学分野を開拓できる未来を担う人材を養成することを目的とする。 【量子放射線系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 量子放射線系専攻（博士前期課程）では、量子放射線の性質や特性について幅広い基礎学力を修得し、安全で有効に社会へ活用できる正しい知識と適切な技術力を有する人材、または、高度な知識を深めて幅広い視野をもって主体的に研究を遂行する能力と知的資産を創造する能力を有する人材、あるいは、量子ビーム、放射線の広い応用分野を視野に、環境調和型科学技術である特徴も活かして持続可能な社会の発展と安全を基本とする文化の創造に貢献する人材を養成することを目的とする。 【航空宇宙海洋系専攻（博士後期課程）】 工学研究科 航空宇宙海洋系専攻（博士後期課程）では、航空宇宙工学分野及び海洋システム工学分野の基盤的技術の有機的な連携により、航空機・宇宙機をはじめとする様々なシステムについての先端的総合工学分野の専門性を身に付け、人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和を目指し、未来を担う技術者・研究者として活躍できる人材を養成することを目的とする。 【機械系専攻】（博士後期課程） 工学研究科 機械系専攻（博士後期課程）では、機械工学を中心とした幅広い学理、専門知識、論理性、創造性と、豊かな人間性及び倫理観を持ち併せ、地域社会から地球規模までの機械工学を含む幅広い分野における重要な課題について、材料からシステム、環境、エネルギーまで、原子・分子レベルのナノ・マイクロスケールから社会のマクロスケールまで多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、人にも環境にも優しい持続可能な社会の構築に向け、先導的にその克服･解決を発想し実践する人材を養成することを目的とする。 【都市系専攻（博士後期課程）】 工学研究科 都市系専攻（博士後期課程）では、持続可能な成熟都市を実現するために地域・社会が抱える課題に関連する研究を進展させ、計画系、環境系、構造系における技術力、実践力及び応用力を身に付け、新規性や独創性を有する手法で研究課題に取り組む企画力、研究遂行能力を有し，都市に関する問題解決のために主体的に行動し、指導的な役割を果たすことができる技術者・研究者となり得る人材を養成することを目的とする。 【電子物理系専攻（博士後期課程）】 工学研究科 電子物理系専攻（博士後期課程）では、今後の社会を支え、サステイナブルな社会の実現を加速するため、電子物理工学の発展を支える両輪となる電子物性と電子物材料の高度な専門知識を有し、エレクトロニクス・デバイスの開発や技術の融合など高度な価値創造を行える能力を身に付け、新たな工学的価値を自ら定義・創成し得る研究開発リーダーとして社会や産業界を牽引し活躍できる人材を養成することを目的とする。 【電気電子系専攻（博士前期課程）】 工学研究科 電気電子系専攻（博士前期課程）では、電力システム、電気電子システム、システム制御技術、情報通信技術、ネットワーク技術、電気情報システム、知能ロボティクス及び生産システム設計・管理技術などの電気電子システム工学分野の専門知識を持ち、広範なシステム設計能力と情報活用能力、幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観に基づき電気電子システム工学領域における課題の解決に自立して取り組み国際的に活躍できる技術者・研究者となり得る人材を養成することを目的とする。 【物質化学生命系専攻（博士後期課程）】 工学研究科 物質化学生命系専攻（博士後期課程）では、博士前期課程を踏まえ、物理学、化学、及び生命科学に基づく新物質の創製や新機能の創出を通して、基礎から応用に至るまで科学の学理を総合的に理解し、化学物質の分析、合成、及び物性評価に関する高度な専門知識と新技術の創成が可能な技術を身に付けるとともに、新技術、新概念の創出、さらに資源循環を総合的に含む工業プロセスの構築に資する高度な先導的研究を推進することにより、先端的かつ総合的な工学分野を国際的に通用するリーダーとして開拓できる、未来を担う人材を養成することを目的とする。	

	【量子放射線系専攻（博士後期課程）】 工学研究科 量子放射線系専攻（博士後期課程）では、量子放射線の性質や特性について幅広い基礎学力を修得し、安全で有効に社会へ活用できる正しい知識と適切な技術力を有する人材、または、高度な知識を深めて幅広い視野をもって主体的に研究を遂行する能力と知的資産を創造する能力を有する人材、あるいは、量子ビーム、放射線の広い応用分野を視野に、環境調和型科学技術である特徴も活かして持続可能な社会の発展と安全を基本とする文化の創造に貢献する人材を養成することを目的とする。	
	＜農学研究科＞ 【応用生物科学専攻（博士前期課程）】 農学研究科 応用生物科学専攻（博士前期課程）では、生物の多様な潜在能力を人類の生活に役立てるため、主に植物を対象とし、食料や資源、有用物質の生産、確保あるいは環境保全などに生物科学を活用し持続可能な社会の構築に貢献する専門的知識を修得するとともに、仮説の立案、実験的な検証に基づく思考力、問題解決能力、プレゼンテーション及びコミュニケーション能力などを身に付け、主体的に問題の設定から論理的かつ実証的解決へと導く能力や国際的な視野を持って、高度専門職業人や研究者として、応用生物科学に関する農業や食品・化学・環境・エネルギー分野や情報科学など幅広い分野で活躍できる人材を養成することを目的とする。 【生命機能化学専攻（博士前期課程）】 農学研究科 生命機能化学専攻（博士前期課程）では、あらゆる生物の生命現象を分子から細胞・個体レベルへと展開して総合的に解析・理解するとともに、生物資源の効率的利用や環境修復への応用などに関する生命機能化学における専門的知識を修得し、その知識に基づいた研究技術やプレゼンテーション技術を身に付け、主体的に研究課題から問題を抽出して論理的に解決へと導く能力や国際的な視野を持った高度専門職業人や研究者として、バイオサイエンスやバイオテクノロジーに関連した幅広い分野で人類が直面している資源・環境・食・健康・生命に関する社会的課題に化学的視点から取り組み、挑戦する高い志を持った人材を養成することを目的とする。 【緑地環境科学専攻（博士前期課程）】 農学研究科 緑地環境科学専攻（博士前期課程）では、緑地環境科学における専門的知識と技術を修得するとともに、その知識に基づいた研究技術やプレゼンテーション技術を身に付け、さらに主体的に研究課題から問題を抽出して論理的に解決へと導く能力や国際的な視野を持って、高度専門職業人や研究者として、多様化する緑地環境科学に関連した幅広い分野や社会の多方面で活躍できる人材を養成することを目的とする。 【応用生物科学専攻（博士後期課程）】 農学研究科 応用生物科学専攻（博士後期課程）では、生物の多様な潜在能力を人類の生活に役立てるため、主に植物を対象とし、食料や資源、有用物質の生産、確保あるいは環境保全や生物科学を活用し持続可能な社会の構築に貢献する専門的知識と技術に基づき、より高度な専門知識や技術を修得し、独創的な問題設定と解決の能力、自立的な研究推進力、総合的な思考能力、課題対応能力、さらに高い倫理観と社会的観点から広く物事を捉える能力を持って、高度専門職業人や研究者として、農業や食品・化学・環境・エネルギー分野に加え情報科学などの広範な領域で国際的な視野で応用生物科学分野の進展に寄与する人材を養成することを目的とする。 【生命機能化学専攻（博士後期課程）】 農学研究科 生命機能化学専攻（博士後期課程）では、あらゆる生物の生命現象を分子から細胞・個体レベルへと展開して総合的に解析・理解するとともに、生物資源の効率的利用や環境修復への応用などに関する生命機能化学における専門的知識や技術を修得し、総合的視野や洞察力、独創的かつ論理的思考能力、課題対応力、自立的研究推進能力を身に付け、国際的な視野を持った高度専門職業人や研究者として、バイオサイエンスやバイオテクノロジーに関連した幅広い分野で人類が直面している資源・環境・食・健康・生命に関する社会的課題に化学的視点から取り組み、挑戦する高い志を持った人材を養成することを目的とする。 【緑地環境科学専攻（博士後期課程）】 農学研究科 緑地環境科学専攻（博士後期課程）では、生命の基盤となる農地や自然地、都市緑地を取り巻く環境に関わる様々な課題を緑地学や農業工学、生態学や環境学など緑地環境科学における幅広い分野の専門的知識と技術を修得するとともに、その知識に基づいた研究技術やプレゼンテーション技術を身に付け、主体的に研究課題から問題を抽出して論理的に解決へと導く能力や国際的な視野を持って、高度専門職業人や研究者として、環境の要素となる大気、水、土、生物と人間活動との関わりによって形成される緑地環境の課題について、学際的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。	
	＜獣医学研究科＞ 【獣医学専攻（博士課程）】 獣医学研究科 獣医学専攻（博士課程）では、動物バイオメディカル関連、食の安全及び人獣共通感染症を含めた獣医公衆衛生及び 動物衛生、病態動物の診断・治療・予防などの分野において、幅広い視野及び深い洞察力並びに高い倫理観を持ち、独創的指導能力を発揮できる国際的な専門家、すなわち高度研究者や高度専門的職業人となり得る人材を養成することを目的とする。	

	＜医学研究科＞ 【医科学専攻（修士課程）】 　医学研究科 医科学専攻（修士課程）では、高度な最先端の医学知識や技術を修得し、生命現象、自然科学、医学の知識を身に付け、医学研究に必要な高い倫理観を有し、国際的視野を持って医療職者、研究者、企業人として医学の進歩に貢献し得る「智・仁・勇」を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。 【基礎医科学専攻（博士課程）】 　医学研究科 基礎医科学専攻（博士課程）では、地域社会的、学問的、国際的な要望に応え、都市医学、老年医学やゲノム医療などの医学・医療分野に十分に対応するため、「智・仁・勇」を兼ね備え、高度な最先端の医学知識や技術を修得し、高度に総合化された専門的知識を持つ医師、最先端研究を先導的に推進し独創性に富み世界的に活躍する医学研究者、大学・研究機関における基礎医学研究をリードする指導者となり得る人材を養成することを目的とする。 【臨床医科学専攻（博士課程）】 　医学研究科 臨床医科学専攻（博士課程）では、地域社会的、学問的、国際的な要望に応え、都市医学、老年医学やゲノム医療などの医学・医療分野に十分に対応するため、「智・仁・勇」を兼ね備え、高度な最先端の医学知識や技術を修得し、高度に総合化された専門的知識を持つ医師、最先端研究を先導的に推進し独創性に富み世界的に活躍する医学研究者、大学・研究機関における臨床医学研究をリードする指導者となり得る人材を養成することを目的とする。	
	＜リハビリテーション学研究科＞ 【リハビリテーション学専攻（博士前期課程）】 　リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻（博士前期課程）では、総合的なリハビリテーションに関する深い探求心と洞察力を備え、相互の信頼と協働の重要性を理解し、責任ある判断、行動のできる、豊かな人間性並びに専門性を有し、人々の健康増進と生活の質向上に貢献できる高い資質をもった高度医療専門職者及び研究者として活躍できる人材を養成することを目的とする。 【リハビリテーション学専攻（博士後期課程）】 　リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻（博士後期課程）では、リハビリテーション学領域における高度な知識や技術を持ち、総合的な視野や深い洞察力、独創性や自立して研究を行う能力を身に付け、高い倫理観と豊かな人間性と深い教養を備え、人々の健康と生活の質の向上に貢献するためのリハビリテーション学研究をさらに深化させて、教育者及び研究者として社会を牽引できる人材を養成することを目的とする。	
	＜看護学研究科＞ 【看護学専攻（博士前期課程）】 　看護学研究科 看護学専攻（博士前期課程）では、基礎的研究能力、データサイエンスを活用する能力、学際的に探究する思考力、地域性や個別性を考慮した分析能力、エビデンスを発信できるコミュニケーション能力を身に付け、生命と人権の尊重を基盤として、看護に求められる社会的使命を遂行し、看護学を実践的・創造的に発展させ、看護実践を変革・牽引し、地域社会及び国際社会のあらゆる健康レベルの人々に貢献できる高度な看護分野の実践者、管理者、教育者、研究者ととなる人材を養成することを目的とする。 【看護学専攻（博士後期課程）】 　看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）では、少子高齢化、人口減少に伴う医療サービスの多様化、複雑化、高度化する社会環境の中で、保健医療福祉の課題解決や看護学の発展に向けて学際的に研究を推進できる能力、看護や関連領域の知識や高い倫理観に基づき看護のエビデンスを実社会の中で科学的に検証・活用する能力を有し、施策などへ参画できる変革者としてのリーダーシップを発揮し、社会の変革に向けて、保健医療福祉、教育において新たな価値を創造し、看護に関わる知を学際的に創出し、社会実装化することを視野に入れ、研究成果をグローバルに発信できる人材を養成することを目的とする。	
	＜生活科学研究科＞ 【生活科学専攻（博士前期課程）】 　生活科学研究科 生活科学専攻（博士前期課程）では、科学技術の目覚ましい発展・高度化、急速な情報化を背景に生活様式が急速に変化・多様化する中、人の健康や生活の質を多面的に捉え、健康保持・増進、疾病・介護・虐待予防・快適な居住環境の保持など、あらゆる世代の豊かな地域生活の促進に関する方策を考え、食栄養学分野、居住環境学分野、総合福祉・臨床心理学分野のそれぞれにおいて、各分野の諸課題を自立して解決できる高度な専門知識と研究遂行能力を有し、理論と実践の両面から生活科学の各分野における研究の最先端を担う研究者、技術者及び実践的な高度専門職などとして活躍できる人材を養成することを目的とする。 【生活科学専攻（博士後期課程）】 　生活科学研究科 生活科学専攻（博士後期課程）では、科学技術の目覚ましい発展・高度化、急速な情報化を背景に生活様式が急速に変化・多様化する中、人の健康や生活の質を多面的に捉え、健康保持・増進、疾病・介護・虐待予防・快適な居住環境の保持など、あらゆる世代の豊かな地域生活の促進に関するついての方策を考え、食栄養学分野、居住環境学分野、総合福祉・臨床心理学分野のそれぞれにおいて、各分野の諸課題を自立して解決できる高度な専門知識と研究遂行能力を有し、理論と実践の両面から生活科学の各分野における研究の最先端を担う研究者、技術者及び実践的な高度専門職など国内外の第一線で活躍できる人材を養成することを目的とする。	

	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次 人	人		年 月 第 年次		
新設学部等の概要	現代システム科学研究科 [Graduate School of Sustainable System Sciences]								
	現代システム科学専攻(博士前期課程) [Division of Sustainable System Sciences]	2	40	-	80	修士（環境学） 【Master of Environmental Sciences】 修士（言語文化学） 【Master of Language and Culture】 修士（人間科学） 【Master of Human Sciences】 修士（社会福祉学） 【Master of Social Welfare】 修士（学術） 【Master of Arts and Sciences】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 現代システム科学域 環境社会システム学類 教育福祉学類 心理学類
	現代システム科学専攻(博士後期課程) [Division of Sustainable System Sciences]	3	10	-	30	博士（環境学） 【Doctor of Environmental Sciences】 博士（言語文化学） 【Doctor of Language and Culture】 博士（人間科学） 【Doctor of Human Sciences】 博士（社会福祉学） 【Doctor of Social Welfare】 博士（学術） 【Doctor of Arts and Sciences】	令和4年4月 第1年次	同上	
	文学研究科 [Graduate School of Literature and Human Sciences]								
	哲学歴史学専攻(博士前期課程) [Department of Philosophy and History]	2	14	-	28	修士（文学） 【Master of Arts】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	【基礎となる学部】 文学部 哲学歴史学科
	人間行動学専攻(博士前期課程) [Department of Human Behavioral Sciences]	2	16	-	32	修士（文学） 【Master of Arts】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 文学部 人間行動学科
	言語文化学専攻(博士前期課程) [Department of Language and Culture]	2	18	-	36	修士（文学） 【Master of Arts】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 文学部 言語文化学科
	文化構想学専攻(博士前期課程) [Department of Cultural Management]	2	12	-	24	修士（文学） 【Master of Arts】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 文学部 文化構想学科

新設学部等の概要	哲学歴史学専攻(博士後期課程) [Department of Philosophy and History]	3	5	-	15	博士（文学） 【Doctor of Literature】	令和4年4月 第1年次	同上	
	人間行動学専攻(博士後期課程) [Department of Human Behavioral Sciences]	3	6	-	18	博士（文学） 【Doctor of Literature】	令和4年4月 第1年次	同上	
	言語文化学専攻(博士後期課程) [Department of Language and Culture]	3	6	-	18	博士（文学） 【Doctor of Literature】	令和4年4月 第1年次	同上	
	文化構想学専攻(博士後期課程) [Department of Cultural Management]	3	4	-	12	博士（文学） 【Doctor of Literature】	令和4年4月 第1年次	同上	
	法学研究科 [Graduate School of Law]								
	法学政治学専攻(博士前期課程) [Department of Law and Political Science]	2	8	-	16	修士(法学) 【Master of Laws】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	【基礎となる学部】 法学部 法学科
	法学政治学専攻(博士後期課程) [Department of Law and Political Science]	3	4	-	12	博士(法学) 【Doctor of Laws】	令和4年4月 第1年次	同上	
	法曹養成専攻(専門職学位課程) [Law School]	3	30	-	90	法務博士(専門職) 【Juris Doctor (Professional)】	令和4年4月 第1年次	同上	法科大学院 【基礎となる学部】 法学部 法学科
	経済学研究科 [Graduate School of Economics]								
	経済学専攻(博士前期課程) [Department of Economics]	2	28	-	56	修士（経済学） 【Master of Economics】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	【基礎となる学部】 経済学部 経済学科
	経済学専攻(博士後期課程) [Department of Economics]	3	4	-	12	博士（経済学） 【Doctor of Economics】	令和4年4月 第1年次	同上	
	経営学研究科 [Graduate School of Business]								
	グローバルビジネス専攻(博士前期課程) [Department of Global Business]	2	20	-	40	修士（経営学） 【Master of Business Administration】 修士（商学） 【Master of Commerce】 修士（グローバルビジネス） 【Master of Global Business】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	【基礎となる学部】 商学部 商学科 公共経営学科
	グローバルビジネス専攻(博士後期課程) [Department of Global Business]	3	6	-	18	博士（経営学） 【Doctor of Business Administration】 博士（商学） 【Doctor of Commerce】	令和4年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	都市経営研究科 [Graduate School of Urban Management]								
	都市経営専攻(博士前期課程) [Department of Urban Management]	2	56	-	112	修士（都市経営） 【Master of Urban Management】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市北区梅田1-2-2-600 （大阪駅前第2ビル6階）	第2条の2 専ら夜間
	都市経営専攻(博士後期) [Department of Urban Management]	3	5	-	15	博士（都市経営） 【Doctor of Urban Management】	令和4年4月 第1年次	同上	第2条の2 専ら夜間
	情報学研究科 [Graduate School of Informatics]								
	基幹情報学専攻(博士前期課程) [Department of Core Informatics]	2	65	-	130	修士（情報学） 【Master of Infomatics】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 工学部情報工学科
	学際情報学専攻(博士前期課程) [Department of Interdisciplinary Informatics]	2	25	-	50	修士（情報学） 【Master of Infomatics】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 現代システム科学域知識情報システム学類
	基幹情報学専攻(博士後期課程) [Department of Core Informatics]	3	10	-	30	博士（情報学） 【Doctor of Infomatics】	令和4年4月 第1年次	同上	
	学際情報学専攻(博士後期課程) [Department of Interdisciplinary Informatics]	3	5	-	15	博士（情報学） 【Doctor of Infomatics】	令和4年4月 第1年次	同上	
	理学研究科 [Graduate School of Science]								
	数学専攻(博士前期課程) [Department of Mathematics]	2	21	-	42	修士（理学） 【Master of Science】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 理学部 数学科
	物理学専攻(博士前期課程) [Department of Physics]	2	55	-	110	修士（理学） 【Master of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 理学部 物理学科
	化学専攻(博士前期課程) [Department of Chemistry]	2	60	-	120	修士（理学） 【Master of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 理学部 化学科
	生物学専攻(博士前期課程) [Department of Biology]	2	26	-	52	修士（理学） 【Master of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 理学部 生物学科
	地球学専攻(博士前期課程) [Department of Geosciences]	2	15	-	30	修士（理学） 【Master of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 理学部 地球学科
	生物化学専攻(博士前期課程) [Department of Biological Chemistry]	2	23	-	46	修士（理学） 【Master of Science】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 理学部 生物化学科
	数学専攻(博士後期課程) [Department of Mathematics]	3	4	-	12	博士（理学） 【Doctor of Science】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号	第14条特例の実施

新設学部等の概要	物理学専攻(博士後期課程) [Department of Physics]	3	10	-	30	博士（理学） 【Doctor of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	第14条特例の実施
	化学専攻(博士後期課程) [Department of Chemistry]	3	10	-	30	博士（理学） 【Doctor of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	第14条特例の実施
	生物学専攻(博士後期課程) [Department of Biology]	3	5	-	15	博士（理学） 【Doctor of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	第14条特例の実施
	地球学専攻(博士後期課程) [Department of Geosciences]	3	3	-	9	博士（理学） 【Doctor of Science】	令和4年4月 第1年次	同上	第14条特例の実施
	生物化学専攻(博士後期課程) [Department of Biological Chemistry]	3	3	-	9	博士（理学） 【Doctor of Science】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	第14条特例の実施
	工学研究科 [Graduate School of Engineering]								
	航空宇宙海洋系専攻(博士前期課程) [Division of Aerospace and Marine-System Engineering]	2	35	-	70	修士（工学） 【Master of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 工学部 航空宇宙工学科 海洋システム工学科
	機械系専攻(博士前期課程) [Division of Mechanical Engineering]	2	86	-	172	修士（工学） 【Master of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 工学部 機械工学科
	都市系専攻(博士前期課程) [Division of Urban Engineering]	2	54	-	108	修士（工学） 【Master of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	【基礎となる学部】 工学部 建築学科 都市学科
	電子物理系専攻(博士前期課程) [Division of Physics and Electronics]	2	80	-	160	修士（工学） 【Master of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 工学部 電子物理工学科
	電気電子系専攻(博士前期課程) [Division of Electrical and Electronic Engineering]	2	45	-	90	修士（工学） 【Master of Engineering】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 工学部 電気電子システム工学科
	物質化学生命系専攻(博士前期課程) [Division of Science and Engineering for Materials, Chemistry and Biology]	2	145	-	290	修士（工学） 【Master of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 工学部 応用化学科 化学工学科 マテリアル工学科 化学バイオ工学科
	量子放射線系専攻(博士前期課程) [Division of Quantum and Radiation Engineering]	2	7	-	14	修士（工学） 【Master of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	航空宇宙海洋系専攻(博士後期課程) [Division of Aerospace and Marine-System Engineering]	3	4	-	12	博士（工学） 【Doctor of Engineering】	令和4年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	機械系専攻(博士後期課程) [Division of Mechanical Engineering]	3	8	-	24	博士（工学） 【Doctor of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	都市系専攻(博士後期課程) [Division of Urban Engineering]	3	6	-	18	博士（工学） 【Doctor of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	電子物理系専攻(博士後期課程) [Division of Physics and Electronics]	3	8	-	24	博士（工学） 【Doctor of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	電気電子系専攻(博士後期課程) [Division of Electrical and Electronic Engineering]	3	5	-	15	博士（工学） 【Doctor of Engineering】	令和4年4月 第1年次	同上	
	物質化学生命系専攻(博士後期課程) [Division of Science and Engineering for Materials, Chemistry and Biology]	3	19	-	57	博士（工学） 【Doctor of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府堺市中区学園町1番1号	
	量子放射線系専攻(博士後期課程) [Division of Quantum and Radiation Engineering]	3	3	-	9	博士（工学） 【Doctor of Engineering】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	農学研究科 [Graduate School of Agriculture]								
	応用生物科学専攻(博士前期課程) [Department of Agricultural Biology]	2	25	-	50	修士（農学） 【Master of Agriculture】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	【基礎となる学部】 農学部 応用生物科学科
	生命機能化学専攻(博士前期課程) [Department of Applied Biological Chemistry]	2	30	-	60	修士（農学） 【Master of Agriculture】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 農学部 生命機能化学科
	緑地環境科学専攻(博士前期課程) [Department of Environmental Sciences and Technology]	2	20	-	40	修士（農学） 【Master of Agriculture】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 農学部 緑地環境科学科
	応用生物科学専攻(博士後期課程) [Department of Agricultural Biology]	3	3	-	9	博士（農学） 【Doctor of Agriculture】	令和4年4月 第1年次	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	生命機能化学専攻(博士後期課程) [Department of Applied Biological Chemistry]	3	4	-	12	博士（農学） 【Doctor of Agriculture】	令和4年4月 第1年次	同上	
	緑地環境科学専攻(博士後期課程) [Department of Environmental Sciences and Technology]	3	3	-	9	博士（農学） 【Doctor of Agriculture】	令和4年4月 第1年次	同上	
	獣医学研究科 [Graduate School of Veterinary Science]								
	獣医学専攻(博士課程) [Department of Veterinary Science]	4	13	-	52	博士（獣医学） 【Doctor of Philosophy (Veterinary Science)】	令和4年4月 第1年次	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号	【基礎となる学部】 獣医学部 獣医学科

新設学部等の概要	医学研究科 [Graduate School of Medcine]								
	医科学専攻(修士課程) [Department of Medical Science]	2	12	−	24	修士（医科学） 【Master of Medical Science】	令和4年4月 第1年次	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号	第14条特例の実施
	基礎医科学専攻(博士課程) [Department of Basic Medical Science]	4	20	−	80	博士（医学） 【Medical Science Doctor of Philosophy】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 医学部医学科 第14条特例の実施
	臨床医科学専攻(博士課程) [Department of Clinical Medical Science]	4	50	−	200	博士（医学） 【Medical Science Doctor of Philosophy】	令和4年4月 第1年次	同上	【基礎となる学部】 医学部医学科 第14条特例の実施
	リハビリテーション学研究科 [Graduate School of Rehabilitation Science]								
	リハビリテーション学専攻(博士前期課程) [Division of Rehabilitation Science]	2	15	−	30	修士（保健学） 【Master of Health Sciences】	令和4年4月 第1年次	大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	【基礎となる学部】 医学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻 第14条特例の実施
	リハビリテーション学専攻(博士後期課程) [Division of Rehabilitation Science]	3	5	−	15	博士（保健学） 【Doctor of Health Sciences】	令和4年4月 第1年次	同上	第14条特例の実施
	看護学研究科 [Graduate School of Nursing]								
	看護学専攻(博士前期課程) [Department of Nursing]	2	50	−	100	修士（看護学） 【Master of Nursing Science】	令和4年4月 第1年次	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	【基礎となる学部】 看護学部看護学科 第14条特例の実施
	看護学専攻(博士後期課程) [Department of Nursing]	3	10	−	30	博士（看護学） 【Doctor of Philosophy(Nursing Science)】	令和4年4月 第1年次	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	第14条特例の実施
	生活科学研究科 [Graduate School of Human Life and Ecology]								
	生活科学専攻(博士前期課程) [Division of Human Life and Ecology]	2	58	−	116	修士（学術） 【Master of Philosophy】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	【基礎となる学部】 生活科学部 食栄養学科 居住環境学科 人間福祉学科
	生活科学専攻(博士後期課程) [Division of Human Life and Ecology]	3	10	−	30	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】	令和4年4月 第1年次	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	
	小計 (博士前期課程、修士課程、専門職学位課程)		1,194	−	2,418				
	小計 (博士後期課程、博士課程)		271	−	896				
	計		1,465		3,314				
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）		別紙のとおり							

	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
教育課程	現代システム科学研究科						
	現代システム科学専攻 （博士前期課程）	162科目	30科目	13科目	205科目	環境共生科学分野、言語文化学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野 31単位 臨床心理学分野 47単位	
	現代システム科学専攻 （博士後期課程）	2科目	28科目	4科目	34科目	9単位	
	文学研究科						
	哲学歴史学専攻 （博士前期課程）	36科目	43科目	0科目	79科目	31単位	
	人間行動学専攻 （博士前期課程）	33科目	42科目	0科目	75科目	31単位	
	言語文化学専攻 （博士前期課程）	48科目	58科目	0科目	106科目	31単位	
	文化構想学専攻 （博士前期課程）	30科目	32科目	0科目	62科目	31単位	
	哲学歴史学専攻 （博士後期課程）	10科目	16科目	0科目	26科目	17単位	
	人間行動学専攻 （博士後期課程）	10科目	16科目	0科目	26科目	17単位	
	言語文化学専攻 （博士後期課程）	14科目	18科目	0科目	32科目	17単位	
	文化構想学専攻 （博士後期課程）	8科目	15科目	0科目	23科目	17単位	
	法学研究科						
	法学政治学専攻 （博士前期課程）	42科目	27科目	0科目	69科目	30単位	
	法学政治学専攻 （博士後期課程）	2科目	28科目	0科目	30科目	17単位	
	法曹養成専攻 （専門職学位課程）	55科目	18科目	4科目	77科目	97単位	
	経済学研究科						
	経済学専攻 （博士前期課程）	62科目	55科目	0科目	117科目	31単位	
	経済学専攻 （博士後期課程）	45科目	58科目	0科目	103科目	17単位	
	経営学研究科						
	グローバルビジネス専攻 （博士前期課程）	55科目	88科目	0科目	143科目	31単位	
	グローバルビジネス専攻 （博士後期課程）	40科目	81科目	0科目	121科目	19単位	
	都市経営研究科						
	都市経営専攻 （博士前期課程）	61科目	19科目	0科目	80科目	31単位	
	都市経営専攻 （博士後期課程）	5科目	7科目	0科目	12科目	19単位	
	情報学研究科						
	基幹情報学専攻 （博士前期課程）	29科目	10科目	2科目	41科目	31単位	
	学際情報学専攻 （博士前期課程）	28科目	11科目	2科目	41科目	31単位	
	基幹情報学専攻 （博士後期課程）	2科目	16科目	6科目	24科目	17単位	
	学際情報学専攻 （博士後期課程）	2科目	14科目	6科目	22科目	17単位	

	理学研究科						
	数学専攻 （博士前期課程）	50科目	22科目	0科目	72科目	31単位	
	物理学専攻 （博士前期課程）	67科目	12科目	6科目	85科目	31単位	
	化学専攻 （博士前期課程）	25科目	13科目	6科目	44科目	32単位	
	生物学専攻 （博士前期課程）	37科目	20科目	6科目	63科目	31単位	
	地球学専攻 （博士前期課程）	27科目	22科目	0科目	49科目	31単位	
	生物化学専攻 （博士前期課程）	19科目	13科目	5科目	37科目	31単位	
	数学専攻 （博士後期課程）	2科目	28科目	0科目	30科目	21単位	
	物理学専攻 （博士後期課程）	8科目	18科目	9科目	35科目	21単位	
	化学専攻 （博士後期課程）	2科目	19科目	9科目	30科目	14単位	
	生物学専攻 （博士後期課程）	5科目	15科目	9科目	29科目	15単位	
	地球学専攻 （博士後期課程）	2科目	25科目	0科目	27科目	11単位	
	生物化学専攻 （博士後期課程）	6科目	19科目	7科目	32科目	21単位	
	工学研究科						
	航空宇宙海洋系専攻 （博士前期課程）	40科目	12科目	2科目	54科目	31単位	
	機械系専攻 （博士前期課程）	42科目	12科目	0科目	54科目	31単位	
	都市系専攻 （博士前期課程）	36科目	42科目	9科目	87科目	31単位	
	電子物理系専攻 （博士前期課程）	45科目	14科目	4科目	63科目	31単位	
	電気電子系専攻 （博士前期課程）	27科目	12科目	0科目	39科目	31単位	
	物質化学生命系専攻 （博士前期課程）	65科目	10科目	4科目	79科目	31単位	
	量子放射線系専攻 （博士前期課程）	25科目	11科目	2科目	38科目	31単位	
	航空宇宙海洋系専攻 （博士後期課程）	2科目	14科目	0科目	16科目	9単位	
	機械系専攻 （博士後期課程）	2科目	14科目	0科目	16科目	9単位	
	都市系専攻 （博士後期課程）	2科目	14科目	0科目	16科目	9単位	
	電子物理系専攻 （博士後期課程）	2科目	14科目	2科目	18科目	9単位	
	電気電子系専攻 （博士後期課程）	2科目	14科目	0科目	16科目	9単位	
	物質化学生命系専攻 （博士後期課程）	2科目	13科目	1科目	16科目	9単位	
	量子放射線系専攻 （博士後期課程）	2科目	13科目	1科目	16科目	9単位	
	農学研究科						
	応用生物科学専攻 （博士前期課程）	25科目	12科目	4科目	41科目	30単位	
	生命機能化学専攻 （博士前期課程）	24科目	13科目	4科目	41科目	30単位	
	緑地環境科学専攻 （博士前期課程）	22科目	13科目	5科目	40科目	30単位	

教育課程	応用生物科学専攻 （博士後期課程）	2科目	12科目	6科目	20科目	19単位	
	生命機能化学専攻 （博士後期課程）	2科目	12科目	6科目	20科目	19単位	
	緑地環境科学専攻 （博士後期課程）	2科目	12科目	6科目	20科目	19単位	
	獣医学研究科						
	獣医学専攻 （博士課程）	35科目	18科目	4科目	57科目	31単位	
	医学研究科						
	医科学専攻 （修士課程）	76科目	69科目	0科目	145科目	30単位	
	基礎医科学専攻 （博士課程）	64科目	53科目	3科目	120科目	30単位	
	臨床医科学専攻 （博士課程）	108科目	85科目	25科目	218科目	30単位	
	リハビリテーション学研究科						
	リハビリテーション学専攻 （博士前期課程）	30科目	11科目	4科目	45科目	30単位	
	リハビリテーション学専攻 （博士後期課程）	14科目	14科目	6科目	34科目	18単位	
	看護学研究科						
	看護学専攻 （博士前期課程）	103科目	94科目	34科目	231科目	31単位	
	看護学専攻 （博士後期課程）	21科目	30科目	0科目	51科目	15単位	
	生活科学研究科						
	生活科学専攻 （博士前期課程）	90科目	81科目	10科目	181科目	30単位	
	生活科学専攻 （博士後期課程）	2科目	13科目	0科目	15科目	10単位	

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
			人	人	人	人	人	人	人
	新設分	現代システム科学研究科 現代システム科学専攻 （博士前期課程）	41 (44)	39 (37)	2 (2)	2 (2)	84 (85)	0 (0)	69 (66)
		現代システム科学専攻 （博士後期課程）	33 (41)	26 (25)	0 (0)	0 (0)	59 (66)	0 (0)	34 (35)
		文学研究科 哲学歴史学専攻 （博士前期課程）	9 (9)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	60 (57)
		人間行動学専攻 （博士前期課程）	11 (11)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	56 (54)
		言語文化学専攻 （博士前期課程）	13 (13)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	58 (55)
		文化構想学専攻 （博士前期課程）	7 (8)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	56 (52)
		哲学歴史学専攻 （博士後期課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	34 (35)
		人間行動学専攻 （博士後期課程）	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	34 (35)
		言語文化学専攻 （博士後期課程）	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	34 (35)
		文化構想学専攻 （博士後期課程）	6 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (7)	0 (0)	34 (35)
		法学研究科 法学政治学専攻 （博士前期課程）	15 (15)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	62 (61)
		法学政治学専攻 （博士後期課程）	21 (23)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	35 (37)	0 (0)	38 (39)
		法曹養成専攻 （専門職学位課程）	10 (11)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	38 (14)

教員組織の概要	新設分	経済学研究科 経済学専攻 （博士前期課程）	22 (22)	22 (22)	0 (0)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	50 (48)	
		経済学専攻 （博士後期課程）	22 (22)	21 (22)	0 (0)	0 (0)	43 (44)	0 (0)	34 (35)	
		経営学研究科 グローバルビジネス専攻 （博士前期課程）	20 (21)	20 (19)	0 (0)	0 (0)	40 (40)	0 (0)	51 (51)	
		グローバルビジネス専攻 （博士後期課程）	20 (20)	18 (18)	0 (0)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	34 (35)	
		都市経営研究科 都市経営専攻 （博士前期課程）	14 (14)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	43 (32)	
		都市経営専攻 （博士後期課程）	14 (14)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	5 (5)	
		情報学研究科 基幹情報学専攻 （博士前期課程）	11 (11)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	49 (49)	
		学際情報学専攻 （博士前期課程）	13 (14)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	26 (27)	0 (0)	50 (49)	
		基幹情報学専攻 （博士後期課程）	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	34 (35)	
		学際情報学専攻 （博士後期課程）	13 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (14)	0 (0)	34 (35)	
		理学研究科 数学専攻 （博士前期課程）	17 (17)	23 (21)	0 (0)	0 (0)	40 (38)	0 (0)	57 (52)	
		物理学専攻 （博士前期課程）	20 (21)	20 (19)	4 (4)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	66 (63)	
		化学専攻 （博士前期課程）	21 (21)	12 (12)	12 (12)	0 (0)	45 (45)	0 (0)	56 (52)	
		生物学専攻 （博士前期課程）	13 (14)	12 (12)	1 (1)	3 (3)	29 (30)	0 (0)	54 (54)	
		地球学専攻 （博士前期課程）	8 (8)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	52 (48)	
		生物化学専攻 （博士前期課程）	7 (7)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	52 (50)	
		数学専攻 （博士後期課程）	17 (17)	23 (21)	0 (0)	0 (0)	40 (38)	0 (0)	34 (35)	
		物理学専攻 （博士後期課程）	19 (18)	20 (19)	4 (4)	0 (0)	43 (41)	0 (0)	40 (38)	
		化学専攻 （博士後期課程）	21 (21)	12 (12)	11 (11)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	34 (35)	
		生物学専攻 （博士後期課程）	12 (13)	11 (12)	1 (1)	2 (3)	26 (29)	0 (0)	34 (35)	
		地球学専攻 （博士後期課程）	7 (8)	7 (8)	0 (0)	0 (0)	14 (16)	0 (0)	34 (35)	
		生物化学専攻 （博士後期課程）	7 (7)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	38 (37)	
		工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 （博士前期課程）	11 (10)	6 (6)	3 (2)	4 (4)	24 (22)	0 (0)	62 (62)	
		機械系専攻 （博士前期課程）	16 (19)	14 (14)	6 (6)	0 (0)	36 (39)	0 (0)	48 (48)	
		都市系専攻 （博士前期課程）	14 (14)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	58 (49)	
		電子物理系専攻 （博士前期課程）	16 (16)	23 (23)	2 (2)	5 (5)	46 (46)	0 (0)	53 (52)	
		電気電子系専攻 （博士前期課程）	9 (9)	10 (10)	3 (2)	2 (2)	24 (23)	0 (0)	48 (48)	
		物質化学生命系専攻 （博士前期課程）	34 (35)	33 (32)	4 (4)	10 (10)	81 (81)	0 (0)	59 (54)	
		量子放射線系専攻 （博士前期課程）	5 (5)	4 (4)	0 (0)	3 (4)	12 (13)	0 (0)	55 (54)	
		航空宇宙海洋系専攻 （博士後期課程）	10 (10)	6 (6)	3 (2)	4 (4)	23 (22)	0 (0)	34 (35)	
		機械系専攻 （博士後期課程）	15 (19)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	29 (33)	0 (0)	34 (35)	
		都市系専攻 （博士後期課程）	13 (13)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	34 (35)	
		電子物理系専攻 （博士後期課程）	16 (16)	23 (23)	0 (0)	4 (4)	43 (43)	0 (0)	34 (35)	
		電気電子系専攻 （博士後期課程）	8 (8)	10 (10)	3 (2)	2 (2)	23 (22)	0 (0)	34 (35)	
		物質化学生命系専攻 （博士後期課程）	33 (35)	33 (32)	4 (4)	10 (10)	80 (81)	0 (0)	35 (35)	

教員組織の概要	新設分	量子放射線系専攻 （博士後期課程）	4 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	8 (9)	0 (0)	34 (35)	
		農学研究科 応用生物科学専攻 （博士前期課程）	8 (8)	8 (8)	6 (6)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	54 (53)	
		生命機能化学専攻 （博士前期課程）	9 (9)	9 (9)	2 (1)	3 (4)	23 (23)	0 (0)	53 (53)	
		緑地環境科学専攻 （博士前期課程）	8 (7)	9 (10)	2 (2)	4 (4)	23 (23)	0 (0)	50 (50)	
		応用生物科学専攻 （博士後期課程）	7 (8)	8 (8)	5 (6)	0 (0)	20 (22)	0 (0)	34 (35)	
		生命機能化学専攻 （博士後期課程）	8 (9)	9 (9)	2 (1)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	34 (35)	
		緑地環境科学専攻 （博士後期課程）	8 (7)	9 (10)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	34 (35)	
		獣医学研究科 獣医学専攻 （博士課程）	13 (15)	19 (19)	2 (2)	7 (7)	41 (43)	0 (0)	45 (46)	
		医学研究科 医科学専攻 （修士課程）	38 (39)	57 (58)	95 (95)	20 (20)	210 (212)	0 (0)	109 (109)	
		基礎医科学専攻 （博士課程）	11 (13)	11 (13)	12 (12)	15 (15)	49 (53)	0 (0)	47 (49)	
		臨床医科学専攻 （博士課程）	24 (26)	47 (47)	92 (94)	7 (7)	170 (174)	0 (0)	107 (109)	
		リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻 （博士前期課程）	9 (9)	3 (4)	5 (4)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	54 (52)	
		リハビリテーション学専攻 （博士後期課程）	9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	34 (35)	
		看護学研究科 看護学専攻 （博士前期課程）	25 (24)	20 (20)	16 (16)	2 (2)	63 (62)	0 (0)	156 (98)	
		看護学専攻 （博士後期課程）	25 (24)	18 (18)	0 (0)	0 (0)	43 (42)	0 (0)	35 (35)	
		生活科学研究科 生活科学専攻 （博士前期課程）	24 (25)	23 (22)	9 (8)	0 (0)	56 (55)	0 (0)	78 (78)	
		生活科学専攻 （博士後期課程）	23 (23)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	34 (35)	
		小計（博士前期課程、修士課程、専門職学位課程）	498 (510)	461 (454)	180 (175)	60 (62)	1,199 (1,201)	0 (0)	－ (－)	
		小計（博士後期課程、博士課程）	483 (509)	389 (390)	142 (142)	52 (53)	1,066 (1,094)	0 (0)	－ (－)	
		計	498 (510)	461 (454)	180 (175)	60 (62)	1,199 (1,201)	0 (0)	－ (－)	
	既設分	該当なし	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
			－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
		計	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
	合計		498 (510)	461 (454)	180 (175)	60 (62)	1,199 (1,201)	0 (0)	－ (－)	

	職種	専任	兼任	計	
教員以外の職員の概要	事務職員	394人 (394)	473人 (473)	867人 (867)	医学部附属病院の職員（専任1,357人、兼任496人）を除く
	技術職員	34 (34)	10 (10)	44 (44)	
	図書館専門職員	9 (9)	15 (15)	24 (24)	
	その他の職員	13 (13)	8 (8)	21 (21)	
	計	450 (450)	506 (506)	956 (956)	

	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校地等	校舎敷地	557,261 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	557,261 ㎡	大学院博士後期課程における完成年度（2024年度）で表示。
	運動場用地	120,814 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	120,814 ㎡	
	小計	678,075 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	678,075 ㎡	
	その他	152,273 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	152,273 ㎡	
	合計	830,348 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	830,348 ㎡	

校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	大学院博士後期課程における完成年度(2024年度)で表示。
	480,925 ㎡ (446,774 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	480,925 ㎡ (446,774 ㎡)	

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	323 室	189 室	1,470 室	27 室 (補助職員 5人)	13 室 (補助職員 5人)	

専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	大学院博士後期課程の完成年度（2024年度）で表示。研究科毎の全ての諸室数。
	現代システム科学研究科	137 室	
	文学研究科	90 室	
	法学研究科	48 室	
	経済学研究科	57 室	
	経営学研究科	45 室	
	都市経営研究科	20 室	
	情報学研究科	121 室	
	理学研究科	268 室	
	工学研究科	666 室	
	農学研究科	82 室	
	獣医学研究科	43 室	
	医学研究科	257 室	
	リハビリテーション学研究科	26 室	
	看護学研究科	78 室	
	生活科学研究科	105 室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 種	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体
	全学	2,454,700〔787,750〕 (2,552,600〔810,550〕)	36,450〔15,085〕 (38,450〔15,355〕)	8,700 (8,700)	42,739 (42,739)	47,619 (47,619)	569,776 (569,776)	
	計	2,454,700〔787,750〕 (2,552,600〔810,550〕)	36,450〔15,085〕 (38,450〔15,355〕)	8,700 (8,700)	42,739 (42,739)	47,619 (47,619)	569,776 (569,776)	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	36,738 ㎡	2,527 席	3,707,000 冊	

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	10,478 ㎡	テニスコート（20面）	プール（2施設）	

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	図書購入費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費(運用ｺｽﾄ等)を含む。
		教員１人当り研究費等		1,028 千円	1,028 千円	1,028 千円	1,028 千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		2,176,768 千円	2,176,768 千円	2,176,768 千円	2,176,768 千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	390,517 千円	390,517 千円	390,517 千円	390,517 千円	390,517 千円	— 千円	— 千円	
		設備購入費	170,781 千円	170,781 千円	170,781 千円	170,781 千円	170,781 千円	— 千円	— 千円	

学生１人当り納付金		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	①は、②を除くすべての研究科・専攻学生1人当たり納付金で、第1年次の上段は大阪府内、下段は大阪府外の金額。②は、法学研究科法曹養成専攻の金額
	①	817.8千円 917.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	— 千円	
	②	1,086.0千円 1,186.0千円	804.0千円	804.0千円	804.0千円	— 千円	— 千円	

学生納付金以外の維持方法の概要	運営費交付金

既設大学等の状況	大学の名称	大阪市立大学、大阪府立大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍			
	【大阪市立大学】									※令和4年度から学生募集停止
	商学部						1.01		大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	商学科	4	170	-	680	学士（商学）	1.01	昭和24年		
	公共経営学科	4	65	-	195	学士（商学）	1.00	平成30年		
	経済学部						1.03		大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	経済学科	4	220	-	880	学士（経済学）	1.03	昭和24年		
	法学部						1.02		大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	法学科	4	165	3年次 5	670	学士（法学）	1.02	昭和28年		
	文学部						1.07		大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	哲学歴史学科	4	32	3年次 4	136	学士（文学）	1.09	平成10年		
	人間行動学科	4	56	3年次 4	232	学士（文学）	1.07	平成10年		
	言語文化学科	4	43	3年次 4	180	学士（文学）	1.07	平成10年		
	文化構想学科	4	24	3年次 4	104	学士（文学）	1.04	平成31年		
	理学部						1.06		大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	数学科	4	27	-	108	学士（理学）	1.04	昭和34年		
	物理学科	4	33	-	132	学士（理学）	1.08	昭和34年		
	化学科	4	46	3年次 3	190	学士（理学）	1.06	昭和34年		
	生物学科	4	34	-	136	学士（理学）	1.09	昭和34年		
	地球学科	4	20	-	80	学士（理学）	1.01	平成5年		
	工学部						1.05		大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	機械工学科	4	56	-	224	学士（工学）	1.02	平成16年		
	電子・物理工学科	4	42	-	168	学士（工学）	1.08	平成16年		
	電気情報工学科	4	48	-	192	学士（工学）	1.05	平成16年		
	化学バイオ工学科	4	56	-	224	学士（工学）	1.04	平成16年		
	建築学科	4	34	-	136	学士（工学）	1.05	平成16年		
	都市学科	4	50	-	200	学士（工学）	1.06	平成16年		
	医学部						1.00		大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号	
	医学科	6	95	-	570	学士(医学)	1.00	平成18年		入学定員95人には地域医療枠5名を含む
	看護学科	4	55	-	220	学士（看護学）	1.01	平成16年		

既設大学等の状況	生活科学部						1.02		大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	食品栄養科学科	4	35	－	140	学士（生活科学）	1.01	平成2年		
	居住環境学科	4	43	－	172	学士（生活科学）	1.03	平成12年		
	人間福祉学科	4	45	－	180	学士（生活科学）	1.02	平成2年		
	【大阪市立大学大学院】									※令和4年度から学生募集停止
	経営学研究科								大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	グローバルビジネス専攻（前期博士課程）	2	20	－	40	修士（経営学） 修士（商学） 修士（グローバルビジネス）	1.00	平成14年		
	グローバルビジネス専攻（後期博士課程）	3	8	－	24	博士（経営学） 博士（商学） 博士（グローバルビジネス）	0.58	平成14年		
	経済学研究科								大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	現代経済専攻（前期博士課程）	2	20	－	40	修士（経済学）	1.02	昭和28年		
	現代経済専攻（後期博士課程）	3	6	－	18	博士（経済学）	0.27	昭和28年		
	文学研究科								大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	哲学歴史学専攻（前期博士課程）	2	14	－	28	修士（文学）	1.07	平成13年		
	哲学歴史学専攻（後期博士課程）	3	5	－	15	博士（文学）	0.54	平成13年		
	人間行動学専攻（前期博士課程）	2	16	－	32	修士（文学）	0.59	平成13年		
	人間行動学専攻（後期博士課程）	3	6	－	18	博士（文学）	0.63	平成13年		
	言語文化学専攻（前期博士課程）	2	18	－	36	修士（文学）	0.76	平成13年		
	言語文化学専攻（後期博士課程）	3	6	－	18	博士（文学）	0.60	平成13年		
	文化構想学専攻（前期博士課程）	2	12	－	12	修士（文学）	0.75	令和2年		
	文化構想学専攻（後期博士課程）	3	4	－	4	博士（文学）	1.25	令和2年		

既設大学等の状況	理学研究科 数物系専攻 （前期博士課程）	2	31	－	62	修士（理学）	1.04	平成10年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	数物系専攻 （後期博士課程）	3	10	－	30	博士（理学）	0.69	平成10年		
	物質分子系専攻 （前期博士課程）	2	37	－	74	修士（理学）	1.03	平成10年		
	物質分子系専攻 （後期博士課程）	3	7	－	21	博士（理学）	0.37	平成10年		
	生物地球系専攻 （前期博士課程）	2	29	－	58	修士（理学）	1.17	平成10年		
	生物地球系専攻 （後期博士課程）	3	9	－	27	博士（理学）	0.51	平成10年		
	工学研究科 機械物理系専攻 （前期博士課程）	2	36	－	72	修士（工学）	1.17	平成14年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	機械物理系専攻 （後期博士課程）	3	5	－	15	博士（工学）	0.18	平成14年		
	電子情報系専攻 （前期博士課程）	2	58	－	116	修士（工学）	0.98	平成14年		
	電子情報系専攻 （後期博士課程）	3	9	－	27	博士（工学）	0.41	平成14年		
	化学生物系専攻 （前期博士課程）	2	36	－	72	修士（工学）	1.36	平成14年		
	化学生物系専攻 （後期博士課程）	3	5	－	15	博士（工学）	0.30	平成14年		
	都市系専攻 （前期博士課程）	2	47	－	94	修士（工学）	1.15	平成14年		
	都市系専攻 （後期博士課程）	3	9	－	27	博士（工学）	0.29	平成14年		
	生活科学研究科 生活科学専攻 （前期博士課程）	2	53	－	106	修士（学術） 修士（生活科学）	1.00	平成12年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	生活科学専攻 （後期博士課程）	3	10	－	30	博士（学術） 博士（生活科学）	0.53	平成12年		
	看護学研究科 看護学専攻 （前期博士課程）	2	10	－	20	修士（看護学）	0.70	平成20年	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号	

既設大学等の状況	看護学専攻 （後期博士課程）	3	3	－	9	博士（看護学）	0.77	平成22年		
	都市経営研究科 都市経営専攻 （前期博士課程）	2	56	－	112	修士（都市経営）	0.99	平成30年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	都市経営専攻 （後期博士課程）	3	5	－	15	博士（都市経営）	1.40	平成2年		
	法学研究科 法学政治学専攻 （前期博士課程）	2	15	－	30	修士(法学)	0.16	昭和28年	大阪市住吉区杉本3丁目3番138号	
	法学政治学専攻 （後期博士課程）	3	10	－	30	博士(法学)	0.06	昭和28年		
	法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	30	－	90	法務博士(専門職)	0.61	平成16年		
	医学研究科 医科学専攻 （修士課程）	2	12	－	24	修士（医科学）	1.04	平成18年	大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号	
	基礎医科学専攻 （博士課程）	4	30	－	120	博士（医学）	0.33	平成18年		
	臨床医科学専攻 （博士課程）	4	40	－	160	博士（医学）	1.37	平成18年		
	【大阪府立大学】 現代システム科学域						1.03		大阪府堺市中区学園町1番1号	※令和4年度から学生募集停止
	知識情報システム学類	4	45	－	180	学士（情報学）	1.03	平成24年		
	環境システム学類 環境共生科学課程 社会共生科学課程 人間環境科学課程	4	125	－	500	学士（環境システム学）	1.02	平成24年		
	マネジメント学類 マネジメント課程 経済データサイエンス課程	4	150	－	600	学士（経営学） 学士（経済学）	1.02	平成24年		
	工学域			3年次			1.04		大阪府堺市中区学園町1番1号	
	電気電子系学類 情報工学課程 電気電子システム工学課程 電子物理工学課程	4	163	4	660	学士（工学）	1.06	平成24年		

既設大学等の状況	物質化学系学類 応用化学課程 化学工学課程 マテリアル工学課程	4	150	3年次 13	626	学士（工学）	1.04	平成24年		
	機械系学類 航空宇宙工学課程 海洋システム工学課程 機械工学課程	4	142	3年次 3	574	学士（工学）	1.01	平成24年		
	生命環境科学域						1.03			
	獣医学類	6	40	－	240	学士（獣医学）	1.08	平成24年	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号	
	応用生命科学類 生命機能化学課程 植物バイオサイエンス課程	4	100	－	400	学士（応用生命科学）	1.03	平成24年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	緑地環境科学類	4	50	－	200	学士（緑地環境科学）	1.03	平成24年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	理学類 数理科学課程 物理科学課程 分子科学課程 生物科学課程	4	149	－	596	学士（理学）	1.03	平成30年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	地域保健学域						1.01			
	看護学類	4	120	－	480	学士（看護学）	1.00	平成24年	大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	
	総合リハビリテーション学類						1.02		大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	
	理学療法専攻	4	25	－	100	学士（保健学）	1.03	平成17年		
	作業療法専攻	4	25	－	100	学士（保健学）	1.02	平成17年		
	栄養療法専攻	4	30	－	120	学士（保健学）	1.03	平成17年		
	教育福祉学類	4	55	3年次 3	226	学士（教育福祉学）	1.05	平成24年	大阪府堺市中区学園町1番1号	※3年次編入は、令和4年度から 学生募集停止
	【大阪府立大学大学院】 工学研究科 機械系専攻 （博士前期課程）	2	50	－	100	修士（工学）	1.28	平成17年	大阪府堺市中区学園町1番1号	※令和4年度から学生募集停止
	機械系専攻 （博士後期課程）	3	7	－	21	博士（工学）	0.33	平成17年		
	航空宇宙海洋系専攻 （博士前期課程）	2	35	－	70	修士（工学）	1.22	平成17年		

既設大学等の状況	航空宇宙海洋系専攻 （博士後期課程）	3	6	－	18	博士（工学）	0.72	平成17年		
	電子・数物系専攻 （博士前期課程）	2	45	－	90	修士（工学）	1.26	平成17年		
	電子・数物系専攻 （博士後期課程）	3	10	－	30	博士（工学）	0.40	平成17年		
	電気・情報系専攻 （博士前期課程）	2	83	－	166	修士（工学）	1.01	平成17年		
	電気・情報系専攻 （博士後期課程）	3	11	－	33	博士（工学）	0.57	平成17年		
	物質・化学系専攻 （博士前期課程）	2	120	－	240	修士（工学）	1.04	平成17年		
	物質・化学系専攻 （博士後期課程）	3	18	－	54	博士（工学）	0.75	平成17年		
	量子放射線系専攻 （博士前期課程）	2	8	－	16	修士（工学）	0.93	平成25年		
	量子放射線系専攻 （博士後期課程）	3	3	－	9	博士（工学）	0.88	平成25年		
	生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 （博士前期課程）	2	63	－	126	修士（応用生命科学）	1.18	平成17年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	応用生命科学専攻 （博士後期課程）	3	12	－	36	博士（応用生命科学）	0.49	平成17年		
	緑地環境科学専攻 （博士前期課程）	2	20	－	40	修士（緑地環境科学）	0.97	平成17年		
	緑地環境科学専攻 （博士後期課程）	3	5	－	15	修士（緑地環境科学）	0.26	平成17年		
	獣医学専攻 （博士課程）	4	13	－	52	博士（獣医学）	0.84	平成17年	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号	
	理学系研究科 数理科学専攻 （博士前期課程）	2	15	－	30	修士（理学）	0.83	平成30年	大阪府堺市中区学園町1番1号	
	数理科学専攻 （博士後期課程）	3	3	－	9	博士（理学）	0.44	平成30年		
	物理科学専攻 （博士前期課程）	2	25	－	50	修士（理学）	0.66	平成17年		

既設大学等の状況	物理科学専攻 （博士後期課程）	3	3	－	9	博士（理学）	0.99	平成17年		
	分子科学専攻 （博士前期課程）	2	25	－	50	修士（理学）	0.94	平成17年		
	分子科学専攻 （博士後期課程）	3	3	－	9	博士（理学）	0.22	平成17年		
	生物科学専攻 （博士前期課程）	2	27	－	54	修士（理学）	1.12	平成17年		
	生物科学専攻 （博士後期課程）	3	5	－	15	博士（理学）	0.26	平成17年		
	経済学研究科								大阪府堺市中区学園町1番1号	
	経済学専攻 （博士前期課程）	2	15	－	30	修士（経済学）	0.73	平成17年		
	経済学専攻 （博士後期課程）	3	8	－	24	博士（経済学）	0.58	平成17年		
	経営学専攻 （博士前期課程）	2	30	－	60	修士（経営学） 修士（学術）	0.79	平成17年		
	人間社会システム科学研究科								大阪府堺市中区学園町1番1号	
	現代システム科学専攻 （博士前期課程）	2	35	－	70	修士(情報学) 修士（環境学） 修士（学術）	1.11	平成28年		
	現代システム科学専攻 （博士後期課程）	3	5	－	15	博士(情報学) 博士（環境学） 博士（学術）	0.53	平成28年		
	人間社会学専攻 （博士前期課程）	2	20	－	40	修士（言語文化学） 修士（人間科学）修士（社会福祉学）	1.02	平成28年		
	人間社会学専攻 （博士後期課程）	3	8	－	24	修士（言語文化学） 修士（人間科学）修士（社会福祉学）	0.83	平成28年		
	看護学研究科								大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	
	看護学専攻 （博士前期課程）	2	26	－	52	修士（看護学）	0.82	平成17年		
	看護学専攻 （博士後期課程）	3	5	－	15	博士（看護学）	1.06	平成17年		
	総合リハビリテーション学研究科								大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号	
	総合リハビリテーション学専 （博士前期課程）	2	15	－	30	修士（保健学）	1.36	平成19年		
	総合リハビリテーション学専 （博士後期課程）	3	5	－	15	博士（保健学）	1.33	平成21年		

	名称	目的	規模			設置年月	所在地
			職員数	敷地面積	施設面積		
附属施設の概要	医学部附属病院	医学部附属病院として市民の健康に寄与する質の高い医療の提供、こころ豊かで信頼される医療人の育成、医療発展への貢献を目的に大阪市内唯一の中核病院として高度総合医療機関の役割を担う。許可病床数は、一般病床934、精神病棟38、合計972床。	専任1,357名・兼任496名	16,458㎡	86,878㎡	1955(昭和30)年4月	大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7
	附属植物園	主に理学部・理学研究科における植物学の基礎研究、遺伝子資源や絶滅危惧植物の保護育成を行う植物園として教育研究、研究成果の発信及び地域の自然学習や生涯学習の拠点としての役割を担う。収集植物は約6千種類、樹木・花木を約3万本収集。	専任13名・兼任6名	255,300㎡	2,159㎡	1950(昭和25)年4月	大阪府交野市私市2000
附属施設の概要	獣医学部附属獣医臨床センター	獣医学部の附属動物病院として診療実習施設及び獣医学臨床を基盤とした教育・研究機能を整備し、高度な医療及び教育研究の推進、獣医師の育成、感染症の拡大防止、地域への獣医療の貢献などを目的とする。	兼任53名	11,111㎡	2,647㎡	2009(平成21)年4月	大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地58号
	農学部附属教育研究フィールド	農学部・農学研究科における圃場として水田、果樹園、花木園、精密栽培室、実習施設等を整備し、基礎及び応用研究、学生の実習指導を行う。資源植物の収集保存、有用植物の特性評価、環境影響評価など高度な教育研究と地域産業の振興を担う。	専任3名・兼任9名	72,755㎡	4,327㎡	2005(平成17)年4月	大阪府堺市中区学園町1番1号

（注）
1　共同学科等の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
2　「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。
3　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
4　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
6　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

別紙

同一設置者内における変更状況

大阪市立大学大学院

経営学研究科（廃止）

グローバルビジネス専攻（前期博士課程）	（△20）
グローバルビジネス専攻（後期博士課程）	（△8）

※令和４年４月学生募集停止

経済学研究科（廃止）

現代経済専攻（前期博士課程）	（△20）
現代経済専攻（後期博士課程）	（△６）

※令和４年４月学生募集停止

文学研究科（廃止）

哲学歴史学専攻（前期博士課程）	（△14）
哲学歴史学専攻（後期博士課程）	（△5）
人間行動学専攻（前期博士課程）	（△16）
人間行動学専攻（後期博士課程）	（△6）
言語文化学専攻（前期博士課程）	（△18）
言語文化学専攻（後期博士課程）	（△6）
文化構想学専攻（前期博士課程）	（△12）
文化構想学専攻（後期博士課程）	（△4）

※令和４年４月学生募集停止

理学研究科（廃止）

数物系専攻（前期博士課程）	（△31）
数物系専攻（後期博士課程）	（△10）
物質分子系専攻（前期博士課程）	（△37）
物質分子系専攻（後期博士課程）	（△7）
生物地球系専攻（前期博士課程）	（△29）
生物地球系専攻（後期博士課程）	（△9）

※令和４年４月学生募集停止

工学研究科（廃止）

機械物理系専攻（前期博士課程）	（△36）
機械物理系専攻（後期博士課程）	（△5）
電子情報系専攻（前期博士課程）	（△58）
電子情報系専攻（後期博士課程）	（△9）

別紙

同一設置者内における変更状況

化学生物系専攻（前期博士課程）	（△36）
化学生物系専攻（後期博士課程）	（△5）
都市系専攻（前期博士課程）	（△47）
都市系専攻（後期博士課程）	（△9）

※令和４年４月学生募集停止

生活科学研究科（廃止）

生活科学専攻（前期博士課程）	（△53）
生活科学専攻（後期博士課程）	（△10）

※令和４年４月学生募集停止

看護学研究科（廃止）

看護学専攻（前期博士課程）	（△10）
看護学専攻（後期博士課程）	（△3）

※令和４年４月学生募集停止

都市経営研究科（廃止）

都市経営専攻（博士前期課程）	（△56）
都市経営専攻（博士後期課程）	（△5）

※令和４年４月学生募集停止

法学研究科（廃止）

法学政治学専攻（前期博士課程）	（△15）
法学政治学専攻（後期博士課程）	（△10）
法曹養成専攻（専門職学位課程）	（△30）

※令和４年４月学生募集停止

医学研究科（廃止）

医科学専攻（修士課程）	（△12）
基礎医科学専攻（博士課程）	（△30）
臨床医科学専攻（博士課程）	（△40）

※令和４年４月学生募集停止

別紙

同一設置者内における変更状況

大阪府立大学大学院

工学研究科（廃止）

機械系専攻（博士前期課程）	（△50）
機械系専攻（博士後期課程）	（△7）
航空宇宙海洋系専攻（博士前期課程）	（△35）
航空宇宙海洋系専攻（博士後期課程）	（△6）
電子・数物系専攻（博士前期課程）	（△45）
電子・数物系専攻（博士後期課程）	（△10）
電気・情報系専攻（博士前期課程）	（△83）
電気・情報系専攻（博士後期課程）	（△11）
物質・化学系専攻（博士前期課程）	（△120）
物質・化学系専攻（博士後期課程）	（△18）
量子放射線系専攻（博士前期課程）	（△8）
量子放射線系専攻（博士後期課程）	（△3）

※令和４年４月学生募集停止

生命環境科学研究科（廃止）

応用生命科学専攻（博士前期課程）	（△63）
応用生命科学専攻（博士後期課程）	（△12）
緑地環境科学専攻（博士前期課程）	（△20）
緑地環境科学専攻（博士後期課程）	（△5）
獣医学専攻（博士課程）	（△13）

※令和４年４月学生募集停止

理学系研究科（廃止）

数理科学専攻（博士前期課程）	（△15）
数理科学専攻（博士後期課程）	（△3）
物理科学専攻（博士前期課程）	（△25）
物理科学専攻（博士後期課程）	（△3）
分子科学専攻（博士前期課程）	（△25）
分子科学専攻（博士後期課程）	（△3）
生物科学専攻（博士前期課程）	（△27）
生物科学専攻（博士後期課程）	（△5）

※令和４年４月学生募集停止

別紙

同一設置者内における変更状況

経済学研究科（廃止）

経済学専攻（博士前期課程）	（△15）
経済学専攻（博士後期課程）	（△8）
経営学専攻（博士前期課程）	（△30）

※令和４年４月学生募集停止

人間社会システム科学研究科（廃止）

現代システム科学専攻（博士前期課程）	（△35）
現代システム科学専攻（博士後期課程）	（△5）
人間社会学専攻（博士前期課程）	（△20）
人間社会学専攻（博士後期課程）	（△8）

※令和４年４月学生募集停止

看護学研究科（廃止）

看護学専攻（博士前期課程）	（△26）
看護学専攻（博士後期課程）	（△5）

※令和４年４月学生募集停止

総合リハビリテーション学研究科（廃止）

総合リハビリテーション学専攻（博士前期課程）	（△15）
総合リハビリテーション学専攻（博士後期課程）	（△5）

※令和４年４月学生募集停止

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代システム科学研究科　現代システム科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		合計（15科目）	―	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	―
専攻基幹科目		現代システム科学特論	1前	2			○			5	1					オムニバス・共同 （一部）　※演習
		SDGs特別演習	1後		2			○		4	3					共同
		統計法特論A	1前		2		○				1					※演習
		統計法特論B	1前		2		○								兼1	
		統計法特論C	1後		2		○								兼1	
		調査法特論	1前		2		○								兼1	
		国際環境学特論	1前		2		○			1					兼2	オムニバス
		環境コミュニケーション特論	1後		2		○			2						※演習
		国際環境活動特別演習	2通		2			○		2						共同
		小計（9科目）	―	2	16	0		―		6	1	0	0	0	兼3	―
専攻演習科目		現代システム科学特別演習1	1前	2				○		41	39	2	2			共同
		現代システム科学特別演習2	1後	2				○		41	39	2	2			共同
		小計（2科目）	―	4	0	0		―		41	39	2	2	0	0	―
研究指導科目	環境共生科学分野	環境共生科学特別研究1	2前		2				○	8	8		2			共同
		環境共生科学特別研究2	2後		2				○	8	8		2			共同
		小計（2科目）	―	0	4	0		―		8	8	0	2	0	0	―
	言語文化学分野	言語文化学特別研究1	2前		2			○		7	4					共同
		言語文化学特別研究2	2後		2			○		7	4					共同
		小計（2科目）	―	0	4	0		―		7	4	0	0	0	0	―
	人間科学分野	人間科学特別研究1	2前		2			○		14	10	1				共同
		人間科学特別研究2	2後		2			○		14	10	1				共同
		小計（2科目）	―	0	4	0		―		14	10	1	0	0	0	―
	社会福祉学分野	社会福祉学特別研究1	2前		2			○		7	7	1				共同
		社会福祉学特別研究2	2後		2			○		7	7	1				共同
		小計（2科目）	―	0	4	0		―		7	7	1	0	0	0	―
	臨床心理学分野	臨床心理学特別研究1	2前		2				○	2	3					共同
		臨床心理学特別研究2	2後		2				○	2	3					共同
		小計（2科目）	―	0	4	0		―		2	3	0	0	0	0	―
	認知行動科学分野	認知行動科学特別研究1	2前		2				○	3	6					共同
		認知行動科学特別研究2	2後		2				○	3	6					共同
		小計（2科目）	―	0	4	0		―		3	6	0	0	0	0	―
分野専門科目	環境共生科学分野	環境物理化学特論	1前		2		○			1						A
		環境生物学特論	1前		2		○			1						A
		物質循環化学特論	1前		2		○			1						A
		海洋環境生態学特論	1後		2		○			1						A
		景観計画学特論	1後		2		○					1				A
		食品安全学特論	1後		2		○				1					A
		不法行為法特論	1前		2		○				1					A
		海域環境再生学特論	1前		2		○				1					A
		植物生産環境学特論	1前		2		○			1						A
		地球構造学特論	1後		2		○			1						A
		災害レジリエンス学特論	1前		2		○			1						A
		市場環境学特論（商法）	1前		2		○				1					A
		市場環境学特論（経済学）	1前		2		○				1					A

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代システム科学研究科　現代システム科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		環境政策学特論	1前		2		○			1						A
		公共政策学特論	1後		2		○				1					A
		公共経済学特論	1後		2		○				1					A
		デザインサイエンス特論	1前		2		○				1					A
		小計（17科目）	－	0	34	0	－			8	8	0	1	0	0	－
	言語文化学分野	言語文化学特論A	1前		2		○			1						B
		言語文化学特論B	1前		2		○			1						B
		言語文化学特論C	1前		2		○			1						B
		言語文化学特論D	1前		2		○			1						B
		応用日本語学特論A	1前		2		○								兼1	B
		応用日本語学特論B	1前		2		○			1						B
		応用日本語学特論C	1前		2		○				1					B
		応用言語学特論A	1前		2		○				1					B
		応用言語学特論B	1前		2		○				1					B
		応用言語学特論C	1前		2		○			1						B
		グローバルコミュニケーション学特論A	1前		2		○				1					B
		グローバルコミュニケーション学特論B	1前		2		○			1						B
		地域言語文化学特論A	1後		2		○				1					B
		地域言語文化学特論B	1後		2		○			1						B
		グローバル言語文化学特論A	1後		2		○				1					B
		グローバル言語文化学特論B	1後		2		○			1						B
		グローバル言語文化学特論C	1後		2		○			1						B
		社会言語学特論A	1後		2		○				1					B
		社会言語学特論B	1後		2		○			1						B
		社会言語学特論C	1後		2		○			1						B
		グローバル言語学特論A	1後		2		○								兼1	B
		グローバル言語学特論B	1後		2		○				1					B
		グローバル言語学特論C	1後		2		○				1					B
		グローバル言語学特論D	1後		2		○			1						B
		言語データ分析法特論	1前		2		○								兼1	B
		言語文化学特殊講義	1前		2		○			4	1					B　オムニバス
		応用言語学特殊講義	1前		2		○			2	3					B　オムニバス
		小計（27科目）	－	0	54	0	－			7	4	0	0	0	兼2	－
	人間科学分野	倫理学特論	1前		2		○								兼1	C
		環境哲学特論	1前		2		○				1					C
		現代人間学特論	1後		2		○				1					C
		生命倫理特論	1前		2		○					1				C
		教育実践特論	1前		2		○			1	1					C　共同　※演習
		教育問題特論	1後		2		○			1	1					C　共同　※演習
		現代教育特論A	1前		2		○			1						C
		現代教育特論B	1後		2		○			1						C
		教育人間学特論A	1前		2		○			1	1					C　共同
		教育人間学特論B	1後		2		○			1	1					C　共同
		現代社会理論特論A	1前		2		○			1						C
		現代社会理論特論B	1後		2		○			1						C
		教育社会学特論	1前		2		○			1						C
		人権問題特論	1後		2		○				1					C
		マイノリティ研究特論	1後		2		○				1					C
		貧困・排除と教育研究特論	1後		2		○			1						C
		人権・マイノリティ特別演習1	1前		1			○		1	1					C　共同
		人権・マイノリティ特別演習2	1後		1			○		1	1					C　共同
		家族社会学特論	1後		2		○				1					C
		ジェンダー研究特論A	1前		2		○			1						
		ジェンダー研究特論B	1前		2		○				1					C　※演習
		ジェンダー研究特論C	1後		2		○				1					C　※演習
		ジェンダー研究特論D	1後		2		○				1					C　※演習
		ジェンダー研究特論E	1前		2		○			1						C　※演習
		ジェンダー研究特別演習1	1前		1			○		2	3					C　共同
		ジェンダー研究特別演習2	1後		1			○		2	3					C　共同
		経済地理学特論	1前		2		○			1						C
		文化地理学特論	1前		2		○			1						C
		環境人類学特論	1前		2		○			1						C　※演習
		環境社会学特論	1前		2		○				1					C
		理論社会学特論	1前		2		○			1						C
		現代社会学特論	1前		2		○				1					C
		社会問題特論	1後		2		○				1					C
		宗教社会学特論	1後		2		○			1						C
		文化社会学特論	1前		2		○			1						C
		日本社会文化史特論A	1前		2		○			1						C
		日本社会文化史特論B	1後		2		○			1						C

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代システム科学研究科　現代システム科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		中国社会文化史特論A	1前		2		○			1						C
		中国社会文化史特論B	1後		2		○			1						C
		西洋社会文化史特論A	1前		2		○				1					C　※演習
		西洋社会文化史特論B	1後		2		○				1					C　※演習
		日本思想史特論A	1前		2		○			1						B,C
		日本思想史特論B	1後		2		○			1						B,C
		中国思想史特論A	1前		2			○			1					B,C※講義
		中国思想史特論B	1後		2			○			1					B,C※講義
		西洋思想史特論A	1前		2		○			1						C
		西洋思想史特論B	1後		2		○			1						C
		西洋文化特論A	1前		2		○								兼1	B,C
		西洋文化特論B	1後		2		○								兼1	B,C
		人間科学特殊講義A	1前		2		○								兼1	
		人間科学特殊講義B	1前		2		○								兼1	
		小計（51科目）	－	0	98	0	－			14	10	1	0	0	兼5	－
	社会福祉学分野	社会福祉特別実習	1前		2				○		1					D　※講義、演習
		社会福祉共同研究特論	1前		2		○			6	7	1				D　オムニバス
		社会福祉援助方法特論A	1前		2		○			1						D　※演習
		社会福祉援助方法特論B	1後		2		○			1						D　※演習
		ソーシャルワーク特論A	1前		2		○				1					D　※演習
		ソーシャルワーク特論B	1後		2		○				1					D　※演習
		ソーシャルワーク特論C	1前		2		○			1						D　※演習
		ソーシャルワーク特論D	1後		2		○			1						D　※演習
		児童家庭福祉特論A	1前		2		○			1						D,F
		児童家庭福祉特論B	1後		2		○			1						D
		児童家庭福祉特論C	1前		2		○				1					D
		児童家庭福祉特論D	1後		2		○				1					D
		障害者福祉特論A	1前		2		○			1						D
		障害者福祉特論B	1後		2		○			1						D
		障害者福祉特論C	1前		2		○				1					D　※演習
		障害者福祉特論D	1後		2		○				1					D　※演習
		高齢者福祉特論A	1前		2		○								兼1	D,F
		高齢者福祉特論B	1後		2		○								兼1	D
		精神保健福祉特論A	1前		2		○				1					D
		精神保健福祉特論B	1後		2		○				1					D
		社会福祉運営特論A	1前		2		○				1					D　※演習
		社会福祉運営特論B	1後		2		○				1					D　※演習
		地域福祉特論A	1前		2		○					1				D　※演習
		地域福祉特論B	1後		2		○					1				D　※演習
		公的扶助特論A	1前		2		○				1					D
		公的扶助特論B	1後		2		○				1					D
		社会保障特論A	1前		2		○								兼1	D　隔年　※演習
		社会保障特論B	1後		2		○								兼1	D　隔年　※演習
		社会福祉法特論A	1前		2		○								兼1	D　※演習
		社会福祉法特論B	1後		2		○								兼1	D　※演習
		福祉政策特論A	1前		2		○			1						D　※演習
		福祉政策特論B	1後		2		○			1						D
		健康福祉特論A	1前		2		○			1						D　※演習
		健康福祉特論B	1後		2		○			1						D　※演習
		社会福祉理論特論A	1前		2		○			1						D　※演習
		社会福祉理論特論B	1後		2		○			1						D　※演習
		地域福祉基礎特論	1前		2		○			1						D
		社会福祉史特論A	1前		2		○								兼1	D
		社会福祉史特論B	1後		2		○								兼1	D
		小計（39科目）	－	0	78	0	－			8	6	1	0	0	兼4	－
	臨床心理学分野	臨床心理学特論A	1前		2		○			1						E1
		臨床心理学特論B	1後		2		○			1						E1
		臨床心理面接特論A（心理支援に関する理論と実践）	1前		2		○			1						E1
		臨床心理面接特論B	1後		2		○			1						E1
		臨床心理査定演習A（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1前		2			○		1	2					E1　共同
		臨床心理査定演習B	1後		2			○		1	2					E1　共同
		臨床心理基礎実習A	1前		1				○	1	1					E1　共同
		臨床心理基礎実習B	1後		1				○	1	1					E1　共同
		臨床心理実習A（心理実践実習2）	2通		6				○	2						E1　共同
		臨床心理実習B	2通		6				○	2						E1　共同
		臨床心理学研究法特論	1前		2		○			2	3					E2オムニバス・共同（一部）※演習
		人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1前		2		○				1					C,E2,F

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代システム科学研究科　現代システム科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1前		2		○			1						E2,F
		心身医学特論	1後		2		○			1						E2
		心理療法特論	1前		2		○								兼1	E2
		投影法特論	1前		2		○				1					E2
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後		2		○								兼1	E2,F
		グループ・アプローチ特論	1後		2		○				1					E2
		小計（18科目）	－	0	42	0	－			2	3	0	0	0	兼2	－
	認知行動科学分野	社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	1前		2			○			1					C,E2,F ※講義
		行動科学特論	1後		2			○			1					F※講義
		認知心理学特論	1前		2		○			1						C,E2,F※演習
		発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	1前		2			○		1						C,E2,F※講義
		青年心理学特論	1後		2		○				1					E2,F※演習
		学習科学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後		2			○		1						E2,F※講義
		人間情報システム特論	1前		2		○			1						F※演習
		知識科学特論	1後		2		○								兼3	F
		環境心理学特論	1前		2		○				1					F※演習
		心理支援に関する理論と実践	1前		2		○				2					Fオムニバス※演習
		心理的アセスメントに関する理論と実践	1前		2		○				2					Fオムニバス※演習
		心理実践実習1	1通		4				○	2	5					E2,F 共同
		心理実践実習2	2通		6				○		2					F　共同
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1前		2		○								兼1	E2,F
		心の健康教育に関する理論と実践	1前		2		○								兼1	E2,F
		小計（15科目）	－	0	36	0	－			3	6	0	0	0	兼5	－
合計（205科目）			－	7	382	25	－			41	39	2	2	0	兼69	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代システム科学研究科　現代システム科学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
学位又は称号		修士(環境学) 修士(言語文化学) 修士(人間科学) 修士(社会福祉学) 修士(学術)	学位又は学科の分野					文学関係、教育学・保育学関係、法学関係、経済学関係、社会学・社会福祉学関係、理学関係、工学関係、農学関係						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、環境共生科学分野、言語文化学分野、人間科学分野、社会福祉学分野、認知行動科学分野は31単位以上、臨床心理学分野は47単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること。 【履修方法】 ＜環境共生科学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上（必修12単位　選択18単位以上） (1)専攻基幹科目　4単位（必修4単位） ※「現代システム科学特論」及び「SDGs特別演習」を含む。 (2)専攻演習科目　4単位（必修4単位） (3)研究指導科目　環境共生科学分野　4単位（必修4単位） (4)分野専門科目　環境共生科学分野　12単位（備考欄Aより選択12単位） (5)本専攻他分野の専門科目、本学他研究科の専門科目 上記2の(1)、(4)、(5)の科目区分より、指定した16単位を含む22単位以上を修得すること。 ＜言語文化学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上（必修12単位　選択18単位以上） (1)専攻基幹科目　4単位（必修4単位） ※「現代システム科学特論」及び「SDGs特別演習」を含む。 (2)専攻演習科目　4単位（必修4単位） (3)研究指導科目　言語文化学分野　4単位（必修4単位） (4)分野専門科目　言語文化学分野　12単位（備考欄Bより選択12単位） (5)本専攻他分野の専門科目、本学他研究科の専門科目 上記2の(1)、(4)、(5)の科目区分より、指定した16単位を含む22単位以上を修得すること。 ＜人間科学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上（必修12単位　選択18単位以上） (1)専攻基幹科目　4単位（必修4単位） ※「現代システム科学特論」及び「SDGs特別演習」を含む。 (2)専攻演習科目　4単位（必修4単位） (3)研究指導科目　人間科学分野　4単位（必修4単位） (4)分野専門科目　人間科学分野　12単位（備考欄Cより選択12単位） (5)本専攻他分野の専門科目、本学他研究科の専門科目 上記2の(1)、(4)、(5)の科目区分より、指定した16単位を含む22単位以上を修得すること。 ＜社会福祉学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上（必修12単位　選択18単位以上） (1)専攻基幹科目　4単位（必修4単位） ※「現代システム科学特論」及び「SDGs特別演習」を含む。 (2)専攻演習科目　4単位（必修4単位） (3)研究指導科目　社会福祉学分野　4単位（必修4単位） (4)分野専門科目　社会福祉学分野　12単位（備考欄Dより選択12単位） (5)本専攻他分野の専門科目、本学他研究科の専門科目 上記2の(1)、(4)、(5)の科目区分より、指定した16単位を含む22単位以上を修得すること。 ＜臨床心理学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　46単位以上（必修38単位　選択8単位以上） (1)専攻基幹科目　4単位以上（必修4単位） ※「現代システム科学特論」及び「統計法特論A」を含む。 (2)専攻演習科目　4単位（必修4単位） (3)研究指導科目　臨床心理学分野　4単位（必修4単位） (4)分野専門科目　臨床心理学分野　34単位以上（備考欄E1から必修26単位、備考欄E2から選択8単位以上を含む。） ＜認知行動科学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上（必修12単位　選択18単位以上） (1)専攻基幹科目　4単位（必修4単位） ※「現代システム科学特論」及び「SDGs特別演習」を含む。 (2)専攻演習科目　4単位（必修4単位） (3)研究指導科目　認知行動科学分野　4単位（必修4単位） (4)分野専門科目　認知行動科学分野　12単位（備考欄Fより選択12単位） (5)本専攻他分野の専門科目、本学他研究科の専門科目 上記2の(1)、(4)、(5)の科目区分より、指定した16単位を含む22単位以上を修得すること。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代システム科学研究科　現代システム科学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		合計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
研究指導科目	環境共生科学分野	環境共生科学特別研究3	1前		2				○	8	6					
		環境共生科学特別研究4	1後		2				○	8	6					
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		8	6	0	0	0	0	－
	言語文化学分野	言語文化学特別研究3	1前		2			○		5	2					
		言語文化学特別研究4	1後		2			○		5	2					
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		5	2	0	0	0	0	－
	人間科学分野	人間科学特別研究3	1前		2			○		9	7					
		人間科学特別研究4	1後		2			○		9	7					
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		9	7	0	0	0	0	－
	社会福祉学分野	社会福祉学特別研究3	1前		2			○		7	2					
		社会福祉学特別研究4	1後		2			○		7	2					
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		7	2	0	0	0	0	－
	心理学分野	心理学特別研究1	1前		2				○	4	9					
		心理学特別研究2	1後		2				○	4	9					
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		4	9	0	0	0	0	－
特別演習科目	環境共生科学分野	環境共生科学特別演習1	1前		2			○		8	6					共同
		環境共生科学特別演習2	1後		2			○		8	6					共同
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		8	6	0	0	0	0	－
	言語文化学分野	言語文化学特別演習1	1前		2			○		5	2					共同
		言語文化学特別演習2	1後		2			○		5	2					共同
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		5	2	0	0	0	0	－
	人間科学分野	人間科学特別演習1	1前		2			○		9	7					共同
		人間科学特別演習2	1後		2			○		9	7					共同
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		9	7	0	0	0	0	－
	社会福祉学分野	社会福祉学特別演習1	1前		2			○		7	2					共同
		社会福祉学特別演習2	1後		2			○		7	2					共同
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		7	2	0	0	0	0	－
	心理学分野	心理学特別演習1	1前		2			○		4	9					共同
		心理学特別演習2	1後		2			○		4	9					共同
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		4	9	0	0	0	0	－
合計（34科目）			－	1	40	17		－		33	26	0	0	0	兼34	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代システム科学研究科　現代システム科学専攻　博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
学位又は称号		博士（環境学） 博士（言語文化学） 博士（人間科学） 博士（社会福祉学） 博士（学術）	学位又は学科の分野					文学関係、教育学・保育学関係、法学関係、経済学関係、社会学・社会福祉学関係、理学関係、工学関係、農学関係						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 　履修方法に示す1および2の履修により9単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 ＜環境共生学分野＞ 1．大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2．専門科目　8単位以上（必修8単位） 　(1)研究指導科目　環境共生科学分野　4単位（必修4単位） 　(2)特別演習科目　環境共生科学分野　4単位（必修4単位） ＜言語文化学分野＞ 1．大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2．専門科目　8単位以上（必修8単位） 　(1)研究指導科目　言語文化学分野　4単位（必修4単位） 　(2)特別演習科目　言語文化学分野　4単位（必修4単位） ＜人間科学分野＞ 1．大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2．専門科目　8単位以上（必修8単位） 　(1)研究指導科目　人間科学分野　4単位（必修4単位） 　(2)特別演習科目　人間科学分野　4単位（必修4単位） ＜社会福祉学分野＞ 1．大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2．専門科目　8単位以上（必修8単位） 　(1)研究指導科目　社会福祉学分野　4単位（必修4単位） 　(2)特別演習科目　社会福祉学分野　4単位（必修4単位） ＜心理学分野＞ 1．大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2．専門科目　8単位以上（必修8単位） 　(1)研究指導科目　心理学分野　4単位（必修4単位） 　(2)特別演習科目　心理学分野　4単位（必修4単位）	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　哲学歴史学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	－
専攻共通科目		人間文化学研究A	1後		2		○			1						
		人間文化学研究B	1後		2		○			3						オムニバス
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		4	0	0	0	0	0	－
分野専門科目	哲学分野	哲学研究	1前		2		○				1					
		哲学研究演習	1後		2			○			1					
		西洋哲学史研究	1前		2		○								兼1	
		西洋哲学史研究演習	1後		2			○		1						
		倫理学研究	1前		2		○				1					
		倫理学研究演習	1後		2			○			1					
		美学研究	1前		2		○			1						
		美学研究演習	1後		2			○		1						
		宗教学研究	1前		2		○			1						
		宗教学研究演習	1後		2			○		1						
		哲学総合研究演習1	1前		2			○		2	2					共同
		哲学総合研究演習2	1後		2			○		2	2					共同
	日本史学分野	日本史学研究A	1前		2		○				1					
		日本史学研究演習A	1後		2			○			1					
		日本史学研究B	1前		2		○			1						
		日本史学研究演習B	1後		2			○		1						
		日本史学研究C	1前		2		○				1					
		日本史学研究演習C	1後		2			○			1					
		日本史学研究D	1前		2		○			1						
		日本史学研究演習D	1後		2			○		1						
		日本史学研究E	1前		2		○								兼2	集中、共同
		日本史学研究F	1後		2		○								兼2	共同
		考古学研究	1前		2		○			1						
		考古学研究演習	1後		2			○		1						
		日本史学総合研究演習1	1前		2			○		3	2					共同
		日本史学総合研究演習2	1後		2			○		3	2					共同
	東洋史学分野	東洋史学研究A	1前		2		○			1						
		東洋史学研究演習A	1後		2			○		1						
		東洋史学研究B	1前		2		○			1						
		東洋史学研究演習B	1後		2			○		1						
		東洋史学研究C	1前		2		○			1						
		東洋史学研究演習C	1後		2			○		1						
		東洋史学研究D	1前		2		○				1					
		東洋史学研究演習D	1後		2			○			1					
		世界史学研究	1前		2		○				1					
		世界史学研究演習	1後		2			○			1					
		東洋史学研究E	1前		2		○								兼1	集中
		東洋史学研究F	1前		2		○								兼1	集中

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　哲学歴史学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
分野専門科目	東洋史学分野	東洋史学総合研究演習1	1前		2			○		2	2					共同
		東洋史学総合研究演習2	1後		2			○		2	2					共同
	西洋史学分野	西洋史学研究A	1・2前		2		○								兼1	隔年
		西洋史学研究演習A	1・2後		2			○							兼1	隔年
		西洋史学研究B	1前		2		○			1						
		西洋史学研究演習B	1後		2			○		1						
		西洋史学研究C	1前		2		○				1					
		西洋史学研究演習C	1後		2			○			1					
		西洋史学研究D	1前		2		○			1						
		西洋史学研究演習D	1後		2			○		1						
		西洋史学研究E	1・2前		2		○								兼1	隔年
		西洋史学研究F	1・2前		2		○								兼1	隔年
		西洋史学総合研究演習1	1前		2			○		2	1					共同
		西洋史学総合研究演習2	1後		2			○		2	1					共同
		小計（52科目）	－	0	104	0	－			9	7	0	0	0	兼10	－
研究指導科目	哲学分野	哲学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		哲学研究指導2	2後		2			○		2						共同
	日本史学分野	日本史学研究指導1	2前		2			○		3						共同
		日本史学研究指導2	2後		2			○		3						共同
	東洋史学分野	東洋史学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		東洋史学研究指導2	2後		2			○		2						共同
	西洋史学分野	西洋史学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		西洋史学研究指導2	2後		2			○		2						共同
		小計（8科目）	－	0	16	0	－			9	0	0	0	0	0	－
文学研究科共通科目		比較文化交流論	1前		2		○								兼1	隔年集中
		国際都市社会論	1前		2		○								兼1	隔年集中
		小計（2科目）	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼2	－
合計（79科目）			－	1	128	25	－			9	7	0	0	0	兼60	－

学位又は称号	修士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上 (1)専攻共通科目　2単位以上 (2)分野専門科目　22単位（総合研究演習科目4単位含む）以上 他専攻の分野専門科目を4単位まで含めることができる 文学研究科共通科目を4単位まで含めることができる (3)研究指導科目　4単位	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　人間行動学専攻　博士前期課程）

区分	科目	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 ―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	0	25		―		0	0	0	0	0	兼48	―
専攻共通科目		人間行動学研究A	1前		2		○								兼1	
		人間行動学研究B	1前		2		○								兼1	集中
		人間行動学研究C	1後		2		○								兼1	集中
		人間行動学研究D	1前		2		○								兼2	
		小計（4科目）	―	0	8	0		―		0	0	0	0	0	兼5	―
分野専門科目	社会学分野	社会学基礎問題研究A	1前		2		○			1						
		社会学基礎問題研究演習A	1後		2			○		1						
		社会学基礎問題研究B	1前		2		○				1					
		社会学基礎問題研究演習B	1後		2			○			1					
		社会学特殊問題研究A	1前		2		○			1						
		社会学特殊問題研究演習A	1後		2			○		1						
		社会学特殊問題研究B	1前		2		○			1						
		社会学特殊問題研究演習B	1後		2			○		1						
		社会学特殊問題研究C	1前		2		○				1					
		社会学特殊問題研究演習C	1後		2			○			1					
		社会学特殊問題研究D	1前		2		○								兼1	隔年
		社会学特殊問題研究E	1後		2		○								兼1	隔年
		社会学総合研究演習1	1前		2			○		3	2					共同
		社会学総合研究演習2	1後		2			○		3	2					共同
	心理学分野	心理学基礎問題研究	1前		2		○			1						
		心理学基礎問題研究演習	1後		2			○		1						
		実験心理学研究	1前		2		○			1						
		実験心理学研究演習	1後		2			○		1						
		心理学特殊問題研究A	1前		2		○			1						
		心理学特殊問題研究演習A	1後		2			○		1						
		心理学特殊問題研究B	1前		2		○				1					
		心理学特殊問題研究演習B	1後		2			○			1					
		心理学総合研究演習1	1前		2			○		3	1					共同
		心理学総合研究演習2	1後		2			○		3	1					共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　人間行動学専攻　博士前期課程）

区分	科目	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
分野専門科目	教育学分野	教育学基礎問題研究	1前		2		○			1						
		教育学基礎問題研究演習	1後		2			○		1						
		学校教育学研究A	1前		2		○				1					
		学校教育学研究演習A	1後		2			○			1					
		学校教育学研究B	1前		2		○			1						
		学校教育学研究演習B	1後		2			○		1						
		教育学特殊問題研究A	1前		2		○				1					
		教育学特殊問題研究演習A	1後		2			○			1					
		教育学特殊問題研究B	1前		2		○			1						
		教育学特殊問題研究演習B	1後		2			○		1						
		教育学総合研究演習1	1前		2			○		3	2					共同
		教育学総合研究演習2	1後		2			○		3	2					共同
	地理学分野	地理学基礎問題研究	1後		2		○			1						
		地理学基礎問題研究演習	1前		2			○		1						
		地理情報論研究	1前		2		○				1					
		地理情報論研究演習	1前		2			○			1					
		人文地理学特殊問題研究A	1後		2		○			1						
		人文地理学特殊問題研究演習A	1前		2			○		1						
		人文地理学特殊問題研究B	1前		2		○				1					
		人文地理学特殊問題研究演習B	1後		2			○			1					
		地理学総合研究演習1	1前		2			○		2	2					共同
		地理学総合研究演習2	1後		2			○		2	2					共同
		小計（46科目）	－	0	92	0	－			11	7	0	0	0	兼1	－
研究指導科目	社会学分野	社会学研究指導1	2前		2			○		3						共同
		社会学研究指導2	2後		2			○		3						共同
	心理学分野	心理学研究指導1	2前		2			○		3						共同
		心理学研究指導2	2後		2			○		3						共同
	教育学分野	教育学研究指導1	2前		2			○		3						共同
		教育学研究指導2	2後		2			○		3						共同
	地理学分野	地理学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		地理学研究指導2	2後		2			○		2						共同
		小計（8科目）	－	0	16	0	－			11	0	0	0	0		－
文学研究科共通科目		比較文化交流論	1前		2		○								兼1	隔年集中
		国際都市社会論	1前		2		○								兼1	隔年集中
		小計（2科目）	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼2	－
合計（75科目）			－	1	120	25	－			11	7	0	0	0	兼56	－

学位又は称号	修士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上 (1)専攻共通科目　4単位 文学研究科共通科目のうち2単位を含めることができる (2)分野専門科目　22単位（総合研究演習科目4単位含む）以上 他専攻の分野専門科目を4単位まで含めることができる 文学研究科共通科目のうち専攻共通科目に含めた2単位を超えて取得した単位を含めることができる (3)研究指導科目　4単位	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　言語文化学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 ―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	－
専攻共通科目		言語文化学研究A	1・2前		2		○			1						隔年
		言語文化学研究B	1・2前		2		○				1					隔年
		言語文化学研究C	1・2後		2		○			1						隔年
		言語文化学研究D	1・2後		2		○			1						隔年
		小計（4科目）	－	0	8	0		－		3	1	0	0	0	0	－
分野専門科目	国語国文学分野	国文学研究A	1前		2		○				1					
		国文学研究演習A	1後		2			○			1					
		国文学研究B	1前		2		○			1						
		国文学研究演習B	1後		2			○		1						
		国文学研究C	1前		2		○			1						
		国文学研究演習C	1後		2			○		1						
		国文学研究D	1前		2		○			1						
		国文学研究演習D	1後		2			○		1						
		国語学研究	1前		2		○			1						
		国語学研究演習	1後		2			○		1						
		国語国文学研究演習A	1前		2			○							兼1	
		国語国文学研究演習B	1後		2			○							兼1	
		国語国文学総合研究演習1	1前		2			○		4	1					共同
		国語国文学総合研究演習2	1後		2			○		4	1					共同
	中国語中国文学分野	中国文学研究	1前		2		○				1					
		中国文学研究演習	1後		2			○			1					
		中国語学研究	1前		2		○			1						
		中国語学研究演習	1後		2			○		1						
		中国文化学研究	1前		2		○			1						
		中国文化学研究演習	1後		2			○		1						
		中国語応用研究	1後		2		○			2						共同
		中国語中国文学総合研究演習1	1前		2			○		2	1					共同
		中国語中国文学総合研究演習2	1後		2			○		2	1					共同
	英語英米文学分野	英文学研究A	1前		2		○				1					
		英文学研究演習A	1後		2			○			1					
		英文学研究B	1前		2		○			1						
		英文学研究演習B	1後		2			○		1						
		英文学研究C	1・2前		2		○								兼1	隔年
		米文学研究	1前		2		○				1					
		米文学研究演習	1後		2			○			1					
		英米文化学研究	1前		2		○				1					
		英米文化学研究演習	1後		2			○			1					
		英語学研究A	1前		2		○			1						
		英語学研究演習	1後		2			○		1						
		英語学研究B	1・2前		2		○								兼1	隔年
		英語英米文学総合研究演習1	1前		2			○		2	3					共同
		英語英米文学総合研究演習2	1後		2			○		2	3					共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　言語文化学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
分野専門科目	ドイツ語圏言語文化学分野	ドイツ語圏言語文化研究	1・2前		2		○				1					隔年
		ドイツ語圏文学研究A	1前		2		○			1						
		ドイツ語圏文学研究演習A	1後		2			○		1						
		ドイツ語圏文学研究B	1前		2		○				1					
		ドイツ語圏文学研究演習B	1後		2			○			1					
		ドイツ語圏文化学研究	1・2前		2		○				1					隔年
		ドイツ語圏文化学研究演習	1・2前		2			○			1					隔年
		ドイツ語学研究	1・2前		2		○								兼1	隔年
		ドイツ語学研究演習	1・2後		2			○							兼1	隔年
		ヨーロッパ言語文化学研究	1・2後		2		○								兼1	隔年
		地域社会文化学研究A	1・2前		2		○			1						隔年
		ドイツ語圏言語文化学総合研究演習1	1前		2			○		1	1					共同
		ドイツ語圏言語文化学総合研究演習2	1後		2			○		1	1					共同
	フランス語圏言語文化学分野	フランス語圏言語文化研究	1・2前		2		○			1						隔年
		フランス語圏文学研究A	1後		2		○				1					
		フランス語圏文学研究演習B	1前		2			○			1					
		フランス語圏文化学研究A	1後		2		○			1						
		フランス語圏文化学研究演習B	1後		2			○		1						
		フランス語学研究A	1前		2		○			1						
		フランス語学研究演習B	1後		2			○		1						
		フランス語圏言語文化論A	1前		2		○								兼1	
		フランス語圏言語文化論B	1後		2		○								兼1	
		多文化学研究	1・2前		2		○			1						隔年
		地域社会文化学研究B	1・2後		2		○								兼1	隔年
		フランス語圏言語文化学総合研究演習1	1前		2			○		2	1					共同
		フランス語圏言語文化学総合研究演習2	1後		2			○		2	1					共同
	言語応用学分野	言語応用学研究A	1前		2		○			1						
		言語応用学研究演習A	1後		2			○		1						
		言語応用学研究B	1前		2		○			1						
		言語応用学研究演習B	1後		2			○		1						
		言語応用学研究C	1前		2		○				1					
		言語応用学研究演習C	1後		2			○			1					
		言語応用学研究D	1前		2		○								兼1	
		言語応用学研究演習D	1後		2			○							兼1	
		言語応用学総合研究演習1	1前		2			○		2	1					共同
		言語応用学総合研究演習2	1後		2			○		2	1					共同
		小計（73科目）	－	0	146	0		－		13	8	0	0	0	兼8	－
研究指導科目	国語学分野	国語国文学研究指導1	2前		2			○		4						共同
		国語国文学研究指導2	2後		2			○		4						共同
	中国語中国文学分野	中国語中国文学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		中国語中国文学研究指導2	2後		2			○		2						共同
	英語英米文学分野	英語英米文学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		英語英米文学研究指導2	2後		2			○		2						共同
	ドイツ語圏言語文化学分野	ドイツ語圏言語文化学研究指導1	2前		2			○		1						
		ドイツ語圏言語文化学研究指導2	2後		2			○		1						
	フランス語圏言語文化学分野	フランス語圏言語文化学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		フランス語圏言語文化学研究指導2	2後		2			○		2						共同
	言語応用学分野	言語応用学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		言語応用学研究指導2	2後		2			○		2						共同
		小計（12科目）	－	0	24	0		－		13	0	0	0	0	0	－
文学研究科共通科目		比較文化交流論	1前		2		○								兼1	隔年集中
		国際都市社会論	1前		2		○								兼1	隔年集中
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		0	0	0	0	0	兼2	－
合計（106科目）			－	1	182	25		－		13	8	0	0	0	兼58	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　言語文化学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 　履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1．大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2．専門科目　30単位以上 　(1)専攻共通科目　4単位 　　文学研究科共通科目のうち2単位を含めることができる 　(2)分野専門科目　22単位（総合研究演習科目4単位含む）以上 　　他専攻の分野専門科目を4単位まで含めることができる 　　文学研究科共通科目のうち専攻共通科目に含めた2単位を超えて取得した単位を含めることができる 　(3)研究指導科目　4単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　文化構想学専攻　博士前期課程）

区分	科目	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部) オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専攻共通科目		文化構想学研究A（表現文化）	1前		2		○			3	1					オムニバス
		文化構想学研究B（アジア文化）	1前		2		○			2	2					オムニバス
		文化構想学研究C（文化資源）	1前		2		○			2	2					オムニバス
		小計（3科目）	－	0	6	0	－			7	5	0	0	0	0	－
分野専門科目	表現文化学分野	テクスト文化論研究	1前		2		○			1						
		テクスト文化論研究演習	1後		2			○		1						
		表象文化構造論研究	1前		2		○				1					
		表象文化構造論研究演習	1後		2			○			1					
		ポピュラー文化論研究	1前		2		○			1						
		ポピュラー文化論研究演習	1後		2			○		1						
		比較表現論研究	1前		2		○			1						
		比較表現論研究演習	1後		2			○		1						
		表現文化学特別講義A	1前		2		○								兼1	
		表現文化学特別講義B	1後		2		○								兼1	
		表現文化学総合研究演習1	1前		2			○		3	1					共同
		表現文化学総合研究演習2	1後		2			○		3	1					共同
分野専門科目	アジア文化学分野	アジア文化構想学研究	1前		2		○				1					
		アジア文化構想学研究演習	1後		2			○			1					
		アジア地域文化創造論研究	1前		2		○				1					
		アジア地域文化創造論研究演習	1後		2			○			1					
分野専門科目	アジア文化学分野	アジア共生文化政策論研究	1前		2		○			1						
		アジア共生文化政策論研究演習	1後		2			○		1						
		アジア比較文化実践論研究	1前		2		○			1						
		アジア比較文化実践論研究演習	1後		2			○		1						
		アジア文化学特別講義A	1前		2		○								兼1	
		アジア文化学特別講義B	1後		2		○								兼1	
		アジア文化学総合研究演習1	1前		2			○		2	2					共同
		アジア文化学総合研究演習2	1後		2			○		2	2					共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　文化構想学専攻　博士前期課程）

区分	科目	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
分野専門科目	文化資源学分野	国際文化資源論研究	1前		2		○			1						
		国際文化資源論研究演習	1後		2			○		1						
		芸術文化資源論研究	1前		2		○			1						
		芸術文化資源論研究演習	1後		2			○		1						
		観光文化資源論研究	1前		2		○				1					
		観光文化資源論研究演習	1後		2			○			1					
		社会実践文化資源論研究	1前		2		○				1					
		社会実践文化資源論研究演習	1後		2			○			1					
		文化資源学特別講義A	1前		2		○								兼1	
		文化資源学特別講義B	1後		2		○								兼1	
		文化資源学総合研究演習1	1前		2			○		2	2					共同
		文化資源学総合研究演習2	1後		2			○		2	2					共同
		小計（36科目）	－	0	72	0	－			7	5	0	0	0	兼6	－
研究指導科目	表現文化学分野	表現文化学研究指導1	2前		2			○		3						共同
		表現文化学研究指導2	2後		2			○		3						共同
	アジア文化学分野	アジア文化学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		アジア文化学研究指導2	2後		2			○		2						共同
	文化資源学分野	文化資源学研究指導1	2前		2			○		2						共同
		文化資源学研究指導2	2後		2			○		2						共同
		小計（6科目）	－	0	12	0	－			7	0	0	0	0	0	－
文学研究科共通科目		比較文化交流論	1前			2	○								兼1	隔年集中
		国際都市社会論	1前			2	○								兼1	隔年集中
		小計（2科目）	－	0	0	4	－			0	0	0	0	0	兼2	－
合計（62科目）			－	1	90	29	－			7	5	0	0	0	兼56	－

学位又は称号	修士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　30単位以上 (1)専攻共通科目　4単位 (2)分野専門科目　22単位（総合研究演習科目4単位含む）以上 (3)研究指導科目　4単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格A４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　哲学歴史学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
分野専門科目	哲学分野	哲学特殊研究Ａ	1前		2		○			2						共同
		哲学特殊研究Ｂ	1後		2		○			2						共同
	日本史学分野	日本史学特殊研究Ａ	1前		2		○			3						共同
		日本史学特殊研究Ｂ	1後		2		○			3						共同
	東洋史学分野	東洋史学特殊研究Ａ	1前		2		○			2						共同
		東洋史学特殊研究Ｂ	1後		2		○			2						共同
	西洋史学分野	西洋史学特殊研究Ａ	1前		2		○			2						共同
		西洋史学特殊研究Ｂ	1後		2		○			2						共同
		小計（8科目）	－	0	16	0	－			9	0	0	0	0	0	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　哲学歴史学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習・実	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
論文指導科目	哲学分野	哲学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
	日本史学分野	日本史学論文指導	1～3通		12			○		3						共同
	東洋史学分野	東洋史学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
	西洋史学分野	西洋史学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
		小計（４科目）	－	0	48	0	－			9	0	0	0	0	0	－
合計（26科目）			－	1	64	17	－			9	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　16単位以上 (1)分野専門科目　4単位 (2)論文指導科目　12単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　人間行動学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
分野専門科目	社会学分野	社会学特殊研究Ａ	1前		2		○			3						共同
		社会学特殊研究Ｂ	1後		2		○			3						共同
	心理学分野	心理学特殊研究Ａ	1前		2		○			3						共同
		心理学特殊研究Ｂ	1後		2		○			3						共同
	教育学分野	教育学特殊研究Ａ	1前		2		○			3						共同
		教育学特殊研究Ｂ	1後		2		○			3						共同
	地理学分野	地理学特殊研究Ａ	1前		2		○			2						共同
		地理学特殊研究Ｂ	1後		2		○			2						共同
		小計（8科目）	－	0	16	0	－			11	0	0	0	0	0	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　人間行動学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
論文指導科目	社会学分野	社会学論文指導	1～3通		12			○		3						共同
	心理学分野	心理学論文指導	1～3通		12			○		3						共同
	教育学分野	教育学論文指導	1～3通		12			○		3						共同
	地理学分野	地理学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
		小計（４科目）	－	0	48	0	－			11	0	0	0	0	0	－
合計（26科目）			－	1	64	17	－			11	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1．大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2．専門科目　16単位以上 (1)分野専門科目　4単位 (2)論文指導科目　12単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　言語文化学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	―	1	0	17	―			0	0	0	0	0	兼34	―
分野専門科目	国語国文学分野	国語国文学特殊研究A	1前		2		○			4						共同
		国語国文学特殊研究B	1後		2		○			4						共同
	中国語中国文学分野	中国語中国文学特殊研究A	1前		2		○			2						共同
		中国語中国文学特殊研究B	1後		2		○			2						共同
	英語英米文学分野	英語英米文学特殊研究A	1前		2		○			2						共同
		英語英米文学特殊研究B	1後		2		○			2						共同
	ドイツ語圏言語文化学分野	ドイツ語圏言語文化学特殊研究A	1前		2		○			1						
		ドイツ語圏言語文化学特殊研究B	1後		2		○			1						
	フランス語圏言語文化学分野	フランス語圏言語文化学特殊研究A	1前		2		○			2						共同
		フランス語圏言語文化学特殊研究B	1後		2		○			2						共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　言語文化学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
	言語応用学分野	言語応用学特殊研究Ａ	1前		2		○			2						共同
		言語応用学特殊研究Ｂ	1後		2		○			2						共同
		小計（12科目）	－	0	24	0	－			13	0	0	0	0	0	－
論文指導科目	国語国文学分野	国語国文学論文指導	1～3通		12			○		4						共同
	中国語中国文学分野	中国語中国文学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
	英語英米文学分野	英語英米文学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
	ドイツ語圏言語文化学分野	ドイツ語圏言語文化学論文指導	1～3通		12			○		1						
	フランス語圏言語文化学分野	フランス語圏言語文化学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
	言語応用学分野	言語応用学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
		小計（6科目）	－	0	72	0	－			13	0	0	0	0	0	－
合計（32科目）			－	1	96	17	－			13	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　16単位以上 (1)分野専門科目　4単位 (2)論文指導科目　12単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　文化構想学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
分野専門科目	表現文化学分野	表現文化学特殊研究Ａ（表現文化学研究動向）	1前		2		○			2						
		表現文化学特殊研究Ｂ（表現文化学研究と社会）	1後		2		○			2						
	アジア文化学分野	アジア文化学特殊研究Ａ（アジア文化学研究動向）	1前		2		○			2						共同
		アジア文化学特殊研究Ｂ（アジア文化学研究と社会）	1後		2		○			2						共同
	文化資源学分野	文化資源学特殊研究Ａ（文化資源学研究動向）	1前		2		○			2						共同
		文化資源学特殊研究Ｂ（文化資源学研究と社会）	1後		2		○			2						共同
		小計（６科目）	－	0	12	0	－			6	0	0	0	0	0	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（文学研究科　文化構想学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
論文指導科目	表現文化学分野	表現文化学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
	アジア文化学分野	アジア文化学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
	文化資源学分野	文化資源学論文指導	1～3通		12			○		2						共同
		小計（３科目）	－	0	36	0	－			6	0	0	0	0	0	－
合計（２３科目）			－	1	48	17	－			6	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　16単位以上 (1)分野専門科目　4単位 (2)論文指導科目　12単位	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学研究科 法学政治学専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○	○							兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○	○						兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	－
共通科目		法学政治学ワークショップ	1後		1			○		2	1					共同・集中
		法学政治学演習	1前・後		2			○		13	12				兼3	
		小計（2科目）	－	0	3	0		－		14	12	0	0	0	兼3	－
理論研究科目	基礎法学領域	法理論研究	1・2前・後		2			○		1					兼1	
		法制史研究	1・2前・後		2			○		1						
		外国法研究	1・2前・後		2			○		2					兼2	
		小計(3科目)	－	0	6	0		－		4	0	0	0	0	兼3	－
	実定法領域	公法研究	1・2前・後		2			○		2	2				兼1	
		刑事法研究	1・2前・後		2			○			2				兼2	
		民事法研究	1・2前・後		2			○		1	5				兼4	
		社会法研究	1・2前・後		2			○		1	2					
		国際関係法研究	1・2前・後		2			○		2	1					
		小計（5科目）	－	0	10	0		－		6	12	0	0	0	兼7	－
	政治学領域	政治理論研究	1・2前・後		2			○		1	1					
		政治過程研究	1・2前・後		2			○		1						
		政治外交史研究	1・2前・後		2			○		1						
		国際政治研究	1・2前・後		2			○		1						
		行政学研究	1・2前・後		2			○		1						
		小計（5科目）	－	0	10	0		－		5	1	0	0	0	0	－
課題展開科目	公共法政領域	憲法特論	1・2前・後		2		○			1						
		行政法特論	1・2前・後		2		○				1					
		租税法特論	1・2前・後		2		○			1						
		刑事法特論	1・2前・後		2		○				1				兼1	オムニバス
		刑事政策特論	1・2前		2		○								兼1	隔年
		民法特論A	1・2前・後		2		○								兼1	
		民法特論B	1・2前・後		2		○								兼1	
		労働法特論	1・2前・後		2		○			1						
		社会保障法特論	1・2前		2		○				1					
		法哲学特論	1・2前		2		○								兼1	隔年
		法社会学特論	1・2後		2		○			1						
		日本法制史特論A	1・2後		2		○			1						隔年
		日本法制史特論B	1・2後		2		○			1						隔年

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学研究科 法学政治学専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
課題展開科目	公共法政領域	政治学特論	1・2前・後		2		○				1					
		政治学史特論	1・2前・後		2		○			1						
		行政学特論	1・2前・後		2		○			1						
		小計（16科目）	－	0	32	0		－		8	3	0	0	0	兼5	－
	グローバル法政領域	企業法特論	1・2前・後		2		○				1					
		民事手続法特論	1・2前・後		2		○								兼1	
		倒産法特論A	1・2後		2		○								兼1	
		倒産法特論B	1・2前		2		○								兼1	
		経済法特論	1・2後		2		○				1					
		国際法特論	1・2前・後		2		○				1					
		国際人権法特論	1・2前		2		○			1						隔年
		国際組織法特論	1・2前・後		2		○			1						
		国際民事手続法特論	1・2前		2		○			1						
		国際家族法特論	1・2前		2		○			1						
		国際財産法特論	1・2後		2		○			1						
		国際経済法特論	1・2後		2		○								兼1	隔年
		国際取引法特論	1・2後		2		○								兼1	隔年
		英米法特論	1・2後		2		○			1						
		ドイツ法特論A	1・2後		2		○			1						隔年
		ドイツ法特論B	1・2後		2		○			1						隔年
		中国法特論	1・2前		2		○								兼1	
		比較政治学特論	1・2前・後		2		○			1						
		欧州政治外交史特論	1・2前・後		2		○			1						
		国際政治特論	1・2前・後		2		○			1						
		小計（20科目）	－	0	40	0		－		7	4	0	0	0	兼4	－
研究指導科目		修士研究指導1	2前		4			○		15	13					
		修士研究指導2	2後		4			○		15	13					
		課題論文指導	2後		4			○		15	13					
		小計（3科目）	－	0	12	0		－		15	13	0	0	0		－
合計（69科目）			－	1	113	25		－		15	13	0	0	0	兼62	－

学位又は称号	修士(法学)	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、30単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位以上（必修1単位） 2. 専門科目　29単位以上 ・理論研究プログラム(理論研究科目より8単位以上，修士研究指導1(4単位)・修士研究指導2(4単位)が必修) ・課題展開プログラム(課題展開科目より8単位以上，課題論文指導4単位が必修)	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学研究科 法曹養成専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
法律基本科目	人権の基礎理論	1前	3			○								兼1	
	統治の基本構造	1後	2			○				1					
	行政活動と法	2前	2			○				1					
	公法総合演習A（憲法訴訟論）	2前	2				○							兼1	
	公法総合演習B（行政救済論）	2後	2				○			1					
	憲法訴訟理論の展開	3前		2		○								兼1	
	公法理論の展開	3前		2		○								兼2	オムニバス
	民法A（総則・物権総論）	1前	4			○			1						
	民法B（債権総論）	1前	2			○			1						
	民法C（契約法）	1後	2			○								兼1	
	民法D（法定債権）	1後	2			○			1						
	民法E（担保法）	1後	2			○								兼1	
	民法F（家族法の基礎）	2前	2			○			1						
	民法総合演習A	2後	2				○		1						
	民法総合演習B	2前	2				○							兼2	オムニバス
	民法理論の展開A	3前		2			○		1						
	民法理論の展開B	3後		2		○			1						
	商法（企業組織法）	1後	4			○			1						
	商法総合演習A（企業組織法）	2前	2				○							兼1	
	商法総合演習B（企業取引法）	2後	2				○		1						
	商法理論の展開	3前		2		○			1						
	民事訴訟法1（判決手続の基礎）	1後	4			○			1						
	民事訴訟法2（複雑な訴訟・上訴）	2前	2			○			1						
	民事訴訟法総合演習	2後	2				○							兼1	
	民事法総合演習	3後		2			○							兼1	
	刑法第1部A(総論・犯罪論および刑罰論の基礎)	1前	2			○			1						
	刑法第1部B(総論・犯罪論の展開)	1後	2			○			1						
	刑法第2部(各論)	1後	2			○			1						
	刑法総合演習	2後	2				○		1						
	刑事訴訟法	1後	2			○								兼1	
	刑事訴訟法総合演習	2前	2				○		2						オムニバス
	刑事法理論の展開	3前		2		○			1					兼1	オムニバス
	刑事法総合演習	2後		2			○							兼1	
	小計（33科目）	－	57	16	0	－			10	2	0	0	0	兼10	
法律実務基礎科目	法曹倫理	2前	2			○			1						
	民事訴訟実務の基礎	2前	2			○			1						
	エクスターンシップ	2後		2				○	1						
	刑事訴訟実務の基礎	3前	2			○			1					兼1	オムニバス
	公法系訴訟実務の基礎	3前		2		○								兼1	
	法文書作成	3後	2			○								兼1	
	弁護実務基礎論（ロイヤリングを中心に）	3前		2		○								兼1	
	民事模擬裁判	3後		2				○	1					兼2	共同
	刑事模擬裁判	3後		2				○	1						
	中小企業向け法律相談	3後		2				○	1						
	小計（10科目）	－	8	12	0	－			1	0	0	0	0	兼5	

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学研究科 法曹養成専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
基礎法学・隣接科目	法哲学	1前		2		○								兼1	隔年
	中国法	1前		2		○			1						
	法社会学	1後		2		○								兼1	
	日本法制史	1後		2		○								兼1	
	英米法	1後		2		○								兼1	
	ドイツ法	1後		2		○								兼1	
	小計（6科目）	－	0	12	0	－			1	0	0	0	0	兼5	
展開・先端科目	刑事政策	1前		2		○			1						
	租税法	2後		2		○								兼1	
	環境法	2後		2		○								兼1	
	消費者法	2後		2		○								兼1	
	金融･保険法	3前		2		○								兼1	
	民事執行･保全法	3前		2		○								兼1	
	倒産法1	2後		2		○								兼1	
	倒産法2	3前		2		○								兼1	
	倒産法演習	3後		2			○							兼1	
	労働法A	2後		2		○								兼1	
	労働法B	3前		2		○								兼1	
	労働法演習	3後		2			○							兼1	
	社会保障法	2前		2		○								兼1	
	経済法1	2後		2		○								兼1	
	経済法2	3前		2			○							兼1	
	経済法演習	3後		2			○							兼1	
	知的財産法A	2後		2		○			1						
	知的財産法B	3前		2		○			1						
	知的財産法演習	3後		2			○		1						
	国際法	2後		2		○								兼1	
	国際経済法	2後		2		○								兼1	隔年
	国際取引法	2後		2		○								兼1	隔年
	国際人権法	2前		2		○								兼1	
	国際法演習	3前		2			○							兼1	
	国際財産法	2後		2		○								兼1	
	国際家族法	2前		2		○								兼1	
	国際民事手続法	2前		2		○								兼1	
	中小企業法	3後		2		○			2					兼11	オムニバス
	小計（28科目）	－	0	56	0	－			10	2	0	0	0	兼21	
合計（77科目）		－	65	96	0	－			10	2	0	0	0	兼38	

学位又は称号	法務博士(専門職)	学位又は学科の分野	法曹養成関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
〈法学未修者〉 3年以上在籍し、法律基本科目から必修科目57単位、法律実務基礎科目から必修科目8単位、必修科目以外から選択必修科目4単位以上、基礎法学･隣接科目から選択必修科目4単位以上、展開･先端科目から選択必修科目14単位以上、これら以外の科目から10単位（法律基本科目以外の科目を2単位以上含まなければならない）以上、合計97単位以上修得すること。登録可能な単位数の上限は、1学期22単位、学年全体で1年次生39単位、2年次生36単位、3年次生38単位。 〈法学既修者〉 2年以上在籍し、法律基本科目から必修科目57単位、法律実務基礎科目から必修科目8単位、必修科目以外から選択必修科目4単位以上、基礎法学･隣接科目から選択必修科目4単位以上、展開･先端科目から選択必修科目14単位以上、これら以外の科目から10単位（法律基本科目以外の科目を2単位以上含まなければならない）以上、合計97単位以上修得すること。ただし、法学既修者に関しては、97単位のうち未修1年次に配当される必修科目33単位については、修得したものとみなす（入学者選抜の成績により、修得したとみなさない科目が生じ、みなし単位が29単位又は31単位となる場合がある）。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（法学研究科 法学政治学専攻 博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1									兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2									兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専攻科目	基礎法学領域	法理論研究	1・2・3前・後		2			○		1					兼1	
		法制史研究	1・2・3前・後		2			○		1						
		外国法研究	1・2・3前・後		2			○		3					兼1	
		小計(3科目)	－	0	6	0		－		5	0	0	0	0	兼2	－
	実定法領域	公法研究	1・2・3前・後		2			○		2	3				兼1	
		刑事法研究	1・2・3前・後		2			○		2	2					
		民事法研究	1・2・3前・後		2			○		5	5					
		社会法研究	1・2・3前・後		2			○		1	2					
		国際関係法研究	1・2・3前・後		2			○		1	1				兼1	
		小計（5科目）	－	0	10	0		－		11	13	0	0	0	兼2	－
	政治学領域	政治理論研究	1・2・3前・後		2			○		1	1					
		政治過程研究	1・2・3前・後		2			○		1						
		政治外交史研究	1・2・3前・後		2			○		1						
		国際政治研究	1・2・3前・後		2			○		1						
		行政学研究	1・2・3前・後		2			○		1						
		小計（5科目）	－	0	10	0		－		5	1	0	0	0	0	－
研究指導科目		博士研究指導1	1通	4				○		21	14					
		博士研究指導2	2通	4				○		21	14					
		博士研究指導3	3通	4				○		21	14					
		小計（3科目）	－	12	26	0		－		21	14	0	0	0		－
合計（30科目）			－	13	26	17		－		21	14	0	0	0	兼38	—

学位又は称号	博士(法学)	学位又は学科の分野	法学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　必修1単位 2. 専門科目　16単位以上 (1)研究指導科目　必修12単位 (2)専攻科目　選択 4単位	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 一学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	必修科目	前期研究指導1	1通		4			○		22	22					
		前期研究指導2	2通		4			○		22	22					
		修了論文指導	2通		4			○		22	22					
		小計（3科目）	－		12	0		－		22	22	0	0	0	0	－
	基礎科目	基礎研究A：マクロ経済分析1	1前		2		○			1						
		基礎研究A：マクロ経済分析2	1後		2		○				1					
		基礎研究B：ミクロ経済分析1	1前		2		○				1					
		基礎研究B：ミクロ経済分析2	1後		2		○				1					
		基礎研究C：政治経済分析	1前		2		○			1						
		基礎研究D：計量分析1	1前		2		○				1					
		基礎研究D：計量分析2	1後		2		○								兼1	
		基礎研究E：経済史・経済思想分析	1後		2		○			1						
		基礎研究F：政策分析	1後		2		○			1						
		基礎研究G：国際分析	1後		2		○			1						
		基礎研究H：Issues in Economics A	1前		2		○			2	1					オムニバス
		基礎研究I：Issues in Economics B	1後		2		○								兼1	
		基礎研究J：Issues in Global Economy	1後		2			○			1					
		小計（13科目）	－	0	26	0		－		6	6	0	0	0	兼2	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
専門科目	応用科目	近代経済理論講義	1・2前		2		○			1					
		近代経済理論演習	1・2前		2			○		1					
		現代資本主義論講義	1・2後		2		○				1				
		現代資本主義論演習	1・2後		2			○			1				
		マクロ経済学講義A	1・2後		2		○				1				
		マクロ経済学演習A	1・2後		2			○			1				
		マクロ経済学講義B	1・2前		2		○				1				
		マクロ経済学演習B	1・2前		2			○			1				
		マクロ経済学講義C	1・2前		2		○				1				
		マクロ経済学演習C	1・2前		2			○			1				
		ミクロ経済学講義A	1・2前		2		○				1				
		ミクロ経済学演習A	1・2前		2			○			1				
		ミクロ経済学講義B	1・2後		2		○			1					
		ミクロ経済学演習B	1・2後		2			○		1					
		ゲーム理論講義	1・2後		2		○				1				
		ゲーム理論演習	1・2後		2			○			1				
		行動経済学講義	1・2前		2		○			1					
		行動経済学演習	1・2前		2			○		1					
		複雑系経済学講義	1・2前		2		○			1					
		複雑系経済学演習	1・2前		2			○		1					
		計量経済学講義	1・2後		2		○				1				
		計量経済学演習	1・2後		2			○			1				
		医療経済学講義	1・2後		2		○				1				
		医療経済学演習	1・2後		2			○			1				
		数量経済分析論講義	1・2後		2		○			1					
		数量経済分析論演習	1・2後		2			○		1					
		統計理論講義	1・2後		2		○				1				
		統計理論演習	1・2後		2			○			1				
		日本経済史講義	1・2後		2		○				1				
		日本経済史演習	1・2後		2			○			1				
		アジア経済史講義	1・2前		2		○				1				
		アジア経済史演習	1・2前		2			○			1				
		西洋経済史講義	1・2後		2		○				1				
		西洋経済史演習	1・2後		2			○			1				
		産業政策論講義	1・2前		2		○				1				
		産業政策論演習	1・2前		2			○			1				
		社会政策論講義	1・2後		2		○				1				
		社会政策論演習	1・2後		2			○			1				
		経済学史講義	1・2後		2		○			1					
		経済学史演習	1・2後		2			○		1					
		政治経済思想講義	1・2前		2		○			1					
		政治経済思想演習	1・2前		2			○		1					
		社会思想史講義	1・2前		2		○			1					
		社会思想史演習	1・2前		2			○		1					
		福祉経済論講義	1・2前		2		○				1				
		福祉経済論演習	1・2前		2			○			1				
		労働経済講義	1・2前		2		○			1					
		労働経済演習	1・2前		2			○		1					
		財政学講義	1・2前		2		○			1					
		財政学演習	1・2前		2			○		1					
		財政政策論講義	1・2後		2		○			1					
		財政政策論演習	1・2後		2			○		1					
		地方財政論講義	1・2後		2		○				1				
		地方財政論演習	1・2後		2			○			1				
		公共政策論講義	1・2前		2		○			1					
		公共政策論演習	1・2前		2			○		1					
		流通経済論講義	1・2前		2		○				1				
		流通経済論演習	1・2前		2			○			1				
		金融経済論講義A	1・2後		2		○			1					
		金融経済論演習A	1・2後		2			○		1					
		金融経済論講義B	1・2後		2		○				1				
		金融経済論演習B	1・2後		2			○			1				
		産業経済論講義	1・2後		2		○			1					
		産業経済論演習	1・2後		2			○		1					
		日本経済論講義	1・2後		2		○			1					
		日本経済論演習	1・2後		2			○		1					
		空間経済学講義	1・2後		2		○			1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	応用科目	空間経済学演習	1・2後		2			○		1						
		近代日本社会史講義	1・2前		2		○				1					
		近代日本社会史演習	1・2前		2			○			1					
		外国人労働者論講義	1・2前		2		○				1					
		外国人労働者論演習	1・2前		2			○			1					
		東南アジア経済論講義	1・2前		2		○			1						
		東南アジア経済論演習	1・2前		2			○		1						
		開発経済学講義	1・2前		2		○			1						
		開発経済学演習	1・2前		2			○		1						
		国際協力論講義	1・2前		2		○				1					
		国際協力論演習	1・2前		2			○			1					
		国際経済論講義	1・2前		2		○			1						
		国際経済論演習	1・2前		2			○		1						
		国際貿易論講義	1・2後		2		○			1						
		国際貿易論演習	1・2後		2			○		1						
		国際金融論講義	1・2前		2		○				1					
		国際金融論演習	1・2前		2			○			1					
		世界経済論講義	1・2後		2		○			1						
		世界経済論演習	1・2後		2			○		1						
		小計（86科目）	－	0	172	0	－			21	22	0	0	0	0	－
合計（117科目）			－	1	210	25	－			22	22	0	0	0	兼50	－

学位又は称号	修士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上を修得し、修士論文または修了論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 博士コース（前期） 1. 大学院共通科目　1単位（必修） 2. 専門科目 （1）必修科目から「前期研究指導1」「前期研究指導2」　8単位(必修) （2）基礎科目　4単位以上（選択必修） （3）応用科目　12単位以上（選択必修） （4）（2）、（3）で履修した単位以外から　6単位以上（選択必修） 修士コース 1. 大学院共通科目　1単位（必修） 2. 専門科目 （1）必修科目から「修了論文指導」　4単位（必修） （2）基礎科目　6単位以上（選択必修） （3）応用科目　12単位以上（選択必修） （4）（2）、（3）で履修した単位以外から　8単位以上（選択必修）	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 一学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	必修科目	前期研究指導1	1通		4			○		15	15					
		前期研究指導2	2通		4			○		15	15					
		修了論文指導	2通		4			○		15	15					
		小計（3科目）	－		12	0	－			15	15	0	0	0	0	－
	基礎科目	基礎研究A：マクロ経済分析1	1前		2		○			1						
		基礎研究B：ミクロ経済分析1	1前		2		○				1					
		基礎研究C：政治経済分析	1前		2		○			1						
		基礎研究D：計量分析2	1後		2		○								兼1	
		基礎研究E：経済史・経済思想分析	1後		2		○			1						
		基礎研究F：政策分析	1後		2		○			1						
		基礎研究G：国際分析	1後		2		○			1						
		基礎研究H：Issues in Economics A	1前		2		○			2	1					オムニバス
		基礎研究I：Issues in Economics B	1後		2		○								兼1	
		基礎研究J：Issues in Global Economy	1後		2			○			1					
		小計（10科目）	－	0	20	0	－			6	3	0	0	0	兼2	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用科目	近代経済理論講義	1・2前		2		○			1					
		近代経済理論演習	1・2前		2			○		1					
		現代資本主義論講義	1・2後		2		○				1				
		現代資本主義論演習	1・2後		2			○			1				
		マクロ経済学講義A	1・2後		2		○				1				
		マクロ経済学演習A	1・2後		2			○			1				
		マクロ経済学講義C	1・2前		2		○				1				
		マクロ経済学演習C	1・2前		2			○			1				
		ミクロ経済学講義A	1・2前		2		○				1				
		ミクロ経済学演習A	1・2前		2			○			1				
		複雑系経済学講義	1・2前		2		○			1					
		複雑系経済学演習	1・2前		2			○		1					
		数量経済分析論講義	1・2後		2		○			1					
		数量経済分析論演習	1・2後		2			○		1					
		統計理論講義	1・2後		2		○				1				
		統計理論演習	1・2後		2			○			1				
		アジア経済史講義	1・2前		2		○				1				
		アジア経済史演習	1・2前		2			○			1				
		西洋経済史講義	1・2後		2		○				1				
		西洋経済史演習	1・2後		2			○			1				
		産業政策論講義	1・2前		2		○				1				
		産業政策論演習	1・2前		2			○			1				
		社会政策論講義	1・2後		2		○				1				
		社会政策論演習	1・2後		2			○			1				
		政治経済思想講義	1・2前		2		○			1					
		政治経済思想演習	1・2前		2			○		1					
		社会思想史講義	1・2前		2		○			1					
		社会思想史演習	1・2前		2			○		1					
		福祉経済論講義	1・2前		2		○				1				
		福祉経済論演習	1・2前		2			○			1				
		財政政策論講義	1・2後		2		○			1					
		財政政策論演習	1・2後		2			○		1					
		地方財政論講義	1・2後		2		○				1				
		地方財政論演習	1・2後		2			○			1				
		流通経済論講義	1・2前		2		○				1				
		流通経済論演習	1・2前		2			○			1				
		金融経済論講義A	1・2後		2		○			1					
		金融経済論演習A	1・2後		2			○		1					
		産業経済論講義	1・2後		2		○			1					
		産業経済論演習	1・2後		2			○		1					
		日本経済論講義	1・2後		2		○			1					
		日本経済論演習	1・2後		2			○		1					
		空間経済学講義	1・2後		2		○			1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	応用科目	空間経済学演習	1・2後		2			○		1						
		近代日本社会史講義	1・2前		2		○				1					
		近代日本社会史演習	1・2前		2			○			1					
		外国人労働者論講義	1・2前		2		○				1					
		外国人労働者論演習	1・2前		2			○			1					
		東南アジア経済論講義	1・2前		2		○			1						
		東南アジア経済論演習	1・2前		2			○		1						
		開発経済学講義	1・2前		2		○			1						
		開発経済学演習	1・2前		2			○		1						
		国際協力論講義	1・2前		2		○				1					
		国際協力論演習	1・2前		2			○			1					
		国際経済論講義	1・2前		2		○			1						
		国際経済論演習	1・2前		2			○		1						
		世界経済論講義	1・2後		2		○			1						
		世界経済論演習	1・2後		2			○		1						
		小計（58科目）	－	0	116	0	－			14	15	0	0	0	0	－
合計（86科目）			－	1	148	25	－			15	15	0	0	0	兼50	－

学位又は称号	修士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上を修得し、修士論文または修了論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 博士コース（前期） 1. 大学院共通科目　1単位（必修） 2. 専門科目 (1) 必修科目から「前期研究指導1」「前期研究指導2」 8単位(必修) (2) 基礎科目 4単位以上（選択必修） (3) 応用科目 12単位以上（選択必修） (4) (2)、(3) で履修した単位以外から 6単位以上（選択必修） 修士コース 1. 大学院共通科目 1単位（必修） 2. 専門科目 (1) 必修科目から「修了論文指導」 4単位（必修） (2) 基礎科目 6単位以上（選択必修） (3) 応用科目 12単位以上（選択必修） (4) (2)、(3) で履修した単位以外から 8単位以上（選択必修）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 ー学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	0	25		―		0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	必修科目	前期研究指導1	1通		4			○		7	7					
		前期研究指導2	2通		4			○		7	7					
		修了論文指導	2通		4			○		7	7					
		小計（3科目）	―		12	0		―		7	7	0	0	0	0	―
	基礎科目	基礎研究A：マクロ経済分析2	1後		2		○				1					
		基礎研究B：ミクロ経済分析2	1後		2		○				1					
		基礎研究D：計量分析1	1前		2		○				1					
		小計（3科目）	―	0	6	0		―		0	3	0	0	0	0	―
	応用科目	マクロ経済学講義B	1・2前		2		○				1					
		マクロ経済学演習B	1・2前		2			○			1					
		ミクロ経済学講義B	1・2後		2		○			1						
		ミクロ経済学演習B	1・2後		2			○		1						
		ゲーム理論講義	1・2後		2		○				1					
		ゲーム理論演習	1・2後		2			○			1					
		行動経済学講義	1・2前		2		○			1						
		行動経済学演習	1・2前		2			○		1						
		計量経済学講義	1・2後		2		○				1					
		計量経済学演習	1・2後		2			○			1					
		医療経済学講義	1・2後		2		○				1					
		医療経済学演習	1・2後		2			○			1					
		日本経済史講義	1・2後		2		○				1					
		日本経済史演習	1・2後		2			○			1					
		経済学史講義	1・2後		2		○			1						
		経済学史演習	1・2後		2			○		1						
		労働経済講義	1・2前		2		○			1						
		労働経済演習	1・2前		2			○		1						
		財政学講義	1・2前		2		○			1						
		財政学演習	1・2前		2			○		1						
		公共政策論講義	1・2前		2		○			1						
		公共政策論演習	1・2前		2			○		1						
		金融経済論講義B	1・2後		2		○				1					
		金融経済論演習B	1・2後		2			○			1					
		国際貿易論講義	1・2後		2		○			1						
		国際貿易論演習	1・2後		2			○		1						
		国際金融論講義	1・2前		2		○				1					
		国際金融論演習	1・2前		2			○			1					
		小計（28科目）	―	0	56	0		―		7	7	0	0	0	0	―
合計（49科目）			―	1	74	25		―		7	7	0	0	0	兼48	―

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 　履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上を修得し、修士論文または修了論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 博士コース（前期） 　1. 大学院共通科目　1単位（必修） 　2. 専門科目 　（1）必修科目から「前期研究指導1」「前期研究指導2」　8単位(必修) 　（2）基礎科目　4単位以上（選択必修） 　（3）応用科目　12単位以上（選択必修） 　（4）（2）、（3）で履修した単位以外から　6単位以上（選択必修） 修士コース 　1. 大学院共通科目　1単位（必修） 　2. 専門科目 　（1）必修科目から「修了論文指導」　4単位（必修） 　（2）基礎科目　6単位以上（選択必修） 　（3）応用科目　12単位以上（選択必修） 　（4）（2）、（3）で履修した単位以外から　8単位以上（選択必修）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	必修科目	後期研究指導1	1通	4				○		22	21					
		後期研究指導2	2通	4				○		22	21					
		後期研究指導3	3通	4				○		22	21					
		小計（3科目）	－	12	0	0		－		22	21	0	0	0	0	－
	分野科目	近代経済理論発展講義	1前		2		○			1						
		近代経済理論発展演習	1前		2			○		1						
		現代資本主義論発展講義	1後		2		○				1					
		現代資本主義論発展演習	1後		2			○			1					
		マクロ経済学発展講義A	1後		2		○				1					
		マクロ経済学発展演習A	1後		2			○			1					
		マクロ経済学発展講義B	1前		2		○				1					
		マクロ経済学発展演習B	1前		2			○			1					
		マクロ経済学発展講義C	1前		2		○				1					
		マクロ経済学発展演習C	1前		2			○			1					
		ミクロ経済学発展講義A	1前		2		○				1					
		ミクロ経済学発展演習A	1前		2			○			1					
		ミクロ経済学発展講義B	1後		2		○			1						
		ミクロ経済学発展演習B	1後		2			○		1						
		ゲーム理論発展講義	1後		2		○				1					
		ゲーム理論発展演習	1後		2			○			1					
		行動経済学発展講義	1前		2		○			1						
		行動経済学発展演習	1前		2			○		1						
		複雑系経済学発展講義	1前		2		○			1						
		複雑系経済学発展演習	1前		2			○		1						
		計量経済学発展講義	1後		2		○				1					
		計量経済学発展演習	1後		2			○			1					
		医療経済学発展講義	1後		2		○				1					
		医療経済学発展演習	1後		2			○			1					
		数量経済分析論発展講義	1後		2		○			1						
		数量経済分析論発展演習	1後		2			○		1						
		統計理論発展講義	1後		2		○				1					
		統計理論発展演習	1後		2			○			1					
		日本経済史発展講義	1後		2		○				1					
		日本経済史発展演習	1後		2			○			1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	分野科目	アジア経済史発展講義	1前		2		○				1					
		アジア経済史発展演習	1前		2			○			1					
		西洋経済史発展講義	1後		2		○				1					
		西洋経済史発展演習	1後		2			○			1					
		産業政策論発展講義	1前		2		○				1					
		産業政策論発展演習	1前		2			○			1					
		社会政策論発展講義	1後		2		○				1					
		社会政策論発展演習	1後		2			○			1					
		経済学史発展講義	1後		2		○			1						
		経済学史発展演習	1後		2			○		1						
		政治経済思想発展講義	1前		2		○			1						
		政治経済思想発展演習	1前		2			○		1						
		社会思想史発展講義	1前		2		○			1						
		社会思想史発展演習	1前		2			○		1						
		福祉経済論発展講義	1前		2		○				1					
		福祉経済論発展演習	1前		2			○			1					
		労働経済発展講義	1前		2		○			1						
		労働経済発展演習	1前		2			○		1						
		財政学発展講義	1前		2		○			1						
		財政学発展演習	1前		2			○		1						
		財政政策論発展講義	1後		2		○			1						
		財政政策論発展演習	1後		2			○		1						
		地方財政論発展講義	1後		2		○				1					
		地方財政論発展演習	1後		2			○			1					
		公共政策論発展講義	1前		2		○			1						
		公共政策論発展演習	1前		2			○		1						
		流通経済論発展講義	1前		2		○				1					
		流通経済論発展演習	1前		2			○			1					
		金融経済論発展講義A	1後		2		○			1						
		金融経済論発展演習A	1後		2			○		1						
		金融経済論発展講義B	1後		2		○				1					
		金融経済論発展演習B	1後		2			○			1					
		産業経済論発展講義	1後		2		○			1						
		産業経済論発展演習	1後		2			○		1						
		日本経済論発展講義	1後		2		○			1						
		日本経済論発展演習	1後		2			○		1						
		空間経済学発展講義	1後		2		○			1						
		空間経済学発展演習	1後		2			○		1						
		近代日本社会史発展講義	1前		2		○				1					
		近代日本社会史発展演習	1前		2			○			1					
		外国人労働者論発展講義	1前		2		○				1					
		外国人労働者論発展演習	1前		2			○			1					
		東南アジア経済論発展講義	1前		2		○			1						
		東南アジア経済論発展演習	1前		2			○		1						
		開発経済学発展講義	1前		2		○			1						
		開発経済学発展演習	1前		2			○		1						
		国際協力論発展講義	1前		2		○				1					
		国際協力論発展演習	1前		2			○			1					
		国際経済論発展講義	1前		2		○			1						
		国際経済論発展演習	1前		2			○		1						
		国際貿易論発展講義	1後		2		○			1						
		国際貿易論発展演習	1後		2			○		1						
		国際金融論発展講義	1前		2		○				1					
		国際金融論発展演習	1前		2			○			1					
		世界経済論発展講義	1後		2		○			1						
		世界経済論発展演習	1後		2			○		1						
		小計（86科目）	－	0	172	0	－			21	21	0	0	0	0	－
合計（103科目）			－	13	172	17	－			22	21	0	0	0	兼34	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号	博士（経済学）		学位又は学科の分野			経済学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 　履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　　1単位 2. 専門科目 　　(1) 必修科目　　12単位 　　(2) 分野科目　　4単位（選択必修）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	必修科目	後期研究指導1	1通	4				○		15	15					
		後期研究指導2	2通	4				○		15	15					
		後期研究指導3	3通	4				○		15	15					
		小計（3科目）	－	12	0	0		－		15	15	0	0	0	0	－
	分野科目	近代経済理論発展講義	1前		2		○			1						
		近代経済理論発展演習	1前		2			○		1						
		現代資本主義論発展講義	1後		2		○				1					
		現代資本主義論発展演習	1後		2			○			1					
		マクロ経済学発展講義A	1後		2		○				1					
		マクロ経済学発展演習A	1後		2			○			1					
		マクロ経済学発展講義C	1前		2		○				1					
		マクロ経済学発展演習C	1前		2			○			1					
		ミクロ経済学発展講義A	1前		2		○				1					
		ミクロ経済学発展演習A	1前		2			○			1					
		複雑系経済学発展講義	1前		2		○			1						
		複雑系経済学発展演習	1前		2			○		1						
		数量経済分析論発展講義	1後		2		○			1						
		数量経済分析論発展演習	1後		2			○		1						
		統計理論発展講義	1後		2		○				1					
		統計理論発展演習	1後		2			○			1					
		日本経済史発展講義	1後		2		○				1					
		日本経済史発展演習	1後		2			○			1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
専門科目	分野科目	アジア経済史発展講義	1前		2		○				1				
		アジア経済史発展演習	1前		2			○			1				
		西洋経済史発展講義	1後		2		○				1				
		西洋経済史発展演習	1後		2			○			1				
		産業政策論発展講義	1前		2		○				1				
		産業政策論発展演習	1前		2			○			1				
		社会政策論発展講義	1後		2		○				1				
		社会政策論発展演習	1後		2			○			1				
		政治経済思想発展講義	1前		2		○			1					
		政治経済思想発展演習	1前		2			○		1					
		社会思想史発展講義	1前		2		○			1					
		社会思想史発展演習	1前		2			○		1					
		福祉経済論発展講義	1前		2		○				1				
		福祉経済論発展演習	1前		2			○			1				
		財政政策論発展講義	1後		2		○			1					
		財政政策論発展演習	1後		2			○		1					
		地方財政論発展講義	1後		2		○				1				
		地方財政論発展演習	1後		2			○			1				
		流通経済論発展講義	1前		2		○				1				
		流通経済論発展演習	1前		2			○			1				
		金融経済論発展講義A	1後		2		○			1					
		金融経済論発展演習A	1後		2			○		1					
		産業経済論発展講義	1後		2		○			1					
		産業経済論発展演習	1後		2			○		1					
		日本経済論発展講義	1後		2		○			1					
		日本経済論発展演習	1後		2			○		1					
		空間経済学発展講義	1後		2		○			1					
		空間経済学発展演習	1後		2			○		1					
		近代日本社会史発展講義	1前		2		○				1				
		近代日本社会史発展演習	1前		2			○			1				
		外国人労働者論発展講義	1前		2		○				1				
		外国人労働者論発展演習	1前		2			○			1				
		東南アジア経済論発展講義	1前		2		○			1					
		東南アジア経済論発展演習	1前		2			○		1					
		開発経済学発展講義	1前		2		○			1					
		開発経済学発展演習	1前		2			○		1					
		国際協力論発展講義	1前		2		○				1				
		国際協力論発展演習	1前		2			○			1				
		国際経済論発展講義	1前		2		○			1					
		国際経済論発展演習	1前		2			○		1					
		世界経済論発展講義	1後		2		○			1					
		世界経済論発展演習	1後		2			○		1					
		小計（60科目）	－	0	120	0		－		14	15	0	0	0	0	－
合計（77科目）			－	13	120	17		－		15	15	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1.大学院共通教育科目　1単位 2.専門科目 （1）必修科目　12単位 （2）分野科目　4単位（選択必修）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	必修科目	後期研究指導1	1通	4				○		7	6					
		後期研究指導2	2通	4				○		7	6					
		後期研究指導3	3通	4				○		7	6					
		小計（3科目）	－	12	0	0		－		7	6	0	0	0	0	－
	分野科目	マクロ経済学発展講義B	1前		2		○				1					
		マクロ経済学発展演習B	1前		2			○			1					
		ミクロ経済学発展講義B	1後		2		○			1						
		ミクロ経済学発展演習B	1後		2			○		1						
		ゲーム理論発展講義	1後		2		○				1					
		ゲーム理論発展演習	1後		2			○			1					
		行動経済学発展講義	1前		2		○			1						
		行動経済学発展演習	1前		2			○		1						
		計量経済学発展講義	1後		2		○				1					
		計量経済学発展演習	1後		2			○			1					
		医療経済学発展講義	1後		2		○				1					
		医療経済学発展演習	1後		2			○			1					
		経済学史発展講義	1後		2		○			1						
		経済学史発展演習	1後		2			○		1						
		労働経済発展講義	1前		2		○			1						
		労働経済発展演習	1前		2			○		1						
		財政学発展講義	1前		2		○			1						
		財政学発展演習	1前		2			○		1						
		公共政策論発展講義	1前		2		○			1						
		公共政策論発展演習	1前		2			○		1						
		金融経済論発展講義B	1後		2		○				1					
		金融経済論発展演習B	1後		2			○			1					
		国際貿易論発展講義	1後		2		○			1						
		国際貿易論発展演習	1後		2			○		1						
		国際金融論発展講義	1前		2		○				1					
		国際金融論発展演習	1前		2			○			1					
		小計（26科目）	－	0	52	0		－		7	6	0	0	0	0	－
合計（43科目）			－	13	52	17		－		7	6	0	0	0	兼34	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学研究科　経済学専攻　博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	博士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 　履修方法に示す1および2の履修により、17単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　　1単位 2. 専門科目 　　(1) 必修科目　　12単位 　　(2) 分野科目　　4単位（選択必修）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	共通科目	定量的方法論研究	1前		2		○				1				兼1	
		定性的方法論研究	1前		2		○			3	1					オムニバス・ 共同（一部）
		小計（2科目）	－	0	4	0		－		3	2	0	0	0	兼1	－
	分野専門科目	（戦略経営）														
		経営管理論研究	1後		2		○			1						
		経営史研究	1前		2		○			1						
		コーポレート・ファイナンス論研究	1後		2		○				1					
		経営戦略論研究	1前		2		○			1						
		マーケティング戦略論研究	1前		2		○				1					
		原価計算論研究	1前		2		○				1					
		マーケティング論研究	1後		2		○			1						
		消費者行動論研究	1後		2		○				1					
		人的資源管理論研究	1前		2		○				1					
		組織行動論研究	1前		2		○			1						
		企業戦略論研究	1後		2		○				1					
		経営組織論研究	1後		2		○				1					
		（経営情報）														
		オペレーションズ・マネジメント論研究	1前		2		○				1					
		証券分析論研究	1前		2		○			1						
		財務会計論研究	1後		2		○				1					
		企業分析論研究	1後		2		○			1						
		統計分析論研究	1後		2		○				1					
		産業統計論研究	1後		2		○			1						
		税務会計論研究	1前		2		○				1					
		中小企業会計論研究	1後		2		○			1						
		管理会計論研究	1後		2		○				1					
		（国際ビジネス）														
		国際経営論研究	1前		2		○			1						
		国際会計論研究	1前		2		○				1					
		国際金融論研究	1前		2		○			1						
		貿易論研究	1前		2		○			1						
		国際産業立地論研究	1後		2		○			1						
		（産業創造）														

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	分野専門科目	金融機関論研究	1後		2		○				1					
		流通組織論研究	1前		2		○				1					
		産業論研究	1後		2		○				1					
		地域経営論研究	1前		2		○			1						
		地域再生論研究	1後		2		○			1						
		地域経済論研究	1前		2		○				1					
		産業集積論研究	1前		2		○			1						
		マーケティング経済論研究	1前		2		○			1						
		（パブリック・環境経営）														
		公会計論研究	1後		2		○				1					
		社会関連会計論研究	1後		2		○			1						
		環境政策論研究	1前		2		○			1						
		技術論研究	1前		2		○			1						
		（アジア・ビジネス研究プログラム）														
		アジア・ビジネス・ワークショップA	1･2後		2		○				1					隔年
		アジア・ビジネス・ワークショップB	1･2後		2		○				1					隔年
		アジア企業論研究	1･2前		2		○				1					
		比較企業論研究	1･2前		2		○				1					
		アジア金融論研究	1･2前		2		○				1					
		アジア経済論研究	1･2後		2		○				1					
		アジア産業論研究	1･2後		2		○								兼1	
		日本企業論研究	1･2前		2		○								兼1	
		小計（46科目）	－	0	92	0		－		20	20	0	0	0	兼2	－
	分野専門演習科目	（戦略経営）														
		経営管理論研究演習1	1通		4			○		1						
		経営管理論研究演習2	2通		4			○		1						
		経営史研究演習1	1通		4			○		1						
		経営史研究演習2	2通		4			○		1						
		コーポレート・ファイナンス論研究演習1	1通		4			○			1					
		コーポレート・ファイナンス論研究演習2	2通		4			○			1					
		経営戦略論研究演習1	1通		4			○		1						
		経営戦略論研究演習2	2通		4			○		1						
		マーケティング戦略論研究演習1	1通		4			○			1					
		マーケティング戦略論研究演習2	2通		4			○			1					
		原価計算論研究演習1	1通		4			○			1					
		原価計算論研究演習2	2通		4			○			1					
		マーケティング論研究演習1	1通		4			○		1						
		マーケティング論研究演習2	2通		4			○		1						
		消費者行動論研究演習1	1通		4			○			1					
		消費者行動論研究演習2	2通		4			○			1					
		人的資源管理論研究演習1	1通		4			○			1					
		人的資源管理論研究演習2	2通		4			○			1					
		組織行動論研究演習1	1通		4			○		1						
		組織行動論研究演習2	2通		4			○		1						
		企業戦略論研究演習1	1通		4			○			1					
		企業戦略論研究演習2	2通		4			○			1					
		経営組織論研究演習1	1通		4			○			1					
		経営組織論研究演習2	2通		4			○			1					
		（経営情報）														
		オペレーションズ・マネジメント論研究演習1	1通		4			○			1					
		オペレーションズ・マネジメント論研究演習2	2通		4			○			1					

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	分野専門演習科目	証券分析論研究演習1	1通		4			○		1					
		証券分析論研究演習2	2通		4			○		1					
		財務会計論研究演習1	1通		4			○			1				
		財務会計論研究演習2	2通		4			○			1				
		企業分析論研究演習1	1通		4			○		1					
		企業分析論研究演習2	2通		4			○		1					
		統計分析論研究演習1	1通		4			○			1				
		統計分析論研究演習2	2通		4			○			1				
		産業統計論研究演習1	1通		4			○		1					
		産業統計論研究演習2	2通		4			○		1					
		税務会計論研究演習1	1通		4			○			1				
		税務会計論研究演習2	2通		4			○			1				
		中小企業会計論研究演習1	1通		4			○		1					
		中小企業会計論研究演習2	2通		4			○		1					
		管理会計論研究演習1	1通		4			○			1				
		管理会計論研究演習2	2通		4			○			1				
		（国際ビジネス）													
		国際経営論研究演習1	1通		4			○		1					
		国際経営論研究演習2	2通		4			○		1					
		国際会計論研究演習1	1通		4			○			1				
		国際会計論研究演習2	2通		4			○			1				
		国際金融論研究演習1	1通		4			○		1					
		国際金融論研究演習2	2通		4			○		1					
		貿易論研究演習1	1通		4			○		1					
		貿易論研究演習2	2通		4			○		1					
		国際産業立地論研究演習1	1通		4			○		1					
		国際産業立地論研究演習2	2通		4			○		1					
		（産業創造）													
		金融機関論研究演習1	1通		4			○			1				
		金融機関論研究演習2	2通		4			○			1				
		流通組織論研究演習1	1通		4			○			1				
		流通組織論研究演習2	2通		4			○			1				
		産業論研究演習1	1通		4			○			1				
		産業論研究演習2	2通		4			○			1				
		地域経営論研究演習1	1通		4			○		1					
		地域経営論研究演習2	2通		4			○		1					
		地域再生論研究演習1	1通		4			○		1					
		地域再生論研究演習2	2通		4			○		1					
		地域経済論研究演習1	1通		4			○			1				
		地域経済論研究演習2	2通		4			○			1				
		産業集積論研究演習1	1通		4			○		1					
		産業集積論研究演習2	2通		4			○		1					
		マーケティング経済論研究演習1	1通		4			○		1					
		マーケティング経済論研究演習2	2通		4			○		1					
		（パブリック・環境経営）													
		公会計論研究演習1	1通		4			○			1				
		公会計論研究演習2	2通		4			○			1				
		社会関連会計論研究演習1	1通		4			○		1					
		社会関連会計論研究演習2	2通		4			○		1					
		環境政策論研究演習1	1通		4			○		1					
		環境政策論研究演習2	2通		4			○		1					
		技術論研究演習1	1通		4			○		1					
		技術論研究演習2	2通		4			○		1					

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	分野専門演習	（アジア・ビジネス研究プログラム）														
		アジア・ビジネス研究演習1-A	1通		4			○			1					
		アジア・ビジネス研究演習1-B	1通		4			○							兼2	共同
		アジア・ビジネス研究演習2-A	2通		4			○			2					共同
		アジア・ビジネス研究演習2-B	2通		4			○							兼2	共同
		小計（80科目）	－	0	320	0	－			20	20	0	0	0	兼2	－
合計（143科目）			－	1	416	25	－			20	20	0	0	0	兼51	－

学位又は称号	修士（経営学） 修士（商学） 修士（グローバルビジネス）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上を修得し、修士論文または課題研究論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。 1. 大学院共通科目　1単位（必修） 2. 専門科目 （1）共通科目　2単位以上（選択） （2）分野専門科目　8単位以上（選択） （3）分野専門演習科目　8単位以上（指導教員の分野専門演習科目8単位必修） ※アジア・ビジネス研究プログラムに関する分野専門科目及び分野演習科目は履修できないこととする。 【学位について】 ・修士（経営学）：修了必要単位数の中で14単位以上を以下マトリックス図にある「経営」および「会計」から修得した場合に授与する。 ・修士（商学）：修了必要単位数の中です14単位以上を以下マトリックス図にある「金融・流通」および「産業・地域」から修得した場合に授与する。	１学年の学期区分	2期

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
〈アジア・ビジネス研究プログラム〉 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上を修得し、修士論文または課題研究論文の審査および最終試験に合格すること。 1. 大学院共通科目　1単位（必修） 2. 専門科目 （1）共通科目　2単位以上（選択） （2）分野専門科目　8単位以上（「アジア・ビジネス・ワークショップA」もしくは「アジア・ビジネス・ワークショップB」のいずれか2単位必修） （3）分野専門演習科目　8単位以上（指導教員及び副指導教員の分野専門演習科目8単位必修） ※アジア・ビジネス研究プログラムの学生が履修できる分野専門科目はアジア・ビジネス研究プログラム分野及び国際ビジネス分野のみとする。 ※アジア・ビジネス研究プログラムの学生が履修できる分野専門演習科目はアジア・ビジネス研究プログラム分野のみとする。 【学位について】 修士（グローバルビジネス）：アジア・ビジネス研究プログラムの修了必要単位数を修得した場合に授与する。															1学期の授業期間	15週

大学院経営学研究科　マトリックス型科目体系

学際分野	専攻の学問分野			
	（経営） 経営学に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する	**（会計）** 会計学に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する	**（金融・流通）** 金融・流通に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する	**（産業・地域）** 産業・地域に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する
（戦略経営） 戦略的な経営の視点からビジネスに関する知識を提供する	経営管理論 経営史 コーポレート・ファイナンス論 経営戦略論 マーケティング戦略論 人的資源管理論 組織行動論 企業戦略論 経営組織論	原価計算論	マーケティング論 消費者行動論	
（経営情報） 情報システムなど経営情報の視点からビジネスに関する知識を提供する	オペレーションズ・マネジメント論	財務会計論 企業分析論 税務会計論 中小企業会計論 管理会計論	証券分析論 統計分析論	産業統計論
（国際ビジネス） 国際的な視点からビジネスに関する知識を提供する	国際経営論	国際会計論	国際金融論 貿易論	国際産業立地論
（産業創造） 新たな産業創造の視点からビジネスに関する知識を提供する			金融機関論 流通組織論 マーケティング経済論	産業論 地域経営論 地域再生論 地域経済論 産業集積論
（パブリック・環境経営） パブリックセクターの経営や環境経営・戦略の視点からビジネスに関する知識を提供する		公会計論 社会関連会計論		環境政策論 技術論
（アジア・ビジネス） アジアの経済・ビジネス環境、その他のビジネスに関する知識を提供する。	アジア企業論 比較企業論 日本企業論		アジア金融論	アジア経済論 アジア産業論

※学際分野（アジア・ビジネス）に属する各種科目については博士前期課程のみで提供するもの

1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	分野専門科目	（戦略経営）														
		経営管理論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		経営史特殊研究	1・2前		2		○			1						
		コーポレート・ファイナンス論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		経営戦略論特殊研究	1・2後		2		○			1						
		マーケティング戦略論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		原価計算論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		マーケティング論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		消費者行動論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		人的資源管理論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		組織行動論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		企業戦略論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		経営組織論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		（経営情報）														
		オペレーションズ・マネジメント論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		証券分析論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		財務会計論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		企業分析論特殊研究	1・2後		2		○			1						
		統計分析論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		産業統計論特殊研究	1・2後		2		○			1						
		税務会計論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		中小企業会計論特殊研究	1・2後		2		○			1						
		管理会計論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		（国際ビジネス）														
		国際経営論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		国際会計論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		国際金融論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		貿易論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		国際産業立地論特殊研究	1・2後		2		○			1						
		（産業創造）					○									
		金融機関論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		流通組織論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		産業論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		地域経営論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		地域再生論特殊研究	1・2後		2		○			1						
		地域経済論特殊研究	1・2前		2		○				1					
		産業集積論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		マーケティング経済論特殊研究	1・2前		2		○			1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	分野専門科目	（パブリック・環境経営）														
		公会計論特殊研究	1・2後		2		○				1					
		社会関連会計論特殊研究	1・2後		2		○			1						
		環境政策論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		技術論特殊研究	1・2前		2		○			1						
		小計（38科目）	－	0	76	0		－		20	18	0	0	0	0	－
	分野専門演習科目	（戦略経営）														
		経営管理論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		経営管理論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		経営管理論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		経営史特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		経営史特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		経営史特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		経営戦略論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		経営戦略論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		経営戦略論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		マーケティング戦略論特殊研究演習1	1通		4			○			1					
		マーケティング戦略論特殊研究演習2	2通		4			○			1					
		マーケティング戦略論特殊研究演習3	3通		4			○			1					
		マーケティング論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		マーケティング論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		マーケティング論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		組織行動論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		組織行動論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		組織行動論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		（経営情報）														
		証券分析論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		証券分析論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		証券分析論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		財務会計論特殊研究演習1	1通		4			○			1					
		財務会計論特殊研究演習2	2通		4			○			1					
		財務会計論特殊研究演習3	3通		4			○			1					
		企業分析論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		企業分析論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		企業分析論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		統計分析論特殊研究演習1	1通		4			○			1					
		統計分析論特殊研究演習2	2通		4			○			1					
		統計分析論特殊研究演習3	3通		4			○			1					
		産業統計論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		産業統計論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		産業統計論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		中小企業会計論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		中小企業会計論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		中小企業会計論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		（国際ビジネス）														
		国際経営論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		国際経営論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		国際経営論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		国際金融論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		国際金融論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		国際金融論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		貿易論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		貿易論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		貿易論特殊研究演習3	3通		4			○		1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	分野専門演習科目	国際産業立地論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		国際産業立地論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		国際産業立地論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		（産業創造）														
		地域経営論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		地域経営論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		地域経営論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		地域再生論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		地域再生論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		地域再生論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		産業集積論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		産業集積論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		産業集積論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		マーケティング経済論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		マーケティング経済論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		マーケティング経済論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		（パブリック・環境経営）														
		社会関連会計論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		社会関連会計論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		社会関連会計論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		環境政策論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		環境政策論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		環境政策論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		技術論特殊研究演習1	1通		4			○		1						
		技術論特殊研究演習2	2通		4			○		1						
		技術論特殊研究演習3	3通		4			○		1						
		小計（69科目）	－	0	276	0	－			20	3	0	0	0	0	－
合計（121科目）			－	1	352	17	－			20	18	0	0	0	兼34	－

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学研究科グローバルビジネス専攻　博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	博士（経営学） 博士（商学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、19単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目 　分野専門科目・分野専門演習科目　合計18単位以上（指導教員の分野専門演習科目12単位必修） 【学位について】 博士（経営学）：修了必要単位数のなかで14単位以上を以下マトリックス図にある「経営」および「会計」から修得した場合に授与する。 博士（商学）：修了必要単位数の中で14単位以上を以下マトリックス図にある「金融・流通」および「産業・地域」から修得した場合に授与する。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

大学院経営学研究科　マトリックス型科目体系

学際分野	専攻の学問分野			
	（経営） 経営学に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する	（会計） 会計学に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する	（金融・流通） 金融・流通に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する	（産業・地域） 産業・地域に関する基本的な知識と応用的な知識を提供する
（戦略経営） 戦略的な経営の視点からビジネスに関する知識を提供する	経営管理論 経営史 コーポレート・ファイナンス論 経営戦略論 マーケティング戦略論 人的資源管理論 組織行動論 企業戦略論 経営組織論	原価計算論	マーケティング論 消費者行動論	
（経営情報） 情報システムなど経営情報の視点からビジネスに関する知識を提供する	オペレーションズ・マネジメント論	財務会計論 企業分析論 税務会計論 中小企業会計論 管理会計論	証券分析論 統計分析論	産業統計論
（国際ビジネス） 国際的な視点からビジネスに関する知識を提供する	国際経営論	国際会計論	国際金融論 貿易論	国際産業立地論
（産業創造） 新たな産業創造の視点からビジネスに関する知識を提供する			金融機関論 流通組織論 マーケティング経済論	産業論 地域経営論 地域再生論 地域経済論 産業集積論
（パブリック・環境経営） パブリックセクターの経営や環境経営・戦略の視点からビジネスに関する知識を提供する		公会計論 社会関連会計論		環境政策論 技術論
（アジア・ビジネス） アジアの経済・ビジネス環境、その他のビジネスに関する知識を提供する。	アジア企業論 比較企業論 日本企業論		アジア金融論	アジア経済論 アジア産業論

※学際分野（アジア・ビジネス）に属する各種科目については博士前期課程のみで提供するもの

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（都市経営研究科 都市経営専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
基礎科目		都市経営論	1前		1		○			3	1					オムニバス・共同（一部）
		行政法制度概論	1前		1		○			2						オムニバス
		まちづくり概論	1前		1		○			2						オムニバス
		ミクロ経済論	1前		1		○			2						オムニバス
		経営学概論	1前		1		○			1						
		マーケティング論	1後		1		○								兼1	
		ファイナンス論	1前		1		○								兼1	
		経営倫理	1前		1		○				2				兼1	オムニバス
		都市地域社会調査分析	1前		1		○			1	1					オムニバス
		研究方法論	1前		1		○			3	2					集中・オムニバス
		研究公正A（都市経営）	1前	1			○			1	1				兼5	集中・オムニバス ※演習
		小計（１１科目）	－	1	10	0	－			10	6	0	0	0	兼8	－
中核科目	講義系科目	（都市政策・地域経済コース）														
		公共経営論	1前		1		○			1					兼1	オムニバス
		都市再生・まちづくりマーケティング論	1前		1		○			1						
		都市文化政策	1前		1		○				1					
		ＰＰＰ／ＰＦＩ論	1後		1		○			1						
		自治体会計	1後		1		○			1						
		ＡＩ・エネルギー新産業論	1後		1		○			1					兼3	オムニバス
		（都市行政コース）														
		地方行政学	1前		1		○			1						
		自治体法務	1後		1		○			1						
		都市法政策	1後		1		○			2						オムニバス
		行政組織論	1前		1		○			1					兼1	オムニバス
		都市財政論	1前		1		○				1					
		（都市ビジネスコース）														
		事業戦略論	1前		1		○			1						
		イノベーションマネジメント論	1前		1		○				1					
		ＩＣＴビジネス論	1後		1		○			1						
		アントレプレナーシップ論	1後		1		○			1						
		企業変革論	1前		1		○			1						
		経営情報論	1後		1		○			2					兼1	オムニバス
		情報経済論	1前		1		○			1						
		（医療・福祉ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営ｺｰｽ）														
		医療イノベーション経営	1後		1		○			1						
		福祉イノベーション経営	1後		1		○				2				兼1	オムニバス・共同(一部)
		知識創造組織	1後		2		○				1					
		共生社会と医療倫理	1後		1		○			1	1					オムニバス
		地域福祉社会論	1後		1		○				1					
		小計（２３科目）	－	0	24	0	－			13	6	0	0	0	兼7	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（都市経営研究科 都市経営専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
中核科目	演習系科目	（都市政策・地域経済コース）														
		都市政策・地域経済ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ1	1前		3		○			5	1					オムニバス ※演習
		都市政策・地域経済ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ2	1後		3		○			5	1					オムニバス ※演習
		都市政策・地域経済課題演習1	1後		2			○		5	1					オムニバス
		都市政策・地域経済課題演習2	2前		3			○		5	1					オムニバス・共同(一部)
		都市政策・地域経済課題演習3	2後		3			○		5	1					オムニバス・共同(一部)
		（都市行政コース）														
		都市行政ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ1	1前		3		○			2	2					オムニバス ※演習
		都市行政ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ2	1後		3		○			2	2					オムニバス ※演習
		都市行政課題演習1	1後		2			○		2	2					オムニバス・共同(一部)
		都市行政課題演習2	2前		3			○		2	2					オムニバス・共同(一部)
		都市行政課題演習3	2後		3			○		2	2					オムニバス・共同(一部)
		（都市ビジネスコース）														
		都市ﾋﾞｼﾞﾈｽﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ1	1前		3		○			5	1					オムニバス ※演習
		都市ﾋﾞｼﾞﾈｽﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ2	1後		3		○			5	1					オムニバス ※演習
		都市ﾋﾞｼﾞﾈｽ課題演習1	1後		2			○		5	1					オムニバス・共同
		都市ﾋﾞｼﾞﾈｽ課題演習2	2前		3			○		5	1					オムニバス・共同
		データマイニング	1前		3			○		3					兼4	オムニバス・共同(一部)
		（医療・福祉ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営ｺｰｽ）														
		医療ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	1前		2		○			1	2				兼6	オムニバス・共同 ※演習
		福祉ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	1前		2		○			1	3				兼8	オムニバス・共同 ※演習
		医療・福祉ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営課題演習1	1前		2			○		2	3					共同
		医療・福祉ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営課題演習2	1後		2			○		2	3					共同
		医療・福祉経営倫理演習1	1後		1			○		1	2				兼1	集中・オムニバス・共同
		医療・福祉経営倫理演習2	2後		1			○		1	2				兼1	集中・オムニバス・共同
		小計（２１科目）	－	0	52	0	－			14	7	0	0	0	兼19	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（都市経営研究科 都市経営専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
関連科目	（都市政策・地域経済コース）														
	都市計画	1後		1		○			1						
	アートプロジェクト論	1後		1		○				1					
	都市産業・中小企業政策	1前		1		○								兼1	集中
	不動産経済論	1前		1		○								兼1	集中
	公共経済学	1前		1		○								兼1	集中
	都市計量分析	1後		1		○								兼1	集中
	文化施設経営論	1後		1		○				1				兼1	集中・オムニバス
	（都市行政コース）														
	現代都市政治	1後		1		○			1					兼1	集中・オムニバス
	地域交通論	1前		1		○			1					兼1	集中・オムニバス
	比較都市政策論	1後		1		○				1					
	公営企業論	1前		1		○				1					
	社会政策論	1前		1		○				1					
	行政評価論	1後		1		○								兼1	集中
	（都市ビジネスコース）														
	ビジネスモデル論	1後		1		○				1					
	ｅ－マーケティング	1後		1		○			1						
	中小企業経営分析	1後		1		○			1						
	Ｍ＆Ａ論	1前		1		○								兼1	集中
	（医療・福祉ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営ｺｰｽ）														
	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営演習(ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ)1	1前		1			○			1					集中
	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営演習(ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ)2	2前		1			○			1					集中
	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営演習(ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ)1	1後		1			○			2					集中・共同
	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ経営演習(ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ)2	2後		1			○			2					集中・共同
	ダイバーシティスタディーズ	2前		1		○				1					集中
	職域健康増進	2前		1		○								兼1	集中
	小計（２３科目）	－	0	23	0	－			5	6	0	0	0	兼10	－
研究指導科目	都市経営研究指導1	2前	2				○		14	7					
	都市経営研究指導2	2後	2				○		14	7					
	小計（２科目）	－	4	0	0	－			14	7	0	0	0	0	
合計（８０科目）		－	5	109	0	－			14	7	0	0	0	兼43	－

学位又は称号	修士（都市経営）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
４つのコースから１つのコースを選択し、研究公正A（都市経営）１単位を含む基礎科目４単位、中核科目の講義系科目６単位（都市行政コースは都市政策・地域経済コースの「公共経営論」を含む）、中核科目の演習系科目６単位、関連科目３単位（都市ビジネスコースは都市政策・地域経済コースの「ＡＩ・エネルギー新産業論」を含む）、および基礎・中核・関連科目から８単位、研究指導科目４単位を含む、合計３１単位以上を取得し、必要な研究指導をうけ、修士論文ないしリサーチペーパーを提出し、最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	５０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（都市経営研究科 都市経営専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
講義科目	都市経営特殊講義A（都市政策・地域経済）	1前		1		○			5	1					オムニバス・共同（一部）
	都市経営特殊講義B（都市行政）	1後		1		○			2	2					オムニバス・共同（一部）
	都市経営特殊講義C（都市ビジネス）	1後		1		○			5	1					オムニバス・共同（一部）
	都市経営特殊講義D（医療・福祉イノベーション経営）	1前		1		○			2	3					オムニバス・共同（一部）
	研究公正B（都市経営）	1前	1			○			1	1				兼5	集中・オムニバス ※演習
	小計（５科目）	－	1	4	0	－			14	7	0	0	0	兼5	－
演習科目	都市経営演習A（都市政策・地域経済）	1通		4			○		5	1					オムニバス・共同（一部）
	都市経営演習B（都市行政）	1通		4			○		2	2					オムニバス・共同（一部）
	都市経営演習C（都市ビジネス）	1通		4			○		4	1					オムニバス・共同（一部）
	都市経営演習D（医療・福祉イノベーション経営）	1通		4			○		2	3					オムニバス・共同（一部）
	小計（４科目）	－	0	16	0	－			13	7	0	0	0	0	－
研究指導科目	都市経営博士研究指導1	1通	4				○		13	7					
	都市経営博士研究指導2	2通	4				○		13	7					
	都市経営博士研究指導3	3通	4				○		13	7					
	小計（３科目）	－	12	0	0	－			13	7	0	0	0	0	－
合計（１２科目）			13	20	0	－			14	7	0	0	0	兼5	－

学位又は称号	博士（都市経営）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
３年以上在籍し、主たる領域において研究指導をうけ、研究公正B（都市経営）１単位を含む講義科目３単位、演習科目４単位、研究指導科目１２単位を含む、合計１９単位以上を取得するとともに、必要な研究指導をうけ、博士学位申請論文を提出し、審査および試験に合格すること。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	５０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後			2	○								兼1	
			Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
			化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
			大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
			小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	専攻演習科目		プログラミング演習（機械学習演習）	1前	2				○			2	1				共同
			先端ソフトウェア環境構築実践	1後	2				○			1	2				共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			0	3	3	0	0	0	－
	専攻研究指導科目		基幹情報学特別研究１	2前	2					○	11	9	3				
			基幹情報学特別研究２	2後	2					○	11	9	3				
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			11	9	3	0	0	0	－
	専攻基礎科目		基幹情報学セミナー	1後		2		○			11	3	1				オムニバス
			アルゴリズム設計論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			確率統計学	1前		2		○			1	1					オムニバス
			テクニカルライティング・プレゼンテーション	1前		2		○								兼1	
			小計（4科目）	－	0	8	0	－			11	4	1	0	0	兼1	－
	専攻専門科目	知能情報学系科目	社会情報学	1後		2		○			1	1					オムニバス
			深層学習	1後		2		○			1	1					オムニバス
			ビッグデータ解析	1前		2		○			1	1					オムニバス
			ヒューマンコンピュータインタラクション	1後		2		○			1	1					オムニバス
			先端的計算知能	1後		2		○			2						オムニバス
			機械学習構成論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			データマイニング	1前		2		○			2						オムニバス
			言語情報学	1前		2		○			2						オムニバス
			画像情報学	1後		2		○				2					オムニバス
		システム情報学系科目	情報プラットフォーム構成論	1前		2		○			1						
			情報センシングシステム	1後		2		○				1	1				オムニバス
			マルチエージェントシステム	1後		2		○			1	1					共同
			サイバーセキュリティ	1前		2		○			2						オムニバス
			ネットワークシステム設計論	1前		2		○			1						
			高性能計算論	1前		2		○			1						
			通信基盤	1後		2		○			1						
			無線ネットワークシステム	1後		2		○				1	1				オムニバス
			時系列信号処理	1前		2		○			1	1					共同
			小計（18科目）	－	0	36	0	－			11	9	1	0	0	0	－
合計（41科目）				－	9	44	25	－			11	9	3	0	0	兼49	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号		修士（情報学）	学位又は学科の分野			工学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1．大学院共通教育科目　1単位（必修） 2．専門科目　30単位以上（必修8単位　選択22単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基礎科目　4単位以上（選択） (4)専攻専門科目　16単位以上(選択) ①知能情報学系科目　8単位以上 ②システム情報学科目　4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること ＜システム情報学分野＞ 1．大学院共通教育科目　1単位（必修） 2．専門科目　30単位以上（必修8単位　選択22単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基礎科目　4単位以上（選択） (4)専攻専門科目　16単位以上(選択) ①システム情報学科目　8単位以上 ②知能情報学系科目　4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

杉本キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
	専攻演習科目	先端ソフトウェア環境構築実践	1後	2				○				1				共同
		小計（1科目）	－	2	0	0	－			0	0	1	0	0	0	－
	専攻研究指導科目	基幹情報学特別研究１	2前	2					○	3	2	1				
		基幹情報学特別研究２	2後	2					○	3	2	1				
		小計（2科目）	－	4	0	0	－			3	2	1	0	0	0	－
	専攻基礎科目	基幹情報学セミナー	1後		2		○			3	1					オムニバス
		アルゴリズム設計論	1前		2		○				1					オムニバス
		確率統計学	1前		2		○			1						オムニバス
		小計（3科目）	－	0	6	0	－			3	1	0	0	0	0	－
	専攻専門科目 システム情報学系科目	情報プラットフォーム構成論	1前		2		○			1						
		マルチエージェントシステム	1後		2		○			1	1					共同
		サイバーセキュリティ	1前		2		○			2						オムニバス
		通信基盤	1後		2		○			1						
		時系列信号処理	1前		2		○			1	1					共同
		小計（5科目）	－	0	10	0	－			3	2	0	0	0	0	－
合計（26科目）			－	7	16	25	－			3	2	1	0	0	兼48	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号		修士（情報学）	学位又は学科の分野			工学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　30単位以上（必修8単位　選択22単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基礎科目　4単位以上（選択） (4)専攻専門科目　16単位以上(選択) ①知能情報学系科目　8単位以上 ②システム情報学科目　4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること ＜システム情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　30単位以上（必修8単位　選択22単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基礎科目　4単位以上（選択） (4)専攻専門科目　16単位以上(選択) ①システム情報学科目　8単位以上 ②知能情報学系科目　4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

中百舌鳥キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後			2	○								兼1	
			Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
			化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
			大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
			小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	専攻演習科目		プログラミング演習（機械学習演習）	1前	2				○			2	1				共同
			先端ソフトウェア環境構築実践	1後	2				○			1	1				共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			0	3	2	0	0	0	－
	専攻研究指導科目		基幹情報学特別研究１	2前	2					○	8	7	2				
			基幹情報学特別研究２	2後	2					○	8	7	2				
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			8	7	2	0	0	0	－
	専攻基礎科目		基幹情報学セミナー	1後		2		○			8	2	1				オムニバス
			アルゴリズム設計論	1前		2		○			1						オムニバス
			確率統計学	1前		2		○				1					オムニバス
			テクニカルライティング・プレゼンテーション	1前		2		○								兼1	
			小計（4科目）	－	0	8	0	－			8	3	1	0	0	兼1	－
	専攻専門科目	知能情報学系科目	社会情報学	1後		2		○			1	1					オムニバス
			深層学習	1後		2		○			1	1					オムニバス
			ビッグデータ解析	1前		2		○			1	1					オムニバス
			ヒューマンコンピュータインタラクション	1後		2		○			1	1					オムニバス
			先端的計算知能	1後		2		○			2						オムニバス
			機械学習構成論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			データマイニング	1前		2		○			2						オムニバス
			言語情報学	1前		2		○			2						オムニバス
			画像情報学	1後		2		○				2					オムニバス
		システム情報学系科目	情報センシングシステム	1後		2		○				1	1				オムニバス
			ネットワークシステム設計論	1前		2		○			1						
			高性能計算論	1前		2		○			1						
			無線ネットワークシステム	1後		2		○				1	1				オムニバス
			小計（13科目）	－	0	26	0	－			8	7	1	0	0	0	－
合計（36科目）				－	9	34	25	－			8	7	2	0	0	兼49	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号		修士（情報学）	学位又は学科の分野			工学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　30単位以上（必修8単位　選択22単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基礎科目　4単位以上（選択） (4)専攻専門科目　16単位以上(選択) ①知能情報学系科目　8単位以上 ②システム情報学科目　4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること ＜システム情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　30単位以上（必修8単位　選択22単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基礎科目　4単位以上（選択） (4)専攻専門科目　16単位以上(選択) ①システム情報学科目　8単位以上 ②知能情報学系科目　4単位以上 上記2のほか、(3)(4)の科目区分より、指定した単位を含む22単位以上を修得すること	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後			2	○								兼1	
			Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
			化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
			大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
			小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	専攻演習科目		学際情報学特別演習１	1前	2				○		13	12	1				共同
			学際情報学特別演習２	1後	2				○		13	12	1				共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			13	12	1	0	0	0	－
	専攻研究指導科目		学際情報学特別研究１	2前	2					○	13	12	1				
			学際情報学特別研究２	2後	2					○	13	12	1				
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			13	12	1	0	0	0	－
	専攻基幹科目		学際情報学基礎論	1前	2			○			1						
			小計（1科目）	－	2	0	0	－			1	0	0	0	0	0	－
	専攻専門科目	情報工学系科目	情報通信システム特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			情報ネットワーク特論	1前		2		○			1						
			情報セキュリティ特論	1後		2		○			1						
			データサイエンス特論	1前		2		○					1				
			知識科学特論	1後		2		○			1	2					※演習 オムニバス
			自然言語処理特論	1前		2		○				1					
			機械学習特論	1前		2		○			1	1					共同
			画像情報処理特論	1前		2		○			1	1					
			情報基盤システム特論	1後		2		○			1						
			分散システム特論	1後		2		○			1						
			情報検索システム特論	1後		2		○			1						
		学際情報系科目	マーケティング特論	1前		2		○								兼1	
			経営情報分析特論	1前		2		○			1						
			情報経済特論	1前		2		○			1						
			ヘルスケア情報学特論	1後		2			○		1	1					共同
			生産科学特論	1後		2		○				1					
			生産システム科学特論	1後		2		○			1						
			生産管理システム特論	1前		2		○				1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	専攻専門科目	学際情報系科目	空間情報システム特論	1後		2		○				1					
			材料情報学特論	1前		2		○				1					
			認知心理学特論	1前		2		○								兼1	※演習
			小計（21科目）	－	0	42	0	－			13	10	1	0	0	兼2	－
合計（41科目）				－	11	42	25	－			13	12	1	0	0	兼50	－

学位又は称号	修士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　（必修10単位　選択20単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基幹科目　2単位（必修） (4)専攻専門科目　16単位以上（選択） ①情報工学系科目　8単位以上 ②学際情報系科目　8単位以上	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

杉本キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後			2	○								兼1	
			Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
			化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
			大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
			小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	専攻演習科目		学際情報学特別演習１	1前	2				○		3	3					共同
			学際情報学特別演習２	1後	2				○		3	3					共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			3	3	0	0	0	0	－
	専攻研究指導科目		学際情報学特別研究１	2前	2					○	3	3					
			学際情報学特別研究２	2後	2					○	3	3					
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			3	3	0	0	0	0	－
	専攻専門科目	学際情報系科目	情報基盤システム特論	1後		2		○			1						
			分散システム特論	1後		2		○			1						
			情報検索システム特論	1後		2		○			1						
		学際情報系科目	空間情報システム特論	1後		2		○				1					
			小計（4科目）	－	0	8	0	－			3	1	0	0	0	0	－
合計（23科目）				－	9	8	25	－			3	3	0	0	0	兼48	－

学位又は称号	修士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　（必修10単位　選択20単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基幹科目　2単位（必修） (4)専攻専門科目　16単位以上（選択） ①情報工学系科目　8単位以上 ②学際情報系科目　8単位以上	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

中百舌鳥キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後			2	○								兼1	
			Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
			化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
			大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
			小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	専攻演習科目		学際情報学特別演習１	1前	2				○		10	9	1				共同
			学際情報学特別演習２	1後	2				○		10	9	1				共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			10	9	1	0	0	0	－
	専攻研究指導科目		学際情報学特別研究１	2前	2					○	10	9	1				
			学際情報学特別研究２	2後	2					○	10	9	1				
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			10	9	1	0	0	0	－
	専攻基幹科目		学際情報学基礎論	1前	2			○			1						
			小計（1科目）	－	2	0	0	－			1	0	0	0	0	0	－
	専攻専門科目	情報工学系科目	情報通信システム特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			情報ネットワーク特論	1前		2		○			1						
			情報セキュリティ特論	1後		2		○			1						
			データサイエンス特論	1前		2		○					1				
			知識科学特論	1後		2		○			1	2					※演習 オムニバス
			自然言語処理特論	1前		2		○				1					
			機械学習特論	1前		2		○			1	1					共同
			画像情報処理特論	1前		2		○			1	1					
		学際情報系科目	マーケティング特論	1前		2		○								兼1	
			経営情報分析特論	1前		2		○			1						
			情報経済特論	1前		2		○			1						
			ヘルスケア情報学特論	1後		2			○		1	1					共同
			生産科学特論	1後		2		○				1					
			生産システム科学特論	1後		2		○			1						
			生産管理システム特論	1前		2		○				1					
			材料情報学特論	1前		2		○				1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	専攻専門科目	学際情報系科目	認知心理学特論	1前		2		○								兼1	※演習
			小計（17科目）	－	0	34	0	－			10	9	1	0	0	兼2	－
合計（37科目）				－	11	34	25	－			10	9	1	0	0	兼50	－

学位又は称号	修士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　（必修10単位　選択20単位以上） (1)専攻演習科目　4単位（必修） (2)専攻研究指導科目　4単位（必修） (3)専攻基幹科目　2単位（必修） (4)専攻専門科目　16単位以上（選択） ①情報工学系科目　8単位以上 ②学際情報系科目　8単位以上	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科 基幹情報学専攻 博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
			大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
			小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	研究指導科目		基幹情報学特別研究３	1前	2					○	11						
			基幹情報学特別研究４	1後	2					○	11						
			基幹情報学特別研究５	2前	2					○	11						
			基幹情報学特別研究６	2後	2					○	11						
			基幹情報学特別研究７	3前	2					○	11						
			基幹情報学特別研究８	3後	2					○	11						
			小計（6科目）	－	12	0	0	－			11	0	0	0	0	0	－
	特別演習科目	知能情報学分野	基幹情報学特別演習Ｉ－１	1前		2			○		6						共同
			基幹情報学特別演習Ｉ－２	1後		2			○		6						共同
			小計（2科目）	－	0	4	0	－			6	0	0	0	0	0	－
		システム情報学分野	基幹情報学特別演習Ｓ－１	1前		2			○		5						共同
			基幹情報学特別演習Ｓ－２	1後		2			○		5						共同
			小計（2科目）	－	0	4	0	－			5	0	0	0	0	0	－
合計（24科目）				－	13	8	17	－			11	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　16単位（必修12単位　選択4単位） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（「基幹情報学特別演習Ｉ－１」および「基幹情報学特別演習Ｉ－２」） ＜システム情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　16単位（必修12単位　選択4単位） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（「基幹情報学特別演習Ｓ－１」および「基幹情報学特別演習Ｓ－２」）	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

杉本キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科 基幹情報学専攻 博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	研究指導科目	基幹情報学特別研究３	1前	2					○	3						
		基幹情報学特別研究４	1後	2					○	3						
		基幹情報学特別研究５	2前	2					○	3						
		基幹情報学特別研究６	2後	2					○	3						
		基幹情報学特別研究７	3前	2					○	3						
		基幹情報学特別研究８	3後	2					○	3						
		小計（6科目）	－	12	0	0	－			3	0	0	0	0	0	－
	特別演習科目 システム情報学分野	基幹情報学特別演習Ｓ－１	1前		2			○		3						共同
		基幹情報学特別演習Ｓ－２	1後		2			○		3						共同
		小計（2科目）	－	0	4	0	－			3	0	0	0	0	0	－
合計（22科目）			－	13	4	17	－			3	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　16単位（必修12単位　選択4単位） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（「基幹情報学特別演習Ｉ－１」および「基幹情報学特別演習Ｉ－２」） ＜システム情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　16単位（必修12単位　選択4単位） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（「基幹情報学特別演習Ｓ－１」および「基幹情報学特別演習Ｓ－２」）	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

中百舌鳥キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科 基幹情報学専攻 博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
			大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
			小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	研究指導科目		基幹情報学特別研究３	1前	2					○	8						
			基幹情報学特別研究４	1後	2					○	8						
			基幹情報学特別研究５	2前	2					○	8						
			基幹情報学特別研究６	2後	2					○	8						
			基幹情報学特別研究７	3前	2					○	8						
			基幹情報学特別研究８	3後	2					○	8						
			小計（6科目）	－	12	0	0	－			8	0	0	0	0	0	－
	特別演習科目	知能情報学分野	基幹情報学特別演習Ｉ－１	1前		2			○		6						共同
			基幹情報学特別演習Ｉ－２	1後		2			○		6						共同
			小計（2科目）	－	0	4	0	－			6	0	0	0	0	0	－
		システム情報学分野	基幹情報学特別演習Ｓ－１	1前		2			○		2						共同
			基幹情報学特別演習Ｓ－２	1後		2			○		2						共同
			小計（2科目）	－	0	4	0	－			2	0	0	0	0	0	－
合計（24科目）				－	13	8	17	－			8	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科 基幹情報学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 　履修方法に示す1および2の履修により、17単位の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 ＜知能情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　16単位（必修12単位　選択4単位） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（「基幹情報学特別演習Ｉ－１」および「基幹情報学特別演習Ｉ－２」） ＜システム情報学分野＞ 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目　16単位（必修12単位　選択4単位） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（「基幹情報学特別演習Ｓ－１」および「基幹情報学特別演習Ｓ－２」）	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科 学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
			大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
			小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究３	1前	2					○	13						
			学際情報学特別研究４	1後	2					○	13						
			学際情報学特別研究５	2前	2					○	13						
			学際情報学特別研究６	2後	2					○	13						
			学際情報学特別研究７	3前	2					○	13						
			学際情報学特別研究８	3後	2					○	13						
			小計（6科目）	－	12	0	0	－			13	0	0	0	0	0	－
		特別演習科目	学際情報学特別演習３	1前	2				○		13						共同
			学際情報学特別演習４	1後	2				○		13						共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			13	0	0	0	0	0	－
合計（22科目）				－	17	0	17	－			13	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目 16単位（必修） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（必修）	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

杉本キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科 学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
			大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
			小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究３	1前	2					○	3						
			学際情報学特別研究４	1後	2					○	3						
			学際情報学特別研究５	2前	2					○	3						
			学際情報学特別研究６	2後	2					○	3						
			学際情報学特別研究７	3前	2					○	3						
			学際情報学特別研究８	3後	2					○	3						
			小計（6科目）	－	12	0	0	－			3	0	0	0	0	0	－
		特別演習科目	学際情報学特別演習３	1前	2				○		3						共同
			学際情報学特別演習４	1後	2				○		3						共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			3	0	0	0	0	0	－
合計（22科目）				－	17	0	17	－			3	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目 16単位（必修） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（必修）	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

中百舌鳥キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（情報学研究科 学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
			イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
			イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
			イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
			医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
			大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
			小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究３	1前	2					○	10						
			学際情報学特別研究４	1後	2					○	10						
			学際情報学特別研究５	2前	2					○	10						
			学際情報学特別研究６	2後	2					○	10						
			学際情報学特別研究７	3前	2					○	10						
			学際情報学特別研究８	3後	2					○	10						
			小計（6科目）	－	12	0	0	－			10	0	0	0	0	0	－
		特別演習科目	学際情報学特別演習３	1前	2				○		10						共同
			学際情報学特別演習４	1後	2				○		10						共同
			小計（2科目）	－	4	0	0	－			10	0	0	0	0	0	－
合計（22科目）				－	17	0	17	－			10	0	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（情報学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、17単位の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修） 2. 専門科目 16単位（必修） (1)研究指導科目 12単位（必修） (2)特別演習科目　4単位（必修）	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	数学概論A	1・2前		2		○			17	23					共同・隔年
	数学概論B	1・2前		2		○			17	23					共同・隔年
	代数学特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	代数学特論B	1・2前		2		○				1					隔年
	代数学特論C	1・2後		2		○				1					隔年
	代数学特論D	1・2後		2		○				1					隔年
	表現論特論A	1・2前		2		○				1					隔年
	表現論特論B	1・2後		2		○				1					隔年
	幾何学特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	幾何学特論B	1・2前		2		○			1						隔年
	幾何学特論C	1・2後		2		○			1						隔年
	幾何学特論D	1・2後		2		○				1					隔年
	位相幾何学特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	位相幾何学特論B	1・2後		2		○				1					隔年
	解析学特論A	1・2前		2		○				1					隔年
	解析学特論B	1・2前		2		○				1					隔年
	解析学特論C	1・2後		2		○			1						隔年
	解析学特論D	1・2後		2		○			1						隔年
	函数方程式特論A	1・2後		2		○				1					隔年
	函数方程式特論B	1・2前		2		○				1					隔年
	関数論特論	1・2前		2		○				1					隔年
	統計解析特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	統計解析特論B	1・2後		2		○				1					隔年
	統計解析特論C	1・2後		2		○				1					隔年
	差分方程式特論	1・2後		2		○			1						隔年
	数理論理学特論	1・2前		2		○				1					隔年
	金融数理特論	1・2前		2		○				1					隔年
	符号理論特論	1・2後		2		○			1						隔年
	応用数理特論	1・2後		2		○				1					隔年
	常微分方程式特論	1・2前		2		○			1						隔年

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	確率過程特論	1・2前		2		○				1					隔年
	数理科学A	1・2前		2		○			1						
	数理科学B	1・2前		2		○			1						
	数理科学C	1・2後		2		○				1					
	数理構造論特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	数理構造論特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	幾何構造論特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	幾何構造論特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	解析学特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	解析学特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	数理統計学特別講義	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	確率論特別講義	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	応用数学特別講義	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	確率統計論演習1	1通		4			○		1	3					
	確率統計論演習2	2通		4			○		1	3					
	数理構造論演習1	1通		4			○		4	3					
	数理構造論演習2	2通		4			○		4	3					
	数理解析学演習1	1通		4			○		5	5					
	数理解析学演習2	2通		4			○		5	5					
	幾何構造論演習1	1通		4			○		1	2					
	幾何構造論演習2	2通		4			○		1	2					
	海外特別研究1	1通		1			○		17	23					集中・共同
	海外特別研究2	2通		1			○		17	23					集中・共同
	数学特別研究1A	1前	3				○		17	23					共同
	数学特別研究1B	1後	3				○		17	23					共同
	数学特別研究2A	2前	3				○		17	23					共同
	数学特別研究2B	2後	3				○		17	23					共同
	小計（57科目）	－	12	120	0		－		17	23	0	0	0	兼9	－
合計（72科目）		－	13	120	25		－		17	23	0	0	0	兼57	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上（数学概論Aと数学概論Bのいずれか一方は必ず修得すること。）を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	数学概論A	1・2前		2		○			9	10					共同・隔年
	数学概論B	1・2前		2		○			9	10					共同・隔年
	代数学特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	代数学特論B	1・2前		2		○				1					隔年
	代数学特論C	1・2後		2		○				1					隔年
	代数学特論D	1・2後		2		○				1					隔年
	幾何学特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	幾何学特論B	1・2前		2		○			1						隔年
	幾何学特論C	1・2後		2		○			1						隔年
	幾何学特論D	1・2後		2		○				1					隔年
	解析学特論A	1・2前		2		○				1					隔年
	解析学特論B	1・2前		2		○				1					隔年
	解析学特論C	1・2後		2		○			1						隔年
	解析学特論D	1・2後		2		○			1						隔年
	数理科学A	1・2前		2		○			1						
	数理科学B	1・2前		2		○			1						
	数理科学C	1・2後		2		○				1					
	数理構造論特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	数理構造論特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	幾何構造論特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	幾何構造論特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	解析学特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	解析学特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	数理構造論演習1	1通		4			○		4	3					
	数理構造論演習2	2通		4			○		4	3					
	数理解析学演習1	1通		4			○		5	5					
	数理解析学演習2	2通		4			○		5	5					
	海外特別研究1	1通		1			○		9	10					集中・共同
	海外特別研究2	2通		1			○		9	10					集中・共同
	数学特別研究1A	1前	3				○		9	10					共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	数学特別研究1B	1後	3				○		9	10					共同
	数学特別研究2A	2前	3				○		9	10					共同
	数学特別研究2B	2後	3				○		9	10					共同
	小計（33科目）	－	12	64	0	－			9	10	0	0	0	兼6	－
合計（48科目）		－	13	64	25	－			9	10	0	0	0	兼54	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上（数学概論Aと数学概論Bのいずれか一方は必ず修得すること。）を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	数学概論A	1・2前		2		○			8	13					共同・隔年
	数学概論B	1・2前		2		○			8	13					共同・隔年
	表現論特論A	1・2前		2		○				1					隔年
	表現論特論B	1・2後		2		○				1					隔年
	位相幾何学特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	位相幾何学特論B	1・2後		2		○				1					隔年
	函数方程式特論A	1・2後		2		○				1					隔年
	函数方程式特論B	1・2前		2		○				1					隔年
	関数論特論	1・2前		2		○				1					隔年
	統計解析特論A	1・2前		2		○			1						隔年
	統計解析特論B	1・2後		2		○				1					隔年
	統計解析特論C	1・2後		2		○				1					隔年
	差分方程式特論	1・2後		2		○			1						隔年
	数理論理学特論	1・2前		2		○				1					隔年
	金融数理特論	1・2前		2		○				1					隔年
	符号理論特論	1・2後		2		○			1						隔年
	応用数理特論	1・2後		2		○				1					隔年
	常微分方程式特論	1・2前		2		○			1						隔年
	確率過程特論	1・2前		2		○				1					隔年
	数理構造論特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	数理構造論特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	幾何構造論特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	幾何構造論特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	解析学特別講義A	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	解析学特別講義B	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	数理統計学特別講義	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	確率論特別講義	1・2後		2		○								兼1	隔年・集中
	応用数学特別講義	1・2前		2		○								兼1	隔年・集中
	確率統計論演習1	1通		4			○		1	3					
	確率統計論演習2	2通		4			○		1	3					

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	幾何構造論演習1	1通		4			○		1	2					
	幾何構造論演習2	2通		4			○		1	2					
	海外特別研究1	1通		1			○		8	13					集中・共同
	海外特別研究2	2通		1			○		8	13					集中・共同
	数学特別研究1A	1前	3				○		8	13					共同
	数学特別研究1B	1後	3				○		8	13					共同
	数学特別研究2A	2前	3				○		8	13					共同
	数学特別研究2B	2後	3				○		8	13					共同
	小計（38科目）	－	12	74	0	－			8	13	0	0	0	兼9	－
合計（53科目）		－	13	74	25	－			8	13	0	0	0	兼57	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上（数学概論Aと数学概論Bのいずれか一方は必ず修得すること。）を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	物理学特別演習1A	1前	1				○		20	20	4				共同
	物理学特別演習1B	1後	1				○		20	20	4				共同
	物理学特別演習2A	2前	1				○		20	20	4				共同
	物理学特別演習2B	2後	1				○		20	20	4				共同
	物理学特別研究1A	1前	3					○	20	20	4				共同
	物理学特別研究1B	1後	3					○	20	20	4				共同
	物理学特別研究2A	2前	3					○	20	20	4				共同
	物理学特別研究2B	2後	3					○	20	20	4				共同
	場の量子論	1・2前		2		○			1	1					共同
	宇宙の流体力学	1・2前		2		○			1						
	相対論的重力理論1	1・2前		2		○				1					
	原子核物理学1	1・2前		2		○			1						
	高エネルギー物理学1	1・2前		2		○				1					
	宇宙線物理学A	1・2前		2		○				1					隔年
	宇宙・素粒子実験物理学A	1・2前		2		○			1						
	宇宙・素粒子実験物理学B	1・2前		2		○				1					隔年
	宇宙物理学	1・2前		2		○			1	2					ｵﾑﾆﾊﾞｽ・共同
	物性物理学1	1・2前		2		○			1						
	低温物理学	1・2前		2		○				1	1				隔年
	固体低温物性	1・2前		2		○			1						隔年
	数理物理学A	1・2前		2		○				1					
	数理物理学C	1・2前		2		○			1						
	場の量子論・弦理論1	1・2前		2		○				1					
	計算科学	1・2前		2		○			1	1					隔年
	宇宙物理学特論1	1・2前		2		○			1						
	宇宙惑星科学概論	1・2前		2		○				1					
	磁性特論1	1・2前		2		○			2	1					
	物性理論1	1・2前		2		○				1					
	光物性特論1	1・2前		2		○			1	1					
	素粒子論	1・2後		2		○			1						

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	相対論的重力理論2	1・2後		2		○			1						
	相対論的宇宙物理学	1・2後		2		○				1					
	原子核物理学2	1・2後		2		○			1						
	高エネルギー物理学2	1・2後		2		○			1						
	宇宙線物理学B	1・2後		2		○			1						隔年
	重力波実験物理学	1・2後		2		○			1	1					隔年、ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	物性物理学2	1・2後		2		○				1					
	量子統計力学A	1・2後		2		○			1		1				隔年
	量子統計力学B	1・2後		2		○			1		1				隔年
	光物性論	1・2後		2		○				2					隔年、ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	原子物理学	1・2後		2		○			1						隔年
	数理物理学B	1・2後		2		○				1					
	数理物理学D	1・2後		2		○				1					
	場の量子論・弦理論2	1・2後		2		○				1					
	宇宙物理学特論2	1・2後		2		○				1					
	構造物性特論	1・2後		2		○			1	2					オムニバス
	磁性特論2	1・2後		2		○				1					
	物性理論2	1・2後		2		○			1		1				オムニバス
	光物性特論2	1・2後		2		○				1					
	生体光物理特論	1・2後		2		○			1						
	基礎物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	基礎物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	宇宙・高エネルギー物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	宇宙・高エネルギー物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	粒子物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	粒子物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物性物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物性物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	凝縮系物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	凝縮系物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	数理物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	数理物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1C	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1D	1・2後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1E	1・2後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1F	1・2後		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究1	1・2通		1				○	20	20	4				共同、集中
	海外特別研究2	1・2通		1				○	20	20	4				共同、集中
	小計（70科目）	－	16	104	0	－			20	20	4	0	0	兼18	－
合計（85科目）		－	17	104	25	－			20	20	4	0	0	兼66	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目16単位（物理学特別研究12単位、物理学特別演習4単位）及び選択科目14単位以上を合わせて31単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	物理学特別演習1A	1前	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習1B	1後	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習2A	2前	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習2B	2後	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別研究1A	1前	3					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究1B	1後	3					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究2A	2前	3					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究2B	2後	3					○	12	10	3				共同
	場の量子論	1・2前		2		○			1	1					共同
	宇宙の流体力学	1・2前		2		○			1						
	相対論的重力理論1	1・2前		2		○				1					
	原子核物理学1	1・2前		2		○			1						
	高エネルギー物理学1	1・2前		2		○				1					
	宇宙線物理学A	1・2前		2		○				1					隔年
	宇宙・素粒子実験物理学A	1・2前		2		○			1						
	宇宙・素粒子実験物理学B	1・2前		2		○				1					隔年
	宇宙物理学	1・2前		2		○			1	2					ｵﾑﾆﾊﾞｽ・共同
	物性物理学1	1・2前		2		○			1						
	低温物理学	1・2前		2		○				1	1				隔年
	固体低温物性	1・2前		2		○			1						隔年
	数理物理学A	1・2前		2		○				1					
	場の量子論・弦理論1	1・2前		2		○				1					
	計算科学	1・2前		2		○			1	1					隔年
	素粒子論	1・2後		2		○			1						
	相対論的重力理論2	1・2後		2		○			1						
	相対論的宇宙物理学	1・2後		2		○				1					
	原子核物理学2	1・2後		2		○			1						
	高エネルギー物理学2	1・2後		2		○			1						
	宇宙線物理学B	1・2後		2		○			1						隔年
	重力波実験物理学	1・2後		2		○			1	1					隔年、ｵﾑﾆﾊﾞｽ

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	物性物理学2	1・2後		2		○				1					
	量子統計力学A	1・2後		2		○			1		1				隔年
	量子統計力学B	1・2後		2		○			1		1				隔年
	光物性論	1・2後		2		○				2					隔年、ｵﾑﾆﾊﾞｽ
	原子物理学	1・2後		2		○			1						隔年
	数理物理学B	1・2後		2		○				1					
	場の量子論・弦理論2	1・2後		2		○				1					
	基礎物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	基礎物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	宇宙・高エネルギー物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	宇宙・高エネルギー物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	粒子物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	粒子物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物性物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物性物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	凝縮系物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	凝縮系物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	数理物理学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	数理物理学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究1	1・2通		1				○	12	10	3				共同、集中
	海外特別研究2	1・2通		1				○	12	10	3				共同、集中
	小計（51科目）	－	16	72	0	－			12	10	3	0	0	兼12	－
合計（66科目）		－	17	72	25	－			12	10	3	0	0	兼60	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目16単位（物理学特別研究12単位、物理学特別演習4単位）及び選択科目14単位以上を合わせて31単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	物理学特別演習1A	1前	1				○		8	10	1				共同
	物理学特別演習1B	1後	1				○		8	10	1				共同
	物理学特別演習2A	2前	1				○		8	10	1				共同
	物理学特別演習2B	2後	1				○		8	10	1				共同
	物理学特別研究1A	1前	3					○	8	10	1				共同
	物理学特別研究1B	1後	3					○	8	10	1				共同
	物理学特別研究2A	2前	3					○	8	10	1				共同
	物理学特別研究2B	2後	3					○	8	10	1				共同
	数理物理学C	1・2前		2		○			1						
	宇宙物理学特論1	1・2前		2		○			1						
	宇宙惑星科学概論	1・2前		2		○				1					
	磁性特論1	1・2前		2		○			2	1					
	物性理論1	1・2前		2		○				1					
	光物性特論1	1・2前		2		○			1	1					
	数理物理学D	1・2後		2		○				1					
	宇宙物理学特論2	1・2後		2		○				1					
	構造物性特論	1・2後		2		○			1	2					オムニバス
	磁性特論2	1・2後		2		○				1					
	物性理論2	1・2後		2		○			1		1				オムニバス
	光物性特論2	1・2後		2		○				1					
	生体光物理特論	1・2後		2		○			1						
	物理学特別講義1A	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1B	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1C	1・2前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1D	1・2後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義1E	1・2後		1		○								兼1	隔年、集中

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	物理学特別講義1F	1・2後		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究1	1・2通		1				○	8	10	1				共同、集中
	海外特別研究2	1・2通		1				○	8	10	1				共同、集中
	小計（29科目）	－	16	34	0	－			8	10	1	0	0	兼6	－
合計（44科目）		－	17	34	25	－			8	10	1	0	0	兼54	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目16単位（物理学特別研究12単位、物理学特別演習4単位）及び選択科目14単位以上を合わせて31単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 化学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後		1		○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	1	24	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	研究企画ゼミナール	1前	1				○		21	12	12				共同
	化学特別研究1A	1前	3					○	21	12	12				共同
	化学特別研究1B	1後	3					○	21	12	12				共同
	化学特別研究2A	2前	3					○	21	12	12				共同
	化学特別研究2B	2後	3					○	21	12	12				共同
	化学特別演習1A	1前	2				○		14	11	12				共同
	化学特別演習1B	1後	2				○		14	11	12				共同
	化学特別演習2A	2前	2				○		14	11	12				共同
	化学特別演習2B	2後	2				○		14	11	12				共同
	量子化学特論A	1前		2		○			1						
	量子化学特論B	1前		2		○			1	2	1				オムニバス
	物理化学特論A	1後		2		○			1	1					オムニバス
	物理化学特論B	1後		2		○			3	1					オムニバス
	無機化学特論A	1前		2		○			1	2					オムニバス
	無機化学特論B	1前		2		○			2	2	2				ｵﾑﾆﾊﾞｽ・共同
	有機金属化学特論	1後		2		○			6	2					オムニバス・ 共同(一部)
	有機化学特論	1前		2		○			4	3					ｵﾑﾆﾊﾞｽ・共同
	機能分子化学特論A	1後		2		○					3				オムニバス
	機能分子化学特論B	1後		2		○			2	1					オムニバス
	化学特別講義A	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義B	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義C	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義D	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義E	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義F	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義G	1通		1		○								兼1	隔年・集中

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 化学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	化学特別講義H	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	海外特別研究1	1通			1			○	21	12	12				共同
	海外特別研究2	2通			1			○	21	12	12				共同
	小計（29科目）	－	21	28	2	－			21	12	12	0	0	兼8	－
合計（44科目）		－	22	29	26	－			21	12	12	0	0	兼56	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目21単位及び選択科目10単位を含む合計32単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、化学特論は12単位中6単位以上、化学特別講義は8単位中2単位以上を履修すること。大学院共通教育科目の選択科目「化学産業論」1単位を修了単位に含めても良い。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 化学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後		1		○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	1	24	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	研究企画ゼミナール	1前	1				○		15	8	8				共同
	化学特別研究1A	1前	3					○	15	8	8				共同
	化学特別研究1B	1後	3					○	15	8	8				共同
	化学特別研究2A	2前	3					○	15	8	8				共同
	化学特別研究2B	2後	3					○	15	8	8				共同
	化学特別演習1A	1前	2				○		11	7	8				共同
	化学特別演習1B	1後	2				○		11	7	8				共同
	化学特別演習2A	2前	2				○		11	7	8				共同
	化学特別演習2B	2後	2				○		11	7	8				共同
	量子化学特論B	1前		2		○			1	2	1				オムニバス
	物理化学特論B	1後		2		○			3	1					オムニバス
	無機化学特論B	1前		2		○			2	2	2				ｵﾑﾆﾊﾞｽ・共同
	有機金属化学特論	1後		2		○			4						オムニバス・ 共同(一部)
	有機化学特論	1前		2		○			2	2					ｵﾑﾆﾊﾞｽ・共同
	機能分子化学特論B	1後		2		○			2	1					オムニバス
	化学特別講義C	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義D	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義G	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義H	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	海外特別研究1	1通			1			○	15	8	8				共同
	海外特別研究2	2通			1			○	15	8	8				共同
	小計（21科目）	－	21	16	2	－			15	8	8	0	0	兼4	－
合計（36科目）		－	22	17	26	－			15	8	8	0	0	兼52	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 化学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目21単位及び選択科目10単位を含む合計32単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、化学特論は12単位中6単位以上、化学特別講義は8単位中2単位以上を履修すること。大学院共通教育科目の選択科目「化学産業論」1単位を修了単位に含めても良い。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 化学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後		1		○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	1	24	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	研究企画ゼミナール	1前	1				○		6	4	4				共同
	化学特別研究1A	1前	3					○	6	4	4				共同
	化学特別研究1B	1後	3					○	6	4	4				共同
	化学特別研究2A	2前	3					○	6	4	4				共同
	化学特別研究2B	2後	3					○	6	4	4				共同
	化学特別演習1A	1前	2				○		3	4	4				共同
	化学特別演習1B	1後	2				○		3	4	4				共同
	化学特別演習2A	2前	2				○		3	4	4				共同
	化学特別演習2B	2後	2				○		3	4	4				共同
	量子化学特論A	1前		2		○			1						
	物理化学特論A	1後		2		○			1	1					オムニバス
	無機化学特論A	1前		2		○			1	2					オムニバス
	有機金属化学特論	1後		2		○			2	2					オムニバス・ 共同(一部)
	有機化学特論	1前		2		○			2	1					ｵﾑﾆﾊﾞｽ・共同
	機能分子化学特論A	1後		2		○					3				オムニバス
	化学特別講義A	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義B	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義E	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	化学特別講義F	1通		1		○								兼1	隔年・集中
	海外特別研究1	1通			1			○	6	4	4				共同
	海外特別研究2	2通			1			○	6	4	4				共同
	小計（21科目）	－	21	16	2	－			6	4	4	0	0	兼4	－
合計（36科目）		－	22	17	26	－			6	4	4	0	0	兼52	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 化学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目21単位及び選択科目10単位を含む合計32単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、化学特論は12単位中6単位以上、化学特別講義は8単位中2単位以上を履修すること。大学院共通教育科目の選択科目「化学産業論」1単位を修了単位に含めても良い。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	機能解析生物学特論A	1・2前		2		○			1						
	機能解析生物学特論B	1・2後		2		○				1					
	機能解析生物学特論C	1・2前		2		○			1	1					
	機能解析生物学特論D	1・2後		2		○			1	1					
	機能解析生物学特論E	1・2前		2		○			1						
	機能解析生物学特論F	1・2後		2		○			1						
	機能解析生物学特論G	1・2後		2		○			1						
	機能解析生物学特論H	1・2前		2		○				1					
	機能解析生物学演習1A	1前		2			○		4	4		1			共同
	機能解析生物学演習1B	1後		2			○		4	4		1			共同
	機能解析生物学演習2A	2前		2			○		4	4		1			共同
	機能解析生物学演習2B	2後		2			○		4	4		1			共同
	機能解析生物学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	機能解析生物学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	生体機能生物学特論A	1・2前		2		○			1						
	生体機能生物学特論B	1・2後		2		○			1						
	生体機能生物学特論C	1・2前		2		○				1					
	生体機能生物学特論D	1・2後		2		○			1						
	生体機能生物学特論E	1・2前		2		○			1						
	生体機能生物学特論F	1・2後		2		○				1					
	生体機能生物学演習1A	1前		2			○		4	2	1	1			共同
	生体機能生物学演習1B	1後		2			○		4	2	1	1			共同
	生体機能生物学演習2A	2前		2			○		4	2	1	1			共同
	生体機能生物学演習2B	2後		2			○		4	2	1	1			共同
	生体機能生物学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	生体機能生物学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	自然誌機能生物学特論A	1・2前		2		○			1						
	自然誌機能生物学特論B	1・2後		2		○			1						
	自然誌機能生物学特論C	1・2前		2		○				1					
	自然誌機能生物学特論D	1・2前		2		○			1						

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	自然誌機能生物学特論E	1・2後		2		○				1					
	自然誌機能生物学特論F	1・2前		2		○			1						
	自然誌機能生物学特論G	1・2後		2		○				1					
	自然誌機能生物学特論H	1・2前		2		○			1						隔年、集中
	自然誌機能生物学特論I	1・2後		2		○				1					隔年、集中
	自然誌機能生物学特論J	1・2後		2		○				1					
	自然誌機能生物学演習1A	1前		2			○		4	6		1			共同
	自然誌機能生物学演習1B	1後		2			○		4	6		1			共同
	自然誌機能生物学演習2A	2前		2			○		4	6		1			共同
	自然誌機能生物学演習2B	2後		2			○		4	6		1			共同
	自然誌機能生物学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	自然誌機能生物学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究1	1通			1			○	12	12	1	3			共同・集中
	海外特別研究2	2通			1			○	12	12	1	3			共同・集中
	生物学特別研究1A	1前	3					○	12	12	1	3			共同
	生物学特別研究1B	1後	3					○	12	12	1	3			共同
	生物学特別研究2A	2前	3					○	12	12	1	3			共同
	生物学特別研究2B	2後	3					○	12	12	1	3			共同
	小計（48科目）	－	12	78	2	－			13	12	1	3	0	兼6	－
合計（63科目）		－	13	78	27	－			13	12	1	3	0	兼54	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、生物学演習は24単位中8単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	機能解析生物学特論A	1・2前		2		○			1						
	機能解析生物学特論B	1・2後		2		○				1					
	機能解析生物学特論C	1・2前		2		○			1	1					
	機能解析生物学特論D	1・2後		2		○			1	1					
	機能解析生物学特論E	1・2前		2		○			1						
	機能解析生物学特論F	1・2後		2		○			1						
	機能解析生物学演習1A	1前		2			○		3	3					共同
	機能解析生物学演習1B	1後		2			○		3	3					共同
	機能解析生物学演習2A	2前		2			○		3	3					共同
	機能解析生物学演習2B	2後		2			○		3	3					共同
	機能解析生物学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	機能解析生物学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	生体機能生物学特論A	1・2前		2		○			1						
	生体機能生物学特論B	1・2後		2		○			1						
	生体機能生物学特論C	1・2前		2		○				1					
	生体機能生物学特論D	1・2後		2		○			1						
	生体機能生物学特論E	1・2前		2		○			1						
	生体機能生物学演習1A	1前		2			○		4	1	1	1			共同
	生体機能生物学演習1B	1後		2			○		4	1	1	1			共同
	生体機能生物学演習2A	2前		2			○		4	1	1	1			共同
	生体機能生物学演習2B	2後		2			○		4	1	1	1			共同
	生体機能生物学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	生体機能生物学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	自然誌機能生物学特論A	1・2前		2		○			1						
	自然誌機能生物学特論B	1・2後		2		○			1						
	自然誌機能生物学特論D	1・2前		2		○			1						
	自然誌機能生物学特論E	1・2後		2		○				1					
	自然誌機能生物学特論F	1・2前		2		○			1						
	自然誌機能生物学特論G	1・2後		2		○				1					
	自然誌機能生物学特論H	1・2前		2		○			1						隔年、集中

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	自然誌機能生物学特論I	1・2後		2		○				1					隔年、集中
	自然誌機能生物学演習1A	1前		2			○		4	4					共同
	自然誌機能生物学演習1B	1後		2			○		4	4					共同
	自然誌機能生物学演習2A	2前		2			○		4	4					共同
	自然誌機能生物学演習2B	2後		2			○		4	4					共同
	自然誌機能生物学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	自然誌機能生物学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究1	1通			1			○	11	8	1	1			共同・集中
	海外特別研究2	2通			1			○	11	8	1	1			共同・集中
	生物学特別研究1A	1前	3					○	11	8	1	1			共同
	生物学特別研究1B	1後	3					○	11	8	1	1			共同
	生物学特別研究2A	2前	3					○	11	8	1	1			共同
	生物学特別研究2B	2後	3					○	11	8	1	1			共同
	小計（43科目）	－	12	68	2	－			12	8	1	1	0	兼6	－
合計（58科目）		－	13	68	27	－			12	8	1	1	0	兼54	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、生物学演習は24単位中8単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	機能解析生物学特論G	1・2後		2		○			1						
	機能解析生物学特論H	1・2前		2		○				1					
	機能解析生物学演習1A	1前		2			○		1	1		1			共同
	機能解析生物学演習1B	1後		2			○		1	1		1			共同
	機能解析生物学演習2A	2前		2			○		1	1		1			共同
	機能解析生物学演習2B	2後		2			○		1	1		1			共同
	生体機能生物学特論F	1・2後		2		○				1					
	生体機能生物学演習1A	1前		2			○			1					共同
	生体機能生物学演習1B	1後		2			○			1					共同
	生体機能生物学演習2A	2前		2			○			1					共同
	生体機能生物学演習2B	2後		2			○			1					共同
	生体機能生物学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	生体機能生物学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	自然誌機能生物学特論C	1・2前		2		○				1					
	自然誌機能生物学特論J	1・2後		2		○				1					
	自然誌機能生物学演習1A	1前		2			○			2		1			共同
	自然誌機能生物学演習1B	1後		2			○			2		1			共同
	自然誌機能生物学演習2A	2前		2			○			2		1			共同
	自然誌機能生物学演習2B	2後		2			○			2		1			共同
	海外特別研究1	1通			1			○	1	4		2			共同・集中
	海外特別研究2	2通			1			○	1	4		2			共同・集中
	生物学特別研究1A	1前	3					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究1B	1後	3					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究2A	2前	3					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究2B	2後	3					○	1	4		2			共同
	小計（25科目）	－	12	36	2	－			1	4	0	2	0	兼2	－
合計（40科目）		－	13	36	27	－			1	4	0	2	0	兼50	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、生物学演習は24単位中8単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	地球学特別研究1A	1前	3				○		8	8					共同
	地球学特別研究1B	1後	3				○		8	8					共同
	地球学特別研究2A	2前	3				○		8	8					共同
	地球学特別研究2B	2後	3				○		8	8					共同
	地球環境学特別演習1A	1前		2			○		5	4					共同
	地球環境学特別演習1B	1後		2			○		5	4					共同
	地球環境学特別演習2A	2前		2			○		5	4					共同
	地球環境学特別演習2B	2後		2			○		5	4					共同
	地球進化学特別演習1A	1前		2			○		3	4					共同
	地球進化学特別演習1B	1後		2			○		3	4					共同
	地球進化学特別演習2A	2前		2			○		3	4					共同
	地球進化学特別演習2B	2後		2			○		3	4					共同
	第四紀自然学特論A	1・2前		2		○			1						
	第四紀自然学特論B	1・2前		2		○				1					
	地球物理学特論A	1・2前		2		○			1						
	地球物理学特論B	1・2前		2		○				1					
	地球情報学特論A	1・2後		2		○			1						
	地球情報学特論B	1・2後		2		○				1					
	自然災害科学特論A	1・2後		2		○			1						
	自然災害科学特論B	1・2後		2		○			1						
	自然災害科学特論C	1・2後		2		○				1					
	地球物質学特論A	1・2前		2		○			1						
	地球物質学特論B	1・2前		2		○				1					
	岩石学特論A	1・2後		2		○			1						
	岩石学特論B	1・2後		2		○				1					
	地球史学特論A	1・2前		2		○			1						
	地球史学特論B	1・2前		2		○				1					
	地球科学特論	1・2前		2		○				1					
	地球環境学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	地球環境学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	地球進化学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	地球進化学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究1	1・2通			1		○		8	8					共同、集中
	海外特別研究2	1・2通			1		○		8	8					共同、集中
	小計（34科目）	－	12	52	2	－			8	8	0	0	0	兼4	－
合計（49科目）		－	13	52	27	－			8	8	0	0	0	兼52	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、特別演習は16単位中8単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・ オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	地球学特別研究1A	1前	3				○		6	6					共同
	地球学特別研究1B	1後	3				○		6	6					共同
	地球学特別研究2A	2前	3				○		6	6					共同
	地球学特別研究2B	2後	3				○		6	6					共同
	地球環境学特別演習1A	1前		2			○		3	3					共同
	地球環境学特別演習1B	1後		2			○		3	3					共同
	地球環境学特別演習2A	2前		2			○		3	3					共同
	地球環境学特別演習2B	2後		2			○		3	3					共同
	地球進化学特別演習1A	1前		2			○		3	4					共同
	地球進化学特別演習1B	1後		2			○		3	4					共同
	地球進化学特別演習2A	2前		2			○		3	4					共同
	地球進化学特別演習2B	2後		2			○		3	4					共同
	第四紀自然学特論A	1・2前		2		○			1						
	第四紀自然学特論B	1・2前		2		○				1					
	地球物理学特論A	1・2前		2		○			1						
	地球物理学特論B	1・2前		2		○				1					
	地球情報学特論A	1・2後		2		○			1						
	地球情報学特論B	1・2後		2		○				1					
	地球物質学特論A	1・2前		2		○			1						
	地球物質学特論B	1・2前		2		○				1					
	岩石学特論A	1・2後		2		○			1						
	岩石学特論B	1・2後		2		○				1					
	地球史学特論A	1・2前		2		○			1						
	地球史学特論B	1・2前		2		○				1					
	地球環境学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	地球環境学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	地球進化学特別講義A	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	地球進化学特別講義B	1・2通		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究1	1・2通			1		○		6	6					共同、集中
	海外特別研究2	1・2通			1		○		6	6					共同、集中
	小計（30科目）	－	12	44	2	－			6	7	0	0	0	兼4	－
合計（45科目）		－	13	44	27	－			6	7	0	0	0	兼52	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、特別演習は16単位中8単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	地球学特別研究1A	1前	3				○		2	2					共同
	地球学特別研究1B	1後	3				○		2	2					共同
	地球学特別研究2A	2前	3				○		2	2					共同
	地球学特別研究2B	2後	3				○		2	2					共同
	地球環境学特別演習1A	1前		2			○		2	1					共同
	地球環境学特別演習1B	1後		2			○		2	1					共同
	地球環境学特別演習2A	2前		2			○		2	1					共同
	地球環境学特別演習2B	2後		2			○		2	1					共同
	自然災害科学特論A	1・2後		2		○			1						
	自然災害科学特論B	1・2後		2		○			1						
	自然災害科学特論C	1・2後		2		○				1					
	地球科学特論	1・2前		2		○				1					
	海外特別研究1	1・2通			1		○		2	2					共同、集中
	海外特別研究2	1・2通			1		○		2	2					共同、集中
	小計（14科目）	－	12	16	2	－			2	2	0	0	0	0	－
合計（29科目）		－	13	16	27	－			2	2	0	0	0	兼48	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目18単位を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、特別演習は16単位中8単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物化学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同(一部)・オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	研究企画ゼミナール1	1～2通	2				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習1A	1前	2				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習1B	1後	2				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習2A	2前	2				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習2B	2後	2				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究1A	1前	3					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究1B	1後	3					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究2A	2前	3					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究2B	2後	3					○	7	4	1	1			共同
	計算生物化学特論	1前		2		○			1						
	ケミカルバイオロジー特論	1前		2		○			1		1				
	構造生物学特論	1前		2		○			1	1					
	病態生物化学特論	1前		2		○			2						
	環境ストレス生物学特論	1前		2		○			1			1			
	細胞生物化学特論	1前		2		○			1	1					
	生物工学特論	1前		2		○			1	1					
	植物生理化学特論	1前		2		○				1					
	生物化学特別講義A	1・2前		1		○								兼1	集中、隔年
	生物化学特別講義B	1・2前		1		○								兼1	集中、隔年
	生物化学特別講義C	1・2前		1		○								兼1	集中、隔年
	生物化学特別講義D	1・2前		1		○								兼1	集中、隔年
	海外特別研究1	1通		1				○	7	4	1	1			共同、集中
	小計（22科目）	－	22	21	0	－			7	4	1	1	0	兼4	－
合計（37科目）		－	23	21	25	－			7	4	1	1	0	兼52	－

学位又は称号	修士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正A」1単位、専門科目より必修科目22単位及び選択科目8単位を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	数理構造論ゼミナールA	1・2・3通		2			○		3	2					
	数理構造論ゼミナールB	1・2・3通		2			○		1	2					
	幾何構造論ゼミナールA	1・2・3通		2			○		3	2					
	幾何構造論ゼミナールB	1・2・3通		2			○		1	2					
	数理解析学ゼミナールA	1・2・3通		2			○		3	4					
	数理解析学ゼミナールB	1・2・3通		2			○		3	4					
	確率統計ゼミナール	1・2・3通		2			○		1	3					
	海外特別研究3	1・2・3通	1				○		17	23					集中・共同
	海外特別研究4	1・2・3通		1			○		17	23					集中・共同
	海外特別研究5	1・2・3通		1			○		17	23					集中・共同
	数学特別研究3A	1前	3				○		17	23					共同
	数学特別研究3B	1後	3				○		17	23					共同
	数学特別研究4A	2前	3				○		17	23					共同
	数学特別研究4B	2後	3				○		17	23					共同
	数学特別研究5A	3前	3				○		17	23					共同
	数学特別研究5B	3後	3				○		17	23					共同
	小計（16科目）	－	19	16	0	－			17	23	0	0	0	0	－
合計（30科目）		－	20	16	17	－			17	23	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目19単位及び選択科目1単位を含む合計21単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	数理構造論ゼミナールA	1・2・3通		2			○		3	2					
	幾何構造論ゼミナールA	1・2・3通		2			○		3	2					
	数理解析学ゼミナールA	1・2・3通		2			○		3	4					
	海外特別研究3	1・2・3通	1				○		9	10					集中・共同
	海外特別研究4	1・2・3通		1			○		9	10					集中・共同
	海外特別研究5	1・2・3通		1			○		9	10					集中・共同
	数学特別研究3A	1前	3				○		9	10					共同
	数学特別研究3B	1後	3				○		9	10					共同
	数学特別研究4A	2前	3				○		9	10					共同
	数学特別研究4B	2後	3				○		9	10					共同
	数学特別研究5A	3前	3				○		9	10					共同
	数学特別研究5B	3後	3				○		9	10					共同
	小計（12科目）	－	19	8	0	－			9	10	0	0	0	0	－
合計（26科目）		－	20	8	17	－			9	10	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目19単位及び選択科目1単位を含む合計21単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 数学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	数理構造論ゼミナールB	1・2・3通		2			○		1	2					
	幾何構造論ゼミナールB	1・2・3通		2			○		1	2					
	数理解析学ゼミナールB	1・2・3通		2			○		3	4					
	確率統計ゼミナール	1・2・3通		2			○		1	3					
	海外特別研究3	1・2・3通	1				○		8	13					集中・共同
	海外特別研究4	1・2・3通		1			○		8	13					集中・共同
	海外特別研究5	1・2・3通		1			○		8	13					集中・共同
	数学特別研究3A	1前	3				○		8	13					共同
	数学特別研究3B	1後	3				○		8	13					共同
	数学特別研究4A	2前	3				○		8	13					共同
	数学特別研究4B	2後	3				○		8	13					共同
	数学特別研究5A	3前	3				○		8	13					共同
	数学特別研究5B	3後	3				○		8	13					共同
	小計（13科目）	－	19	10	0	－			8	13	0	0	0	0	－
合計（27科目）		－	20	10	17	－			8	13	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目19単位及び選択科目1単位を含む合計21単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	物理学特別演習3A	1前	1				○		19	20	4				共同
	物理学特別演習3B	1後	1				○		19	20	4				共同
	物理学特別演習4A	2前	1				○		19	20	4				共同
	物理学特別演習4B	2後	1				○		19	20	4				共同
	物理学特別演習5A	3前	1				○		19	20	4				共同
	物理学特別演習5B	3後	1				○		19	20	4				共同
	物理学特別研究3A	1前	2					○	19	20	4				共同
	物理学特別研究3B	1後	2					○	19	20	4				共同
	物理学特別研究4A	2前	2					○	19	20	4				共同
	物理学特別研究4B	2後	2					○	19	20	4				共同
	物理学特別研究5A	3前	2					○	19	20	4				共同
	物理学特別研究5B	3後	2					○	19	20	4				共同
	物理学特別講義2A	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2B	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2C	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2D	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2E	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2F	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究3	1・2・3通		1				○	19	20	4				共同、集中
	海外特別研究4	1・2・3通		1				○	19	20	4				共同、集中
	海外特別研究5	1・2・3通		1				○	19	20	4				共同、集中
	小計（21科目）	－	18	9	0	－			19	20	4	0	0	兼6	－
合計（35科目）		－	19	9	17	－			19	20	4	0	0	兼40	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目18単位（物理学特別研究12単位、物理学特別演習6単位）及び選択科目2単位以上を合わせて21単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	物理学特別演習3A	1前	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習3B	1後	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習4A	2前	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習4B	2後	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習5A	3前	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別演習5B	3後	1				○		12	10	3				共同
	物理学特別研究3A	1前	2					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究3B	1後	2					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究4A	2前	2					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究4B	2後	2					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究5A	3前	2					○	12	10	3				共同
	物理学特別研究5B	3後	2					○	12	10	3				共同
	物理学特別講義2A	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2B	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2C	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2D	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2E	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2F	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究3	1・2・3通		1				○	12	10	3				共同、集中
	海外特別研究4	1・2・3通		1				○	12	10	3				共同、集中
	海外特別研究5	1・2・3通		1				○	12	10	3				共同、集中
	小計（21科目）	－	18	9	0	－			12	10	3	0	0	兼6	－
合計（35科目）		－	19	9	17	－			12	10	3	0	0	兼40	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目18単位（物理学特別研究12単位、物理学特別演習6単位）及び選択科目2単位以上を合わせて21単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 物理学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	物理学特別演習3A	1前	1				○		7	10	1				共同
	物理学特別演習3B	1後	1				○		7	10	1				共同
	物理学特別演習4A	2前	1				○		7	10	1				共同
	物理学特別演習4B	2後	1				○		7	10	1				共同
	物理学特別演習5A	3前	1				○		7	10	1				共同
	物理学特別演習5B	3後	1				○		7	10	1				共同
	物理学特別研究3A	1前	2					○	7	10	1				共同
	物理学特別研究3B	1後	2					○	7	10	1				共同
	物理学特別研究4A	2前	2					○	7	10	1				共同
	物理学特別研究4B	2後	2					○	7	10	1				共同
	物理学特別研究5A	3前	2					○	7	10	1				共同
	物理学特別研究5B	3後	2					○	7	10	1				共同
	物理学特別講義2A	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2B	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2C	1・2・3前		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2D	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2E	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	物理学特別講義2F	1・2・3後		1		○								兼1	隔年、集中
	海外特別研究3	1・2・3通		1				○	7	10	1				共同、集中
	海外特別研究4	1・2・3通		1				○	7	10	1				共同、集中
	海外特別研究5	1・2・3通		1				○	7	10	1				共同、集中
	小計（21科目）	－	18	9	0	－			7	10	1	0	0	兼6	－
合計（35科目）		－	19	9	17	－			7	10	1	0	0	兼40	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目18単位（物理学特別研究12単位、物理学特別演習6単位）及び選択科目2単位以上を合わせて21単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 化学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	プロポーザルディフェンス	1通	1				○		21	12	11				共同
	化学特別研究3A	1前	1					○	21	12	11				共同
	化学特別研究3B	1後	1					○	21	12	11				共同
	化学特別研究4A	2前	1					○	21	12	11				共同
	化学特別研究4B	2後	1					○	21	12	11				共同
	化学特別研究5A	3前	1					○	21	12	11				共同
	化学特別研究5B	3後	1					○	21	12	11				共同
	化学特別演習3A	1前	1				○		21	12	11				共同
	化学特別演習3B	1後	1				○		21	12	11				共同
	化学特別演習4A	2前	1				○		21	12	11				共同
	化学特別演習4B	2後	1				○		21	12	11				共同
	化学特別演習5A	3前	1				○		21	12	11				共同
	化学特別演習5B	3後	1				○		21	12	11				共同
	海外特別研究3	1通			1			○	21	12	11				共同
	海外特別研究4	2通			1			○	21	12	11				共同
	海外特別研究5	3通			1			○	21	12	11				共同
	小計（16科目）	－	13	0	3	－			21	12	11	0	0	0	－
合計（30科目）		－	14	0	20	－			21	12	11	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目13単位を含む合計14単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	機能解析生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○			3	3		1			共同・集中
	生体機能生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○			4	1	1				共同・集中
	自然誌機能生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○			4	6		1			共同・集中
	機能解析生物学特別演習	1・2・3通		1			○		4	3		1			共同
	生体機能生物学特別演習	1・2・3通		1			○		4	2	1				共同
	自然誌機能生物学特別演習	1・2・3通		1			○		4	6		1			共同
	海外特別研究3	1通			1			○	12	11	1	2			共同・集中
	海外特別研究4	2通			1			○	12	11	1	2			共同・集中
	海外特別研究5	3通			1			○	12	11	1	2			共同・集中
	生物学特別研究3A	1前	2					○	12	11	1	2			共同
	生物学特別研究3B	1後	2					○	12	11	1	2			共同
	生物学特別研究4A	2前	2					○	12	11	1	2			共同
	生物学特別研究4B	2後	2					○	12	11	1	2			共同
	生物学特別研究5A	3前	2					○	12	11	1	2			共同
	生物学特別研究5B	3後	2					○	12	11	1	2			共同
	小計（15科目）	－	12	6	3	－			12	11	1	2	0	0	－
合計（29科目）		－	13	6	20	－			12	11	1	2	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目2単位を含む合計15単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、生物学ゼミナールは3単位中1単位、生物学特別演習は3単位中1単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	機能解析生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○			3	2					共同・集中
	生体機能生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○			4	1	1				共同・集中
	自然誌機能生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○			4	4					共同・集中
	機能解析生物学特別演習	1・2・3通		1			○		3	2					共同
	生体機能生物学特別演習	1・2・3通		1			○		4	1	1				共同
	自然誌機能生物学特別演習	1・2・3通		1			○		4	4					共同
	海外特別研究3	1通			1			○	11	7	1				共同・集中
	海外特別研究4	2通			1			○	11	7	1				共同・集中
	海外特別研究5	3通			1			○	11	7	1				共同・集中
	生物学特別研究3A	1前	2					○	11	7	1				共同
	生物学特別研究3B	1後	2					○	11	7	1				共同
	生物学特別研究4A	2前	2					○	11	7	1				共同
	生物学特別研究4B	2後	2					○	11	7	1				共同
	生物学特別研究5A	3前	2					○	11	7	1				共同
	生物学特別研究5B	3後	2					○	11	7	1				共同
	小計（15科目）	－	12	6	3	－			11	7	1	0	0	0	－
合計（29科目）		－	13	6	20	－			11	7	1	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目2単位を含む合計15単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、生物学ゼミナールは3単位中1単位、生物学特別演習は3単位中1単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	機能解析生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○				1		1			共同・集中
	自然誌機能生物学ゼミナール	1・2・3通		1		○				2		1			共同・集中
	機能解析生物学特別演習	1・2・3通		1			○		1	1		1			共同
	生体機能生物学特別演習	1・2・3通		1			○			1					共同
	自然誌機能生物学特別演習	1・2・3通		1			○			2		1			共同
	海外特別研究3	1通			1			○	1	4		2			共同・集中
	海外特別研究4	2通			1			○	1	4		2			共同・集中
	海外特別研究5	3通			1			○	1	4		2			共同・集中
	生物学特別研究3A	1前	2					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究3B	1後	2					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究4A	2前	2					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究4B	2後	2					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究5A	3前	2					○	1	4		2			共同
	生物学特別研究5B	3後	2					○	1	4		2			共同
	小計（14科目）	－	12	5	3	－			1	4	0	2	0	0	－
合計（28科目）		－	13	5	20	－			1	4	0	2	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目12単位及び選択科目2単位を含む合計15単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、生物学ゼミナールは3単位中1単位、生物学特別演習は3単位中1単位を履修すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	地球学特別研究3A	1前	2				○		7	7					共同
	地球学特別研究3B	1後	2				○		7	7					共同
	地球学特別研究4A	2前	1				○		7	7					共同
	地球学特別研究4B	2後	1				○		7	7					共同
	地球学特別研究5A	3前	1				○		7	7					共同
	地球学特別研究5B	3後	1				○		7	7					共同
	地球環境学ゼミナールA	1・2・3前		1			○		4	3					共同
	地球環境学ゼミナールB	1・2・3後		1			○		4	3					共同
	地球進化学ゼミナールA	1・2・3前		1			○		3	4					共同
	地球進化学ゼミナールB	1・2・3後		1			○		3	4					共同
	海外特別研究3	1・2・3通			1		○		7	7					共同、集中
	海外特別研究4	1・2・3通			1		○		7	7					共同、集中
	海外特別研究5	1・2・3通			1		○		7	7					共同、集中
	小計（13科目）	－	8	4	3	－			7	7	0	0	0	0	－
合計（27科目）		－	9	4	20	－			7	7	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目8単位及び選択科目2単位を含む合計11単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	地球学特別研究3A	1前	2				○		5	6					共同
	地球学特別研究3B	1後	2				○		5	6					共同
	地球学特別研究4A	2前	1				○		5	6					共同
	地球学特別研究4B	2後	1				○		5	6					共同
	地球学特別研究5A	3前	1				○		5	6					共同
	地球学特別研究5B	3後	1				○		5	6					共同
	地球環境学ゼミナールA	1・2・3前		1			○		2	3					共同
	地球環境学ゼミナールB	1・2・3後		1			○		2	3					共同
	地球進化学ゼミナールA	1・2・3前		1			○		3	4					共同
	地球進化学ゼミナールB	1・2・3後		1			○		3	4					共同
	海外特別研究3	1・2・3通			1		○		5	6					共同、集中
	海外特別研究4	1・2・3通			1		○		5	6					共同、集中
	海外特別研究5	1・2・3通			1		○		5	6					共同、集中
	小計（13科目）	－	8	4	3	－			5	7	0	0	0	0	－
合計（27科目）		－	9	4	20	－			5	7	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目8単位及び選択科目2単位を含む合計11単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 地球学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	地球学特別研究3A	1前	2				○		2	1					共同
	地球学特別研究3B	1後	2				○		2	1					共同
	地球学特別研究4A	2前	1				○		2	1					共同
	地球学特別研究4B	2後	1				○		2	1					共同
	地球学特別研究5A	3前	1				○		2	1					共同
	地球学特別研究5B	3後	1				○		2	1					共同
	地球環境学ゼミナールA	1・2・3前		1			○		2						共同
	地球環境学ゼミナールB	1・2・3後		1			○		2						共同
	海外特別研究3	1・2・3通			1		○		2	1					共同、集中
	海外特別研究4	1・2・3通			1		○		2	1					共同、集中
	海外特別研究5	1・2・3通			1		○		2	1					共同、集中
	小計（11科目）	－	8	2	3	－			2	1	0	0	0	0	－
合計（25科目）		－	9	2	20	－			2	1	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目8単位及び選択科目2単位を含む合計11単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（理学研究科 生物化学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	研究企画ゼミナール2	1～3通	1				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習3A	1前	1				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習3B	1後	1				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習4A	2前	1				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習4B	2後	1				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習5A	3前	1				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別演習5B	3後	1				○		7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究3A	1前	2					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究3B	1後	2					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究4A	2前	2					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究4B	2後	2					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究5A	3前	2					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別研究5B	3後	2					○	7	4	1	1			共同
	生物化学特別講義E	1・2・3前		1		○								兼1	集中、隔年
	生物化学特別講義F	1・2・3前		1		○								兼1	集中、隔年
	生物化学特別講義G	1・2・3前		1		○								兼1	集中、隔年
	生物化学特別講義H	1・2・3前		1		○								兼1	集中、隔年
	海外特別研究2	1通		1				○	7	4	1	1			共同、集中
	小計（18科目）	－	19	5	0	－			7	4	1	1	0	兼4	－
合計（32科目）		－	20	5	17	－			7	4	1	1	0	兼38	－

学位又は称号	博士（理学）	学位又は学科の分野	理学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目より「研究公正B」1単位、専門科目より必修科目19単位及び選択科目1単位を含む合計21単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	A群	航空宇宙海洋系特別演習第1	1前	2				○		11	6	3	4			
		航空宇宙海洋系特別演習第2	1後	2				○		11	6	3	4			
		航空宇宙海洋系特別研究第1	2前	2				○		11	6	3	4			
		航空宇宙海洋系特別研究第2	2後	2				○		11	6	3	4			
		小計（4科目）		8	0	0	－			11	6	3	4	0	0	－
	航空宇宙工学分野B群	気体力学特論	1・2後		2		○				1					
		航空宇宙流体力学特論	1・2前		2		○			1					兼1	
		航空宇宙構造工学特論	1・2前		2		○			1						隔年
		軽量構造工学特論	1・2前		2		○			1						隔年
		航空推進工学特論	1・2前		2		○					1				
		宇宙推進工学特論	1・2後		2		○			1						
		航空宇宙システム工学特論	1・2後		2		○			1						
		航空宇宙制御工学特論	1・2前		2		○			1						
		航法測位通信システム工学特論	1・2前		2		○			1						
		宇宙環境利用工学特論	1・2後		2		○				1					
		宇宙機工学特論	1・2後		2		○					1				
		衛星システム設計学特論	1・2前		2		○			1					兼3	オムニバス、隔年
		航空宇宙工学学外実習	1・2通		2				○	1						
		航空宇宙工学特論	1・2後		2		○			6	2	2	2			ｵﾑﾆﾊﾞｽ、共同(一部)
		弾性力学特論	1・2前		2		○								兼1	
		機械材料強度学	1・2後		2		○								兼2	
		数値応用力学特論	1・2後		2		○								兼1	

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	航空宇宙工学分野B群	機械計測工学特論	1・2前		2		○								兼1	
		システム制御学特論1	1・2前		2		○								兼1	
		システム制御学特論2	1・2後		2		○								兼1	
		内燃機関工学	1・2前		2		○								兼2	
		流体力学特論	1・2前		2		○								兼2	
		環境工学特論2	1・2後		2		○								兼1	
		小計（23科目）	－	0	46	0	－			6	2	2	2	0	兼14	－
	海洋システム工学分野B群	船舶流体力学特論	1・2前		2		○			1						
		浮体運動学特論	1・2前		2		○				1	1				
		海洋輸送工学特論	1・2後		2		○			1						
		海洋環境工学特論1	1・2前		2		○			1						
		海洋環境工学特論2	1・2後		2		○			1						
		海洋システム計画学特論	1・2後		2		○			1						
		海洋システム情報工学特論	1・2後		2		○				1					
		船舶海洋構造工学特論1	1・2前		2		○				1					
		船舶海洋構造工学特論2	1・2後		2		○				1					
		海洋資源エネルギー工学特論	1・2前		2		○			1						
		海洋システム工学特別学外実習	1・2通		1				○		1					
		海洋システム工学特論	1・2前		2		○			5						オムニバス
		小計（12科目）	－	0	23	0	－			5	4	1	2	0	0	－
	小計（39 科目）		－	8	69	0	－			11	6	3	4	0	兼14	－
合計（54科目）			－	9	69	25				11	6	3	4	0	兼62	

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】　計31単位以上 大学院共通教育科目「研究公正A」(必修科目)1単位、A群科目8単位(必修科目)、各分野のB群科目16単位以上、これらと(2)の修得単位数の合計31単位以上を修得し、かつ修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 (注) (1) (3)の科目を除き、他の分野、専攻の博士前期課程B群科目及び共通科目の中から選択履修することができる。 (2) B群科目については、他の分野、専攻に所属する者も履修することができる。ただし、「海洋システム工学特別学外実習」および「航空宇宙工学特別学外実習」は当該分野の学生だけが受講できる。 (3) 修了に必要な、共通教育科目およびA群科目を除く残り22単位のうち、各分野のB群の前期開講科目・後期開講科目からそれぞれ8単位以上を修得すること。なお「航空宇宙工学特別学外実習」は通年開講科目で、その単位は前期開講科目、後期開講科目の単位には含まれないことに注意すること。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 機械系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専攻共通科目	機械系特別演習第1	1前	2				○		16	14	6				共同
	機械系特別演習第2	1後	2				○		16	14	6				共同
	機械系特別研究第1	2前	2				○		16	14	6				共同
	機械系特別研究第2	2後	2				○		16	14	6				共同
	小計（ 4科目）	－	8	0	0	－			16	14	6	0	0	0	－
専攻専門科目	応用伝熱学特論	1前		2		○			1		1				
	エネルギー変換工学特論	1前		2		○				1					
	内燃機関工学	1前		2		○			1		1				
	流体力学特論	1前		2		○			1		1				オムニバス
	数値流体力学特論	1前		2		○				2					
	エネルギーシステム工学特論	1前		2		○				1					
	環境工学特論1	1前		2		○				1					
	環境保全工学特論1	1前		2		○			1	1					
	材料力学特論	1前		2		○			1						
	弾性力学特論	1前		2		○			1						
	バイオ工学特論	1前		2		○			1						
	機械計測工学特論	1前		2		○			1						
	システム制御学特論1	1前		2		○					1				
	メカトロニクス特論	1前		2		○			1						
	機械力学特論1	1前		2		○			1	1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 機械系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専攻専門科目	量子物性工学特論	1前		2		○			1						
	バイオ金属材料学	1前		2		○				1					
	結晶強度塑性論	1前		2		○			1						
	現代解析学	1前		2		○			1						
	熱エネルギー工学	1後		2		○			1	1					
	燃焼現象	1後		2		○			1						
	流体工学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
	エネルギーシステム計画学特論	1後		2		○				1					
	環境工学特論2	1後		2		○				1					
	環境保全工学特論2	1後		2		○			1						
	機械材料強度学	1後		2		○				2					
	弾塑性力学	1後		2		○				1					
	数値応用力学特論	1後		2		○			1						
	波動論	1後		2		○			1						
	精密工学特論	1後		2		○			1		1				
	システム制御学特論2	1後		2		○					1				
	動力システム工学特論	1後		2		○				1					
	機械力学特論2	1後		2		○			1		1				
	先進複合材料工学	1後		2		○				1					
	材料物性学特論	1後		2		○			1						
	小計（35科目）	－	0	70	0	－			16	14	6	0	0	0	－
合計（54科目）		－	9	70	25	－			16	14	6	0	0	兼48	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」（1 単位）、専攻共通科目の必修科目8単位、専攻専門科目の選択科目22単位以上を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 機械系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専攻共通科目	機械系特別演習第1	1前	2				○		7	6	2				共同
	機械系特別演習第2	1後	2				○		7	6	2				共同
	機械系特別研究第1	2前	2				○		7	6	2				共同
	機械系特別研究第2	2後	2				○		7	6	2				共同
	小計（ 4科目）	－	8	0	0	－			7	6	2	0	0	0	－
専攻専門科目	応用伝熱学特論	1前		2		○			1		1				
	数値流体力学特論	1前		2		○				2					
	メカトロニクス特論	1前		2		○			1						
	量子物性工学特論	1前		2		○			1						
	バイオ金属材料学	1前		2		○				1					
	結晶強度塑性論	1前		2		○			1						
	現代解析学	1前		2		○			1						
	弾塑性力学	1後		2		○				1					
	波動論	1後		2		○			1						
	動力システム工学特論	1後		2		○				1					
	機械力学特論2	1後		2		○					1				
	先進複合材料工学	1後		2		○				1					
	材料物性学特論	1後		2		○			1						
	小計（13科目）	－	0	26	0	－			7	6	2	0	0	0	－
合計（32科目）		－	9	26	25	－			7	6	2	0	0	兼48	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」（1 単位）、専攻共通科目の必修科目8単位、専攻専門科目の選択科目22単位以上を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 機械系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専攻共通科目	機械系特別演習第1	1前	2				○		9	8	4				共同
	機械系特別演習第2	1後	2				○		9	8	4				共同
	機械系特別研究第1	2前	2				○		9	8	4				共同
	機械系特別研究第2	2後	2				○		9	8	4				共同
	小計（ 4科目）	－	8	0	0	－			9	8	4	0	0	0	－
専攻専門科目	エネルギー変換工学特論	1前		2		○				1					
	内燃機関工学	1前		2		○			1		1				
	流体力学特論	1前		2		○			1		1				オムニバス
	エネルギーシステム工学特論	1前		2		○				1					
	環境工学特論1	1前		2		○				1					
	環境保全工学特論1	1前		2		○			1	1					
	材料力学特論	1前		2		○			1						
	弾性力学特論	1前		2		○			1						
	バイオ工学特論	1前		2		○			1						
	機械計測工学特論	1前		2		○			1						
	システム制御学特論1	1前		2		○					1				
	機械力学特論1	1前		2		○			1	1					
	熱エネルギー工学	1後		2		○			1	1					
	燃焼現象	1後		2		○			1						
	流体工学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
	エネルギーシステム計画学特論	1後		2		○				1					
	環境工学特論2	1後		2		○				1					
	環境保全工学特論2	1後		2		○			1						
	機械材料強度学	1後		2		○				2					
	数値応用力学特論	1後		2		○			1						
	精密工学特論	1後		2		○			1		1				
	システム制御学特論2	1後		2		○					1				
	機械力学特論2	1後		2		○			1						
	小計（23科目）	－	0	46	0	－			9	8	4	0	0	0	－
合計（42科目）		－	9	46	25	－			9	8	4	0	0	兼48	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 機械系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」（1 単位）、専攻共通科目の必修科目8単位、専攻専門科目の選択科目22単位以上を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 都市系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後		2		○								兼1	
		Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通		2			○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通		1			○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前		2			○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後		2			○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後		2		○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後		2		○								兼2	
		化学産業論	1前・後		1		○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後		2			○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後		2		○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通		1			○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	25	0	―			0	0	0	0	0	兼48	―
講義科目	計画系科目	建築計画特論	1･2前		2		○			1		1				
		建築デザイン特論	1･2前		2		○			1						
		都市・建築史	1･2前		2		○				1					
		都市計画特論	1･2前		2		○			1						
		都市デザイン特論	1･2後		2		○				1					
		生態環境都市論	1･2後		2		○				1				兼1	共同
		都市基盤計画特論	1･2後		2		○				1					
		交通計画特論	1･2前		2		○			1						
		システムビルディング論	1･2後		2		○				1				兼4	共同
		建築情報処理特論	1･2前		2		○					1				
		空間情報学特論	1･2後		2		○				1					
		小計（11科目）	―	0	22	0	―			4	5	2	0	0	兼5	―
	環境系科目	視聴覚環境論	1･2前		2		○			1						
		熱湿気環境論	1･2後		2		○				1					
		都市エネルギー工学特論	1･2後		2		○			1						
		地域環境工学特論	1･2前		2		○			1						
		水処理工学特論	1･2後		2		○			1						
		水圏生態系工学特論	1･2前		2		○			1						
		都市資源リサイクル工学特論	1･2前		2		○				1					
		沿岸環境工学特論	1･2後		2		○				1					
		小計（8科目）	―	0	16	0	―			5	3	0	0	0	0	―
	構造系科目	空間構造学	1･2前		2		○			1						
		鋼構造学特論	1･2前		2		○			1						
		コンクリート構造学特論	1･2前		2		○				1					
		複合構造学	1･2後		2		○			1						集中
		最適設計・耐震設計論	1･2後		2		○			1					兼1	共同
		地盤工学特論	1･2前		2		○				1					
		風工学特論	1･2前		2		○			1						
		流体環境・水防災工学特論	1･2前		2		○			1	1					
		地盤防災工学特論	1･2後		2		○				1					
		建築構造材料特論	1･2後		2		○				1					
		小計（10科目）	―	0	20	0	―			5	4	0	0	0	兼1	―
特別演習科目		建築設計特別演習1	1･2前		2			○		1						
		建築設計特別演習2	1･2後		2			○		1						
		建築構法特別演習	1･2前		2			○			1					
		建築史特別演習	1･2後		2			○			1					
		都市計画特別演習	1･2後		2			○		1					兼2	共同
		都市デザイン特別演習	1･2前		2			○			1					
		都市基盤計画特別演習	1･2後		2			○		1						
		交通計画特別演習	1･2前		2			○			1					
		建築図形科学特別演習	1･2後		2			○				1				
		空間情報学特別演習	1･2後		2			○			1					
		建築環境工学特別演習1	1･2後		2			○		1						
		建築環境工学特別演習2	1･2前		2			○			1					
		都市エネルギー工学特別演習	1･2後		2			○		1						

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 都市系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
特別演習科目	地域環境工学特別演習	1･2後		2			○		1						
	沿岸環境工学特別演習	1･2前		2			○			1					
	都市リサイクル工学特別演習1	1･2前		2			○		1						
	都市リサイクル工学特別演習2	1･2後		2			○			1					
	社会・生態システム論特別演習	1･2後		2			○		1						
	河海環境構造工学特別演習	1･2後		2			○		1	1					共同
	建築構造学特別演習1	1･2前		2			○		1						
	建築構造学特別演習2	1･2後		2			○			1					
	建築構造学特別演習3	1･2後		2			○		1						
	橋梁工学特別演習1	1･2前		2			○		1						
	橋梁工学特別演習2	1･2後		2			○		1						
	構造工学特別演習1	1･2後		2			○			1					
	構造工学特別演習2	1･2後		2			○		1						集中
	地盤工学特別演習1	1･2後		2			○			1					
	地盤工学特別演習2	1･2前		2			○			1					
	風工学特別演習	1･2後		2			○		1						
	小計（29科目）	－	0	58	0	－			14	12	1	0	0	兼2	－
建築士実務経験対応科目	建築構造実験特別演習	1･2前		2			○		1		1				集中
	建築構造設計特別演習	1･2後			2		○			1					集中
	建築プログラム特別演習	1･2前		2			○				1			兼1	共同、集中
	建築工事監理実習特別演習	1･2後		2				○			1			兼1	共同、集中
	建築士インターンシップ1（意匠）	1･2前			5			○	1						集中
	建築士インターンシップ1（構造）	1･2前			5			○	2						共同、集中
	建築士インターンシップ1（設備）	1･2前			2			○	1						集中
	建築士インターンシップ2（意匠）	1･2後			5			○			1				集中
	建築士インターンシップ2（設備）	1･2前			3			○	1						集中
	建築士インターンシップ3（意匠）	2前			5			○	1						集中
	建築士インターンシップ3（設備）	1･2前			5			○	1						集中
	建築士インターンシップ4（設備）	2前			5			○	1						集中
	小計（12科目）	－	0	6	37	－			5	2	2	0	0	兼2	－
特別研究科目	都市系特別研究第1	2前	4				○		14	12	2				共同
	都市系特別研究第2	2後	4				○		14	12	2				共同
	小計（2科目）	－	8	0	0	－			14	12	2	0	0	0	－
合計（87科目）		－	9	147	37	－			14	12	3	0	0	兼58	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
１）研究公正A（1単位）、指導教員の提供する講義科目1科目（2単位）及び都市系特別研究（8単位）を必修とする。 ２）計画系、環境系及び構造系の各講義科目群のうち2つ以上の科目群からそれぞれ1科目以上（各2単位、計4単位以上）を選択必修とする。 ３）他専攻講義科目・大学院共通教育科目の中から、合計4単位を上限として課程修了単位に含めることができる。 ４）課程修了には、講義科目7科目（14単位）以上、講義科目以外の科目（都市系特別研究を除く）8単位以上、研究公正Aを含めて、合計31単位以上の修得を必要とする。 ５）修士（工学）の学位を取得するためには、上記の課程修了要件に加えて、工学研究科履修規定に従い、修士論文、又は所定の試験について条件を満たす必要がある。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電子物理系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後		2		○								兼1	
		Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前		2			○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後		2			○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後		2		○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	14	11	―			0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	A群科目 電子物性コース	電子物理系特別演習第1（電子物性）	1前	2				○		10	16		4			共同
		電子物理系特別演習第2（電子物性）	1後	2				○		10	16		4			共同
		電子物理系特別研究第1（電子物性）	2前	2					○	10	16		4			共同
		電子物理系特別研究第2（電子物性）	2後	2					○	10	16		4			共同
		小計（4科目）	―	8	0	0	―			10	16	0	4	0	0	―
	B群科目 電子物性コース	電子物性特別講義	1後		2		○								兼1	集中
		電磁気物性特論	1前		2		○				1					
		低温物性特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
		フレキシブルデバイス特論	1前		2		○			1						
		半導体エレクトロニクス特論	1後		2		○			1						
		ナノエレクトロニクス特論	1前		2		○			1						
		半導体プロセス特論	1後		2		○			1						
		機能デバイス物性特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
		有機光物理特論	1前		2		○				1					
		レーザー工学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
		電子セラミックス特論	1前		2		○				1					
		電子・イオンビーム工学特論	1後		2		○				1					
		フォトニクス特論A	1前		2		○				1					
		スピントロニクス特論	1後		2		○			1						
		非線形動力学特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
		応用動力学特論	1後		2		○				1					
		量子場の理論	1前		2		○				1					
		量子力学特論A	1前		2		○			1						
		固体電子論特論	1前		2		○				1					
		光物性特論	1後		2		○			1						
		凝縮系物性学特論	1前		2		○			1						
		非平衡系の動力学特論	1後		2		○			1						
		小計（22科目）	―	0	44	0	―			10	11	0	0	0	兼1	―

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電子物理系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	電子材料コースA群科目	電子物理系特別演習第1（電子材料）	1前	2				○		6	7	2	1			共同
		電子物理系特別演習第2（電子材料）	1後	2				○		6	7	2	1			共同
		電子物理系特別研究第1（電子材料）	2前	2					○	6	7	2	1			共同
		電子物理系特別研究第2（電子材料）	2後	2					○	6	7	2	1			共同
		特別演習（電子材料1）	1前・後	2				○			3					オムニバス
		特別演習（電子材料2）	1前・後	2				○		6	7	2	1			共同
		小計（6科目）	－	12	0	0	－			6	7	2	1	0	0	－
	電子材料コースB群科目	表面・真空工学特論	1前・後		2		○				2					オムニバス
		波動物理工学特論	1前・後		2		○					1				
		ナノマテリアル工学特論	1前・後		2		○			1						
		パワーエレクトロニクス技術特論	1前・後		2		○			1						
		スマートエネルギー特論	1前・後		2		○			1						
		検出器物理工学特論	1前・後		2		○				1					
		光物性工学特論	1前・後		2		○				1					
		量子力学特論B	1前・後		2		○			1						
		半導体材料学特論	1前・後		2		○				1					
		数理工学特論	1前・後		2		○				1					
		プラズマプロセス工学特論	1前・後		2		○			1						
		プラズマメディシン特論	1前・後		2		○			1						
		応用数理特論	1前・後		2		○				1				兼1	
		物質応用特論	1前・後		2		○			1					兼1	
		光計測学特論	1前・後		2		○			1					兼1	
		電子応用特論	1前・後		2		○			1					兼1	
		小計（16科目）	－	0	32	0	－			6	6	1	0	0	兼4	－
	小計（48科目）		－	20	76	0	－			16	23	2	5	0	兼5	－
合計（63科目）			－	21	90	11	－			16	23	2	5	0	兼53	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」（1単位），所属コースのA群科目（電子物性コース：8単位、電子材料コース12単位），所属コースのB群科目12単位以上を修得し，これらと※の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。※他のコース，専攻の博士前期課程B群科目および大学院共通教育科目の中から選択履修することができる．大学院共通教育科目の選択科目は4単位まで修了単位として認める。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電子物理系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後		2		○								兼1	
		Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前		2			○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後		2			○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後		2		○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	14	11	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	電子材料コースA群科目	電子物理系特別演習第1（電子材料）	1前	2				○		6	7	2	1			共同
		電子物理系特別演習第2（電子材料）	1後	2				○		6	7	2	1			共同
		電子物理系特別研究第1（電子材料）	2前	2					○	6	7	2	1			共同
		電子物理系特別研究第2（電子材料）	2後	2					○	6	7	2	1			共同
		特別演習（電子材料1）	1前・後	2				○			3					オムニバス
		特別演習（電子材料2）	1前・後	2				○		6	7	2	1			共同
		小計（6科目）	－	12	0	0	－			6	7	2	1	0	0	－
	電子材料コースB群科目	表面・真空工学特論	1前・後		2		○				2					オムニバス
		波動物理工学特論	1前・後		2		○					1				
		ナノマテリアル工学特論	1前・後		2		○			1						
		パワーエレクトロニクス技術特論	1前・後		2		○			1						
		スマートエネルギー特論	1前・後		2		○			1						
		検出器物理工学特論	1前・後		2		○				1					
		光物性工学特論	1前・後		2		○				1					
		量子力学特論B	1前・後		2		○			1						
		半導体材料学特論	1前・後		2		○				1					
		数理工学特論	1前・後		2		○				1					
		プラズマプロセス工学特論	1前・後		2		○			1						
		プラズマメディシン特論	1前・後		2		○			1						
		応用数理特論	1前・後		2		○				1				兼1	
		物質応用特論	1前・後		2		○			1					兼1	
		光計測学特論	1前・後		2		○			1					兼1	
		電子応用特論	1前・後		2		○			1					兼1	
		小計（16科目）	－	0	32	0	－			6	6	1	0	0	兼4	－
	小計（22科目）		－	12	32	0	－			6	7	2	1	0	兼4	－
合計（37科目）			－	13	46	11	－			6	7	2	1	0	兼52	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電子物理系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」（1単位），所属コースのA群科目（電子物性コース：8単位、電子材料コース12単位），所属コースのB群科目12単位以上を修得し，これらと※の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。※他のコース，専攻の博士前期課程B群科目および大学院共通教育科目の中から選択履修することができる．大学院共通教育科目の選択科目は4単位まで修了単位として認める。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電子物理系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後		2		○								兼1	
		Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前		2			○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後		2			○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後		2		○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	14	11	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	電子物性コースA群科目	電子物理系特別演習第1（電子物性）	1前	2				○		10	16		4			共同
		電子物理系特別演習第2（電子物性）	1後	2				○		10	16		4			共同
		電子物理系特別研究第1（電子物性）	2前	2					○	10	16		4			共同
		電子物理系特別研究第2（電子物性）	2後	2					○	10	16		4			共同
		小計（4科目）	－	8	0	0	－			10	16	0	4	0	0	－
	電子物性コースB群科目	電子物性特別講義	1後		2		○								兼1	集中
		電磁気物性特論	1前		2		○				1					
		低温物性特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
		フレキシブルデバイス特論	1前		2		○			1						
		半導体エレクトロニクス特論	1後		2		○			1						
		ナノエレクトロニクス特論	1前		2		○			1						
		半導体プロセス特論	1後		2		○			1						
		機能デバイス物性特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
		有機光物理特論	1前		2		○				1					
		レーザー工学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
		電子セラミックス特論	1前		2		○				1					
		電子・イオンビーム工学特論	1後		2		○				1					
		フォトニクス特論A	1前		2		○				1					
		スピントロニクス特論	1後		2		○			1						
		非線形動力学特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
		応用動力学特論	1後		2		○				1					
		量子場の理論	1前		2		○				1					
		量子力学特論A	1前		2		○			1						
		固体電子論特論	1前		2		○				1					
		光物性特論	1後		2		○			1						
		凝縮系物性学特論	1前		2		○			1						
		非平衡系の動力学特論	1後		2		○			1						
		小計（22科目）	－	0	44	0	－			10	11	0	0	0	兼1	－
	小計（26科目）		－	8	44	0	－			10	16	0	4	0	兼1	－
合計（41科目）			－	9	58	11	－			10	16	0	4	0	兼49	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電子物理系専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」（1単位），所属コースのA群科目（電子物性コース：8単位、電子材料コース12単位），所属コースのB群科目12単位以上を修得し，これらと※の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。※他のコース，専攻の博士前期課程B群科目および大学院共通教育科目の中から選択履修することができる．大学院共通教育科目の選択科目は4単位まで修了単位として認める。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電気電子系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後		2		○								兼1	
		Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	6	19	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	A群科目	電気電子系特別演習第1	1前	2				○		9	10	3	2			
		電気電子系特別演習第2	1後	2				○		9	10	3	2			
		電気電子系特別研究第1	2前	2				○		9	10	3	2			
		電気電子系特別研究第2	2後	2				○		9	10	3	2			
		小計（ 4 科目）	－	8	0	0	－			9	10	3	2	0	0	－
	B群科目	パワーエレクトロニクス特論	1前		2		○				1					
		電磁エネルギー変換工学特論	1後		2		○			1						
		電力システム解析特論	1後		2		○			1						
		電力システム制御特論	1前		2		○					1				
		電気システム制御工学特論	1後		2		○				1					
		非線形システム解析特論	1前		2		○			1						
		数理計画法特論	1後		2		○			1						
		システム統計解析特論	1前		2		○				1					
		情報通信システム特論	1後		2		○			1						
		通信ネットワーク特論	1前		2		○				1					
		光波電子工学特論	1前		2		○				1					
		電磁波工学特論	1後		2		○			1						
		ディジタル通信特論	1前		2		○			1						
		モバイル通信特論	1後		2		○			1						
		ディジタル信号処理特論	1前		2		○			1						隔年
		画像工学特論	1前		2		○			1						
		フォトニクス特論B	1前		2		○				1					
		ロボット工学特論	1後		2		○			1						
		通信方式特論	1後		2		○				1					
		スマートセンシング工学特論	1後		2		○				1					
		小計（20科目）	－	0	40	0	－			9	8	1	0	0	0	－
合計（ 39 科目）			－	9	46	19	－			9	10	3	2	0	兼48	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、本専攻の専門科目からA群科目 8単位、B群科目 16単位以上を修得し、これらと※の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 ※他の分野、専攻の博士前期課程B群科目および大学院共通教育科目の選択科目の中から選択履修することができる。ただし、大学院共通教育科目の選択科目については、修了に必要な単位数に含めることができるのは4単位までとする。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電気電子系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後		2		○								兼1	
		Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	6	19	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	A群科目	電気電子系特別演習第1	1前	2				○		2	3	1				
		電気電子系特別演習第2	1後	2				○		2	3	1				
		電気電子系特別研究第1	2前	2				○		2	3	1				
		電気電子系特別研究第2	2後	2				○		2	3	1				
		小計（ 4 科目）	－	8	0	0	－			2	3	1	0	0	0	－
	B群科目	画像工学特論	1前		2		○			1						
		フォトニクス特論B	1前		2		○				1					
		ロボット工学特論	1後		2		○			1						
		通信方式特論	1後		2		○				1					
		スマートセンシング工学特論	1後		2		○				1					
		小計（ 5 科目）	－	0	10	0	－			2	3	0	0	0	0	－
合計（ 24 科目）			－	9	16	19	－			2	3	1	0	0	兼48	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、本専攻の専門科目からA群科目 8単位、B群科目 16単位以上を修得し、これらと※の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 ※他の分野、専攻の博士前期課程B群科目および大学院共通教育科目の選択科目の中から選択履修することができる。ただし、大学院共通教育科目の選択科目については、修了に必要な単位数に含めることができるのは4単位までとする。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電気電子系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後		2		○								兼1	
		Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	6	19	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	A群科目	電気電子系特別演習第1	1前	2				○		7	7	2	2			
		電気電子系特別演習第2	1後	2				○		7	7	2	2			
		電気電子系特別研究第1	2前	2				○		7	7	2	2			
		電気電子系特別研究第2	2後	2				○		7	7	2	2			
		小計（ 4 科目）	－	8	0	0	－			7	7	2	2	0	0	－
	B群科目	パワーエレクトロニクス特論	1前		2		○				1					
		電磁エネルギー変換工学特論	1後		2		○			1						
		電力システム解析特論	1後		2		○			1						
		電力システム制御特論	1前		2		○					1				
		電気システム制御工学特論	1後		2		○				1					
		非線形システム解析特論	1前		2		○			1						
		数理計画法特論	1後		2		○			1						
		システム統計解析特論	1前		2		○				1					
		情報通信システム特論	1後		2		○			1						
		通信ネットワーク特論	1前		2		○				1					
		光波電子工学特論	1前		2		○				1					
		電磁波工学特論	1後		2		○			1						
		ディジタル通信特論	1前		2		○			1						
		モバイル通信特論	1後		2		○			1						
		ディジタル信号処理特論	1前		2		○			1						隔年
		小計（ 15 科目）	－	0	30	0	－			7	5	1	0	0	0	－
合計（ 34 科目）			－	9	36	19	－			7	7	2	2	0	兼48	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、本専攻の専門科目からA群科目 8単位、B群科目 16単位以上を修得し、これらと※の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 ※他の分野、専攻の博士前期課程B群科目および大学院共通教育科目の選択科目の中から選択履修することができる。ただし、大学院共通教育科目の選択科目については、修了に必要な単位数に含めることができるのは4単位までとする。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	専任教員等の配置	備考
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	0	25		―		0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	A群科目	物質化学生命系特別演習第1	1前	2				○		34	33	4	10		兼1	共同
		物質化学生命系特別演習第2	1後	2				○		34	33	4	10		兼1	共同
		物質化学生命系特別研究第1	2前	2					○	34	33	4	10		兼1	共同
		物質化学生命系特別研究第2	2後	2					○	34	33	4	10		兼1	共同
		小計（4科目）	共同	8	0	0		―		34	33	4	10	0	兼1	―
	応用化学分野B群科目	分析化学特論	1･2前		2		○			1	2					オムニバス
		無機材料化学特論	1･2後		2		○			1	2					オムニバス
		反応物理化学特論	1･2後		2		○			1	2					オムニバス
		電気化学特論	1･2後		2		○			1	2					オムニバス
		環境化学特論	1･2前		2		○				1					
		物性有機化学特論	1･2前		2		○			1	1					オムニバス
		高分子合成化学特論	1･2前		2		○			1	1					オムニバス
		有機機能化学特論	1･2後		2		○			1	1					オムニバス
		有機合成化学特論	1･2前		2		○				1				兼1	オムニバス
		生体高分子化学特論	1･2後		2		○			1	1					オムニバス
		分子認識化学特論	1･2前		2		○			1						
		ナノ・バイオ化学特論	1･2後		2		○				2					オムニバス
		応用化学特論1	1･2前		2		○								兼1	集中
		応用化学特論2	1･2後		2		○			2						オムニバス　集中
		応用化学特論3	1･2後		2		○			9	3	1			兼1	オムニバス
		小計（15科目）	―	0	30	0		―		9	16	1	0	0	兼2	―
	化学工学分野B群科目	粉体工学特論	1･2前		2		○			1	1					
		反応工学特論	1･2前		2		○			1						
		化学工学流体力学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		プロセスシステム工学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		分離工学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		材料プロセス工学特論	1･2後		2		○			1	1	1				共同
		化学工学特論1	1･2前		2		○								兼1	
		化学工学特論2	1･2後		2		○								兼3	共同
		資源工学特論	1･2後		2		○				2					共同
		熱・物質移動特論	1･2後		2		○			2						共同
		環境エネルギープロセス工学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		化学工学・プロセス工学特論1	1･2後		2		○				1	1				
		化学工学・プロセス工学特論2	1･2後		2		○				1					
		化学工学特別学外実習	1･2通		2				○	3						
		小計（14科目）	―	0	28	0		―		6	6	1	0	0	兼4	―

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	マテリアル工学分野B群科目	結晶物理学特論	1･2後		2		○			1	1					
		材料プロセス学特論	1･2前		2		○			1	1					
		高温材料学特論	1･2後		2		○			2						
		プロセス反応学特論	1･2前		2		○			1						
		材料組織制御学特論	1･2後		2		○			1	1					
		機能性材料学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		材料強度学特論	1･2後		2		○			2						
		結晶構造評価特論	1･2後		2		○			1	1					
		材料環境物性学特論	1･2前		2		○			1	1					
		ナノ材料科学特論	1･2前		2		○			1						
		計算材料科学特論	1･2後		2		○				1					
		固体化学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		マテリアル工学特論	1･2後		2		○			2	4					共同
		マテリアル工学特別学外実習	1･2通		2				○	4						共同
		小計（14科目）	－	0	28	0	－			7	6	0	0	0	0	－
	化学バイオ工学分野B群科目	機器分析学特論	1･2前		2		○			1						
		無機エネルギー材料特論	1･2後		2		○			1						
		固体電気化学特論	1･2前		2		○				1					
		光有機材料化学特論	1･2後		2		○			1						
		高分子物性特論	1･2後		2		○			1						
		高分子材料合成特論	1･2前		2		○			1						
		分子変換化学特論	1･2前		2		○				1					
		レーザー化学・分離工学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		超分子化学特論	1･2前		2		○			1						
		細胞利用工学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		遺伝子工学・蛋白質工学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		機能分子工学特論	1･2後		2		○			1						
		創薬生命工学特論	1･2前		2		○			1						
		先端材料設計学特論	1･2後		2		○			1						共同
		酵素工学特論	1･2後		2		○								兼1	集中
		化学バイオ工学特論1	1･2前		2		○								兼2	オムニバス　集中
		化学バイオ工学特論2	1･2後		2		○								兼2	オムニバス　集中
		小計（17科目）	－	0	34	0	－			12	5	0	0	0	兼5	－
合計（79科目）			－	9	120	25	－			34	33	4	10	0	兼59	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計31単位以上 大学院共通教育科目「研究公正Ａ」（必修科目）1単位、A群科目（必修科目）8単位、各分野B群科目（選択科目）から12単位以上を修得し、これらと他分野あるいは他専攻の博士前期課程B群科目の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	A群科目	物質化学生命系特別演習第1	1前	2				○		12	5	2				共同
		物質化学生命系特別演習第2	1後	2				○		12	5	2				共同
		物質化学生命系特別研究第1	2前	2					○	12	5	2				共同
		物質化学生命系特別研究第2	2後	2					○	12	5	2				共同
		小計（4科目）	共同	8	0	0	－			12	5	2	0	0	0	－
	化学バイオ工学分野B群科目	機器分析学特論	1･2前		2		○			1						
		無機エネルギー材料特論	1･2後		2		○			1						
		固体電気化学特論	1･2前		2		○				1					
		光有機材料化学特論	1･2後		2		○			1						
		高分子物性特論	1･2後		2		○			1						
		高分子材料合成特論	1･2前		2		○			1						
		分子変換化学特論	1･2前		2		○				1					
		レーザー化学・分離工学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		超分子化学特論	1･2前		2		○			1						
		細胞利用工学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		遺伝子工学・蛋白質工学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		機能分子工学特論	1･2後		2		○			1						
		創薬生命工学特論	1･2前		2		○			1						
		先端材料設計学特論	1･2後		2		○			1						共同
		酵素工学特論	1･2後		2		○								兼1	集中
		化学バイオ工学特論1	1･2前		2		○								兼2	オムニバス　集中
		化学バイオ工学特論2	1･2後		2		○								兼2	オムニバス　集中
		小計（17科目）	－	0	34	0	－			12	5	0	0	0	兼5	－
合計（36科目）			－	9	34	25	－			12	5	2	0	0	兼53	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計31単位以上 大学院共通教育科目「研究公正Ａ」（必修科目）1単位、A群科目（必修科目）8単位、各分野B群科目（選択科目）から12単位以上を修得し、これらと他分野あるいは他専攻の博士前期課程B群科目の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

中百舌鳥キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	A群科目	物質化学生命系特別演習第1	1前	2				○		22	28	2	10		兼1	共同
		物質化学生命系特別演習第2	1後	2				○		22	28	2	10		兼1	共同
		物質化学生命系特別研究第1	2前	2					○	22	28	2	10		兼1	共同
		物質化学生命系特別研究第2	2後	2					○	22	28	2	10		兼1	共同
		小計（4科目）	共同	8	0	0	－			22	28	2	10	0	兼1	－
	応用化学分野B群科目	分析化学特論	1･2前		2		○			1	2					オムニバス
		無機材料化学特論	1･2後		2		○			1	2					オムニバス
		反応物理化学特論	1･2後		2		○			1	2					オムニバス
		電気化学特論	1･2後		2		○			1	2					オムニバス
		環境化学特論	1･2前		2		○				1					
		物性有機化学特論	1･2前		2		○			1	1					オムニバス
		高分子合成化学特論	1･2前		2		○			1	1					オムニバス
		有機機能化学特論	1･2後		2		○			1	1					オムニバス
		有機合成化学特論	1･2前		2		○				1				兼1	オムニバス
		生体高分子化学特論	1･2後		2		○			1	1					オムニバス
		分子認識化学特論	1･2前		2		○			1						
		ナノ・バイオ化学特論	1･2後		2		○				2					オムニバス
		応用化学特論1	1･2前		2		○								兼1	集中
		応用化学特論2	1･2後		2		○			2						オムニバス　集中
		応用化学特論3	1･2後		2		○			9	3	1			兼1	オムニバス
		小計（15科目）	－	0	30	0	－			9	16	1	0	0	兼2	－
	化学工学分野B群科目	粉体工学特論	1･2前		2		○			1	1					
		反応工学特論	1･2前		2		○			1						
		化学工学流体力学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		プロセスシステム工学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		分離工学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		材料プロセス工学特論	1･2後		2		○			1	1	1				共同
		化学工学特論1	1･2前		2		○								兼1	
		化学工学特論2	1･2後		2		○								兼3	共同
		資源工学特論	1･2後		2		○				2					共同
		熱・物質移動特論	1･2後		2		○			2						共同
		環境エネルギープロセス工学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		化学工学・プロセス工学特論1	1･2後		2		○				1	1				
		化学工学・プロセス工学特論2	1･2後		2		○				1					
		化学工学特別学外実習	1･2通		2				○	3						
		小計（14科目）	－	0	28	0	－			6	6	1	0	0	兼4	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
専門科目	マテリアル工学分野B群科目	結晶物理学特論	1･2後		2		○			1	1					
		材料プロセス学特論	1･2前		2		○			1	1					
		高温材料学特論	1･2後		2		○			2						
		プロセス反応学特論	1･2前		2		○			1						
		材料組織制御学特論	1･2後		2		○			1	1					
		機能性材料学特論	1･2後		2		○			1	1					共同
		材料強度学特論	1･2後		2		○			2						
		結晶構造評価特論	1･2後		2		○			1	1					
		材料環境物性学特論	1･2前		2		○			1	1					
		ナノ材料科学特論	1･2前		2		○			1						
		計算材料科学特論	1･2後		2		○				1					
		固体化学特論	1･2前		2		○			1	1					共同
		マテリアル工学特論	1･2後		2		○			2	4					共同
		マテリアル工学特別学外実習	1･2通		2				○	4						共同
		小計（14科目）	－	0	28	0	－			7	6	0	0	0	0	－
合計（62科目）			－	9	86	25	－			22	28	2	10	0	兼54	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計31単位以上 大学院共通教育科目「研究公正Ａ」（必修科目）1単位、A群科目（必修科目）8単位、各分野B群科目（選択科目）から12単位以上を修得し、これらと他分野あるいは他専攻の博士前期課程B群科目の修得単位数の合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 量子放射線系専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義　共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習　共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部）　オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専攻研究科科目	A群	量子放射線系特別演習第1	1前	2				○		5	4		3			
		量子放射線系特別演習第2	1後	2				○		5	4		3			
		量子放射線系特別研究第1	2前	2					○	5	4		3			
		量子放射線系特別研究第2	2後	2					○	5	4		3			
		小計（4科目）	－	8	0	0	－			5	4	0	3	0	0	－
	B群	量子科学特論	1前	2			○			2	0					
		最新放射線安全管理学特論	1前	2			○			1	1		1			共同
		放射線化学･バイオ応用理工学特論	1後		2		○			1	2					オムニバス
		放射線医学･防護学特論	1後		2		○			1	1		1			共同
		量子物性科学特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
		高度粒子線科学技術特論	1前		2		○			3						オムニバス
		最新量子放射線機器工学特論	1後		2		○			1						
		原子力エネルギー工学特論	1前		2		○			1						
		放射線計測学特論	1前		2		○			1						
		放射線の社会学特論	1後		2		○			5	4		3			
		量子放射線応用科学技術フロンティア	1後		2		○								兼1	
		量子放射線計測演習	1後		2			○		1						
		放射線材料工学特論	1前		2		○				1					
		量子エネルギー科学特論	1後		2		○				1					
		電磁気物性特論	1前		2		○								兼1	
		低温物性特論	1前		2		○								兼1	
		レーザー工学特論	1後		2		○								兼2	
		電子・イオンビーム工学特論	1後		2		○								兼1	
		プロセス反応学特論	1前		2		○								兼1	
		小計（19科目）	－	4	34	0	－			5	4	0	3	0	兼7	－
合計（38科目）			－	13	34	25	－			5	4	0	3	0	兼55	－

学位又は称号	修士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目「研究公正A」（1単位）、専攻研究科科目必修科目12単位、専攻研究科科目の選択科目18単位以上を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	航空宇宙海洋系特別演習	1前	4				○		10	6	3	4			
	航空宇宙海洋系特別研究	1後	4				○		10	6	3	4			
	小計（2科目）	－	8	0	0	－			10	6	3	4	0	0	－
合計（　16　科目）		－	9	0	17	－			10	6	3	4	0	兼34	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目「研究公正B」（1単位）、専門科目8単位を含む合計9単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 機械系専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専攻共通科目	機械系特別演習	1前	4				○		15	14					共同
	機械系特別研究	1後	4				○		15	14					共同
	小計（ 2科目）	－	8	0	0	－			15	14	0	0	0	0	－
合計（16科目）		－	9	0	0	－			15	14	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正B」（1単位）、専攻共通科目の必修科目8単位を含む合計9単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 都市系専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	都市系特別演習	1前	4				○		13	12					共同
	都市系特別研究	1後	4				○		13	12					共同
	小計（2科目）	－	8	0	0	－			13	12	0	0	0	0	－
合計（16科目）		－	9	0	17	－			13	12	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
１）研究公正B（1単位）、特別演習（4単位）及び特別研究（4単位）を必修とする。 ２）課程修了には上記を含めて合計9単位以上の修得を必要とする。 ３）博士（工学）の学位を取得するためには、上記に加えて博士論文の審査及び試験に合格することが必要である。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電子物理系専攻 博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	A群科目 電子物性コース	電子物理系特別演習（電子物性）	1前	4				○		10	16		4			
		電子物理系特別研究（電子物性）	1後	4					○	10	16		4			
		小計（2科目）	－	8	0	0	－			10	16	0	4	0	0	－
	A群科目 電子材料コース	電子物理系特別演習（電子材料）	1前	4				○		6	7					
		電子物理系特別研究（電子材料）	1後	4					○	6	7					
		小計（2科目）	－	8	0	0	－			6	7	0	0	0	0	－
合計（18科目）			－	17	0	17	－			16	23	0	4	0	兼34	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正B」（1単位）及び所属コースのA群科目から8単位以上を修得し，合計9単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 電気電子系専攻 博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	A群科目	電気電子系特別演習	1前	4				○		8	10	3	2			
		電気電子系特別研究	1後	4				○		8	10	3	2			
		小計（ 2 科目）	－	8	0	0		－		8	10	3	2	0	0	－
合計（ 16 科目）			－	9	0	17		－		8	10	3	2	0	兼34	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
大学院共通教育科目「研究公正B」（1単位）、本専攻の専門科目 A群科目8単位を含む合計9単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	A群科目	物質化学生命系特別演習	1前	4				○		33	33	4	10		兼1	共同
		物質化学生命系特別研究	1後	4					○	33	33	4	10		兼1	共同
		小計（2科目）	－	8	0	0	－			33	33	4	10	0	兼1	－
合計（ 16 科目）			－	9	0	17	－			33	33	4	10	0	兼35	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目「研究公正Ｂ」（必修科目）1単位を含む9単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

杉本キャンパス

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	A群科目	物質化学生命系特別演習	1前	4				○		12	5	2				共同
		物質化学生命系特別研究	1後	4					○	12	5	2				共同
		小計（2科目）	－	8	0	0	－			12	5	2	0	0	0	－
合計（ 16 科目）			－	9	0	17	－			12	5	2	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目「研究公正Ｂ」（必修科目）1単位を含む9単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

中百舌鳥キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 物質化学生命系専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目 A群科目	物質化学生命系特別演習	1前	4				○		21	28	2	10		兼1	共同
	物質化学生命系特別研究	1後	4					○	21	28	2	10		兼1	共同
	小計（2科目）	－	8	0	0	－			21	28	2	10	0	兼1	－
合計（ 16 科目）		－	9	0	17	－			21	28	2	10	0	兼35	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目「研究公正Ｂ」（必修科目）1単位を含む9単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（工学研究科 量子放射線系専攻 博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専攻研究科科目	A群	量子放射線系特別演習	1前	4				○		4	4					
		量子放射線系特別研究	1後	4					○	4	4					
		小計（　2科目）	－	8	0	0	－			4	4	0	0	0	0	－
合計（16科目）			－	9	0	17	－			4	4	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

修了要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 大学院共通教育科目「研究公正B」（1単位）、専攻研究科科目必修科目8単位を含む合計9単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科応用生物科学専攻博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24 オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2 共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6 ※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4 共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4 共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1 ※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3 オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2 ※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2 オムニバス・共同（一部）
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4 共同
	小計（15科目）	―	1	2	23	―			0	0	0	0	0	兼48 ―
研究指導科目	応用生物科学ゼミナール1A	1前	1				○		8	8	6	1		共同
	応用生物科学ゼミナール1B	1後	1				○		8	8	6	1		共同
	応用生物科学ゼミナール2A	2前	1				○		8	8	6	1		共同
	応用生物科学ゼミナール2B	2後	1				○		8	8	6	1		共同
	応用生物科学研究実験1A	1前	3					○	8	8	6	1		共同
	応用生物科学研究実験1B	1後	2					○	8	8	6	1		共同
	応用生物科学研究実験2A	2前	3					○	8	8	6	1		共同
	応用生物科学研究実験2B	2後	2					○	8	8	6	1		共同
	小計（8科目）	―	14	0	0	―			8	8	6	1	0	0 ―
専門科目	応用生物科学特論	1前	2			○			8	8				オムニバス
	応用生物科学キャリアデザイン	1通	1			○			2					集中・オムニバス
	応用生物科学研究プレゼンテーション	1後	1			○			8	8	6	1		共同
	応用生物科学グローバルプレゼンテーション	2通	1			○								兼1 集中
	代謝機能学特論	1･2前		1		○			1	1	1			オムニバス
	機能ゲノム科学特論	1･2前		1		○			1	1				オムニバス
	細胞分子生物学特論	1･2前		1		○			1		1			オムニバス
	食料安全科学特論	1･2前		1		○			1	1				オムニバス
	遺伝育種学特論	1･2後		1		○			1		1			オムニバス
	園芸生産学特論	1･2後		1		○				1	2			オムニバス
	植物病理学特論	1･2後		1		○			1	1				オムニバス
	植物分子育種学特論	1･2後		1		○			1	2				オムニバス
	植物栄養学特論	1･2後		1		○			1		1			オムニバス
	栽培管理学特論	1･2後		1		○				1				
	バイオインフォマティクス特論	2前		2		○			1	1				兼2 オムニバス
	応用生物科学特別講義A	1通		1		○								兼1 集中
	応用生物科学特別講義B	1通		1		○								兼1 集中
	応用生物科学特別講義C	1通		1		○								兼1 集中
	小計(18科目)	―	5	15	0	―			8	8	6	1	0	兼6 ―
合計（41科目）		―	20	17	23	―			8	8	6	1	0	兼54 ―

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科応用生物科学専攻博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計30単位以上 大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、研究指導科目14単位、専門科目必修5単位、選択10単位以上を含む合計30単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、選択科目の10単位に、大学院共通教育科目の「イノベーション創出型研究者養成」（2単位）を含めることができる。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科生命機能化学専攻博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	オムニバス・ 共同（一部）
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	2	23		－		0	0	0	0	0	兼48	－
研究指導科目	生命機能化学ゼミナール1A	1前	1				○		9	9	2	3			共同
	生命機能化学ゼミナール1B	1後	1				○		9	9	2	3			共同
	生命機能化学ゼミナール2A	2前	1				○		9	9	2	3			共同
	生命機能化学ゼミナール2B	2後	1				○		9	9	2	3			共同
	生命機能化学研究実験1A	1前	2.5					○	9	9	2	3			共同
	生命機能化学研究実験1B	1後	2.5					○	9	9	2	3			共同
	生命機能化学研究実験2A	2前	2.5					○	9	9	2	3			共同
	生命機能化学研究実験2B	2後	2.5					○	9	9	2	3			共同
	小計（8科目）	－	14	0	0		－		9	9	2	3	0	0	－
専門科目	生命機能化学特論A	1前	2			○			9						オムニバス
	生命機能化学特論B	1後	2			○				9	2				オムニバス
	生命機能化学キャリアデザイン	1通	1			○			2						集中・ オムニバス
	生命機能化学研究プレゼンテーション	1後	1				○		9	9	2	3			共同
	生命機能化学グローバルプレゼンテーション	1通	1			○								兼1	集中
	生理活性物質化学特論	1・2後		1		○			1	1					オムニバス
	生体高分子機能学特論	1・2前		1		○			1	1					オムニバス
	食品素材化学特論	1・2後		1		○			1	1					オムニバス
	生命分子合成学特論	1・2前		1		○			1	1					オムニバス
	生物物理化学特論	1・2前		1		○			1		1				オムニバス
	発酵制御化学特論	1・2後		1		○			1	1					オムニバス
	生物資源循環工学特論	1・2前		1		○			1	1	1				オムニバス
	食品代謝栄養学特論	1・2後		1		○			1	1					オムニバス
	微生物機能開発学特論	1・2前		1		○			1	2					オムニバス
	バイオインフォマティクス特論	2前		2		○			1	1				兼2	オムニバス
	生命機能化学特別講義A	1通		1		○								兼1	集中
	生命機能化学特別講義B	1通		1		○								兼1	集中
	小計（17科目）	－	7	13	0		－		9	9	2	3	0	兼5	－
合計（40科目）		－	22	15	23		－		9	9	2	3	0	兼53	

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科生命機能化学専攻博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計30単位以上 大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、研究指導科目14単位、専門科目必修7単位、選択8単位以上を含む合計30単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、選択科目の8単位に、大学院共通教育科目の「イノベーション創出型研究者養成」（2単位）を含めることができる。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科緑地環境科学専攻博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	オムニバス・共同（一部）
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	2	23		－		0	0	0	0	0	兼48	－
研究指導科目	緑地環境科学ゼミナールA	1前	1				○		8	9	2	4			共同
	緑地環境科学ゼミナールB	1後	1				○		8	9	2	4			共同
	緑地環境科学ゼミナールC	2前	1				○		8	9	2	4			共同
	緑地環境科学ゼミナールD	2後	1				○		8	9	2	4			共同
	緑地環境科学研究実験A	1前	2					○	8	9	2	4			共同
	緑地環境科学研究実験B	1後	2					○	8	9	2	4			共同
	緑地環境科学研究実験C	2前	2					○	8	9	2	4			共同
	緑地環境科学研究実験D	2後	2					○	8	9	2	4			共同
	緑地環境科学応用実験	2前	1					○	8	9	2	4			共同
	緑地環境科学応用演習	2後	1				○		8	9	2	4			共同
	小計（10科目）	－	14	0	0				8	9	2	4	0	0	－
専門科目	緑地環境科学特論	1前	2			○			8						オムニバス
	緑地環境科学キャリアデザイン	1通	1			○			2						オムニバス
	緑地環境科学プレゼンテーションA	2前	1			○			8	9	2	4			オムニバス・共同（一部）
	緑地環境科学プレゼンテーションB	2後	1			○			8	9	2	4			オムニバス・共同（一部）
	生態気象学特論	1前		2		○			1	2					オムニバス
	生物環境調節学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
	土環境学特論	1後		2		○				2					オムニバス
	水環境学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
	生産環境学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
	緑地計画学特論	1後		2		○			1	1					オムニバス
	緑地保全学特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
	地域生態学特論	1前		2		○			1						
	環境動物昆虫学特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
	緑地環境科学特別講義A	1前		2		○								兼1	集中
	緑地環境科学特別講義B	2前		2		○								兼1	集中
	小計（15科目）	－	5	22	0		－		8	9	2	4	0	兼2	－
合計（40科目）		－	20	24	23		－		8	9	2	4	0	兼50	－

学位又は称号	修士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科緑地環境科学専攻博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計30単位以上 大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、研究指導科目14単位、専門科目必修5単位、選択10単位以上を含む合計30単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、選択科目の10単位に、大学院共通教育科目の「イノベーション創出型研究者養成」（2単位）を含めることができる。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科応用生物科学専攻博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
研究指導科目	応用生物科学特別研究実験1A	1前	3					○	7	8	5				共同
	応用生物科学特別研究実験1B	1後	3					○	7	8	5				共同
	応用生物科学特別研究実験2A	2前	3					○	7	8	5				共同
	応用生物科学特別研究実験2B	2後	3					○	7	8	5				共同
	応用生物科学特別研究実験3A	3前	3					○	7	8	5				共同
	応用生物科学特別研究実験3B	3後	3					○	7	8	5				共同
	小計（6科目）	－	18	0	0	－			7	8	5	0	0	0	－
合計（20科目）		－	19	0	17	－			7	8	5	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計19単位 大学院共通教育科目「研究公正B」1単位、研究指導科目18単位を含む合計19単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科生命機能化学専攻博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
研究指導科目	生命機能化学特別研究実験1A	1前	3					○	8	9	2				共同
	生命機能化学特別研究実験1B	1後	3					○	8	9	2				共同
	生命機能化学特別研究実験2A	2前	3					○	8	9	2				共同
	生命機能化学特別研究実験2B	2後	3					○	8	9	2				共同
	生命機能化学特別研究実験3A	3前	3					○	8	9	2				共同
	生命機能化学特別研究実験3B	3後	3					○	8	9	2				共同
	小計（6科目）	－	18	0	0	－			8	9	2	0	0	0	－
合計（20科目）		－	19	0	17	－			8	9	2	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計19単位 大学院共通教育科目「研究公正B」1単位、研究指導科目18単位を含む合計19単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（農学研究科緑地環境科学専攻博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
研究指導科目	緑地環境科学研究法特別演習A	1前	3					○	8	9	2				共同 ※演習
	緑地環境科学研究法特別演習B	1後	3					○	8	9	2				共同 ※演習
	緑地環境科学特別演習A	2前	3					○	8	9	2				共同 ※演習
	緑地環境科学特別演習B	2後	3					○	8	9	2				共同 ※演習
	緑地環境科学特別研究A	3前	3					○	8	9	2				共同 ※演習
	緑地環境科学特別研究B	3後	3					○	8	9	2				共同 ※演習
	小計（6科目）	－	18	0	0	－			8	9	2	0	0	0	－
合計（20科目）		－	19	0	17	－			8	9	2	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（農学）	学位又は学科の分野	農学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】計19単位 大学院共通教育科目「研究公正B」1単位、研究指導科目18単位を含む合計19単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

（用紙　日本工業規格Ａ4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（獣医学研究科　獣医学専攻　博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後		1			○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後		1			○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後		1			○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後		1			○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後		1			○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後		1			○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後		1			○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後		1			○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（17科目）	－	1	8	15		－		0	0	0	0	0	兼38	－
専門科目	獣医学研究科共通科目	獣医科学演習	2通	1				○		13	19	2	7			
		獣医科学ミニレビュー	2後	2				○		13	19	2	7			
		獣医科学特別演習1	1前	1				○		13	19					
		獣医科学特別研究1	1-2通	8					○	13	19					
		獣医科学特別演習2	3前	1				○		13	19					
		獣医科学特別研究2	3-4通	6					○	13	19					
		獣医科学特別演習3	4通	1				○		13	19					
		アカデミックイングリッシュ基礎	1前		1		○			1						
		アカデミックイングリッシュアドバンス	1前	1			○			1						
		自然科学特論	1前		1		○			4	2					オムニバス
		統計学	1前		1		○				1					
		動物構造機能学特別講義A	1前		1		○			1					兼1	隔年 集中 共同
		動物構造機能学特別講義B	1前		1		○			1					兼1	隔年 集中 共同
		獣医環境科学特別講義A	1前		1		○			1					兼2	隔年 集中 共同 オムニバス
		獣医環境科学特別講義B	1前		1		○			1					兼2	隔年 集中 共同 オムニバス

教　育　課　程　等　の　概　要

（獣医学研究科　獣医学専攻　博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		獣医臨床科学特別講義A	1前		1		○			1					兼1	隔年 集中 共同
		獣医臨床科学特別講義B	1前		1		○			1					兼1	隔年 集中 共同
		国際・国内インターンシップ	1通	1					○	3						
		小計（18科目）	－	22	9	0	－			13	19	2	7	0	兼8	－
専門科目	動物構造機能学コース科目	実験動物学特論	1前		1		○					1				
		分子病理学特論	1後		1		○			1	1					
		ニューロサイエンス特論	2前		1		○				1					
		病態機能学特論	2前		1		○			1	1					
		機能形態学特論	2後		1		○				1					
		分子細胞生物学特論	2後		1		○				1					
		小計（6科目）	－	0	6	0	－			2	5	1	0	0	0	－
	獣医環境科学コース科目	基礎微生物学特論	1前		1		○			2	1					
		分子細菌学特論	1後		1		○			1	1					
		分子ウイルス学特論	1後		1		○				1					
		分子寄生虫・免疫学特論	1後		1		○			1	1					
		感染症制御学特論	2前		1		○			1	1					
		食品科学特論	2後		1		○			1	1					
		生産獣医療学特論	2前		1		○			1		1				
		小計（7科目）	－	0	7	0	－			5	5	1	0	0	0	－
	獣医臨床科学コース科目	先端獣医外科学特論1	1前		1		○			1	1					オムニバス
		先端獣医外科学特論2	1後		1		○			1	1					
		先端獣医臨床放射線学特論	1後		1		○				2					
		先端獣医内科学特論1	1前		1		○			2	1					
		先端獣医内科学特論2	2前		1		○			1	1					オムニバス
		先端獣医内科学特論3	2後		1		○				2					
		生産獣医療学特論	2前		1		○			1		1				
		大動物臨床学特論	2後		1		○			1	1					
		伴侶動物診療学特論	1通		3				○	1						
		小計（9科目）	－	0	11	0	－			13	19	2	0	0	0	－
合計（57科目）			－	23	41	15	－			13	19	2	7	0	兼46	－

学位又は称号	博士（獣医学）	学位又は学科の分野	獣医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 研究公正科目「研究公正B」1単位、専門科目必修22単位、選択科目8単位以上を含む合計31単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。選択科目の8 単位に、大学院共通教育科目のうち，「イノベーション創出型研究者養成2A」（1単位）～「イノベーション創出型研究者養成2H」（1単位）の8 科目のうち2 科目2 単位まで含めることができる。	1学年の学期区分	２学期
	1学期の授業期間	１５週
	1時限の授業時間	９０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 医科学専攻 修士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	科学英語	1前・後			2	○								兼1	
	Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
	Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
	大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
	大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
	戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
	戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
	イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
	グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
	化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
	バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
	人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
	大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
	小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
専門科目	分子生体医学（分子病態薬理学）	1～2通		4		○			1		1	2			共同
	分子生体医学（分子病態学）	1～2通		4		○			1		1	2			共同
	分子生体医学（分子制御生物学）	1～2通		4		○				1					
	分子生体医学（病態生理学）	1～2通		4		○			1						
	分子生体医学（機能細胞形態学）	1～2通		4		○			1	1		1			共同
	分子生体医学（神経生理学）	1～2通		4		○			1		1	2			共同
	分子生体医学（細胞機能制御学）	1～2通		4		○			1						
	分子生体医学（器官構築形態学）	1～2通		4		○					1				
	分子生体医学（環境リスク評価学）	1～2通		4		○				2					共同
	分子生体医学演習（分子病態薬理学）	1～2通		2			○		1		1	2			共同
	分子生体医学演習（分子病態学）	1～2通		2			○		1		1	2			共同
	分子生体医学演習（分子制御生物学）	1～2通		2			○			1					
	分子生体医学演習（病態生理学）	1～2通		2			○		1						
	分子生体医学演習（機能細胞形態学）	1～2通		2			○		1			1			共同
	分子生体医学演習（神経生理学）	1～2通		2			○		1		1	2			共同
	分子生体医学演習（細胞機能制御学）	1～2通		2			○		1						
	分子生体医学演習（器官構築形態学）	1～2通		2			○				1	1			共同
	分子生体医学演習（環境リスク評価学）	1～2通		2			○			2	1				共同
	都市医学（分子病理学）	1～2通		4		○			1	2	1				共同
	都市医学（産業医学）	1～2通		4		○			1	1	1			兼1	共同
	都市医学（公衆衛生学）	1～2通		4		○			1	1				兼1	共同
	都市医学（運動生体医学）	1～2通		4		○			1		1				共同
	都市医学（運動環境生理学）	1～2通		4		○								兼4	共同
	都市医学（法医学）	1～2通		4		○			1		1	1			共同
	都市医学（細菌学）	1～2通		4		○			2	3	1	1		兼1	共同
	都市医学（寄生虫学）	1～2通		4		○				1	1			兼2	共同
	都市医学演習（分子病理学）	1～2通		2			○		1	2	1				共同
	都市医学演習（産業医学）	1～2通		2			○		1	1	1			兼1	共同
	都市医学演習（公衆衛生学）	1～2通		2			○		1	1				兼1	共同
	都市医学演習（運動生体医学）	1～2通		2			○		1		1				共同
	都市医学演習（運動環境生理学）	1～2通		2			○							兼4	共同
	都市医学演習（法医学）	1～2通		2			○		1		1	1			共同
	都市医学演習（細菌学）	1～2通		2			○		2	1	1				共同
	都市医学演習（寄生虫学）	1～2通		2			○			1	1			兼2	共同
	老年医科学（ゲノム免疫学）	1～2通		4		○			1	1		2			共同
	老年医科学（認知症病態学）	1～2通		4		○				1		1			共同
	老年医科学（血管病態制御学）	1～2通		4		○				1	1				共同
	老年医科学（癌分子病態制御学）	1～2通		4		○				1	1				共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 医科学専攻 修士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	老年医科学演習（ゲノム免疫学）	1～2通		2			○		1	1		2			共同
	老年医科学演習（認知症病態学）	1～2通		2			○			1		1			共同
	老年医科学演習（血管病態制御学）	1～2通		2			○			1	1				共同
	老年医科学演習（癌分子病態制御学）	1～2通		2			○			1	1				共同
	臨床医科学（循環器内科学）	1～2通		4		○				3	2	1		兼7	共同
	臨床医科学（呼吸器内科学）	1～2通		4		○			1	2	1			兼8	共同
	臨床医科学（肝胆膵病態内科学）	1～2通		4		○			1	2	3			兼3	共同
	臨床医科学（消化器内科学）	1～2通		4		○			1	3	5			兼1	共同
	臨床医科学（代謝内分泌病態内科学）	1～2通		4		○			1	1	4				共同
	臨床医科学（血液腫瘍制御学）	1～2通		4		○			1	1	3				共同
	臨床医科学（神経精神医学）	1～2通		4		○			1	2	5	1		兼1	共同
	臨床医科学（脳神経内科学）	1～2通		4		○			1	1	2			兼1	共同
	臨床医科学（放射線診断学・ＩＶＲ）	1～2通		4		○			1	1					共同
	臨床医科学（放射線腫瘍学）	1～2通		4		○			1		1				共同
	臨床医科学（診断病理・病理病態学）	1～2通		4		○						1			
	臨床医科学（麻酔科学）	1～2通		4		○			1						
	臨床医科学（救急医学）	1～2通		4		○			1	2	1			兼2	共同
	臨床医科学（先端予防医療学）	1～2通		4		○				2	3			兼1	共同
	臨床医科学（歯科口腔外科学）	1～2通		4		○				1					
	臨床医科学（女性生涯医学）	1～2通		4		○				1	3				共同
	臨床医科学（女性病態医学）	1～2通		4		○			1	1	5				共同
	臨床医科学（発達小児医学）	1～2通		4		○			1	3	3				共同
	臨床医科学（臨床遺伝学）	1～2通		4		○				1					
	臨床医科学（泌尿器病態学）	1～2通		4		○			1	1	7			兼4	共同
	臨床医科学（消化器外科学）	1～2通		4		○				2	6				共同
	臨床医科学（肝胆膵外科学）	1～2通		4		○					4			兼2	共同
	臨床医科学（乳腺・内分泌外科学）	1～2通		4		○				1	2			兼2	共同
	臨床医科学（心臓血管外科学）	1～2通		4		○			1	1	2				共同
	臨床医科学（呼吸器外科学）	1～2通		4		○				1	2			兼2	共同
	臨床医科学（皮膚病態学）	1～2通		4		○			1	2	2				共同
	臨床医科学（視覚病態学）	1～2通		4		○			1	1	2	1		兼1	共同
	臨床医科学（耳鼻咽喉病態学）	1～2通		4		○			1						
	臨床医科学（脳神経外科学）	1～2通		4		○			2	1	5	1		兼2	共同
	臨床医科学（整形外科学）	1～2通		4		○			1	3	1				共同
	臨床医科学（リウマチ外科）	1～2通		4		○			1	2	1			兼1	共同
	臨床医科学（形成外科学）	1～2通		4		○			1						
	臨床医科学（総合医学教育学）	1～2通		4		○			1	2	3				共同
	臨床医科学（臨床感染制御学）	1～2通		4		○			1		1				共同
	臨床医科学（医療の質・安全管理学）	1～2通		4		○				1					
	臨床医科学（医療統計学）	1～2通		4		○								兼2	共同
	臨床医科学演習（循環器内科学）	1～2通		2			○			3	2	1		兼7	共同
	臨床医科学演習（呼吸器内科学）	1～2通		2			○		1	2	1			兼8	共同
	臨床医科学演習（肝胆膵病態内科学）	1～2通		2			○		1						
	臨床医科学演習（消化器内科学）	1～2通		2			○		1	3	5			兼4	共同
	臨床医科学演習（代謝内分泌病態内科学）	1～2通		2			○		1	1	4				共同
	臨床医科学演習（血液腫瘍制御学）	1～2通		2			○		1	1	3				共同
	臨床医科学演習（神経精神医学）	1～2通		2			○		1	2	5	1		兼1	共同
	臨床医科学演習（脳神経内科学）	1～2通		2			○		1	1	2			兼1	共同
	臨床医科学演習（放射線診断学・ＩＶＲ）	1～2通		2			○		1	1					共同
	臨床医科学演習（放射線腫瘍学）	1～2通		2			○		1		1				共同
	臨床医科学演習（診断病理・病理病態学）	1～2通		2			○					1			
	臨床医科学演習（麻酔科学）	1～2通		2			○		1						
	臨床医科学演習（救急医学）	1～2通		2			○		1	2	1			兼2	共同
	臨床医科学演習（先端予防医療学）	1～2通		2			○			2	3			兼1	共同
	臨床医科学演習（歯科口腔外科学）	1～2通		2			○			1					
	臨床医科学演習（女性生涯医学）	1～2通		2			○			1	1				共同

教　　育　　課　　程　　等　　の　　概　　要

（医学研究科 医科学専攻 修士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置						備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床医科学演習（女性病態医学）	1～2通		2			○		1	1	5				共同
	臨床医科学演習（発達小児医学）	1～2通		2			○		1	3	3				共同
	臨床医科学演習（臨床遺伝学）	1～2通		2			○			1					
	臨床医科学演習（泌尿器病態学）	1～2通		2			○		1	1	7			兼4	共同
	臨床医科学演習（消化器外科学）	1～2通		2			○			2	6				共同
	臨床医科学演習（肝胆膵外科学）	1～2通		2			○				4			兼2	共同
	臨床医科学演習（乳腺・内分泌外科学）	1～2通		2			○			1	2			兼2	共同
	臨床医科学演習（心臓血管外科学）	1～2通		2			○		1	1	2				共同
	臨床医科学演習（呼吸器外科学）	1～2通		2			○			1	2			兼2	共同
	臨床医科学演習（皮膚病態学）	1～2通		2			○		1	2	2				共同
	臨床医科学演習（視覚病態学）	1～2通		2			○		1	1	2	1		兼1	共同
	臨床医科学演習（耳鼻咽喉病態学）	1～2通		2			○		1						
	臨床医科学演習（脳神経外科学）	1～2通		2			○		2	1	5	1		兼2	共同
	臨床医科学演習（整形外科学）	1～2通		2			○		1						
	臨床医科学演習（リウマチ外科）	1～2通		2			○		1						
	臨床医科学演習（形成外科学）	1～2通		2			○		1						
	臨床医科学演習（総合医学教育学）	1～2通		2			○		1	2	3				共同
	臨床医科学演習（臨床感染制御学）	1～2通		2			○		1		1				共同
	臨床医科学演習（医療の質・安全管理学）	1～2通		2			○			1					
	臨床医科学演習（医療統計学）	1～2通		2			○		1					兼3	共同
	臨床病態学1	1通		6		○			6	13	16	3	0	兼3	共同・隔年
	臨床病態学2	1通		6		○			5	11	22	0	0	兼3	共同・隔年
	医学統計学　基礎	1～2前		3		○								兼1	
	医学統計学　応用	1～2後		3		○			1					兼1	共同
	クリニカルトライアル総論	1～2通		2		○								兼1	
	統計学特別講義	1～2通		4			○		1						
	数理統計学1	1～2前		2		○								兼2	共同
	数理統計学2	1～2後		2			○							兼2	共同
	小計（122科目）	－	0	370	0	－			38	56	94	19	0	兼58	－
科研特 目究別	特別研究	2通	8				○		38	46	79	16	0	兼38	共同
	小計（1科目）	－	8	0	0	－			38	46	79	16	0	兼38	－
共通教育科目	医科学概論	1通	1			○			3	3					共同
	医学研究概論	1前	1			○			5	1	1				共同
	医学研究基本演習	1前	1				○		1	1	1				共同
	生体構造機能学	1通	2			○			4		2	5		兼2	共同
	病理病態学概論	1通	2			○			2	4		3			共同
	社会医療概論	1通	1			○			1						
	臨床心理学	1通	1			○								兼3	共同
	小計（7科目）	－	9	0	0	－			11	8	4	7	0	兼5	－
合計（145科目）		－	18	370	25	－			38	57	95	20	0	兼109	－

学位又は称号	修士（医科学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒　業　要　件　及　び　履　修　方　法	授業期間等	
＜修了要件＞ 2年以上在学し、大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、専門科目から12 単位（講義10 単位、演習2 単位）以上、特別研究科目8 単位、共通教育科目から9単位、合計30 単位以上を修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格とすること。 【医療統計コース】 2 年以上在学し、大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、専門科目から20 単位以上、特別研究科目8 単位、共通教育科目から2 単位以上、合計30 単位以上を修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格とすること。	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週
	1時限の授業時間	90 分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 基礎医科学専攻 博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後		2		○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	2	15	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	分子病態薬理学	分子薬理学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		循環薬理学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		免疫薬理学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		腫瘍薬理学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		分子薬理学演習	1～2通		2			○		1		1	2			共同
		循環薬理学演習	1～2通		2			○		1		1	2			共同
		免疫薬理学演習	1～2通		2			○		1		1	2			共同
		腫瘍薬理学演習	1～2通		2			○		1		1	2			共同
	分子病態学	分子病態炎症シグナル学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		分子病態細胞生物学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		分子病態生化学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		分子病態分子生物学特論	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		分子病態学基礎演習	1～2通		2			○		1		1	2			共同
		分子病態学応用演習	1～2通		2			○		1		1	2			共同
	分子制御生物学	分子制御生物学総論	1～2通		2		○				1					
		分子制御生物学各論	1～2通		2		○				1					
		分子制御生物学演習１	1～2通		2			○			1					
		分子制御生物学演習２	1～2通		2			○			1					
	病態生理学	病態生理学（腫瘍病態学総論）	1～2通		2		○			1						
		病態生理学（腫瘍病態学特論１）	1～2通		2		○			1						
		病態生理学（腫瘍病態学特論２）	1～2通		2		○			1						
		病態生理学（病態免疫学総論）	1～2通		2		○			1						
		病態生理学演習（加齢性病態研究演習）	1～2通		2			○		1						
		病態生理学演習（腸内細菌叢研究演習）	1～2通		2			○		1						
	機能細胞形態学	機能細胞形態学１	1～2通		4		○				1					
		機能細胞形態学２	1～2通		2		○				1		1			共同
		機能細胞形態学３	1～2通		2		○				1		2			共同
		機能細胞形態学演習１	1～2通		2			○					1			
		機能細胞形態学演習２	1～2通		2			○			1		2			共同
	神経生理学	神経生理学（総論）	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		神経生理学（各論）	1～2通		2		○			1		1	2			共同
		神経生理学（演習）	1～2通		4			○		1		1	2			共同
	細胞機能制御学	細胞機能制御学１	1～2通		2		○			1		2	1			共同
		細胞機能制御学２	1～2通		2		○			1		2	1			共同
		細胞機能制御学３	1～2通		2		○			1		2	1			共同
		細胞機能制御学４	1～2通		2		○			1		2	1			共同
		細胞機能制御学演習	1～2通		4			○		1		2	1			共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 基礎医科学専攻 博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	器官構築形態学	器官構築形態学（器官構築形態学講義１）	1～2通		1		○					1	1			共同・隔年
		器官構築形態学（器官構築形態学講義２）	1～2通		1		○					1	1			共同・隔年
		器官構築形態学（器官構築形態学演習１）	1～2通		2			○				1	1			共同・隔年
		器官構築形態学（器官構築形態学演習２）	1～2通		2			○				1	1			共同・隔年
		器官構築形態学（器官構築形態学演習３）	1～2通		2			○				1	1			共同・隔年
		器官構築形態学（器官構築形態学演習４）	1～2通		2			○				1	1			共同・隔年
	環境リスク評価学	環境リスク評価学(毒性学)	1～2通		2		○				2	1				共同
		環境リスク評価学(実験腫瘍学)	1～2通		2		○				2	1				共同
		環境リスク評価学演習（実験病理学）	1～2通		4			○			2	1				共同
	分子病理学	分子病理学（実験腫瘍学）	1～2通		4		○				2	1				共同
		分子病理学演習（臨床病理検討会）	1～2通		2			○			2					共同
		分子病理学演習（実験病理学）	1～2通		2			○			2	1				共同
	産業医学	産業医学１	1～2通		3		○			1	1	1			兼1	共同
		産業医学２	1～2通		3		○			1	1	1			兼1	共同
		産業医学３	1～2通		2		○			1	1	1			兼1	共同
		産業医学演習１	1～2通		2			○		1	1	1			兼1	共同
		産業医学演習２	1～2通		2			○		1	1	1			兼1	共同
		産業医学実習	1～2通		4				○	1	1	1			兼1	共同
	公衆衛生学	公衆衛生学（公衆衛生学基礎）	1～2通		3		○			1	1				兼1	共同
		公衆衛生学（公衆衛生学応用）	1～2通		3		○			1	1				兼1	共同
		公衆衛生学（疫学データ解析講習）	1～2通		1		○			1	1					共同
		公衆衛生学（公衆衛生対策）	1～2通		1		○			1	1				兼1	共同
		公衆衛生学（公衆衛生学研究計画演習）	1～2通		4			○		1	1				兼1	共同
		公衆衛生学（公衆衛生学研究読解演習）	1～2通		2			○		1	1				兼1	共同
	運動生体医学	運動生体医学（基礎解剖生理特論）	1～2通		2		○			1		1				共同
		運動生体医学（高次脳機能特論）	1～2通		2		○			1		1				共同
		運動生体医学演習（心理･生理学的計測演習）	1～2通		6			○		1		1				共同
		運動生体医学演習（脳機能イメージング演習）	1～2通		6			○		1		1				共同
	運動環境生理学	運動環境生理学（運動環境生理学総論）	1～2通		2		○								兼4	共同
		運動環境生理学（運動環境生理学特論）	1～2通		3		○								兼4	共同
		運動環境生理学（運動環境生理学セミナー）	1～2通		1		○								兼4	共同
		運動環境生理学（運動環境生理学特別セミナー）	1～2通		1		○								兼4	共同
		運動環境生理学（スポーツ科学特別セミナー）	1～2通		1		○								兼4	共同
		運動環境生理学演習（運動環境生理学演習）	1～2通		1			○							兼4	共同
		運動環境生理学演習（運動環境生理学研究計画演習）	1～2通		2			○							兼4	共同
		運動環境生理学演習（スポーツ科学演習）	1～2通		1			○							兼4	共同
	法医学	法医学（総論）	1～2通		4		○			1		1	1			共同
		法医学（各論）	1～2通		4		○			1		1	1			共同
		法医学演習（実務・研究演習）	1～2通		8			○		1		1	1			共同
	細菌学	細菌学セミナー	1～2通		3		○			1	2		1			共同※演習
		感染症基礎教育	1～2通		4		○			1					兼4	共同
		細菌学研究演習	1～2通		2			○		1	2		1			共同
		細菌学実習	1～2通		1				○	1	2		1			共同
		感染制御セミナー	1～2通		2		○			1					兼3	共同
	寄生虫学	寄生虫学（寄生虫学総論）	1～2通		1		○				1	1			兼2	共同
		寄生虫学演習	1～2通		4		○				1	1			兼2	共同
		寄生虫学・熱帯医学フィールド調査研究実習	1～2通		16				○		1	1			兼2	共同
	ゲノム免疫学	ゲノム免疫学（免疫学特論）	1～2通		2		○			1	1		2			共同
		ゲノム免疫学（自然免疫特論）	1～2通		2		○			1			1			共同
		ゲノム免疫学（粘膜免疫特論）	1～2通		2		○			1			1			共同
		ゲノム免疫学（メタゲノム学特論）	1～2通		2		○			1			1			共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 基礎医科学専攻 博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	認知症病態学	認知症病態学（神経化学＆神経生物学）	1～2通		2		○						1			
		認知症病態学（神経変性疾患総論）	1～2通		2		○						1			
		認知症病態学（神経変性疾患特論）	1～2通		2		○						1			
		認知症病態学（トランスレーショナルリサーチ特論）	1～2通		2		○						1			
		神経変性疾患実験法演習１	1～2通		1			○					1			
		神経変性疾患実験法演習２	1～2通		1			○					1			
		神経変性疾患演習１	1～2通		1			○					1			
		神経変性疾患演習２	1～2通		1			○					1			
	血管病態制御学	血管病態制御学総論	1～2通		2		○					1				
		血管病態制御学各論	1～2通		6		○					1				
	癌分子病態制御学	癌分子病態制御学1　（癌細胞学特論）	1～2通		4		○				1				兼1	共同
		癌分子病態制御学2　（癌制御学特論）	1～2通		4		○				1				兼1	共同
		癌分子病態制御学演習	1～2通		4			○			1				兼1	共同
		発表表現演習	3～4通	2				○		11	10	12	12	0	兼9	
		小計（102科目）	－	2	251	0	－			11	11	12	15	0	兼13	－
研究指導科目		研究指導	1～4通	8				○		11	10	12	13	0	兼9	
		小計（1科目）	－	8	0	0				11	10	12	13	0	兼9	－
共通教育科目		医学研究概論	1前	1			○			4	1	1				共同
		医学研究基本演習	1前	1				○		1	1	1				共同
		医学研究セミナー	1～2後	1				○							兼1	
		小計（3科目）	－	3	0	0	－			5	1	2	0	0	兼1	－
合計（120科目）			－	14	253	15	－			11	11	12	15	0	兼47	－

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
＜修了要件＞ 4年以上在学し（優れた研究業績をあげたものについては3年以上）、合計30単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査および試験に合格すること。 履修単位の内訳： 【大学院共通教育科目】「研究公正B」1単位 【専攻分野の専門科目】10単位以上（発表表現演習2単位含） 【研究指導科目】8単位 【共通教育科目】3単位 【専攻分野以外の専門科目】30単位以上になるよう履修 また、大学院共通教育科目「医療の品質管理B」（2単位）で修得した単位は、「専攻分野以外の専門科目」の単位とすることができる。	１学年の学期区分	2 期
	１学期の授業期間	15 週
	１時限の授業時間	90 分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 臨床医科学専攻 博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後		2		○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	2	15		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	循環器内科学	循環器内科学（循環器内科総論）	1～2通		2		○				3	2	1		兼7	共同
		循環器内科学演習（不整脈）	1～2通		3			○							兼2	共同
		循環器内科学演習（カテーテル治療）	1～2通		3			○			1	1	1		兼2	共同
		循環器内科学演習（心エコー）	1～2通		3			○			2	1			兼1	共同
		循環器内科学演習（外科治療）	1～2通		1			○			3	2	1		兼6	共同
	腎臓病態内科学	腎臓病態内科学（腎臓学-総論）	1～2通		4		○					3				共同
		腎臓病態内科学（病理・診断・治療セミナー）	1～2通		4		○					3				共同
		腎臓病態内科学（臨床研究-演習）	1～2通		2			○				3				共同
		腎臓病態内科学（基礎研究-演習）	1～2通		2			○				1				
	呼吸器内科学	呼吸器内科学セミナー	1～2通		3		○			1	2	1			兼8	共同
		呼吸器内科学研究セミナー	1～2通		1		○			1	1					共同
		呼吸器内科学特論演習	1～2通		4			○		1	2	1			兼8	共同
		呼吸器内科学総論演習	1～2通		6			○		1	2	1			兼8	共同
		呼吸器内科学実習	1～2通		6				○	1	2	1			兼8	共同
	肝胆膵病態内科学	肝胆膵病態内科学（総論）	1～2通		2		○			1	2	3			兼2	共同
		肝胆膵病態内科学（肝感染症学特論）	1～2通		1		○			1	2	3			兼2	共同
		肝胆膵病態内科学（肝胆膵腫瘍学特論）	1～2通		1		○			1	2	3			兼2	共同
		肝胆膵病態内科学（肝疾患各論）	1～2通		2		○			1	2	3			兼2	共同
		肝胆膵病態内科学（胆膵疾患各論）	1～2通		2		○			1	2	3			兼2	共同
		肝胆膵病態内科学演習（基礎研究計画演習）	1～2通		2			○		1	2	3			兼2	共同
		肝胆膵病態内科学演習（臨床研究計画演習）	1～2通		2			○		1	2	3			兼2	共同
	消化器内科学	消化器内科学（消化器内科学総論）	1～2通		2		○			1	2	1			兼1	共同
		消化器内科学（消化器内科学特論）	1～2通		3		○			1	2	2			兼1	共同
		消化器内科学（消化器内視鏡学）	1～2通		3		○			1						
		消化器内科学演習（消化器病態学演習）	1～2通		2			○		1	3	5			兼4	共同
		消化器内科学演習（先端消化器病演習）	1～2通		2			○		1	3	5			兼4	共同
	代謝内分泌病態内科学	代謝内分泌病態内科学（代謝内分泌学-総論）	1～2通		4		○			1	1	2				共同
		代謝内分泌病態内科学（糖尿病代謝学-特論）	1～2通		2		○			1		4				共同
		代謝内分泌病態内科学（内分泌学-特論）	1～2通		2		○				1	2				共同
		代謝内分泌病態内科学（臨床研究-演習）	1～2通		2			○		1		4				共同
		代謝内分泌病態内科学（基礎研究-演習）	1～2通		2			○			1	3				共同
	血液腫瘍制御学	血液腫瘍制御学（血液内科学総論）	1～2通		1		○			1	1	3			兼4	共同
		血液腫瘍制御学（造血幹細胞移植学特論）	1～2通		1		○			1	1	3			兼4	共同
		血液腫瘍制御学（造血幹細胞移植学特別セミナー）	1～2通		1		○			1	1	3			兼4	共同
		血液腫瘍制御学（血液腫瘍学特論）	1～2通		2		○			1	1	3			兼4	共同
		血液腫瘍制御学（血液形態セミナー）	1～2通		1			○							兼2	共同
		血液腫瘍制御学演習（血液内科学演習）	1～2通		2			○		1	1	3			兼4	共同
		血液腫瘍制御学演習（造血幹細胞移植学演習）	1～2通		2			○		1	1	3			兼4	共同
		がん臨床研究計画演習	1～2通		2			○			1	1			兼1	共同
		血液腫瘍制御学実習（血液内科学実習）	1～2通		4				○		1	3			兼4	共同
		血液腫瘍制御学実習（造血幹細胞移植学実習）	1～2通		4				○		1	3			兼4	共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 臨床医科学専攻 博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	神経精神医学	神経精神医学　（基礎講義）	1～2通		3		○			1	2	5	1		兼1	共同
		神経精神医学　（発展講義）	1～2通		3		○			1	2	5	1		兼1	共同
		神経精神医学　（応用講義）	1～2通		2		○			1	2	5	1		兼1	共同
		神経精神医学演習　（クリニカルカンファレンス）	1～2通		2			○		1	2	5	1		兼1	共同
		神経精神医学演習　（リサーチカンファレンス）	1～2通		2			○		1	2	5	1		兼1	共同
	脳神経内科学	脳神経内科学（脳神経内科学総論）	1～2通		1		○			1	1	1			兼1	共同
		脳神経内科学（脳神経内科学特論）	1～2通		3		○			1	1	1			兼1	共同
		脳神経内科学（認知症特別セミナー）	1～2通		1		○			1	1	1			兼1	共同
		脳神経内科学（脳循環代謝学特別セミナー）	1～2通		1		○			1	1	1			兼1	共同
		脳神経内科学（脳卒中特論）	1～2通		2		○			1	1	1			兼1	共同
		脳神経内科学演習（認知症研究演習）	1～2通		2			○		1	1	1			兼1	共同
		脳神経内科学演習（脳卒中研究演習）	1～2通		2			○		1	1	1			兼1	共同
	放射線診断学・IVR学	放射線診断学・IVR学　（放射線医学総論）	1～2通		3			○		1	2	2	1			共同
		放射線診断学・IVR学　（放射線診断学特論）	1～2通		3				○	1	1	1				共同
		放射線診断学・IVR学（IVR学特論）	1～2通		3				○		1	2				共同
		放射線診断学演習	1～2通		2				○	1	2					共同
		IVR学演習	1～2通		2				○		1	2				共同
	放射線腫瘍学	放射線腫瘍学総論	1～2通		2		○			1	1	2				共同
		放射線腫瘍学特論	1～2通		4			○		1		1				共同
		放射線生物学	1～2通		2		○			1	1	1			兼1	共同
		高精度放射線治療学特論	1～2通		2		○			1	1	1			兼1	共同
		放射線治療計画法演習	1～2通		2			○		1	1	1			兼1	共同
		放射線腫瘍学実習	1～2通		4				○	1	1	1			兼1	共同
	核医学	核医学（核医学総論）	1～2通		3		○				1	1			兼1	共同
		核医学（核医学各論）	1～2通		3		○				1	1			兼1	共同
		核医学実習（核医学機能画像実習1）	1～2通		1				○		1	1			兼1	共同
		核医学実習（核医学機能画像実習2）	1～2通		1				○		1	1			兼1	共同
	病理・病理診断学	診断病理・病理病態学（病理診断総論）	1～2通		4		○						1			
		診断病理・病理病態学（腫瘍病理診断総論）	1～2通		2		○						1			
		診断病理・病理病態学（腫瘍診断学特論）	1～2通		2		○						1			
		診断病理・病理病態学演習（病理診断学演習）	1～2通		2			○					1		兼1	共同
		診断病理・病理病態学演習（腫瘍病理診断学演習）	1～2通		2			○					1			
	麻酔科学	麻酔科学総論	1～2通		3		○			1	1	5				共同
		周術期管理概論	1～2通		3		○			1	1	6				共同
		疼痛管理概論	1～2通		2		○			1		3				共同
	救急医学	救急医学（蘇生学）	1～2通		2		○				2				兼1	共同
		救急医学（外傷学）	1～2通		4		○			1	2	1			兼3	共同
		救急医学（集中治療学）	1～2通		2		○			1	1	1			兼2	共同
	先端予防医療学	先端予防医療学セミナー	1～2通		1		○				2	3			兼1	共同
		先端予防医療学演習（抄読会）	1～2通		1			○			2	3			兼1	共同
		先端予防医療学演習（カンファレンス）	1～2通		1			○			2	3			兼1	共同
		先端予防医療学　実習1	1～2通		4				○		2	3			兼1	共同
		先端予防医療学　実習2	1～2通		2				○		2	3			兼1	共同
	歯科口腔外科学	歯科口腔外科学1	1～2通		4		○				1					
		歯科口腔外科学2	1～2通		4		○				1					
		歯科口腔外科演習	1～2通		2			○			1					
	女性生涯医学	女性生涯医学（周産期医学）	1～2通		3		○				1	3				共同
		女性生涯医学（女性骨盤底医学）	1～2通		2		○				1	3				共同
		女性生涯医学（生殖内分泌学）	1～2通		3		○				1	3				共同
		女性生涯医学演習	1～2通		4			○			1	3				共同
	女性病態医学	女性病態医学（婦人科腫瘍学）	1～2通		4		○			1	1	5				共同
		女性病態医学（婦人科腫瘍学特論）	1～2通		4		○			1	1	5				共同
		女性病態医学（婦人科腫瘍学演習）	1～2通		2			○		1	1	5				共同
		女性病態医学（婦人科腫瘍演習　がん臨床研究計画演習）	1～2通		2			○		1	1	5				共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 臨床医科学専攻 博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	発達小児医学	発達小児医学総論	1～2通		2		○			1	3	2				共同
		発達小児医学特論	1～2通		3		○			1	3	2				共同
		高度小児医療概論	1～2通		2		○			1	3	2				共同
		発達小児医学基礎演習	1～2通		2			○		1	3	2				共同
		発達小児医学応用演習1	1～2通		1			○		1	1					共同
		発達小児医学応用演習2	1～2通		1			○			2	1	1			共同
	臨床遺伝学	臨床遺伝学総論	1～2通		2		○				1					
		臨床遺伝学特論	1～2通		3		○				1					
		ゲノム医療概論	1～2通		2		○				1					
		臨床遺伝学基礎演習	1～2通		2			○			1					
		臨床遺伝学応用演習1	1～2通		1			○			1					
		臨床遺伝学応用演習2	1～2通		1			○			1					
	泌尿器病態学	泌尿器病態学	1～2通		4		○			1	1	6			兼4	共同
		泌尿器病態学（泌尿器腫瘍学特論）	1～2通		2		○			1		4			兼4	共同
		泌尿器病態学（腎移植学特論）	1～2通		1		○			1		2			兼1	共同
		泌尿器病態学（透析療法学特論）	1～2通		1		○				1	1				共同
		泌尿器病態学演習	1～2通		3			○		1	1	6			兼4	共同
		泌尿器病態学演習（慢性腎臓病学演習）	1～2通		1			○		1	1	2			兼1	共同
	消化器外科学	消化器外科学　臨床編	1～2通		2		○				1	6			兼1	共同
		消化器外科学　応用編	1～2通		2		○				1	6			兼1	共同
		消化器外科学　基礎編	1～2通		2		○				1	6			兼1	共同
		消化器外科学　専門編	1～2通		2		○				1	6			兼1	共同
		消化器外科学演習（固形癌治療学演習）	1～2通		2			○			1	6			兼1	共同
		消化器外科学演習（外科腫瘍学基礎研究演習）	1～2通		2			○			2	6			兼1	共同
	肝胆膵外科学	肝臓・肝移植外科学（肝胆膵外科学特論）	1～2通		4		○					4			兼3	共同
		胆道・膵臓外科学講義（肝胆膵外科学特論）	1～2通		4		○					4			兼3	共同
		肝胆膵外科学演習（肝胆膵外科学演習）	1～2通		4			○				4			兼3	共同
	乳腺・内分泌外科学	乳腺・内分泌外科学　総論	1～2通		1		○				1	2			兼2	共同
		乳腺・内分泌外科学論文解釈演習	1～2通		1			○			1	2			兼2	共同
		乳腺・内分泌外科学特論	1～2通		1		○				1	2			兼2	共同
		乳腺・内分泌外科超音波検査実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		乳腺腫瘍学演習	1～2通		2			○			1	2			兼2	共同
		内分泌腫瘍学演習	1～2通		2			○			1	2			兼2	共同
		乳癌・甲状腺癌薬物治療学特別セミナー	1～2通		1		○				1	2			兼2	共同
		乳腺外科治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		内分泌外科治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		臨床研究計画演習	1～2通		2			○			1	2			兼2	共同
	心臓血管外科学	心臓血管外科学総論	1～2通		2		○			1	1	2				共同
		心臓血管外科学各論	1～2通		4		○			1	1	2				共同
		低浸襲心臓血管治療特論	1～2通		2		○			1	1	2				共同
		心臓血管外科学特別セミナー	1～2通		1		○			1	1	2				共同
		心臓血管外科学実習	1～2通		2				○	1	1	2				共同
	呼吸器外科学	呼吸器外科学総論	1～2通		1		○				1	2			兼2	共同
		呼吸器外科学演習	1～2通		2			○			1	2			兼2	共同
		低侵襲外科治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		気管支鏡的治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		炎症性疾患外科治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		転移性肺腫瘍治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		縦隔疾患外科治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
		肺癌外科治療実習	1～2通		2				○		1	2			兼2	共同
	皮膚病態学	皮膚病態学1	1～2通		2		○			1	2	2				共同
		皮膚病態学2	1～2通		6		○			1	2	2				共同
		皮膚病態学演習	1～2通		4			○		1	2	2				共同
	視覚病態学	視覚病態学（制御学特論）	1～2通		3		○			1	1	2	1		兼1	共同
		視覚病態学（病態学特論）	1～2通		3		○			1	1	2	1		兼1	共同
		視覚病態学演習	1～2通		2			○		1	1	2	1		兼1	共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 臨床医科学専攻 博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	耳鼻咽喉病態学	耳鼻咽喉科（神経耳科学特論）	1～2通		3		○			1						
		耳鼻咽喉科（頭頸部外科学特論）	1～2通		3		○			1						
		耳鼻咽喉科（耳鼻咽喉科鼻科学特論）	1～2通		2		○				1					
	脳神経外科学	脳神経外科学特論1	1～2通		1		○			2	1	5	1			共同
		脳神経外科学特論2	1～2通		1		○			2	1	5	1			共同
		脳神経外科学臨床演習	1～2通		3			○		2	1	5	1		兼2	共同
		脳神経外科学実践トレーニング	1～2通		2			○		2	1	5	1			共同
		脳神経外科学実習	1～2通		3				○	2	1	5	1			共同
	整形外科学	整形外科学（治療法）	1～2通		2		○				3	6				共同
		整形外科学（診断法）	1～2通		3		○				3	6				共同
		整形外科学（病態生理）	1～2通		3		○				3	6				共同
		整形外科学臨床研究演習	1～2通		3			○			2	3				共同
		整形外科学基礎研究演習	1～2通		1			○			1	3				共同
	リウマチ外科学	リウマチ外科学（治療法）	1～2通		2		○				2	6			兼1	共同
		リウマチ外科学（診断法）	1～2通		3		○				2	6			兼1	共同
		リウマチ外科学（病態生理）	1～2通		3		○				2	6			兼1	共同
		リウマチ外科学臨床研究演習	1～2通		3			○			1	2			兼1	共同
		リウマチ外科学基礎研究演習	1～2通		1			○			1	3			兼1	共同
	形成外科学	形成外科学（形成外科学総論）	1～2通		3		○			1	1				兼1	共同
		形成外科学（成人形成外科学特論）	1～2通		3		○			1	1					共同
		形成外科学（小児形成外科学特論）	1～2通		2		○				1				兼1	共同
		形成外科学演習（成人形成外科学演習）	1～2通		2			○		1	1					共同
		形成外科学演習（小児形成外科学演習）	1～2通		2			○			1				兼1	共同
	総合医学教育学	総合医学教育学 総論	1～2通		3		○			1	2	3				共同
		総合医学教育学 各論（医療人材の育成プログラム開発）	1～2通		3		○			1	2	3				共同
		総合医学教育学　各論（学習者評価）	1～2通		2		○			1	2	3				共同
		総合医学教育学（指導法）　演習	1～2通		2			○		1	2	3				共同
		総合医学教育学（学習者評価）　演習	1～2通		2			○		1	2	3				共同
	臨床感染制御学	感染症セミナー（臨床感染制御学）	1～2通		6		○			1		1				共同
		臨床感染症基礎教育（臨床感染制御学）	1～2通		4		○			1	1	1			兼1	共同
		感染症学研究演習（臨床感染制御学）	1～2通		2			○		1		1			兼1	共同
		感染症学実習（臨床感染制御学）	1～2通		1				○	1		1			兼1	共同
		感染制御セミナー（臨床感染制御学）	1～2通		2		○			1		1			兼1	共同
	医療の質・安全管理学	医療の質・安全管理学（医療の質・安全管理特論）	1～2通		3			○			1					※講義
		医療の質・安全管理学（医療の質・安全管理演習）	1～2通		2			○			1					
		医療の質・安全管理学（医療の質・安全管理実習）	1～2通		3				○		1					
	医療統計学	医学統計学　基礎	1～2前		3		○								兼1	
		医学統計学　応用	1～2後		3		○			1					兼1	共同
		クリニカルトライアル総論	1～2通		1		○								兼1	
		臨床研究管理学	1～2通		4		○								兼2	共同
		統計コンサルティング1	2～4通		2			○		1					兼3	共同
		統計コンサルティング2	2～4通		2			○		1					兼3	共同
		数理統計学1	1～4前		2		○								兼2	共同
		数理統計学2	1～4後		2			○							兼2	共同
		統計学特別講義	1～2通		4			○		1						
		発表表現演習	3～4通	2				○		25	30	61	3	0	兼23	共同
専門科目	重症児の在宅支援を担う医師等養成コース	小児在宅医療	1～2通	8			○			1					兼2	共同
		小児在宅医療実習	1～2通	4				○		1					兼2	共同
		小計（199科目）	－	14	460	0	－			24	47	92	7	0	兼64	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科 臨床医科学専攻 博士課程）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	セミナー・研究指導科目	重症児の在宅支援を担う医師等養成コース	小児在宅医療セミナー	1～2通	2			○			1					兼2	共同
			小計（1科目）	－	2	0	0	－			1	0	0	0	0	兼2	－
研究指導科目			研究指導	1～4通	8				○		24	31	60	3	0	兼26	共同
			小計（1科目）	－	8	0	0	－			24	31	60	3	0	兼26	－
共通教育科目			医学研究概論	1前	1			○								兼6	共同
			医学研究基本演習	1前	1				○							兼3	共同
			医学研究セミナー	1～2後	1				○							兼1	共同
			小計（3科目）	－	3	0	0	－			0	0	0	0	0	兼9	－
合計（218科目）				－	28	462	15	－			24	47	92	7	0	兼107	－

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
＜修了要件＞ 4年以上在学し（優れた研究業績をあげたものについては3年以上）、合計30単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査および試験に合格すること。 履修単位の内訳：一般 【大学院共通教育科目】「研究公正B」1単位 【専攻分野の専門科目】10単位以上（発表表現演習2単位含） 【研究指導科目】8単位 【共通教育科目】3単位 【専攻分野以外の専門科目】30単位以上になるよう履修 履修単位の内訳：医療統計 【大学院共通教育科目】「研究公正B」1単位 【専攻分野の専門科目】24単位以上（発表表現演習2単位含） 【研究指導科目】8単位 【共通教育科目】3単位 履修単位の内訳：重症児在宅支援 【大学院共通教育科目】「研究公正B」1単位 【専攻分野の専門科目】14単位（発表表現演習2単位含） 【セミナー・研究指導科目】10単位 【共通教育科目】3単位 【専攻分野以外の専門科目】30単位以上になるよう履修 また、大学院共通教育科目「医療の品質管理B」（2単位）で修得した単位は、「専攻分野以外の専門科目」の単位とすることができる。	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週
	1時限の授業時間	90 分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（リハビリテーション学研究科　リハビリテーション学専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
大学院共通教育科目		研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	－	1	0	25	－			0	0	0	0	0	兼48	－
基礎科目		リハビリテーション学基礎特論	1前	1			○			2						共同
		リハビリテーション学研究法特論	1前	1			○					4				
		医療倫理学	1前	1			○								兼1	
		小計（3科目）	－	3	0	0	－			2	0	4	0	0	兼1	－
専門科目	リハビリテーション学科目	神経解剖学特論	1・2後		1		○			1						
		認知・行為障害学特論A	1・2後		1		○					1				
		認知・行為障害学特論B	1・2後		1		○			1						
		精神･行動障害学特論A	1・2後		1		○			1						
		精神･行動障害学特論B	1・2後		1		○					2				
		運動制御学特論	1・2前		1		○			1						
		運動機能開発学特論	1・2 前		1		○			1						
		運動機能回復学特論	1・2 前		1		○			1						
		発達期生活機能学特論	1・2 後		1		○				1	1				
		高齢期生活機能学特論	1・2 前		1		○			1						
		健康行動支援学特論	1・2 前		1		○				1					
		運動機能・動作回復学特論	1・2 後		1		○			1						
		介護予防技術学特論	1・2 前		1		○			1						
		生活環境支援学特論	1・2 後		1		○					1				
		社会参加支援学特論	1・2 前		1		○				1					
		リハビリテーション学特別演習1	1前	2				○		9	3	5				共同
		リハビリテーション学特別演習2	2後	2				○		9	3	5				共同
		リハビリテーション学特別演習3	2前	2				○		9	3	5				共同
		小計（18科目）	－	6	15	0	－			9	3	5	0	0	0	－
	特定講義科目	特定講義A（医療統計学）	1 前		1		○								兼1	
		特定講義B（ビッグデータ解析とリハビリテーション）	1 後		1		○								兼1	
		特定講義C（運動機能評価学）	1・2 後		1		○								兼1	
		特定講義D（認知神経心理学）	1・2 後		1		○								兼1	
		特定講義E（住環境支援学）	1・2 前		1		○								兼1	
		小計（5科目）	－	0	5	0	－			0	0	0	0	0	兼5	－

教　育　課　程　等　の　概　要

（リハビリテーション学研究科　リハビリテーション学専攻 博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
特別研究科目	特別研究1	1前	2					○	9	3	5				共同
	特別研究2	1後	2					○	9	3	5				共同
	特別研究3	2前	2					○	9	3	5				共同
	特別研究4	2後	2					○	9	3	5				共同
	小計（4科目）	－	8	0	0	－			9	3	5	0	0	0	－
合計（45科目）		－	18	20	25	－			9	3	5	0	0	兼54	－

学位又は称号	修士（保健学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
合計30単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文審査と最終審査会における最終試験に合格すること。 履修単位の内訳 必修科目18単位 【大学院共通教育科目】「研究公正A」（1単位） 【基礎科目】3単位 【専門科目】6単位 【特別研究科目】8単位 選択科目12単位以上を修得	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	リハビリテーション学科目	神経解剖学特別講義	1・2・3 後		1		○			1						
		認知・行為障害学特別講義	1・2・3 後		1		○			1						
		精神・行動障害学特別講義	1・2・3 後		1		○			1						
		運動制御学特別講義	1・2・3 後		1		○			1						
		運動機能開発学特別講義	1・2・3 前		1		○			1						
		運動機能回復学特別講義	1・2・3 前		1		○			1						
		発達期生活機能学特別講義	1・2・3 後		1		○				1					
		高齢期生活機能学特別講義	1・2・3 前		1		○			1						
		健康行動支援学特別講義	1・2・3 前		1		○				1					
		運動機能・動作回復学特別講義	1・2・3 後		1		○			1						
		介護予防技術学特別講義	1・2・3 前		1		○			1						
		社会参加支援学特別講義	1・2・3 後		1		○				1					
		リハビリテーション学特別演習4	1前	2				○		9	3					共同
		リハビリテーション学特別演習5	1後	2				○		9	3					共同
		小計（14科目）	－	4	12	0	－			9	3	0	0	0	0	－
特別研究科目		特別研究5	1前	2					○	9	3					共同
		特別研究6	1後	2					○	9	3					共同
		特別研究7	2前	2					○	9	3					共同
		特別研究8	2後	2					○	9	3					共同
		特別研究9	3前	2					○	9	3					共同
		特別研究10	3後	2					○	9	3					共同
		小計（6科目）	－	12	0	0	－			9	3	0	0	0	0	－
合計（34科目）			－	17	12	17	－			9	3	0	0	0	兼34	－

学位又は称号	博士（保健学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
合計18単位以上を修得し，必要な研究指導を受けた上で博士論文審査と最終審査会における最終試験に合格すること。 履修単位の内訳 必修科目17単位 【大学院共通教育科目】「研究公正B」（1単位） 【専門科目】4単位 【特別研究科目】12単位 選択科目1単位以上を修得	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後		2		○								兼1	
			Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通		2			○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通		1			○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前		2			○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後		2			○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後		2		○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後		2		○								兼1	
			化学産業論	1前・後		1		○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後		2			○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後		2		○								兼2	共同 オムニバス
			大学教育基礎演習	1通		1			○							兼4	共同
			小計（15科目）	―	1	25	0	―			0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	専門基礎科目	先進ケア科学共通科目	ケア科学研究論	1前		2		○			2						オムニバス
			研究倫理（医学系研究倫理）	1前		2		○								兼3	オムニバス
			ケア科学英語論文作成法	2前		2		○			2	1					共同
			ケアデータマネジメント	1後		2		○			2					兼1	オムニバス・ 共同（一部）
			ケア組織マネジメント論	2前		2		○			1						
			ケア科学研究方法論1（調査研究デザイン）	1後		2		○			3						オムニバス ※演習
			ケア科学研究方法論2（実験研究デザイン）	1後		2		○			2					兼1	オムニバス・ 共同
			ケア科学研究方法論3（質的研究デザイン）	1後		2		○			2						共同
			看護学基礎	1前		2		○			10	7	2				共同
			看護学基礎演習	1後		2			○		10	7	2				共同
			小計（10科目）	―	0	20	0	―			10	7	2	0	0	兼5	―
		実践看護科学共通科目	理論看護学	1前		2		○			1						
			看護学研究法	1前		2		○			4						オムニバス・ 共同（一部）
			看護倫理学	1前		2		○			3						オムニバス
			看護政策学	1後		1		○				1					
			コンサルテーション論	1後		1		○			2						共同
			病態生理学	1後		2		○			1					兼1	オムニバス
			代謝病態生理学	1前		2		○								兼4	オムニバス・ 共同（一部）
			がん病態学	1前		2		○								兼1	
			臨床薬理学	1後		2		○			1					兼1	共同
			臨床疾病治療論	1前		2		○			2					兼8	オムニバス・ 共同（一部）
			フィジカルアセスメントA	1前		2			○							兼1	※講義
			フィジカルアセスメントB	1後		2			○		1					兼4	オムニバス ※演習

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	専門基礎科目	実践看護科学共通科目	データヘルス方法論A	1前		1		○			1	1					オムニバス
			データヘルス方法論B	1前		1		○			1	1					共同
			生体感染防御論	1前		2		○								兼1	
			異文化看護フィールドワークA	1通		2			○		1						
			異文化看護フィールドワークB	1通		1			○		1						
			新「共通特論1」：臨床腫瘍学総論	1前		2		○								兼1	
			新「共通特論2」：臨床腫瘍学各論	1後		2		○								兼1	
			補完代替療法学	1前		1		○					1			兼2	オムニバス
			公共政策論	1前		2		○								兼3	オムニバス
			人材管理論	1前		2		○								兼2	オムニバス
			ヘルスケア経営論	1後		2		○								兼2	オムニバス
			小計（23科目）	―	0	40	0	―			12	2	1	0	0	兼31	―
	先進ケア科学	ケアシステム科学	ヒューマンケアシステム研究特論	1前		2		○				2					共同
			ヒューマンケアシステム研究演習1	1後		2			○			2					共同
			ヒューマンケアシステム研究演習2	2前		2			○			2					共同
			療養ケアシステム研究特論	1前		2		○			1		1				共同
			療養ケアシステム研究演習1	1後		2			○		1		1				共同
			療養ケアシステム研究演習2	2前		2			○		1		1				共同
			子ども・家族ケア研究特論	1前		2		○			1		1				オムニバス・共同（一部）
			子ども・家族ケア研究演習1	1後		2			○		1		1				オムニバス・共同（一部）
			子ども・家族ケア研究演習2	2前		2			○		1						
			地域包括ケアシステム研究特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			地域包括ケアシステム研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			地域包括ケアシステム研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			ヘルスプロモーションケア研究特論	1前		2		○			1		1				オムニバス
			ヘルスプロモーションケア研究演習1	1後		2			○		1		1				共同
			ヘルスプロモーションケア研究演習2	2前		2			○		1		1				共同
			小計（15科目）	―	0	30	0	―			4	3	3	0	0	0	―
		生体行動ケア科学	がん包括ケア研究特論	1前		2		○			1		1				共同
			がん包括ケア研究演習1	1後		2			○		1		1				共同
			がん包括ケア研究演習2	2前		2			○		1		1				共同
			高齢者生活行動ケア研究特論	1前		2		○			1	1					オムニバス・共同（一部）
			高齢者生活行動ケア研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			高齢者生活行動ケア研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			ウィメンズヘルスケア研究特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			ウィメンズヘルスケア研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			ウィメンズヘルスケア研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			精神行動ケア研究特論	1前		2		○			1	1					共同
			精神行動ケア研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			精神行動ケア研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			健康支援基礎科学特論	1前		2		○			2	1					オムニバス
			健康支援基礎科学研究演習1	1後		2			○		2	1					オムニバス
			健康支援基礎科学研究演習2	2前		2			○		2	1					共同
			小計（15科目）	―	0	30	0	―			6	4	1	0	0	0	―
			先進ケア科学特別研究1	1前・後		4			○		10	7					共同
			先進ケア科学特別研究2	2前・後		4			○		10	7					共同
			小計（2科目）	―	0	8	0	―			10	7	0	0	0	0	―

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	基礎看護科学	看護技術学特論1	1前		2		○			1	1	1				共同
			看護技術学特論2	1後		2		○			1	1	1				共同
			看護技術学演習1	1前		2			○		1	1	1				共同
			看護技術学演習2	1後		2			○		1	1	1				共同
			看護情報学特論1	1前		2		○			1	1					共同
			看護情報学特論2	1後		2		○			1	1					共同
			看護情報学演習1	1前		2			○		1	1					共同
			看護情報学演習2	1後		2			○		1	1					共同
			看護管理学特論1	1前		2		○			1	1					共同
			看護管理学特論2	1後		2		○			1	1					共同
			看護管理学演習1	1前		2			○		1	1					共同
			看護管理学演習2	1後		2			○		1	1					共同
			マネジメント実践フィールドワーク	2通		4				○	1	1					共同
			看護教育学特論1	1前		2		○			1	1					オムニバス・共同（一部）
			看護教育学特論2	1後		2		○			1	1	1				オムニバス
			看護教育学演習1A	1前		2			○		1	1					共同
			看護教育学演習1B	1前		2			○		1	1	1				共同
			看護教育学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			看護教育学演習2B	1後		2			○		1	1	1				共同
			看護教育学実習1	1後		2				○	1	1	1				共同
			看護教育学実習2	2前		2				○	1	1	1				共同
			小計（21科目）	－	0	44	0	－			4	4	2	0	0	0	－
		家族支援看護科学	母性看護学特論	1前		2		○			1	3					共同
			母性看護学援助特論	1後		2		○			1	3					共同
			母性看護学演習1	1前		2			○		1	3	2				共同
			母性看護学演習2	1後		2			○		1	3	2				共同
			家族看護学	1前		2		○			1		1				共同
			家族看護学特論	1前		2		○			1		1				共同
			家族看護学援助特論1	1後		2		○			1		1				共同
			家族看護学援助特論2	1後		2		○			1		1			兼1	オムニバス・共同（一部）
			家族看護学援助特論3	1後		2		○			1		1				共同
			家族看護学演習1A	1前		2			○		1						
			家族看護学演習1B	1前		2			○		1		1			兼1	オムニバス・共同（一部）
			家族看護学演習2A	1後		2			○		1						
			家族看護学演習2B	1後		2			○		1		1			兼4	オムニバス・共同（一部）
			家族看護学実習1	1後		2				○	1		1				共同
			家族看護学実習2	2通		6				○	1		1				共同
			家族看護学実習3	2通		2				○	1		1				共同
			小児看護学特論	1前		2		○			1						
			小児看護学援助特論1	1前		2		○			1	1					共同
			小児看護学援助特論2	1後		2		○			1					兼4	共同
			小児看護学援助特論3	2前		2		○			1						
			小児看護学援助特論4	1前		2					1						
			小児看護学演習1A	1前		2			○		1						
			小児看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼2	共同
			小児看護学演習2A	1後		2			○		1						
			小児看護学演習2B	1後		2			○		1	1				兼1	オムニバス・共同（一部）
			小児看護学実習1	1後・2通		2				○	1	1				兼5	オムニバス・共同（一部）
			小児看護学実習2	2通		3				○	1	1					共同
			小児看護学実習3	2通		5				○	1	1					共同
			小計（28科目）	－	0	64	0	－			3	4	3	0	0	兼12	－

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	生活支援看護科学	地域看護学特論	1前		2		○			1						
			地域看護学援助特論	1後		2		○			1						
			地域看護学演習1	1前		2			○		1		3			兼1	オムニバス・共同（一部）
			地域看護学演習2	1後		2			○		1		3				共同
			精神看護学特論	1前		2					1	1					共同
			精神看護学援助特論1	1前		2		○			1	1				兼3	オムニバス
			精神看護学援助特論2	1後		2		○			1	1				兼1	オムニバス・共同（一部）
			精神看護学援助特論3	1後		2		○			1	1					共同
			精神看護学援助特論4	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学援助特論5	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学援助特論6	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学援助特論7	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学演習1A	1前		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			精神看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			精神看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			精神看護学演習2B	1後		2			○		1	1					共同
			精神看護学実習1	1後		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習2	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習3	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習4	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習5	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			老年看護学特論	1前		2		○			1						
			老年看護学援助特論1	1前		2		○			1	1					共同
			老年看護学援助特論2	1後		2		○			1	1					共同
			老年看護学援助特論3	1後		2		○			1	1					共同
			老年看護学演習1A	1前		2			○		1	1	1				共同
			老年看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			老年看護学演習2A	1後		2			○		1	1	1				共同
			老年看護学演習2B	1後		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			老年看護学実習1	1後		2				○	1	1					共同
			老年看護学実習2	2通		4				○	1	1					共同
			老年看護学実習3	2通		4				○	1	1					共同
			在宅看護学特論	1前		2		○			1						
			在宅看護学援助特論1	1後		2		○			1	1					共同
			在宅看護学援助特論2	1後		2		○			1	1					共同
			在宅看護学援助特論3	1前		2		○			1	1					共同
			在宅看護学演習1A	1前		2			○		1	1					共同
			在宅看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼4	オムニバス・共同（一部）
			在宅看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			在宅看護学演習2B	1後		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			在宅看護学実習1	2通		6				○	1	1					共同
			在宅看護学実習2	2通		4				○	1	1					共同
			小計（42科目）	―	0	94	0	―			4	3	4	1	0	兼18	―

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	療養支援看護科学	急性看護学特論	1前		2		○			1						
			急性看護学援助特論1	1前		2		○			1						
			急性看護学援助特論2	1後		2		○			1						
			急性看護学演習1A	1前		2			○		1		1				共同
			急性看護学演習1B	1前		2			○		1						
			急性看護学演習2A	1後		2			○		1		1				共同
			急性看護学演習2B	1後		2			○		1					兼1	オムニバス
			急性看護学実習1	2通		6				○	1						
			急性看護学実習2	2通		4				○	1						
			慢性看護学特論1	1前		2		○			1						
			慢性看護学特論2	1前		2		○			1	1				兼1	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学特論3	1前		2		○			2	1	1			兼1	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学援助特論1	1後		2		○			1	1					オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学援助特論2	1後		2		○			1	1	1			兼3	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学演習1A	1前		2			○		1	1	1				共同
			慢性看護学演習1B	1前		2			○		1		1				オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			慢性看護学演習2B	1後		2			○		1	1	1			兼6	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学実習A1	1後		2				○	1	1	1				共同
			慢性看護学実習A2	2通		4				○	1	1	1				共同
			慢性看護学実習B	2通		2				○	1	1	1				共同
			慢性看護学実習C	2通		2				○	1	1	1				共同
			がん看護学特論	1前		2		○			1						
			がん看護学援助特論	1後		2		○			1	1				兼1	オムニバス
			がん緩和ケア論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			がん薬物療法看護論	1後		2		○			1	1	1			兼4	オムニバス・共同（一部）※演習
			がん看護学演習1A	1前		2			○		1	1					共同
			がん看護学演習1B	1前		2			○		1	1	1			兼2	オムニバス・共同（一部）※講義
			がん看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			がん看護学演習2B	1後		2			○		2	1	1			兼3	オムニバス・共同（一部）※講義
			多職種参加型症例検討演習	2前		1			○		1	1	1				共同・集中
			模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習	1前		1			○		1	1	1				共同・集中
			がん看護学実習A	1後		2				○	1	1	1				共同
			がん看護学実習B	2通		4				○	1	1	1				共同
			がん看護学実習C	2通		4				○	1	1	1				共同

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	療養支援看護科学	感染看護学特論	1前		2		○			1						
			感染看護学援助特論	1後		2		○			1			1		兼1	オムニバス・共同（一部）
			感染看護疫学論	1後		2		○			1			1		兼1	オムニバス・共同（一部）
			臨床感染看護論	1後		2		○			1			1		兼2	オムニバス・共同（一部）
			感染看護学演習1A	1前		2			○		1						
			感染看護学演習1B	1前		2			○		1			1		兼1	オムニバス・共同（一部）
			感染看護学演習2A	1後		2			○		1						
			感染看護学演習2B	1後		2			○		1			1		兼2	オムニバス・共同（一部）
			感染看護学実習1	2通		6				○	1			1			共同
			感染看護学実習2	2通		4				○	1			1			共同
			小計（45科目）	－	0	106	0	－			5	2	3	1	0	兼28	－
			実践看護科学特別研究	2通		8			○		15	13					
			実践看護科学課題研究	2通		4			○		11	8					
			小計（2科目）	－	0	12	0	－			15	13	0	0	0	0	－
	助産師資格科目		基礎助産学														
			助産学概論	1前			1	○			1						
			助産学特論A（周産期病態生理）	1前			2	○					1			兼2	共同
			助産学特論B（リプロダクティブヘルス）	1後			2	○			1					兼4	オムニバス・共同（一部）
			助産学特論C（大阪課題解決論）	2前			1	○				1					令和6年度開講
			助産診断・技術学														
			助産学演習A（妊娠）	1前			2		○			3	2				オムニバス・共同（一部）
			助産学演習B（分娩）	1前			3		○		1	3	2				オムニバス・共同（一部）
			助産学演習C（産褥・新生児・乳児）	1前			2		○			2	1				共同
			助産学演習D（継続健康教育）	1後～2前			2		○			2					共同 令和6年度開講
			助産学演習E（ウィメンズヘルス）	1後			1		○		1		1			兼1	オムニバス・共同（一部）
			地域母子保健														
			国際・地域母子保健	2前			2	○				2	2			兼2	オムニバス 令和6年度開講
			助産管理														
			助産管理学（災害含む）	2前			2	○			1					兼3	オムニバス 令和6年度開講
			助産学実習														
			周産期助産学実習	1後			6			○	1	3	2			兼3	共同
			ハイリスク実習	2前			1			○	1	2	1				共同 令和6年度開講
			継続助産学実習	1後			2			○	1	3	2			兼3	共同
			地域助産学実習（集団教育）	2前			2			○	1	3	2				共同 令和6年度開講
			小計（15科目）	－	0	0	31	－			1	4	3	0	0	兼15	－
合計（233科目）				－	1	473	31	－			25	20	16	2	0	兼156	－

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目 先進ケア科学領域　5単位（必修1単位　選択4単位） 実践看護科学領域　1単位（必修1単位） 2. 専門科目 **先進ケア科学領域** 【修士論文コース】 26単位以上（必修12単位　選択14単位以上） ・先進ケア科学共通科目　12単位以上（必修4単位（「ケア科学研究論」、「研究倫理（医学系研究倫理）」）、選択8単位以上） ・先進ケア科学科目　14単位（必修8単位（「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」）、選択6単位（ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から）） **実践看護科学領域** 【修士論文コース】 ・実践看護科学共通科目　4単位（必修4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」）） ・実践看護科学の分野科目　16単位（必修8単位（「実践看護科学特別研究」）、選択8単位（基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から） ・その他　選択10単位以上（大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目 【実践看護研究コース】 ・実践看護科学共通科目　4単位（必修4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」）） ・実践看護科学の分野科目　12単位（必修4単位（「実践看護科学課題研究」）、選択8単位（基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から） ・その他　選択14単位以上（大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から）	1学年の学期区分	2　学期
	1学期の授業期間	15　週
	1時限の授業時間	90　分

阿倍野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後		2		○								兼1	
			Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通		2			○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通		1			○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前		2			○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後		2			○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後		2		○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後		2		○								兼1	
			化学産業論	1前・後		1		○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後		2			○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後		2		○								兼2	共同 オムニバス
			大学教育基礎演習	1通		1			○							兼4	共同
			小計（15科目）	―	1	25	0	―			0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	専門基礎科目	先進ケア科学共通科目	ケア科学研究論	1前		2		○			2						オムニバス
			研究倫理（医学系研究倫理）	1前		2		○								兼3	オムニバス
			ケア科学英語論文作成法	2前		2		○			2	1					共同
			ケアデータマネジメント	1後		2		○			2					兼1	オムニバス・ 共同（一部）
			ケア組織マネジメント論	2前		2		○			1						
			ケア科学研究方法論1（調査研究デザイン）	1後		2		○			3						オムニバス ※演習
			ケア科学研究方法論2（実験研究デザイン）	1後		2		○			2					兼1	オムニバス・ 共同
			ケア科学研究方法論3（質的研究デザイン）	1後		2		○			2						共同
			看護学基礎	1前		2		○			10	7	2				共同
			看護学基礎演習	1後		2			○		10	7	2				共同
			小計（10科目）	―	0	20	0	―			10	7	2	0	0	兼5	―
	先進ケア科学	ケアシステム科学	ヒューマンケアシステム研究特論	1前		2		○				2					共同
			ヒューマンケアシステム研究演習1	1後		2			○			2					共同
			ヒューマンケアシステム研究演習2	2前		2			○			2					共同
			療養ケアシステム研究特論	1前		2		○			1		1				共同
			療養ケアシステム研究演習1	1後		2			○		1		1				共同
			療養ケアシステム研究演習2	2前		2			○		1		1				共同
			子ども・家族ケア研究特論	1前		2		○			1		1				オムニバス・ 共同（一部）
			子ども・家族ケア研究演習1	1後		2			○		1		1				オムニバス・ 共同（一部）
			子ども・家族ケア研究演習2	2前		2			○		1						
			地域包括ケアシステム研究特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			地域包括ケアシステム研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			地域包括ケアシステム研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			ヘルスプロモーションケア研究特論	1前		2		○			1		1				オムニバス
			ヘルスプロモーションケア研究演習1	1後		2			○		1		1				共同
			ヘルスプロモーションケア研究演習2	2前		2			○		1		1				共同
			小計（15科目）	―	0	30	0	―			4	3	3	0	0	0	―

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手		備考
専門科目	先進ケア科学	生体行動ケア科学	がん包括ケア研究特論	1前		2		○			1		1				共同
			がん包括ケア研究演習1	1後		2			○		1		1				共同
			がん包括ケア研究演習2	2前		2			○		1		1				共同
			高齢者生活行動ケア研究特論	1前		2		○			1	1					オムニバス・共同（一部）
			高齢者生活行動ケア研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			高齢者生活行動ケア研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			ウィメンズヘルスケア研究特論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			ウィメンズヘルスケア研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			ウィメンズヘルスケア研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			精神行動ケア研究特論	1前		2		○			1	1					共同
			精神行動ケア研究演習1	1後		2			○		1	1					共同
			精神行動ケア研究演習2	2前		2			○		1	1					共同
			健康支援基礎科学特論	1前		2		○			2	1					オムニバス
			健康支援基礎科学研究演習1	1後		2			○		2	1					オムニバス
			健康支援基礎科学研究演習2	2前		2			○		2	1					共同
			小計（15科目）	―	0	30	0	―			6	4	1	0	0	0	―
			先進ケア科学特別研究1	1前・後		4			○		10	7					共同
			先進ケア科学特別研究2	2前・後		4			○		10	7					共同
			小計（2科目）	―	0	8	0	―			10	7	0	0	0	0	―
合計（57科目）				―	1	113	0	―			10	7	4	0	0	兼53	―

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目 先進ケア科学領域　5単位（必修1単位　選択4単位） 実践看護科学領域　1単位（必修1単位） 2. 専門科目 **先進ケア科学領域** 【修士論文コース】 26単位以上（必修12単位　選択14単位以上） ・先進ケア科学共通科目　12単位以上（必修4単位（「ケア科学研究論」、「研究倫理（医学系研究倫理）」）、選択8単位以上） ・先進ケア科学科目　14単位（必修8単位（「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」）、選択6単位（ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から）） **実践看護科学領域** 【修士論文コース】 ・実践看護科学共通科目　4単位（必修4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」）） ・実践看護科学の分野科目　16単位（必修8単位（「実践看護科学特別研究」）、選択8単位（基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から） ・その他　選択10単位以上（大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目 【実践看護研究コース】 ・実践看護科学共通科目　4単位（必修4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」）） ・実践看護科学の分野科目　12単位（必修4単位（「実践看護科学課題研究」）、選択8単位（基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から） ・その他　選択14単位以上（大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から）	1学年の学期区分	2　学期
	1学期の授業期間	15　週
	1時限の授業時間	90　分

羽曳野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目			研究公正Ａ	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
			科学英語	1前・後		2		○								兼1	
			Academic Writing	1前・後		2		○								兼2	
			Academic Presentation	1前・後		2			○							兼2	
			大学院キャリアデザイン演習	1通		2			○							兼2	共同
			大学院キャリア形成論―学問・大学と社会	1通		1			○							兼6	※講義 共同
			戦略的システム思考力演習1	1前		2			○							兼4	共同
			戦略的システム思考力演習2	1後		2			○							兼4	共同
			イノベーション創出型研究者養成	1前・後		2			○							兼1	
			医療の品質管理A	1前・後		2		○								兼1	※演習
			グローバル経営特論	1前・後		2		○								兼1	
			化学産業論	1前・後		1		○								兼3	オムニバス
			バイオデザイン	1前・後		2			○							兼2	※実習 共同
			人権問題論	1前・後		2		○								兼2	共同 オムニバス
			大学教育基礎演習	1通		1			○							兼4	共同
			小計（15科目）	―	1	25	0	―			0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	専門基礎科目	実践看護科学共通科目	理論看護学	1前		2		○			1						
			看護学研究法	1前		2		○			4						オムニバス・ 共同（一部）
			看護倫理学	1前		2		○			3						オムニバス
			看護政策学	1後		1		○				1					
			コンサルテーション論	1後		1		○			2						共同
			病態生理学	1後		2		○			1					兼1	オムニバス
			代謝病態生理学	1前		2		○								兼4	オムニバス・ 共同（一部）
			がん病態学	1前		2		○								兼1	
			臨床薬理学	1後		2		○			1					兼1	共同
			臨床疾病治療論	1前		2		○			2					兼8	オムニバス・ 共同（一部）
			フィジカルアセスメントA	1前		2			○							兼1	※講義
			フィジカルアセスメントB	1後		2			○		1					兼4	オムニバス ※演習
			データヘルス方法論A	1前		1		○			1	1					オムニバス
			データヘルス方法論B	1前		1		○			1	1					共同
			生体感染防御論	1前		2		○								兼1	
			異文化看護フィールドワークA	1通		2			○		1						
			異文化看護フィールドワークB	1通		1			○		1						
			新「共通特論1」：臨床腫瘍学総論	1前		2		○								兼1	
			新「共通特論2」：臨床腫瘍学各論	1後		2		○								兼1	
			補完代替療法学	1前		1		○					1			兼2	オムニバス
			公共政策論	1前		2		○								兼3	オムニバス
			人材管理論	1前		2		○								兼2	オムニバス
			ヘルスケア経営論	1後		2		○								兼2	オムニバス
			小計（23科目）	―	0	40	0	―			12	2	1	0	0	兼31	―

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	基礎看護科学	看護技術学特論1	1前		2		○			1	1	1				共同
			看護技術学特論2	1後		2		○			1	1	1				共同
			看護技術学演習1	1前		2			○		1	1	1				共同
			看護技術学演習2	1後		2			○		1	1	1				共同
			看護情報学特論1	1前		2		○			1	1					共同
			看護情報学特論2	1後		2		○			1	1					共同
			看護情報学演習1	1前		2			○		1	1					共同
			看護情報学演習2	1後		2			○		1	1					共同
			看護管理学特論1	1前		2		○			1	1					共同
			看護管理学特論2	1後		2		○			1	1					共同
			看護管理学演習1	1前		2			○		1	1					共同
			看護管理学演習2	1後		2			○		1	1					共同
			マネジメント実践フィールドワーク	2通		4				○	1	1					共同
			看護教育学特論1	1前		2		○			1	1					オムニバス・共同（一部）
			看護教育学特論2	1後		2		○			1	1	1				オムニバス
			看護教育学演習1A	1前		2			○		1	1					共同
			看護教育学演習1B	1前		2			○		1	1	1				共同
			看護教育学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			看護教育学演習2B	1後		2			○		1	1	1				共同
			看護教育学実習1	1後		2				○	1	1	1				共同
			看護教育学実習2	2前		2				○	1	1	1				共同
			小計（21科目）	―	0	44	0	―			4	4	2	0	0	0	―
		家族支援看護科学	母性看護学特論	1前		2		○			1	3					共同
			母性看護学援助特論	1後		2		○			1	3					共同
			母性看護学演習1	1前		2			○		1	3	2				共同
			母性看護学演習2	1後		2			○		1	3	2				共同
			家族看護学	1前		2		○			1		1				共同
			家族看護学特論	1前		2		○			1		1				共同
			家族看護学援助特論1	1後		2		○			1		1				共同
			家族看護学援助特論2	1後		2		○			1		1			兼1	オムニバス・共同（一部）
			家族看護学援助特論3	1後		2		○			1		1				共同
			家族看護学演習1A	1前		2			○		1						
			家族看護学演習1B	1前		2			○		1		1			兼1	オムニバス・共同（一部）
			家族看護学演習2A	1後		2			○		1						
			家族看護学演習2B	1後		2			○		1		1			兼4	オムニバス・共同（一部）
			家族看護学実習1	1後		2				○	1		1				共同
			家族看護学実習2	2通		6				○	1		1				共同
			家族看護学実習3	2通		2				○	1		1				共同
			小児看護学特論	1前		2		○			1						
			小児看護学援助特論1	1前		2		○			1	1					共同
			小児看護学援助特論2	1後		2		○			1					兼4	共同
			小児看護学援助特論3	2前		2		○			1						
			小児看護学援助特論4	1前		2					1						
			小児看護学演習1A	1前		2			○		1						
			小児看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼2	共同
			小児看護学演習2A	1後		2			○		1						
			小児看護学演習2B	1後		2			○		1	1				兼1	オムニバス・共同（一部）
			小児看護学実習1	1後・2通		2				○	1	1				兼5	共同
			小児看護学実習2	2通		3				○	1	1					共同
			小児看護学実習3	2通		5				○	1	1					共同
			小計（28科目）	―	0	64	0	―			3	4	3	0	0	兼12	―

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	生活支援看護科学	地域看護学特論	1前		2		○			1						
			地域看護学援助特論	1後		2		○			1						共同
			地域看護学演習1	1前		2			○		1		3			兼1	オムニバス・共同（一部）
			地域看護学演習2	1後		2			○		1		3				共同
			精神看護学特論	1前		2					1	1					共同
			精神看護学援助特論1	1前		2		○			1	1				兼3	オムニバス
			精神看護学援助特論2	1後		2		○			1	1				兼1	オムニバス・共同（一部）
			精神看護学援助特論3	1後		2		○			1	1					共同
			精神看護学援助特論4	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学援助特論5	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学援助特論6	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学援助特論7	1後		2		○			1	1		1			共同
			精神看護学演習1A	1前		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			精神看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			精神看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			精神看護学演習2B	1後		2			○		1	1					共同
			精神看護学実習1	1後		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習2	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習3	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習4	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			精神看護学実習5	1後・2前		2				○	1	1		1			共同
			老年看護学特論	1前		2		○			1						
			老年看護学援助特論1	1前		2		○			1	1					共同
			老年看護学援助特論2	1後		2		○			1	1					共同
			老年看護学援助特論3	1後		2		○			1	1					共同
			老年看護学演習1A	1前		2			○		1	1	1				共同
			老年看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			老年看護学演習2A	1後		2			○		1	1	1				共同
			老年看護学演習2B	1後		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			老年看護学実習1	1後		2				○	1	1					共同
			老年看護学実習2	2通		4				○	1	1					共同
			老年看護学実習3	2通		4				○	1	1					共同
			在宅看護学特論	1前		2		○			1						
			在宅看護学援助特論1	1後		2		○			1	1					共同
			在宅看護学援助特論2	1後		2		○			1	1					共同
			在宅看護学援助特論3	1前		2		○			1	1					共同
			在宅看護学演習1A	1前		2			○		1	1					共同
			在宅看護学演習1B	1前		2			○		1	1				兼4	オムニバス・共同（一部）
			在宅看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			在宅看護学演習2B	1後		2			○		1	1				兼3	オムニバス・共同（一部）
			在宅看護学実習1	2通		6				○	1	1					共同
			在宅看護学実習2	2通		4				○	1	1					共同
			小計（42科目）	―	0	94	0	―			4	3	4	1	0	兼18	―
		療養支援看護科学	急性看護学特論	1前		2		○			1						
			急性看護学援助特論1	1前		2		○			1						
			急性看護学援助特論2	1後		2		○			1						
			急性看護学演習1A	1前		2			○		1		1				共同
			急性看護学演習1B	1前		2			○		1						
			急性看護学演習2A	1後		2			○		1		1				共同
			急性看護学演習2B	1後		2			○		1					兼1	オムニバス

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	療養支援看護科学	急性看護学実習1	2通		6				○	1						
			急性看護学実習2	2通		4				○	1						
			慢性看護学特論1	1前		2		○			1						
			慢性看護学特論2	1前		2		○			1	1				兼1	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学特論3	1前		2		○			2	1	1			兼1	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学援助特論1	1後		2		○			1	1					オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学援助特論2	1後		2		○			1	1	1			兼3	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学演習1A	1前		2			○		1	1	1				共同
			慢性看護学演習1B	1前		2			○		1		1				オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			慢性看護学演習2B	1後		2			○		1	1	1			兼6	オムニバス・共同（一部）
			慢性看護学実習A1	1後		2				○	1	1	1				共同
			慢性看護学実習A2	2通		4				○	1	1	1				共同
			慢性看護学実習B	2通		2				○	1	1	1				共同
			慢性看護学実習C	2通		2				○	1	1	1				共同
			がん看護学特論	1前		2		○			1						
			がん看護学援助特論	1後		2		○			1	1				兼1	オムニバス
			がん緩和ケア論	1前		2		○			1	1					オムニバス
			がん薬物療法看護論	1後		2		○			1	1	1			兼4	オムニバス・共同（一部）※演習
			がん看護学演習1A	1前		2			○		1	1					共同
			がん看護学演習1B	1前		2			○		1	1	1			兼2	オムニバス・共同（一部）※講義
			がん看護学演習2A	1後		2			○		1	1					共同
			がん看護学演習2B	1後		2			○		2	1	1			兼3	オムニバス・共同（一部）※講義
			多職種参加型症例検討演習	2前		1			○		1	1	1				共同・集中
			模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習	1前		1			○		1	1	1				共同・集中
			がん看護学実習A	1後		2				○	1	1	1				共同
			がん看護学実習B	2通		4				○	1	1	1				共同
			がん看護学実習C	2通		4				○	1	1	1				共同
			感染看護学特論	1前		2		○			1						
			感染看護学援助特論	1後		2		○			1			1		兼1	オムニバス・共同（一部）
			感染看護疫学論	1後		2		○			1			1		兼1	オムニバス・共同（一部）
			臨床感染看護論	1後		2		○			1			1		兼2	オムニバス・共同（一部）
			感染看護学演習1A	1前		2			○		1						
			感染看護学演習1B	1前		2			○		1			1		兼1	オムニバス・共同（一部）
			感染看護学演習2A	1後		2			○		1						
			感染看護学演習2B	1後		2			○		1			1		兼2	オムニバス・共同（一部）
			感染看護学実習1	2通		6				○	1			1			共同
			感染看護学実習2	2通		4				○	1			1			共同
			小計（45科目）	―	0	106	0	―			5	2	3	1	0	兼28	―

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学	実践看護科学特別研究	2通		8			○		15	13					
		実践看護科学課題研究	2通		4			○		11	8					
		小計（2科目）	－	0	12	0	－			15	13	0	0	0	0	－
	助産師資格科目	基礎助産学														
		助産学概論	1前			1	○			1						
		助産学特論A（周産期病態生理）	1前			2	○					1			兼2	共同
		助産学特論B（リプロダクティブヘルス）	1後			2	○			1					兼4	オムニバス・共同（一部）
		助産学特論C（大阪課題解決論）	2前			1	○				1					令和6年度開講
		助産診断・技術学														
		助産学演習A（妊娠）	1前			2		○			3	2				オムニバス・共同（一部）
		助産学演習B（分娩）	1前			3		○		1	3	2				オムニバス・共同（一部）
		助産学演習C（産褥・新生児・乳児）	1前			2		○			2	1				共同
		助産学演習D（継続健康教育）	1後～2前			2		○			2					共同 令和6年度開講
		助産学演習E（ウィメンズヘルス）	1後			1		○		1		1			兼1	オムニバス・共同（一部）
		地域母子保健														
		国際・地域母子保健	2前			2	○				2	2			兼2	オムニバス 令和6年度開講
		助産管理														
		助産管理学（災害含む）	2前			2	○			1					兼3	オムニバス 令和6年度開講
		助産学実習														
		周産期助産学実習	1後			6			○	1	3	2			兼3	共同
		ハイリスク実習	2前			1			○	1	2	1				共同 令和6年度開講
		継続助産学実習	1後			2			○	1	3	2			兼3	共同
		地域助産学実習（集団教育）	2前			2			○	1	3	2				共同 令和6年度開講
		小計（15科目）	－	0	0	31	－			1	4	3	0	0	兼15	－
合計（191科目）			－	1	385	31	－			15	13	12	2	0	兼151	

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士前期課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 　履修方法に示す1および2の履修により、31単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、修士論文または課題研究の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目 　先進ケア科学領域　5単位（必修1単位　選択4単位） 　実践看護科学領域　1単位（必修1単位） 2. 専門科目 　**先進ケア科学領域** 　【修士論文コース】 　26単位以上（必修12単位　選択14単位以上） 　・先進ケア科学共通科目　12単位以上（必修4単位（「ケア科学研究論」、「研究倫理（医学系研究倫理）」）、選択8単位以上） 　・先進ケア科学科目　14単位（必修8単位（「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」）、選択6単位（ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から）） 　**実践看護科学領域** 　【修士論文コース】 　・実践看護科学共通科目　4単位（必修4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」）） 　・実践看護科学の分野科目　16単位（必修8単位（「実践看護科学特別研究」）、選択8単位（基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から） 　・その他　選択10単位以上（大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目 　【実践看護研究コース】 　・実践看護科学共通科目　4単位（必修4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」）） 　・実践看護科学の分野科目　12単位（必修4単位（「実践看護科学課題研究」）、選択8単位（基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から） 　・その他　選択14単位以上（大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から）	1学年の学期区分	2　学期
	1学期の授業期間	15　週
	1時限の授業時間	90　分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士後期課程

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	専門基礎科目	ケア科学研究総論	1・2前		1		○			2						オムニバス
		生体行動評価論	1・2前		1		○			2						オムニバス・共同（一部）
		ケアシステム開発論	1・2前		1		○			2						オムニバス
		看護学研究方法論	1前		1		○			4						共同
		看護学研究方法論演習	1後		1			○		3						共同
		看護理論開発方法論	1後		1		○			3						共同
		小計（6科目）	－	0	6	0	－			13	0	0	0	0	0	－
	先進ケア科学科目	ヒューマンケア研究特講	1前		2		○				2					共同
		ヒューマンケア後期研究演習	1後		2			○			2					共同
		がん包括ケア特講	1前		2		○			1						
		がん包括ケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		療養ケア研究特講	1前		2		○			1						
		療養ケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		高齢者生活行動ケア研究特講	1前		2		○			1	1					共同
		高齢者生活行動ケア後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		精神行動ケア研究特講	1前		2		○			1	1					共同
		精神行動ケア後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		地域包括ケアシステム研究特講	1前		2		○			1	1					オムニバス
		地域包括ケアシステム後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		ウィメンズヘルスケア研究特講	1前		2		○			1	1					共同
		ウィメンズヘルスケア後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		子ども・家族ケア研究特講	1前		2		○			1					兼1	オムニバス
		子ども・家族ケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		ヘルスプロモーションケア研究特講	1前		2		○			1						
		ヘルスプロモーションケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		健康支援基礎科学特講	1前		2		○			2	1					オムニバス
		健康支援基礎科学演習	1後		2			○		2	1					共同
		小計（20科目）	－	0	40	0	－			10	7	0	0	0	兼1	－

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士後期課程

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門科目	実践看護科学科目	基礎看護科学特講	1前		2		○			4	4					共同
		基礎看護科学演習	1後		2			○		4	4					共同
		家族支援看護科学特講	1前		2		○			3	2					共同
		家族支援看護科学演習	1後		2			○		3	2					共同
		生活支援看護科学特講	1前		2		○			4	3					共同
		生活支援看護科学演習	1後		2			○		4	3					共同
		療養支援看護科学特講	1前		2		○			4	2					共同
		療養支援看護科学演習	1後		2			○		4	2					共同
		小計（8科目）	－	0	16	0	－			15	11	0	0	0	0	－
	共通科目	特別研究1	1前後	2				○		25	7					共同（一部）
		特別研究2	2前後	2				○		25	7					共同（一部）
		特別研究3	3前後	4				○		25	7					共同（一部）
		小計（3科目）	－	8	0	0	－			25	7	0	0	0	0	－
合計（51科目）			－	9	62	17	－			25	18	0	0	0	兼35	－

学位又は称号	博士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、15単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　14単位 **先進ケア科学領域** 必修8単位　選択6単位 ※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「ケア科学研究総論」は必修、「生体行動評価論」または「ケアシステム開発論」から1単位を選択必修とする。 **実践看護科学領域** 必修8単位　選択6単位 ※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「看護学研究方法論」は必修、「看護理論開発方法論」、「生体行動評価論」、「ケアシステム開発論」、「看護学研究方法論演習」から1単位を選択必修とする。	1学年の学期区分	2　学期
	1学期の授業期間	15　週
	1時限の授業時間	90　分

阿倍野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士後期課程

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	専門基礎科目	ケア科学研究総論	1・2前		1		○			2						オムニバス
		生体行動評価論	1・2前		1		○			2						オムニバス・共同（一部）
		ケアシステム開発論	1・2前		1		○			2						オムニバス
		小計（3科目）	－	0	3	0	－			13	0	0	0	0	0	－
	先進ケア科学科目	ヒューマンケア研究特講	1前		2		○				2					共同
		ヒューマンケア後期研究演習	1後		2			○			2					共同
		がん包括ケア特講	1前		2		○			1						
		がん包括ケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		療養ケア研究特講	1前		2		○			1						
		療養ケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		高齢者生活行動ケア研究特講	1前		2		○			1	1					共同
		高齢者生活行動ケア後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		精神行動ケア研究特講	1前		2		○			1	1					共同
		精神行動ケア後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		地域包括ケアシステム研究特講	1前		2		○			1	1					オムニバス
		地域包括ケアシステム後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		ウィメンズヘルスケア研究特講	1前		2		○			1	1					共同
		ウィメンズヘルスケア後期研究演習	1後		2			○		1	1					共同
		子ども・家族ケア研究特講	1前		2		○			1					兼1	オムニバス
		子ども・家族ケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		ヘルスプロモーションケア研究特講	1前		2		○			1						
		ヘルスプロモーションケア後期研究演習	1後		2			○		1						
		健康支援基礎科学特講	1前		2		○			2	1					オムニバス
		健康支援基礎科学演習	1後		2			○		2	1					共同
		小計（20科目）	－	0	40	0	－			10	7	0	0	0	兼1	－
	共通科目	特別研究1	1前後	2				○		10	7					共同（一部）
		特別研究2	2前後	2				○		10	7					共同（一部）
		特別研究3	3前後	4				○		10	7					共同（一部）
		小計（3科目）	－	8	0	0	－			10	7	0	0	0	0	－
合計（40科目）			－	9	43	17	－			10	7	0	0	0	兼35	－

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士後期課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	博士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、15単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　14単位 **先進ケア科学領域** 必修8単位　選択6単位 ※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「ケア科学研究総論」は必修、「生体行動評価論」または「ケアシステム開発論」から1単位を選択必修とする。 **実践看護科学領域** 必修8単位　選択6単位 ※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「看護学研究方法論」は必修、「看護理論開発方法論」、「生体行動評価論」、「ケアシステム開発論」、「看護学研究方法論演習」から1単位を選択必修とする。	1学年の学期区分	2　学期
	1学期の授業期間	15　週
	1時限の授業時間	90　分

羽曳野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士後期課程

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
		イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
		イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
		イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
		大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
		小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	専門基礎科目	看護学研究方法論	1前		1		○			4						共同
		看護学研究方法論演習	1後		1			○		3						共同
		看護理論開発方法論	1後		1		○			3						共同
		小計（3科目）	－	0	3	0	－			13	0	0	0	0	0	－
専門科目	実践看護科学科目	基礎看護科学特講	1前		2		○			4	4					共同
		基礎看護科学演習	1後		2			○		4	4					共同
		家族支援看護科学特講	1前		2		○			3	2					共同
		家族支援看護科学演習	1後		2			○		3	2					共同
		生活支援看護科学特講	1前		2		○			4	3					共同
		生活支援看護科学演習	1後		2			○		4	3					共同
		療養支援看護科学特講	1前		2		○			4	2					共同
		療養支援看護科学演習	1後		2			○		4	2					共同
		小計（8科目）	－	0	16	0	－			15	11	0	0	0	0	－
	共通科目	特別研究1	1前後	2				○		15						共同（一部）
		特別研究2	2前後	2				○		15						共同（一部）
		特別研究3	3前後	4				○		15						共同（一部）
		小計（3科目）	－	8	0	0	－			15	0	0	0	0	0	－
合計（28科目）			－	9	19	17	－			15	11	0	0	0	兼34	－

教育課程等の概要

看護学研究科　看護学専攻　博士後期課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	博士（看護学）	学位または学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【修了要件】 履修方法に示す1および2の履修により、15単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること 【履修方法】 1. 大学院共通教育科目　1単位（必修1単位） 2. 専門科目　14単位 **先進ケア科学領域** 必修8単位　選択6単位 ※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「ケア科学研究総論」は必修、「生体行動評価論」または「ケアシステム開発論」から1単位を選択必修とする。 **実践看護科学領域** 必修8単位　選択6単位 ※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「看護学研究方法論」は必修、「看護理論開発方法論」、「生体行動評価論」、「ケアシステム開発論」、「看護学研究方法論演習」から1単位を選択必修とする。	1学年の学期区分	2　学期
	1学期の授業期間	15　週
	1時限の授業時間	90　分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 ―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	0	25		－		0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	生活科学専攻共通科目	生活科学論ゼミナール	1・2前	2			○			4	2					共同
		生活応用統計学特論	1・2前		2		○			1	1	1				共同
		国際科学コミュニケーション	1・2前		2		○				1	1			兼1	共同
		前期特別研究	2通	10				○		24	23					
		小計（4科目）	―	12	4	0		―		24	23	1	0	0	兼1	―
	食栄養学科目	社会健康科学特論	1前・後		2		○				1					
		社会健康科学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		社会健康科学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		環境健康科学特論	1前・後		2		○			1						
		環境健康科学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		環境健康科学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		生体機能学特論	1前・後		2		○				1					
		生体機能学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		生体機能学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		栄養医科学特論	1前・後		2		○			1						
		栄養医科学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		栄養医科学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		栄養化学特論	1前・後		2		○			1						
		栄養化学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		栄養化学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		生体エネルギー学特論	1前・後		2		○				1					
		生体エネルギー学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		生体エネルギー学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		栄養病理学特論	1前・後		2		○				1					
		栄養病理学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		栄養病理学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		分子栄養学特論	1前・後		2		○				1					
		分子栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		分子栄養学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		微生物学特論	1前・後		2		○			1						
		微生物学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		微生物学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		感染防御学特論	1前・後		2		○			1						
		感染防御学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		感染防御学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		食品科学特論	1前・後		2		○				1					

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		食品科学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		食品科学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		食品機能化学特論	1前・後		2		○			1						
		食品機能化学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		食品機能化学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		食品調理加工学特論	1前・後		2		○					1				
		食品調理加工学特論演習A	1前・後		1			○				1				
		食品調理加工学特論演習B	1前・後		1			○				1				
		食品衛生科学特論	1前・後		2		○				1					
		食品衛生科学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		食品衛生科学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		基礎栄養学特論	1前・後		2		○			1						
		基礎栄養学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		基礎栄養学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		応用栄養学特論	1前・後		2		○				1					
		応用栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		応用栄養学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		栄養マネジメント特論	1前・後		2		○			1						
		栄養マネジメント特論演習A	1前・後		1			○		1						
		栄養マネジメント特論演習B	1前・後		1			○		1						
		スポーツ医学特論	1前・後		2		○			1						
		スポーツ医学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		スポーツ医学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		栄養教育特論	1前・後		2		○					1				
		栄養教育特論演習A	1前・後		1			○				1				
		栄養教育特論演習B	1前・後		1			○				1				
		食行動教育特論	1前・後		2		○			1						
		食行動教育特論演習A	1前・後		1			○		1						
		食行動教育特論演習B	1前・後		1			○		1						
		臨床栄養学特論	1前・後		2		○				1					
		臨床栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		臨床栄養学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		病態栄養学特論	1前・後		2		○			1						
		病態栄養学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		病態栄養学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		栄養管理特論	1前・後		2		○				1					
		栄養管理特論演習A	1前・後		1			○			1					
		栄養管理特論演習B	1前・後		1			○			1					
		公衆栄養学特論	1前・後		2		○			1						
		公衆栄養学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		公衆栄養学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		公衆栄養プログラム特論	1前・後		2		○				1					
		公衆栄養プログラム特論演習A	1前・後		1			○			1					
		公衆栄養プログラム特論演習B	1前・後		1			○			1					
		給食経営管理特論	1前・後		2		○					1				
		給食経営管理特論演習A	1前・後		1			○				1				
		給食経営管理特論演習B	1前・後		1			○				1				
		給食栄養管理特論	1前・後		2		○				1					
		給食栄養管理特論演習A	1前・後		1			○			1					
		給食栄養管理特論演習B	1前・後		1			○			1					
		食栄養学特別講義A	1前・後		2		○				1				兼5	オムニバス
		食栄養学特別講義B	1前・後		2		○			1					兼5	オムニバス
		NST特論	1前・後		2		○			1	1					共同

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		栄養介入特論	1前・後		2		○				1					
		発達公衆栄養学特論1	1前・後		2		○			1	2					共同（一部） オムニバス 隔年
		発達公衆栄養学特論2	1前・後		2		○			1	2					共同（一部） オムニバス 隔年
		発達臨床栄養学特論	1前・後		2		○				1					隔年
		発達臨床栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					隔年
		発達臨床栄養学特論演習B	1前・後		1			○			1					隔年
		健康栄養教育特論1	1前・後		2		○			1		1			兼1	共同 隔年
		健康栄養教育特論2	1前・後		2		○			1		1			兼1	共同 隔年
		健康栄養教育特論演習A	1前・後		1			○							兼1	隔年
		健康栄養教育特論演習B	1前・後		1			○							兼1	隔年
		学校栄養・食事指導特論	1前・後		2		○								兼1	隔年
		学校栄養・食事指導特論演習A	1前・後		1			○							兼1	隔年
		学校栄養・食事指導特論演習B	1前・後		1			○							兼1	隔年
		食文化特論	1前・後		2		○								兼2	オムニバス 隔年
		小計（98科目）	－	0	136	0	－			12	12	3	0	0	兼15	－
	居住環境学科目	居住空間情報学系特論	1・2前		2		○			1						
		居住空間構造学系特論	1・2前		2		○			1		1				共同（一部） オムニバス
		居住空間計画学系特論	1・2前		2		○			1						
		居住空間設計学系特論	1・2前		2		○			1		1				共同（一部） オムニバス
		居住環境工学系特論	1・2前		2		○				2					共同（一部） オムニバス
		居住安全人間工学系特論	1・2前		2		○			1		1				オムニバス
		住生活学系特論	1・2前		2		○			1	1					共同（一部） オムニバス
		住居設計学系特論	1・2前		2		○				2					共同（一部） オムニバス
		計画（住居系）演習	1・2後		2			○		2	1	1				共同（一部） オムニバス
		計画（設計系）演習	1・2後		2			○		2	2				兼2	共同
		構造系演習1	1・2前		2			○		1		1				共同
		構造系演習2	1・2後		2			○		1		1				共同
		環境系演習1	1・2前		2			○			2					共同（一部） オムニバス
		環境系演習2	1・2後		2			○			2					共同（一部） オムニバス
		安全・人間工学系演習	1・2後		2			○		1		1				共同
		設計プロジェクトマネジメント	1・2通		4			○		1	1				兼3	共同
		修士研究演習1	1前		4			○		6	5					
		修士研究演習2	1後		4			○		6	5					
		設計インターンシップ1	1・2通		2				○	6	5				兼1	共同 集中
		設計インターンシップ2	1・2通		2				○	6	5				兼1	共同 集中
		設計インターンシップ3	1・2通		4				○	6	5				兼1	共同 集中
		小計（21科目）	－	0	50	0	－			6	5	3	0	0	兼6	

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
	総合福祉科学科目	社会福祉学特論	1・2前		2		○			1						
		福祉科学研究特論	1・2後		2		○			1						
		福祉政策学特論	1・2前		2		○			1						
		国際比較研究特論	1・2後		2		○			1						
		国際開発学特論	1・2前		2		○			1						
		社会開発学特論	1・2後		2		○			1						
		医療社会福祉学特論	1・2前		2		○			1						
		精神保健福祉学特論	1・2後		2		○			1						
		教育臨床学特論	1・2前		2		○			1						
		進化教育学特論	1・2後		2		○			1						
		地域福祉学特論	1・2前		2		○				1					
		家族社会学特論	1・2後		2		○				1					
		社会政策学特論	1・2前		2		○				1					
		ソーシャルケア学特論	1・2後		2		○				1					
		子ども家庭福祉特論	1・2前		2		○								兼1	
		ソーシャルワーク特論	1・2前		2		○					1				
		社会福祉実践科学特論	2前		2		○					1				
		リハビリテーション特論	1・2前		2		○								兼1	集中
		小計（18科目）	—	0	36	0		—		5	4	2	0	0	兼2	—
	臨床心理学科目	人格心理学特論	1・2前		2		○					1				
		臨床心理学特論1	1・2前		2		○			1	2					共同
		臨床心理学特論2	1・2後		2		○				1					
		臨床心理学事例研究法	1・2後		2		○								兼1	
		臨床心理面接特論1	1・2前		2		○				1					
		臨床心理面接特論2	1・2後		2		○			1	2					共同
		力動的精神療法学特論	1・2前		2		○								兼1	
		周産期家族臨床学特論	1・2後		2		○				1					
		高齢者心理学特論	1・2後		2		○				1					
		臨床心理査定演習1	1・2前		2			○			1					
		臨床心理査定演習2	1・2後		2			○							兼1	
		障がい者（児）心理学特論	1・2後		2		○								兼1	集中
		スクールカウンセリング特論	1・2後		2		○								兼1	集中
		心理療法学特論	1・2前		2		○								兼1	
		精神医学特論	1・2前		2		○								兼1	集中
		犯罪心理学特論	1・2前		2		○			1						
		産業・労働心理学特論	1・2前		2		○								兼2	共同
		健康心理学特論	1・2後		2		○								兼1	
		心理実践実習1A	1前		2				○		2				兼2	共同
		心理実践実習1B	1通		2				○	1	2	1			兼2	共同
		心理実践実習2A	1後		2				○		2				兼2	共同
		心理実践実習3A	2前		2				○	1		1			兼2	共同
		心理実践実習3B	2前		4				○	1	2	1			兼2	共同
		心理実践実習4A	2後		2				○	1		1			兼2	共同
		心理実践実習4B	2後		4				○	1	2	1			兼2	共同
		小計（25科目）	—	0	54	0		—		1	2	1	0	0	兼7	—
合計（181科目）			—	13	280	25		—		24	23	9	0	0	兼78	—

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（学術）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
履修方法及び課程修了要件は以下の通りである。 修士（学術） 【食栄養学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位と「生活科学論ゼミナール」2単位を修得すること ②食栄養学科目10単位以上を含め、専門科目（選択科目）の中から17単位以上を修得し、①の13単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【居住環境学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位と「生活科学論ゼミナール」2単位、居住環境学科目「修士研究演習1」4単位、「修士研究演習2」4単位を修得すること ②居住環境学科目（「修士研究演習1」、「修士研究演習2」を除く）の中から、9単位以上を修得し、①の21単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【総合福祉科学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位、「生活科学論ゼミナール」2単位を修得すること ②総合福祉科学科目10単位以上を含め、専門科目（選択科目）の中から17単位以上を修得し、①の13単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【臨床心理学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位、「生活科学論ゼミナール」2単位、臨床心理学科目「心理実践実習1A」2単位、「心理実践実習2A」2単位、「心理実践実習3A」2単位、「心理実践実習4A」2単位を修得すること ②専門科目（①を除く）の中から9単位以上を修得し、①の21単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

杉本キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 ―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	0	25		-		0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	生活科学専攻共通科目	生活科学論ゼミナール	1・2前	2			○			4	2					共同
		生活応用統計学特論	1・2前		2		○			1	1	1				共同
		国際科学コミュニケーション	1・2前		2		○				1	1			兼1	共同
		前期特別研究	2通	10				○		17	18					
		小計（4科目）	―	12	4	0		―		17	18	1	0	0	兼1	―
	食栄養学科目	環境健康科学特論	1前・後		2		○			1						
		環境健康科学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		環境健康科学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		生体機能学特論	1前・後		2		○				1					
		生体機能学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		生体機能学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		栄養医科学特論	1前・後		2		○			1						
		栄養医科学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		栄養医科学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		生体エネルギー学特論	1前・後		2		○				1					
		生体エネルギー学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		生体エネルギー学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		栄養病理学特論	1前・後		2		○				1					
		栄養病理学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		栄養病理学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		微生物学特論	1前・後		2		○			1						
		微生物学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		微生物学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		食品機能化学特論	1前・後		2		○			1						
		食品機能化学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		食品機能化学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		食品衛生科学特論	1前・後		2		○				1					
		食品衛生科学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		食品衛生科学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		応用栄養学特論	1前・後		2		○				1					
		応用栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		応用栄養学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		栄養教育特論	1前・後		2		○					1				
		栄養教育特論演習A	1前・後		1			○				1				

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		栄養教育特論演習B	1前・後		1			○				1				
		栄養管理特論	1前・後		2		○				1					
		栄養管理特論演習A	1前・後		1			○			1					
		栄養管理特論演習B	1前・後		1			○			1					
		公衆栄養学特論	1前・後		2		○			1						
		公衆栄養学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		公衆栄養学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		給食栄養管理特論	1前・後		2		○				1					
		給食栄養管理特論演習A	1前・後		1			○			1					
		給食栄養管理特論演習B	1前・後		1			○			1					
		食栄養学特別講義A	1前・後		2		○				1				兼5	オムニバス
		NST特論	1前・後		2		○			1	1					共同
		栄養介入特論	1前・後		2		○				1					
		発達公衆栄養学特論1	1前・後		2		○			1	2					共同（一部） オムニバス 隔年
		発達公衆栄養学特論2	1前・後		2		○			1	2					共同（一部） オムニバス 隔年
		発達臨床栄養学特論	1前・後		2		○				1					隔年
		発達臨床栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					隔年
		発達臨床栄養学特論演習B	1前・後		1						1					隔年
		健康栄養教育特論1	1前・後		2		○			1		1			兼1	共同 隔年
		健康栄養教育特論2	1前・後		2		○			1		1			兼1	共同 隔年
		健康栄養教育特論演習A	1前・後		1			○							兼1	隔年
		健康栄養教育特論演習B	1前・後		1			○							兼1	隔年
		学校栄養・食事指導特論	1前・後		2		○								兼1	隔年
		学校栄養・食事指導特論演習A	1前・後		1			○							兼1	隔年
		学校栄養・食事指導特論演習B	1前・後		1			○							兼1	隔年
		食文化特論	1前・後		2		○								兼2	オムニバス 隔年
		小計（55科目）	－	0	78	0		－		5	7	1	0	0	兼10	－
	居住環境学科目	居住空間情報学系特論	1・2前		2		○			1						
		居住空間構造学系特論	1・2前		2		○			1		1				共同（一部） オムニバス
		居住空間計画学系特論	1・2前		2		○			1						
		居住空間設計学系特論	1・2前		2		○			1		1				共同（一部） オムニバス
		居住環境工学系特論	1・2前		2		○				2					共同（一部） オムニバス
		居住安全人間工学系特論	1・2前		2		○			1		1				オムニバス
		住生活学系特論	1・2前		2		○			1	1					共同（一部） オムニバス
		住居設計学系特論	1・2前		2		○				2					共同（一部） オムニバス
		計画（住居系）演習	1・2後		2			○		2	1	1				共同（一部） オムニバス
		計画（設計系）演習	1・2後		2			○		2	2				兼2	共同
		構造系演習1	1・2前		2			○		1		1				共同
		構造系演習2	1・2後		2			○		1		1				共同
		環境系演習1	1・2前		2			○			2					共同（一部） オムニバス
		環境系演習2	1・2後		2			○			2					共同（一部） オムニバス
		安全・人間工学系演習	1・2後		2			○		1		1				共同
		設計プロジェクトマネジメント	1・2通		4			○		1	1				兼3	共同
		修士研究演習1	1前		4			○		6	5					

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
		修士研究演習2	1後		4			○		6	5					
		設計インターンシップ1	1・2通		2				○	6	5				兼1	共同 集中
		設計インターンシップ2	1・2通		2				○	6	5				兼1	共同 集中
		設計インターンシップ3	1・2通		4				○	6	5				兼1	共同 集中
		小計（21科目）	―	0	50	0		―		6	5	3	0	0	兼6	
	総合福祉科学科目	社会福祉学特論	1・2前		2		○			1						
		福祉科学研究特論	1・2後		2		○			1						
		福祉政策学特論	1・2前		2		○			1						
		国際比較研究特論	1・2後		2		○			1						
		国際開発学特論	1・2前		2		○			1						
		社会開発学特論	1・2後		2		○			1						
		医療社会福祉学特論	1・2前		2		○			1						
		精神保健福祉学特論	1・2後		2		○			1						
		教育臨床学特論	1・2前		2		○			1						
		進化教育学特論	1・2後		2		○			1						
		地域福祉学特論	1・2前		2		○				1					
		家族社会学特論	1・2後		2		○				1					
		社会政策学特論	1・2前		2		○				1					
		ソーシャルケア学特論	1・2後		2		○				1					
		子ども家庭福祉特論	1・2前		2		○								兼1	
		ソーシャルワーク特論	1・2前		2		○					1				
		社会福祉実践科学特論	2前		2		○					1				
		リハビリテーション特論	1・2前		2		○								兼1	集中
		小計（18科目）	―	0	36	0		―		5	4	2	0	0	兼2	―
	臨床心理学科目	人格心理学特論	1・2前		2		○					1				
		臨床心理学特論1	1・2前		2		○			1	2					共同
		臨床心理学特論2	1・2後		2		○				1					
		臨床心理学事例研究法	1・2後		2		○								兼1	
		臨床心理面接特論1	1・2前		2		○				1					
		臨床心理面接特論2	1・2後		2		○			1	2					共同
		力動的精神療法学特論	1・2前		2		○								兼1	
		周産期家族臨床学特論	1・2後		2		○				1					
		高齢者心理学特論	1・2後		2		○				1					
		臨床心理査定演習1	1・2前		2			○			1					
		臨床心理査定演習2	1・2後		2			○							兼1	
		障がい者（児）心理学特論	1・2後		2		○								兼1	集中
		スクールカウンセリング特論	1・2後		2		○								兼1	集中
		心理療法学特論	1・2前		2		○								兼1	
		精神医学特論	1・2前		2		○								兼1	集中
		犯罪心理学特論	1・2前		2		○			1						
		産業・労働心理学特論	1・2前		2		○								兼2	共同
		健康心理学特論	1・2後		2		○								兼1	
		心理実践実習1A	1前		2				○		2				兼2	共同
		心理実践実習1B	1通		2				○	1	2	1			兼2	共同
		心理実践実習2A	1後		2				○		2				兼2	共同
		心理実践実習3A	2前		2				○	1		1			兼2	共同
		心理実践実習3B	2前		4				○	1	2	1			兼2	共同
		心理実践実習4A	2後		2				○	1		1			兼2	共同
		心理実践実習4B	2後		4				○	1	2	1			兼2	共同
		小計（25科目）	―	0	54	0		―		1	2	1	0	0	兼7	―
合計（138科目）			―	13	222	25		―		24	23	9	0	0	兼73	―

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（学術）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
履修方法及び課程修了要件は以下の通りである。 修士（学術） 【食栄養学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位と「生活科学論ゼミナール」2単位を修得すること ②食栄養学科目10単位以上を含め、専門科目（選択科目）の中から17単位以上を修得し、①の13単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【居住環境学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位と「生活科学論ゼミナール」2単位、居住環境学科目「修士研究演習1」4単位、「修士研究演習2」4単位を修得すること ②居住環境学科目（「修士研究演習1」、「修士研究演習2」を除く）の中から、9単位以上を修得し、①の21単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【総合福祉科学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位、「生活科学論ゼミナール」2単位を修得すること ②総合福祉科学科目10単位以上を含め、専門科目（選択科目）の中から17単位以上を修得し、①の13単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【臨床心理学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位、「生活科学論ゼミナール」2単位、臨床心理学科目「心理実践実習1A」2単位、「心理実践実習2A」2単位、「心理実践実習3A」2単位、「心理実践実習4A」2単位を修得すること ②専門科目（①を除く）の中から9単位以上を修得し、①の21単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

羽曳野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目		研究公正A	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
		科学英語	1前・後			2	○								兼1	
		Academic Writing	1前・後			2	○								兼2	
		Academic Presentation	1前・後			2		○							兼2	
		大学院キャリアデザイン演習	1通			2		○							兼2	共同
		大学院キャリア形成論 ―学問・大学と社会	1通			1		○							兼6	※講義 共同
		戦略的システム思考力演習1	1前			2		○							兼4	共同
		戦略的システム思考力演習2	1後			2		○							兼4	共同
		イノベーション創出型研究者養成	1前・後			2		○							兼1	
		医療の品質管理A	1前・後			2	○								兼1	※演習
		グローバル経営特論	1前・後			2	○								兼2	
		化学産業論	1前・後			1	○								兼3	オムニバス
		バイオデザイン	1前・後			2		○							兼2	※実習 共同
		人権問題論	1前・後			2	○								兼2	共同（一部） オムニバス
		大学教育基礎演習	1通			1		○							兼4	共同
		小計（15科目）	―	1	0	25		-		0	0	0	0	0	兼48	―
専門科目	生活科学専攻共通科目	前期特別研究	2通	10				○		7	5					
		小計（1科目）	―	10	0	0		―		7	5	0	0	0	0	―
	食栄養学科目	社会健康科学特論	1前・後		2		○				1					
		社会健康科学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		社会健康科学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		栄養化学特論	1前・後		2		○			1						
		栄養化学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		栄養化学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		分子栄養学特論	1前・後		2		○				1					
		分子栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		分子栄養学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		感染防御学特論	1前・後		2		○			1						
		感染防御学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		感染防御学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		食品科学特論	1前・後		2		○				1					
		食品科学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		食品科学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		食品調理加工学特論	1前・後		2		○					1				
		食品調理加工学特論演習A	1前・後		1			○				1				
		食品調理加工学特論演習B	1前・後		1			○				1				
		基礎栄養学特論	1前・後		2		○			1						
		基礎栄養学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		基礎栄養学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		栄養マネジメント特論	1前・後		2		○			1						
		栄養マネジメント特論演習A	1前・後		1			○		1						
		栄養マネジメント特論演習B	1前・後		1			○		1						
		スポーツ医学特論	1前・後		2		○			1						
		スポーツ医学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		スポーツ医学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		食行動教育特論	1前・後		2		○			1						

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
		食行動教育特論演習A	1前・後		1			○		1						
		食行動教育特論演習B	1前・後		1			○		1						
		臨床栄養学特論	1前・後		2		○				1					
		臨床栄養学特論演習A	1前・後		1			○			1					
		臨床栄養学特論演習B	1前・後		1			○			1					
		病態栄養学特論	1前・後		2		○			1						
		病態栄養学特論演習A	1前・後		1			○		1						
		病態栄養学特論演習B	1前・後		1			○		1						
		公衆栄養プログラム特論	1前・後		2		○				1					
		公衆栄養プログラム特論演習A	1前・後		1			○			1					
		公衆栄養プログラム特論演習B	1前・後		1			○			1					
		給食経営管理特論	1前・後		2		○					1				
		給食経営管理特論演習A	1前・後		1			○				1				
		給食経営管理特論演習B	1前・後		1			○				1				
		食栄養学特別講義B	1前・後		2		○			1					兼5	オムニバス
		小計（43科目）	―	0	58	0	―			7	5	3	0	0	兼5	―
合計（59科目）			―	11	58	25	―			7	5	3	0	0	兼53	―

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士前期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

学位又は称号	修士（学術）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
履修方法及び課程修了要件は以下の通りである。 修士（学術） 【食栄養学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位と「生活科学論ゼミナール」2単位を修得すること ②食栄養学科目10単位以上を含め、専門科目（選択科目）の中から17単位以上を修得し、①の13単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【居住環境学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位と「生活科学論ゼミナール」2単位、居住環境学科目「修士研究演習1」4単位、「修士研究演習2」4単位を修得すること ②居住環境学科目（「修士研究演習1」、「修士研究演習2」を除く）の中から、9単位以上を修得し、①の21単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【総合福祉科学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位、「生活科学論ゼミナール」2単位を修得すること ②総合福祉科学科目10単位以上を含め、専門科目（選択科目）の中から17単位以上を修得し、①の13単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること 【臨床心理学コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正A」1単位、生活科学専攻共通科目の「前期特別研究」10単位、「生活科学論ゼミナール」2単位、臨床心理学科目「心理実践実習1A」2単位、「心理実践実習2A」2単位、「心理実践実習3A」2単位、「心理実践実習4A」2単位を修得すること ②専門科目（①を除く）の中から9単位以上を修得し、①の21単位と合わせて30単位以上を修得すること ③必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17	－			0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	後期特別研究	1～3	10				○		23						
	小計（1科目）	－	10	0	0	－			23	0	0	0	0	0	―
合計（15科目）		－	11	0	17	－			23	0	0	0	0	兼34	

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
履修方法及び課程修了要件は以下の通りである。 博士（学術） 【全コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正B」（１単位）、専門科目の「後期特別研究」（10単位）を修得すること ②必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

杉本キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	後期特別研究	1～3	10				○		16						
	小計（1科目）	－	10	0	0		－		16	0	0	0	0	0	―
合計（15科目）		－	11	0	17		－		16	0	0	0	0	兼34	

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
履修方法及び課程修了要件は以下の通りである。 博士（学術） 【全コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正B」（１単位）、専門科目の「後期特別研究」（10単位）を修得すること ②必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

羽曳野キャンパス

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学研究科　生活科学専攻　博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
大学院共通教育科目	研究公正B	1前・後	1			○								兼24	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成1	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2A	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2B	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2C	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2D	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2E	1前・後			1		○							兼2	オムニバス
	イノベーション創出型研究者養成2F	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成2G	1前・後			1		○							兼2	共同
	イノベーション創出型研究者養成2H	1前・後			1		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成3	1前・後			2		○							兼1	
	イノベーション創出型研究者養成4	1前・後			2		○							兼1	
	医療の品質管理B	1前・後			2	○								兼1	※演習
	大学教育実践演習	1前・後			1		○							兼2	共同
	小計（14科目）	－	1	0	17		－		0	0	0	0	0	兼34	－
専門科目	後期特別研究	1～3	10				○		7						
	小計（1科目）	－	10	0	0		－		7	0	0	0	0	0	—
合計（15科目）		－	11	0	17		－		7	0	0	0	0	兼34	

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
履修方法及び課程修了要件は以下の通りである。 博士（学術） 【全コース】 ①大学院共通教育科目「研究公正B」（１単位）、専門科目の「後期特別研究」（10単位）を修得すること ②必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び試験に合格すること	１学年の学期区分	2学期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻演習科目	プログラミング演習 （機械学習演習）	授業形態：演習 機械学習に関する基礎知識と基礎技術および発展的技術を学び、応用的な課題をオブジェクト指向言語やスクリプト言語などを用いたプログラミングを通して解決できるよう訓練する。最適化や教師あり学習・教師なし学習・強化学習について学び、実践する。各教員の専門分野に関する演習課題を通して、先端的な機械学習技術を用いた高度な問題解決能力を養成する。具体的には、最適化の演習、教師あり学習の演習、教師なし学習の演習、強化学習の演習を学び、さらに各研究室の専門分野に関連する演習を実施する。先端的な機械学習技術を用いた高度な問題解決能力を養成することで、複雑化する実社会における諸問題の解決に向けて最先端の領域で活躍できるデータサイエンティストとしての素養を高める。	共同
		先端ソフトウェア 環境構築実践	授業形態：演習 チームプロジェクトとしてアプリケーション開発、計算機シミュレーション、テストベッドを用いた実機実験などを行うためのプログラム開発するために必要なソフトウェア、および情報共有のためのコミュニケーションツールについて学び、演習を通じてプロジェクト環境を整える能力を養成する。また構築した環境を用い、実際にチームを組んでプログラム開発することで、データサイエンティスト、機械学習・人工知能(AI)エンジニアとしての素養を養成する。このため、情報共有のための「エディタ・コミュニケーションツールに関する演習」、AIプログラム作成に必要な「ライブラリインストール演習」「仮想環境構築演習」「バージョン管理演習」、最後に「チームプロジェクト演習」を実施する。また、本演習では、先端環境を駆使し、ハッカソンのように学生がテーマに沿って自由にプログラム仕様を策定・実装に取り組むことで、実践力を身につけることを目指す。	共同
	専攻研究指導科目	基幹情報学特別研究１	（概要） 知能情報学およびシステム情報学から構成される情報学の真理・原理を探求し、その広い研究領域において、未知の課題の根源を把握するに足る情報を生成、収集、伝送、保存する能力、それらの情報を多面的に解析し、そこから知識を獲得する能力、さらには、知識から決定された意志や行動を社会に働きかける仕組みや方法を立案する能力を、研究の実践過程における経験を通じて修得する。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、関連する研究テーマを持つ他の院生との協働により研究を実施し、修士論文作成に向けた研究計画書を作成する。 （<2> 宇野 裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。 （4 黄瀬 浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （<7> 吉岡 理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。 （【1】 戸出 英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。 （10 森 直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。 （8 藤本 典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （<6> 本多 克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （<5> 能島 裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （<1> 阿多 信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （<3> 大野 修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （<4> 中野 賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻研究指導科目	基幹情報学特別研究１	（【6】　生方 誠希） 膨大なデータを自動的に分類・要約するクラスタリングを研究課題として、ファジィ理論やラフ集合理論、柔軟かつ頑健なクラスタリング手法に関する研究指導を行う。 （【5】　井上 勝文） 画像センシング、信号処理や深層学習を研究課題とし、知覚情報処理に関する研究指導を行う。 （14 岩村 雅一） 物体認識や深層学習を研究課題とし、人間情報学に関する研究指導を行う。 （13 岩田 基） 画像情報工学とヒューマンコンピュータインタラクションを研究課題とし、人間情報学に関する研究指導を行う。 （【7】谷川 陽祐） 無線ネットワークシステムを研究課題とし、ネットワーク制御に関する研究指導を行う。 （20 北條 仁志） 社会現象に伴うモデルを研究対象とし、最適化やゲーム論的解析に関する研究指導を行う。 （<9> 林 利治） 統計的機械学習やデータサイエンスを研究課題とし、機械学習アルゴリズム及び統計的推測に関する研究指導を行う。 （<8> 中島 重義） 医療分野、あるいはそれ以外の現実の分野で採取された画像や動画、センサの信号などのデータを、周波数解析や非線形の最適化アルゴリズムなどで処理して、必要とされる課題を達成するための技術に関する教育・研究を行う。 （17 蔡 凱） システム制御理論と応用、特にマルチエージェントシステムの分散・協調制御に関する教育・研究を行う。 （【9】　上野 敦志） ロボットにおける学習など機械の知能化を研究課題とし、人工知能、機械学習、自然言語処理に関する研究指導を行う。 （【10】　内海 ゆづ子） コンピュータビジョンや画像上でのパターン認識を研究課題とし，知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （【11】　勝間 亮） 高度なセンシングや分散処理を研究課題とし，モバイルコンピューティングに関する研究指導を行う。	
		基幹情報学特別研究２	（概要） 知能情報学およびシステム情報学から構成される情報学の真理・原理を探求し、その広い研究領域において、未知の課題の根源を把握するに足る情報を生成、収集、伝送、保存する能力、それらの情報を多面的に解析し、そこから知識を獲得する能力、さらには、知識から決定された意志や行動を社会に働きかける仕組みや方法を立案する能力を、研究の実践過程における経験を通じて修得する。具体的には、既習科目や「基幹情報学特別研究１」の成果を踏まえ、指導教員および副指導教員の指導の下、関連する研究テーマを持つ他の院生との協働により研究を実施し、研究計画書に基づき修士論文を作成する。 （<2> 宇野 裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。 （4 黄瀬 浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （<7> 吉岡 理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。 （【1】　戸出 英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。 （10 森 直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻研究指導科目	基幹情報学特別研究２	（8 藤本 典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （<6> 本多 克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （<5> 能島 裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （<1> 阿多 信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （<3> 大野 修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （<4> 中野 賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。 （【6】 生方 誠希） 膨大なデータを自動的に分類・要約するクラスタリングを研究課題として、ファジィ理論やラフ集合理論、柔軟かつ頑健なクラスタリング手法に関する研究指導を行う。 （【5】 井上 勝文） 画像センシング、信号処理や深層学習を研究課題とし、知覚情報処理に関する研究指導を行う。 （14 岩村 雅一） 物体認識や深層学習を研究課題とし、人間情報学に関する研究指導を行う。 （13 岩田 基） 画像情報工学とヒューマンコンピュータインタラクションを研究課題とし、人間情報学に関する研究指導を行う。 （【7】 谷川 陽祐） 無線ネットワークシステムを研究課題とし、ネットワーク制御に関する研究指導を行う。 （20 北條 仁志） 社会現象に伴うモデルを研究対象とし、最適化やゲーム論的解析に関する研究指導を行う。 （<9> 林 利治） 統計的機械学習やデータサイエンスを研究課題とし、機械学習アルゴリズム及び統計的推測に関する研究指導を行う。 （<8> 中島 重義） 医療分野、あるいはそれ以外の現実の分野で採取された画像や動画、センサの信号などのデータを、周波数解析や非線形の最適化アルゴリズムなどで処理して、必要とされる課題を達成するための技術に関する教育・研究を行う。 （17 蔡 凱） システム制御理論と応用、特にマルチエージェントシステムの分散・協調制御に関する教育・研究を行う。 （【9】 上野 敦志） ロボットにおける学習など機械の知能化を研究課題とし、人工知能、機械学習、自然言語処理に関する研究指導を行う。 （【10】 内海 ゆづ子） コンピュータビジョンや画像上でのパターン認識を研究課題とし，知能メディア処理に関する研究指導を行う． （【11】 勝間 亮） 高度なセンシングや分散処理を研究課題とし，モバイルコンピューティングに関する研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻基礎科目	基幹情報学セミナー	授業形態：講義 サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立するSociety 5。0を実現するためにはさらなるイノベーションの創出が必要となる。本セミナーでは、イノベーションを誘発するための基幹となる情報関連技術を講義する。具体的には、センシング、IoT（Internet of Things）、情報通信基盤、エネルギ、人工知能（AI）、ビッグデータ解析等の技術について、それらを専門とする教員がオムニバス形式で講義し、与えられた課題に対して解決策を提案するという形の演習を通して、基幹となる情報技術に対する理解を深め、応用力を身につける。 〈オムニバス方式/全15回、各1回〉 ＜＜2＞ 宇野 裕之＞ アルゴリズムの設計と解析 ＜4 黄瀬 浩一＞ 知能メディア処理 ＜＜7＞ 吉岡 理文＞ 深層学習とパターン認識 ＜10 森 直樹＞　人工知能と感性 ＜8 藤本 典幸＞ 並列分散処理の高速化 ＜＜6＞ 本多 克宏＞ データマイニングによる知識発見 ＜＜5＞ 能島 裕介＞ 進化型多目的最適化 ＜＜8＞ 中島 重義＞　医療情報における画像認識とセンシング ＜＜1＞ 阿多 信吾＞ ネットワーク制御の自動化 ＜【1】 戸出 英樹＞ 次世代知的情報ネットワーキング ＜＜3＞ 大野 修一＞ 数理モデルの無線通信への応用 ＜＜4＞ 中野 賢＞　分子通信とバイオナノマシン ＜【6】 生方 誠希＞ 高度なクラスタリングとその応用 ＜【5】 井上 勝文＞ 深層学習による画像認識 ＜【10】 内海 ゆづ子＞ コンピュータビジョンと応用	オムニバス方式
		アルゴリズム設計論	授業形態：講義 組合せ最適化問題を対象とし、実践的・応用的な解法（アルゴリズム）を設計・解析できる知識や力を身につける。具体的には、固定パラメータ・アルゴリズム、乱択アルゴリズム、近似アルゴリズムなどの理論的なアルゴリズム、および、おもにヒューリスティックを使った最適化アルゴリズムを理解し、現実的な問題に応用できる力をつける。以上の目的のため、「基本的なアルゴリズム設計・解析技法」「固定パラメータ・アルゴリズム」「乱択アルゴリズム」「近似アルゴリズム」「メタヒューリスティクス（山登り法、焼きなまし法、遺伝的アルゴリズム等）」について講義する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈＜2＞ 宇野 裕之/7回〉 「基本的なアルゴリズム設計・解析技法」「固定パラメータ・アルゴリズム」「乱択アルゴリズム」「近似アルゴリズム」などの理論的なアルゴリズムを担当する。 〈＜8＞ 中島 重義/8回〉 「メタヒューリスティクス（山登り法、焼きなまし法、遺伝的アルゴリズム等）」など応用的な部分を担当する。	オムニバス方式
		確率統計学	授業形態：講義 確率・統計を情報学と関連づけて講義する。確率過程の本質、さらにエントロピーを理解させる。また、統計的推定、仮説検定の発展的な手法を身につけさせる。具体的には、「拡散過程」「マルコフ過程」「エントロピー」「ロバスト推定」「尤度比検定」「ノンパラメトリック検定」などについて講義する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈＜9＞ 林 利治/7回〉 最尤推定量の漸近性質、ロバスト推定、尤度比検定、ノンパラメトリック検定を担当する。 〈＜4＞ 中野 賢/8回〉 多次元確率分布、中心極限定理、確率過程、エントロピーを担当する。	オムニバス方式
		テクニカルライティング・プレゼンテーション	授業形態：講義 科学技術情報を対象者に正確かつ効果的に伝達するための文章作成技術と発表技術を養成する。対象者の特性理解、全体構成決定、論理的思考に基づいた文章構成、適切な表現と専門用語選択といったテクニカルライティング・プレゼンテーションの基礎を講義する。受講者は基礎を学んだ後、論文、レポートあるいは提案書を実際に作成し、講義の中で教員が添削することによりテクニカルライティングの実践力を養成する。一方、プレゼンテーション資料を作成し、講義の中でそれを用いたプレゼンテーションを実際に行い、教員が問題点を指摘し改善することによりテクニカルプレゼンテーションの実践力を養成する。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	知能情報学系科目	社会情報学	授業形態：講義 社会情報学では社会における問題状況を数理モデルやプログラムで定式化するために、数理計画法や確率モデルとその解法を概説し、ゲーム理論やマルチエージェントシステム、エージェントベースドシミュレーションにより解析する技法について学習する。具体的には社会の数理モデル化および人工市場について解説する。従来からの数学的モデルから機械学習に基づく人工知能エージェントまで幅広く取り扱い、実社会間と計算機シミュレーションをどのように結合し、計算機シミュレーションによって得られた成果をどのように実社会にフィードバックしていくかについての工学的素養を培うことを目的とする。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈20 北條 仁志/7回〉 数理モデル、数理計画法、確率モデル、ゲーム理論を担当する。 〈10 森 直樹/8回〉 マルチエージェントシステム、エージェントベースドシミュレーション、人工市場、人工知能エージェントを担当する。	オムニバス方式
			深層学習	授業形態：講義 深層学習の基礎となる各種ネットワークの構造、目的関数、学習アルゴリズム、学習正則化法を理解させる。また、言語、画像、音声、制御など各種応用に応じたネットワーク設計、実装方法、そのために必要な各種ライブラリ、ハードウエア環境の利用法を身につけさせる。具体的には、「ニューラルネットワークの基本構造」「目的関数、学習アルゴリズム、各種学習正則化」「言語、画像、音声、制御等への応用」「各種可視化、アテンション手法」「各種ライブラリ、ハードウエア環境の特長、利用法」について講義する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈＜7＞ 吉岡 理文/8回〉 「ニューラルネットワークの基本構造」「目的関数、学習アルゴリズム」を担当する。 〈14 岩村 雅一/7回〉 「各種学習正則化」「言語、画像、音声、制御等への応用」「各種可視化、アテンション手法」「各種ライブラリ、ハードウエア環境の特長、利用法」を担当する。	オムニバス方式
			ビッグデータ解析	授業形態：講義 多種多様なビッグデータの収集・解析することは社会インフラやビジネスなどあらゆる局面で不可欠な技術となっている。前半では、代表的なビッグデータの一つである（ウェブを始めとする）ネットワークデータを対象とし、ネットワーク解析技術を講述し、後半では、ビッグデータ解析で用いられる分析手法について説明した後、現実社会での活用事例について概説する。具体的には、前半ではネットワーク解析およびグラフ理論、ネットワーク生成モデル、ネットワーク中心性など、後半ではビッグデータにおける統計解析、マーケティングや在庫管理・流通分野へのビッグデータ解析の活用などの項目について講義する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈＜2＞ 宇野 裕之/7回〉 おもに前半のネットワーク解析を担当する。 〈20 北條 仁志/8回〉 統計解析、ビッグデータ解析の活用を担当する。	オムニバス方式
			ヒューマンコンピュータインタラクション	ヒューマンコンピュータインタラクション (Human-Comptuer Interaction; HCI)とは、人間とコンピュータの相互交流、ならびにそれを通した人間同士の交流をサポートするための研究分野であり、コンピュータサイエンスだけではなく、認知科学や社会学など、多様な分野との学際に位置する。本講義では、HCIの基礎的な概念について理解するとともに、HCIを考える上で必須となる人間の感覚や認知の特性、ならびにそれを計測するためのアイトラッキング、アイウェア、EEGなどのセンシング技術について習得する。また、それに基づいたディジタルペン、ウエアラブルコンピューティング、ユビキタスコンピューティングなどのインタフェースの各種技術の現状、ヘッドマウントディスプレイなどの表示技術の現状、新しいインタフェースやインタラクションのデザインならびにユーザスタディなどの評価手法について学習する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈4 黄瀬 浩一/8回〉 ヒューマンコンピュータインタラクションの概要、インタラクションデザイン、インタラクションの概念化、認知的側面、社会的インタラクション、感情的インタラクション、インタフェース、データ収集を担当する。 〈13 岩田 基/7回〉 データ分析、大規模データ、要求の発見、プロトタイピング、インタラクションデザインの実際、評価、ユーザビリティを担当する。	オムニバス方式

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	知能情報学系科目	先端的計算知能	授業形態：講義 自然から発想を得た人工知能技術の総称である計算知能を習得することを目標とし、代表的な技術として進化計算、ファジィシステム、ニューラルネットワークの応用を講義する。また、最新の研究成果を調査・実装・発表することで、計算知能の理解を深める。具体的には、「進化型多目的最適化」「進化型機械学習」「ファジィ集合、演算、推論」「ファジィクラスタリング」「ニューラルネットワーク」「計算知能の周辺技術」について講義する。 ＜オムニバス方式/全15回＞ ＜＜5＞ 能島 裕介/10回＞ 進化型多目的最適化、進化型機械学習、ニューラルネットワーク、計算知能の周辺技術を担当する。 ＜＜6＞ 本多 克宏/5回＞ ファジィ集合・演算・推論、ファジィクラスタリングを担当する。	オムニバス方式
			機械学習構成論	授業形態：講義 機械学習のベイズ推測を理解させるため、回帰分析を例とする講義から始め、モンテカルロ近似、判別問題に対する手法を理解させる。また、機械学習に関連するプログラム言語を理解させ、活用できるようにさせる。さらに、サポートベクタマシン、ニューラルネットワークライブラリを用いたプログラミングの能力素養を身につけさせる。具体的には、回帰分析とベイズ推測、モンテカルロ近似（重点サンプリング法を含む）、判別問題に対する学習手法、機械学習に用いられる言語、ライブラリ、計算機環境、サポートベクタマシン、ニューラルネットワークの理論的基礎および実装について講義する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈＜9＞ 林 利治/7回〉 回帰分析とベイズ推測、モンテカルロ近似（重点サンプリング法を含む）、判別問題に対する学習手法を担当する。 〈＜7＞ 吉岡 理文/8回〉 機械学習に用いられる言語、ライブラリ、計算機環境、サポートベクタマシン、ニューラルネットワークの理論的基礎および実装を担当する。	オムニバス方式
			データマイニング	授業形態：講義 様々なデータ集合からヒトの意思決定に有益な情報を抽出する技術体系であるデータマイニングを習得することを目標として、基盤となるデータ解析法を講述し、計算機において実現するための種々の関連事項について学ばせる。具体的には、データ解析手法（回帰分析、主成分分析、クラスター分析）、欠測値やノイズ、尺度混在データ、テキストデータの処理法、識別器設計のための学習手法、データ匿名化とプライバシー保護データ解析について講義する。 ＜オムニバス方式/全15回＞ ＜＜6＞ 本多 克宏/10回＞ データ解析手法、欠測値やノイズ、尺度混在データ、テキストデータの処理法、データ匿名化とプライバシー保護データ解析を担当する。 ＜＜5＞ 能島 裕介/5回＞ 識別器設計のための学習手法を担当する。	オムニバス方式
			言語情報学	授業形態：講義 自然言語処理は人と計算機をつなぐために必須の技術であり、人工知能における重要な課題として位置づけられてきた。特に、近年は深層学習を始めとする機械学習の発展により対話システムや機械翻訳など実用性の高いアプリケーションに注目が集まっている。本講義では、自然言語処理の基礎技術から応用技術までを幅広く学び、実際に計算機上で利用するための知識と技能の習得を目的とする。具体的には形態素解析や構文解析などの基礎解析技術、文書検索などの応用技術、各種分散表現手法、ベクトル表現手法や深層学習と機械学習による自然言語処理の一般的な手法、マルチモーダル学習などについて学ぶ。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈4 黄瀬 浩一/8回〉 自然言語処理概要、形態素解析、構文解析、意味解析、文脈解析、文書検索を担当する。 〈10 森 直樹/7回〉 分散表現手法、ベクトル表現手法、深層学習と機械学習による自然言語処理、マルチモーダル学習を担当する。	オムニバス方式

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	知能情報学系科目	画像情報学	授業形態：講義 画像は人の視覚と密接に関わる身近なメディアである。近年のスマートフォンやインターネットの普及により、利用可能な画像データが増えており、その重要度は増加の一途である。本講義では、画像の撮影・撮像方法、処理方法、認識・理解方法を広く学び、画像を扱う上での知識の習得を目的とする。具体的には、画像をカメラで撮影する仕組み（カメラモデル、カメラ校正、射影歪み）、奥行きを推定する方法（多視点の幾何ステレオ視）、画像の保存方法（画像フォーマットや画像の色表現、圧縮方式）、基本的な画像処理（画像変換など）、画像中の物体認識、画像や動画像を対象とした情報ハイディング（電子透かし、ステガノグラフィ）、運動からの構造復元について学ぶ。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈14 岩村 雅一/8回〉 撮像の仕組み、奥行き推定、物体認識、運動からの構造復元を担当する。 〈13 岩田 基/7回〉 画像の保存方法、基本的な画像処理、情報ハイディングを担当する。	オムニバス方式
		システム情報学系科目	情報プラットフォーム構成論	授業形態：講義 ネットワークを通じて提供されるアプリケーション、サービスの多様化・高度化に伴い、その共通基盤となる情報プラットフォームの重要性が高まっている。本講義では、情報プラットフォームの役割と展開事例について概観し、情報プラットフォームに対する理解を深めた上で、それを構成する要素技術（サービス構成技術、ネットワーク技術、コンピューティング技術等）、およびこれらを俊敏に実現していくための構成自動化手法に修得することを目的とする。	
			情報センシングシステム	授業形態：講義 センサを活用している具体的なシステムを例に挙げ、それらの原理や仕組みを解説する。位置センシングに関しては、電磁波や音波を無線信号として捉え、1次元の信号として扱った場合にその到達時間・到達角度・強度から位置を推定する方法ならびに2次元信号として扱った場合にその画像情報から位置を推定する原理を解説する。一方、環境センシングに関しては、温度、湿度、圧力や振動等をセンスするデバイスの構造を解説し、それらから得られる情報を用いて経年変化や劣化等の環境パラメータを推定する方法を解説する。さらに、センサにより構成されるネットワークについて解説する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈【11】 勝間 亮/8回〉 位置推定の原理、1次元信号を用いた位置推定、2次元信号を用いた位置推定および位置推定の応用を担当する。 〈【7】 谷川 陽祐/7回〉 環境センシングの原理、環境パラメータセンシング、センサにより構成されるネットワークを担当する。	オムニバス方式
			マルチエージェントシステム	授業形態：講義 マルチエージェントシステムやネットワークの連結度、分散制御の基本的な概念を理解する。さらに、分散型のアルゴリズムを設計し、その安定性を解析できる。具体的には、線形システム（状態モデル、安定性理論、状態フィードバック制御）とグラフ理論（連結度、グラフラプラシアン、Perron-Frobenius定理）を紹介し、分散合意アルゴリズム、分散平均アルゴリズム、分散最適化アルゴリズム、分散フォーメーション制御アルゴリズムなどの設計と分析について述べる。	共同
			サイバーセキュリティ	授業形態：講義 インターネットや IoT、Web、データベースなどの様々な情報システムが抱えるセキュリティリスクとその対策法について学習し、情報セキュリティの基本概念の理解を前提に、最新の情報セキュリティ技術とその課題を中心に理解する。また、暗号化技術やセキュリティプロトコルの現状の考え方を理解する。具体的にはネットワークの情報セキュリティリスクとその対策、オペレーティングシステムの情報セキュリティリスクとその対策、IoTの情報セキュリティリスクとその対策、Web・データベースの情報セキュリティリスクとその対策についてそれぞれ述べ、その基盤となる暗号化技術、セキュリティプロトコルについて講義する。 〈オムニバス方式/全15回〉 〈＜1＞ 阿多信吾/8回〉 情報セキュリティの基礎、情報セキュリティとその対策の現状、脆弱性対策、ネットワークセキュリティ、IoT セキュリティ、電子証明書を担当する 〈＜3＞ 大野修一/7回〉 暗号化技術、無線ネットワークセキュリティ、セキュリティプロトコル、ネットワーク安全性、IoT セキュリティを担当する	オムニバス方式
			ネットワークシステム設計論	授業形態：講義 各種ネットワークシステムを設計・構築する上で今や必要不可欠な情報ネットワーク基盤と、それらを支える要素技術として、スイッチングデバイス、ルーチング、トランスポートプロトコル等の各種制御技術に関する知見を深め、その本質や意義、ならびにそれらネットワークシステムの設計技法を習得することを目的とする。また、ネットワーク性能を適切に評価するためのトラヒック理論基礎、計算機シミュレーション技法について学び、それらを応用した各種先端ネットワーク基盤技術と網内資源割当てや機能配置などの設計アプローチについて修得させる。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	システム情報学系科目	高性能計算論	授業形態：講義 並列計算システムのアーキテクチャとプログラミングについて、特に現在広く普及しているマルチコア・プロセッサを対象に、データ並列演算を行う機械語命令である SIMD 命令を用いた並列処理、逐次プログラムに指示文を追記していくことでインクリメンタルな並列化が可能な OpenMP を用いたマルチスレッド・プログラミングに加えて、画像処理に限らない汎用計算のアクセラレータとして広く用いられているメニイコア・プロセッサであるGPUを用いた並列計算、いわゆるGPGPU、GPU計算を記述する CUDA プログラミングと、より高水準な GPU プログラミングについて講義する。	
			通信基盤	授業形態：講義 情報通信技術発展の歴史を振り返りながら、将来の情報通信の基盤となりうる技術について考察する。具体的には、生体分子を情報伝達のキャリアとして用いる、分子通信技術を取り挙げる。まず、細胞生物における分子通信を観察し、細胞生物が数十億年の進化の過程を経て獲得した通信技術を概観する。次に、分子通信の汎用的アーキテクチャについて考察する。分子通信方式を、受動輸送型、能動輸送型、反応拡散型の３種類に分類し、各々の分子通信方式を数理モデル化し、定量的に取り扱うための手法を学ぶ。最後に、人工的な分子通信システムを設計し、薬物送達やがん細胞生物学に応用する研究事例を学ぶ。	
			無線ネットワークシステム	授業形態：講義 屋内と屋外における無線電波伝搬の原理から無線ネットワークで用いられる代表的な物理層、MAC（Media Access Control）層、ネットワーク層プロトコルについて理解した後、ライセンスドバンドおよびアンライセンスドバンドで用いられている無線通信方式の標準規格と電波法を理解する。さらに、国際標準規格やデファクトスタダートとアライアンスの関係を理解した後、これらを用いた具体的な無線通信システムの現状とその将来展望について理解することを目標とする。本講義では電波伝搬、変復調、衝突回避、プロアクティブ/リアクティブルーチングなどの物理層、MAC層、ネットワーク層プロトコルにおける技術、制御、さらにはライセンスドバンドとアンライセンスドバンドの無線ネットワークシステムに関する発展的内容を取り扱う。 <オムニバス方式/全15回> <【11】 勝間 亮/7回> 無線ネットワーク用物理層、MAC層とネットワーク層プロトコルおよびブロードバンド伝送技術を担当する。 <【7】 谷川 陽祐/8回> ライセンスバンドとアンライセンスバンド、国際標準規格、デファクトスタンダートとアライアンスの関係、移動体通信システム、無線LANシステム、IoTシステムの現状と将来展望を担当する。	オムニバス方式
			時系列信号処理	授業形態：講義 システムから得られる情報の時間的記述である時系列の振る舞いを分析し予測するための方法論を講義する。具体的には、確率過程、最尤推定、ベイズ推定、観測した時系列をディジタルフィルタによりモデル化する方法、AR、MA、ARMA 等のモデル化法の種類、ウィーナーフィルタを講義する。その後、システムの入出力時系列の状態空間法表現、スムージング、フィルタリングと予測、線形ガウス状態空間モデルにおけるカルマンフィルタ、さらには非線形状態空間モデルに適用できる粒子フィルタを講義する。	共同

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻演習科目	学際情報学特別演習１	（概要） 目標：情報学、知識科学、経営情報学、教育情報学、医療情報学について、指導教員が修士論文の作成に向けた研究指導を行う。また、本演習あるいは学際情報学特別演習２のいずれかにおいて、複数の教員の指導の下で、他の院生との協働による問題解決型プログラムに取り組ませることによって、学際領域における創発的な研究を推進すると共に、多角的な観点から、使命感、責任感、倫理観を身につけさせる。その間も必要に応じて指導教員による研究指導を並行して行う。さらに、分野を超えた専攻単位で研究報告会を行うことにより、学際的な視点を身につけさせると共に、異なる研究領域間のコミュニケーション能力を涵養する。 授業計画：オリエンテーション、指導教員による研究指導、情報学、知識科学、経営情報学、教育情報学、医療情報学などに関わるテーマについて問題発見型・問題解決型プログラムを実施する。各院生は、複数の教員の指導の下で、他の院生と協働で問題解決に取り組み、演習での成果について報告会およびディスカッションを実施し学際的な視点を修得する。 （<1> 安倍 広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価などを主たるテーマとして基礎的な研究・技術を指導する。 （【2】 石橋 勇人） 利用者にとって安全かつ利便性の高い情報ネットワークを構築するための方式や、それを効率よく(自律的・自動的に)管理・運用するためのシステムを主たる研究テーマとし、関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （4 泉 正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （5 岩村 幸治） 多品種少量生産を行う生産システムを実現するために必要となる生産計画、設備投資計画および作業者の教育計画手法などの提案と、生産シミュレーションによる有効性の検証をテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【3】 太田 正哉） 通信システムの通信方式と実装技術、モバイルアプリケーション、インタラクティブシステム、マルチメディアシステムなどをテーマとして基礎的な研究・技術について指導する。 （【4】 菅野 正嗣） 拡張性や柔軟性が求められる大規模な情報ネットワークシステムを実現し、さらにそれを効率よく運用するための自律分散技術や自己組織的な制御方式などを主たる研究テーマとして、関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【5】 瀬田 和久） 人間の知的能力を高める観点から、人間と計算機システムの間の情報伝達の質を高度化することを目的とする。本特別研究では、その基盤技術としての知識モデリングとこれに基づく知識システムの開発を主たるテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （9 中島 智晴） 人工知能、特に機械学習や計算知能と呼ばれる手法を利用してパターン認識や意思決定を行う手法について、確率・統計的な考えに基づく理論的展開と、 RoboCup やゲームAI、高齢者見守りシステムなど実問題への応用展開などに関する基礎的な研究・技術を指導する。 （10 真嶋 由貴恵） ヘルスケア領域の課題を追究し、効率的かつ効果的なヘルスケアサービスを提供する、あるいは解決に資するシステム、ヘルスケアモデルの開発をテーマとして、関連する基礎的な調査や研究について指導する。	共同

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
	専攻演習科目	学際情報学特別演習１	（<2> 宮本 貴朗） 情報ネットワーク工学に対して機械学習やパターン認識などの情報工学的な手法を適用することによる情報セキュリティ技術、特に不正侵入および不正アクセスの検知技術、行動的特徴を用いた認証システムの開発、監視カメラ映像からの異常行動の検出技術などをテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【7】 村上 晴美） 情報検索、人工知能を主たる専門分野とし、テキスト処理を中心に「情報検索システムの開発と評価」に関する研究指導を行う。具体的には、情報の抽出・検索・視覚化、Webインテリジェンス等に関連する基礎的な技術や研究について指導する。 （【8】 森田 裕之） 企業の様々な課題に焦点を当て、これらを解決するために必要な経営情報システムの研究や、様々なマイニング技法のビジネス応用に関連した研究を通じて、実践的な応用研究およびその技術について指導する。 （14 渡邊 真治） 情報化(情報システム、情報財)のマクロ・ミクロ視点からの生産性、効率性、便益、外部効果、技術受容、リスク分析などのテーマに対して、統計分析、DEA(包絡分析)、ネットワーク分析、シミュレーション分析などの手法を用いて、基礎的な研究・技術を指導する。 （【9】 青木 茂樹） 情報システムの開発・運営、並びに構築した情報システムの利用状況や情報システム内に保存されている各種の情報を、パターン認識技術を利用して解析することなどを主たる研究テーマとし、関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【10】 上杉 徳照） 材料工学における様々な課題に焦点を当て、これらの課題解決のために機械学習などの情報工学的な手法を適用することにより、第一原理計算など計算科学との連携による新材料の設計、材料製造プロセスの最適化、材料計測の自動化をテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （17 大西 克実） ネットワーク上に構築される分散処理環境を用いた計算システムを利用し、離散最適化問題に対する厳密解法および近似解法の設計・開発・評価を通して、分散処理基盤を有効に活用する基礎的な技術や研究について指導する。 （【11】 小島 篤博） 学習管理システム(LMS)、情報教育システム等の教育関連分野における種々のシステムの設計・開発・運用技法について、実際に運用されているシステムを用いた課題の解決や事例研究を通して、教育工学分野を中心とした基礎的な研究・技術を指導する。 （19 佐賀 亮介） 大規模データベースからの知識発見とその利活用のためのシステム開発を研究の主テーマとして取り上げ、可視化技術やデータベース構築技術、要因分析に関する基礎技術の他、システム工学・サービス科学の視点を基とした経営情報システム構築や情報推薦技術、仮想現実などの応用技術に関して研究指導する。 （20 永田 好克） 空間情報システムを核として、さまざまな情報を収集、分析、発信するシステムの開発を研究の主たるテーマとして取り上げ、人文社会科学分野での活用に関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （【12】 林 佑樹） ヒトの高度知的活動に資するヒューマン･アウェアな知的支援技術の探求を目的とする。本特別研究では、この基盤知識となる人工知能、認知科学、学習工学、人間工学等に関する学際的知見に基づく知識情報システムを開発することを主たるテーマとして研究・技術を指導する。	共同

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻演習科目	学際情報学特別演習１	（22 平林 直樹） 情報通信技術を駆使した効率的かつ高精度な生産管理システムの開発を主たるテーマとし、その構成要素となる不確実環境下でのリアルタイム生産スケジューリング、進化型計算によるダイナミック設備レイアウトなどに関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （23 桝田 聖子） ヘルスケア領域における課題を見出し、課題解決のために必要なヘルスケアシステムおよびヘルスケアサービスの構築を主たるテーマとし、健康を維持増進するための理論やヘルスデータの利活用などに関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （【13】 森永 英二） 生産システムの統合化設計・管理・運用の方法論構築に関する研究を行う。例えば、高度に分散化された知的生産システムにおける生産管理手法や、データ駆動型生産管理手法、知識融合型計算機支援設計手法などに関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【14】 柳本 豪一） 自然言語処理技術と機械学習手法を用いた大規模なデータ(テキストデータなど)からの知識発見を主たるテーマとし、計算機による言語理解や観測データからの潜在的な特徴量の発見に関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【15】 吉田 大介） 地理情報システム（GIS）をはじめとした空間情報の管理・解析・可視化技術や、システム開発を主たるテーマとし、様々な社会課題の解決（例えば、防災・減災やまちづくり）を通じ、関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （27 楠木 祥文） 最適化・数理計画法に基づくモデリング技法とアルゴリズムを用いた、データ分析や機械学習、意思決定支援、制御工学などに対するアプローチを通して、数理モデリングに基づく問題解決に関する基礎的な研究・技術を指導する。	共同
		学際情報学特別演習２	（概要） 目標：学際情報学特別演習１の学修成果を踏まえて、情報学、知識科学、経営情報学、教育情報学、医療情報学について、指導教員が修士論文の作成に向けた研究指導を行う。また、本演習あるいは学際学特別演習１のいずれかにおいて、複数の教員の指導の下で、他の院生との協働による問題解決型プログラムに取り組ませることによって、学際領域における創発的な研究を推進すると共に、多角的な観点から、使命感、責任感、倫理観を身につけさせる。その間も必要に応じて指導教員による研究指導を並行して行う。さらに、分野を超えた専攻単位で研究報告会を行うことにより、学際的な視点を身につけさせると共に、異なる研究領域間のコミュニケーション能力を涵養する。 授業計画：オリエンテーション、指導教員による研究指導、情報学、知識科学、経営情報学、教育情報学、医療情報学などに関わるテーマについて問題発見型・問題解決型プログラムを実施する。各院生は、複数の教員の指導の下で、他の院生と協働で問題解決に取り組み、演習での成果について報告会およびディスカッションを実施し学際的な視点を修得する。 （<1> 安倍 広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価などを主たるテーマとして発展的な研究・技術を指導する。 （【2】 石橋 勇人） 「学際情報学特別演習１」に引き続き、利用者にとって安全かつ利便性の高い情報ネットワークを構築するための方式や、それを効率よく(自律的・自動的に)管理・運用するためのシステムを主たる研究テーマとし、関連する発展的な研究・技術について指導する。 （4 泉 正夫） 「学際情報学特別演習１」に引き続き、動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。	共同

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻演習科目	学際情報学特別演習２	（5 岩村 幸治） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、多品種少量生産を行う生産システムを実現するために必要となる生産計画、設備投資計画および作業者の教育計画手法などの提案と、生産シミュレーションによる有効性の検証について、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （【3】 太田 正哉） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、OFDM通信方式を始めとするワイヤレス通信システムと回路実装技術、スマートフォンを用いる拡張現実技術やマルチメディア応用システムをテーマとして発展的な研究・技術について指導する。 （【4】 菅野 正嗣） 「学際情報学特別演習１」に引き続き、拡張性や柔軟性が求められる大規模な情報ネットワークシステムを実現し、さらにそれを効率よく運用するための自律分散技術や自己組織的な制御方式などを主たる研究テーマとして、関連する発展的な研究・技術を指導する。 （【5】 瀬田 和久） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、人間の知的能力を高める観点から、人間と計算機システムの間の情報伝達の質を高度化することを目的とする。本特別研究では、その基盤技術としての知識モデリングとこれに基づく知識システムの開発に関して、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （9 中島 智晴） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、人工知能、特に機械学習や計算知能と呼ばれる手法を利用してパターン認識や意思決定を行う手法について、確率・統計的な考えに基づく理論的展開と、 RoboCup やゲームAI、高齢者見守りシステムなど実問題への応用展開などに関する発展的な研究・技術を指導する。 （10 真嶋 由貴恵） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、ヘルスケア領域の課題を追究し、効率的かつ効果的なヘルスケアサービスを提供する、あるいは解決に資するシステム、ヘルスケアモデルの開発に関して、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （＜2＞ 宮本 貴朗） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、情報ネットワーク工学に対して機械学習やパターン認識などの情報工学的な手法を適用することによる情報セキュリティ技術、特に不正侵入および不正アクセスの検知技術、行動的特徴を用いた認証システムの開発、監視カメラ映像からの異常行動の検出技術などをテーマとして関連する発展的な研究・技術を指導する。 （【7】 村上 晴美） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、情報検索、人工知能を主たる専門分野とし、テキスト処理を中心に「情報検索システムの開発と評価」に関する研究指導を行う。具体的には、情報の抽出・検索・視覚化、Webインテリジェンス等の中から研究テーマを絞り、発展的な技術や研究について指導する。 （【8】 森田 裕之） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、企業の様々な課題に焦点を当て、これらを解決するために必要な経営情報システムの研究や、様々なマイニング技法のビジネス応用に関連した研究を通じて、より高度な実践的応用研究およびその技術について指導する。 （14 渡邊 真治） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、情報化(情報システム、情報財)のマクロ・ミクロ視点からの生産性、効率性、便益、外部効果、技術受容、リスク分析などのテーマに対して、統計分析、DEA(包絡分析)、ネットワーク分析、シミュレーション分析などの手法を用いて、システム監査などの実務にも応用できる発展的な研究・技術を指導する。 （【9】 青木 茂樹） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、情報システムの開発・運営、並びに構築した情報システムの利用状況や情報システム内に保存されている各種の情報を、パターン認識技術を利用して解析することなどを主たる研究テーマとし、具体的な研究テーマを絞った発展的な研究・技術を指導する。 （【10】 上杉 徳照） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、材料工学における様々な課題に焦点を当て、これらの課題解決のために機械学習などの情報工学的な手法を適用することにより、第一原理計算など計算科学との連携による新材料の設計、材料製造プロセスの最適化、材料計測の自動化をテーマとして関連する発展的な研究・技術を指導する。	共同

授業科目の概要 （情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻演習科目	学際情報学特別演習２	（17 大西 克実） ネットワーク上に構築される分散処理環境を用いた計算システムを利用し、離散最適化問題に対する厳密解法および近似解法の設計・開発・評価を通して、分散処理基盤を有効に活用する発展的な技術や研究について指導する。 （【11】 小島 篤博） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、学習管理システム(LMS)の運用技術および拡張機能等のシステム開発、スマート端末等の最新技術の教育関連分野への応用、また一般情報教育・プログラミング等の情報教育の改善に関する実践的研究など、教育工学分野における種々の基礎的・応用的な研究・技術を指導する。 （19 佐賀 亮介） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、大規模データベースからの知識発見とその利活用のためのシステム開発を研究の主テーマとして取り上げ、可視化技術やデータベース構築技術、要因分析に関する基礎技術の他、システム工学・サービス科学の視点を基とした経営情報システム構築や情報推薦技術、仮想現実などの応用技術に関して研究指導する。 （20 永田 好克） 「学際情報学特別演習１」に引き続き、空間情報システムを核としたさまざまな情報を収集、分析、発信するシステムの開発をテーマとした研究に向け、人文社会科学分野での活用に関連する発展的な研究・技術について指導する。 （【12】 林 佑樹） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、ヒトの高度知的活動に資するヒューマン･アウェアな知的支援技術の探求を目的とする。本特別研究では、この基盤知識となる人工知能、認知科学、学習工学、人間工学等に関する学際的知見に基づく知識情報システムを開発することを主たるテーマとして研究・技術を指導する。 （22 平林 直樹） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、情報通信技術を駆使した効率的かつ高精度な生産管理システムの開発を主たるテーマとし、その構成要素となる不確実環境下でのリアルタイム生産スケジューリング、進化型計算によるダイナミック設備レイアウトなどに関して、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （23 桝田 聖子） 「学際情報学特別演習１」に引き続き、見出したヘルスケア領域の課題を解決するために必要なヘルスケアシステムおよびヘルスケアサービスの構築を主たるテーマとし、健康を維持増進するための理論やヘルスデータの利活用に関する具体的な研究テーマを絞り、発展的な研究・技術について指導する。 （【13】 森永 英二） 「学際情報学特別演習１」に引き続き、生産システムの統合化設計・管理・運用の方法論構築に関する研究を発展させる。例えば、高度に分散化された知的生産システムにおける生産管理手法や、データ駆動型生産管理手法、知識融合型計算機支援設計手法などに関連する発展的な研究・技術を指導する。 （【14】 柳本 豪一） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、自然言語処理技術と機械学習手法を用いた大規模なデータ(テキストデータなど)からの知識発見を主たるテーマとし、計算機による言語理解や観測データからの潜在的な特徴量の発見に関連する発展的な研究・技術を指導する。 （【15】 吉田 大介） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、地理情報システム（GIS）をはじめとした空間情報システムに関する応用研究を主たるテーマとして、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術について指導する。 （27 楠木 祥文 ） 「学際情報学特別演習１」 に引き続き、最適化・数理計画法に基づくモデリング技法とアルゴリズムを用いた、データ分析や機械学習、意思決定支援、制御工学などに対するアプローチを通して、数理モデリングに基づく問題解決に関する基礎的な研究・技術を指導する。	共同

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻研究指導科目	学際情報学特別研究１	（概要） 本特別研究科目では、情報システム工学や知識科学を利用・活用したより高度な情報通信技術や経営情報、教育情報、医療情報など融合分野での情報通信技術の発展と追求を目指した研究を進めると共に、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、関連する研究テーマを持つ他の院生との協働により研究を実施し、修士論文作成に向けた研究計画書を作成する。 （<1> 安倍 広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価などを主たるテーマとして基礎的な研究・技術を指導する。 （【2】 石橋 勇人） 利用者にとって安全かつ利便性の高い情報ネットワークを構築するための方式や、それを効率よく(自律的・自動的に)管理・運用するためのシステムを主たる研究テーマとし、関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （4 泉 正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （5 岩村 幸治） 多品種少量生産を行う生産システムを実現するために必要となる生産計画、設備投資計画および作業者の教育計画手法などの提案と、生産シミュレーションによる有効性の検証をテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【3】 太田 正哉） 通信システムの通信方式と実装技術、モバイルアプリケーション、インタラクティブシステム、マルチメディアシステムなどをテーマとして基礎的な研究・技術について指導する。 （【4】 菅野 正嗣） 拡張性や柔軟性が求められる大規模な情報ネットワークシステムを実現し、さらにそれを効率よく運用するための自律分散技術や自己組織的な制御方式などを主たる研究テーマとして、関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【5】 瀬田 和久） 人間の知的能力を高める観点から、人間と計算機システムの間の情報伝達の質を高度化することを目的とする。本特別研究では、その基盤技術としての知識モデリングとこれに基づく知識システムの開発を主たるテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （9 中島 智晴） 人工知能、特に機械学習や計算知能と呼ばれる手法を利用してパターン認識や意思決定を行う手法について、確率・統計的な考えに基づく理論的展開と、 RoboCup やゲームAI、高齢者見守りシステムなど実問題への応用展開などに関する基礎的な研究・技術を指導する。 （10 真嶋 由貴恵） ヘルスケア領域の課題を追究し、効率的かつ効果的なヘルスケアサービスを提供する、あるいは解決に資するシステム、ヘルスケアモデルの開発をテーマとして、関連する基礎的な調査や研究について指導する。 （<2> 宮本 貴朗） 情報ネットワーク工学に対して機械学習やパターン認識などの情報工学的な手法を適用することによる情報セキュリティ技術、特に不正侵入および不正アクセスの検知技術、行動的特徴を用いた認証システムの開発、監視カメラ映像からの異常行動の検出技術などをテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。	

授業科目の概要 （情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻研究指導科目	学際情報学特別研究１	（【7】 村上 晴美） 情報検索、人工知能を主たる専門分野とし、テキスト処理を中心に「情報検索システムの開発と評価」に関する研究指導を行う。具体的には、情報の抽出・検索・視覚化、Webインテリジェンス等に関連する基礎的な技術や研究について指導する。 （【8】 森田 裕之） 企業の様々な課題に焦点を当て、これらを解決するために必要な経営情報システムの研究や、様々なマイニング技法のビジネス応用に関連した研究を通じて、実践的な応用研究およびその技術について指導する。 （14 渡邊 真治） 情報化(情報システム、情報財)のマクロ・ミクロ視点からの生産性、効率性、便益、外部効果、技術受容、リスク分析などのテーマに対して、統計分析、DEA(包絡分析)、ネットワーク分析、シミュレーション分析などの手法を用いて、基礎的な研究・技術を指導する。 （【9】 青木 茂樹） 情報システムの開発・運営、並びに構築した情報システムの利用状況や情報システム内に保存されている各種の情報を、パターン認識技術を利用して解析することなどを主たる研究テーマとし、関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【10】 上杉 徳照） 材料工学における様々な課題に焦点を当て、これらの課題解決のために機械学習などの情報工学的な手法を適用することにより、第一原理計算など計算科学との連携による新材料の設計、材料製造プロセスの最適化、材料計測の自動化をテーマとして関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （17 大西 克実） ネットワーク上に構築される分散処理環境を用いた計算システムを利用し、離散最適化問題に対する厳密解法および近似解法の設計・開発・評価を通して、分散処理基盤を有効に活用する基礎的な技術や研究について指導する。 （【11】 小島 篤博） 学習管理システム(LMS)、情報教育システム等の教育関連分野における種々のシステムの設計・開発・運用技法について、実際に運用されているシステムを用いた課題の解決や事例研究を通して、教育工学分野を中心とした基礎的な研究・技術を指導する。 （19 佐賀 亮介） 大規模データベースからの知識発見とその利活用のためのシステム開発を研究の主テーマとして取り上げ、可視化技術やデータベース構築技術、要因分析に関する基礎技術の他、システム工学・サービス科学の視点を基とした経営情報システム構築や情報推薦技術、仮想現実などの応用技術に関して研究指導する。 （20 永田 好克） 空間情報システムを核として、さまざまな情報を収集、分析、発信するシステムの開発を研究の主たるテーマとして取り上げ、人文社会科学分野での活用に関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （【12】 林 佑樹） ヒトの高度知的活動に資するヒューマン･アウェアな知的支援技術の探求を目的とする。本特別研究では、この基盤知識となる人工知能、認知科学、学習工学、人間工学等に関する学際的知見に基づく知識情報システムを開発することを主たるテーマとして研究・技術を指導する。 （22 平林 直樹） 情報通信技術を駆使した効率的かつ高精度な生産管理システムの開発を主たるテーマとし、その構成要素となる不確実環境下でのリアルタイム生産スケジューリング、進化型計算によるダイナミック設備レイアウトなどに関連する基礎的な研究・技術を指導する。	

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻研究指導科目	学際情報学特別研究１	（23 桝田 聖子） ヘルスケア領域における課題を見出し、課題解決のために必要なヘルスケアシステムおよびヘルスケアサービスの構築を主たるテーマとし、健康を維持増進するための理論やヘルスデータの利活用などに関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （【13】 森永 英二） 生産システムの統合化設計・管理・運用の方法論構築に関する研究を行う。例えば、高度に分散化された知的生産システムにおける生産管理手法や、データ駆動型生産管理手法、知識融合型計算機支援設計手法などに関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【14】 柳本 豪一） 自然言語処理技術と機械学習手法を用いた大規模なデータ(テキストデータなど)からの知識発見を主たるテーマとし、計算機による言語理解や観測データからの潜在的な特徴量の発見に関連する基礎的な研究・技術を指導する。 （【15】 吉田 大介） 地理情報システム（GIS）をはじめとした空間情報の管理・解析・可視化技術や、システム開発を主たるテーマとし、様々な社会課題の解決（例えば、防災・減災やまちづくり）を通じ、関連する基礎的な研究・技術について指導する。 （27 楠木 祥文） 最適化・数理計画法に基づくモデリング技法とアルゴリズムを用いた、データ分析や機械学習、意思決定支援、制御工学などに対するアプローチを通して、数理モデリングに基づく問題解決に関する基礎的な研究・技術を指導する。	
		学際情報学特別研究２	（概要） 本特別研究科目では、情報システム工学や知識科学を利用・活用したより高度な情報通信技術や経営情報、教育情報、医療情報など融合分野での情報通信技術の発展と追求を目指した研究を進めると共に、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、既習科目や「学際情報学特別研究１」の成果を踏まえ、指導教員および副指導教員の指導の下、関連する研究テーマを持つ他の院生との協働により研究を実施し、研究計画書に基づき修士論文を作成する。 （<1> 安倍 広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価などを主たるテーマとして発展的な研究・技術を指導する。 （【2】 石橋 勇人） 「学際情報学特別研究１」に引き続き、利用者にとって安全かつ利便性の高い情報ネットワークを構築するための方式や、それを効率よく(自律的・自動的に)管理・運用するためのシステムを主たる研究テーマとし、関連する発展的な研究・技術について指導する。 （4 泉 正夫） 「学際情報学特別研究１」に引き続き、動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （5 岩村 幸治） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、多品種少量生産を行う生産システムを実現するために必要となる生産計画、設備投資計画および作業者の教育計画手法などの提案と、生産シミュレーションによる有効性の検証について、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （【3】 太田 正哉） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、OFDM通信方式を始めとするワイヤレス通信システムと回路実装技術、スマートフォンを用いる拡張現実技術やマルチメディア応用システムをテーマとして発展的な研究・技術について指導する。 （【4】 菅野 正嗣） 「学際情報学特別研究１」に引き続き、拡張性や柔軟性が求められる大規模な情報ネットワークシステムを実現し、さらにそれを効率よく運用するための自律分散技術や自己組織的な制御方式などを主たる研究テーマとして、関連する発展的な研究・技術を指導する。	

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻研究指導科目	学際情報学特別研究２	（【5】 瀬田 和久） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、人間の知的能力を高める観点から、人間と計算機システムの間の情報伝達の質を高度化することを目的とする。本特別研究では、その基盤技術としての知識モデリングとこれに基づく知識システムの開発に関して、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （9 中島 智晴） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、人工知能、特に機械学習や計算知能と呼ばれる手法を利用してパターン認識や意思決定を行う手法について、確率・統計的な考えに基づく理論的展開と、 RoboCup やゲームAI、高齢者見守りシステムなど実問題への応用展開などに関する発展的な研究・技術を指導する。 （10 真嶋 由貴恵） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、ヘルスケア領域の課題を追究し、効率的かつ効果的なヘルスケアサービスを提供する、あるいは解決に資するシステム、ヘルスケアモデルの開発に関して、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （<2> 宮本 貴朗） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、情報ネットワーク工学に対して機械学習やパターン認識などの情報工学的な手法を適用することによる情報セキュリティ技術、特に不正侵入および不正アクセスの検知技術、行動的特徴を用いた認証システムの開発、監視カメラ映像からの異常行動の検出技術などをテーマとして関連する発展的な研究・技術を指導する。 （【7】 村上 晴美） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、情報検索、人工知能を主たる専門分野とし、テキスト処理を中心に「情報検索システムの開発と評価」に関する研究指導を行う。具体的には、情報の抽出・検索・視覚化、Webインテリジェンス等の中から研究テーマを絞り、発展的な技術や研究について指導する。 （【8】 森田 裕之） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、企業の様々な課題に焦点を当て、これらを解決するために必要な経営情報システムの研究や、様々なマイニング技法のビジネス応用に関連した研究を通じて、より高度な実践的応用研究およびその技術について指導する。 （14 渡邊 真治） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、情報化(情報システム、情報財)のマクロ・ミクロ視点からの生産性、効率性、便益、外部効果、技術受容、リスク分析などのテーマに対して、統計分析、DEA(包絡分析)、ネットワーク分析、シミュレーション分析などの手法を用いて、システム監査などの実務にも応用できる発展的な研究・技術を指導する。 （【9】 青木 茂樹） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、情報システムの開発・運営、並びに構築した情報システムの利用状況や情報システム内に保存されている各種の情報を、パターン認識技術を利用して解析することなどを主たる研究テーマとし、具体的な研究テーマを絞った発展的な研究・技術を指導する。 （【10】 上杉 徳照） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、材料工学における様々な課題に焦点を当て、これらの課題解決のために機械学習などの情報工学的な手法を適用することにより、第一原理計算など計算科学との連携による新材料の設計、材料製造プロセスの最適化、材料計測の自動化をテーマとして関連する発展的な研究・技術を指導する。 （17 大西 克実） ネットワーク上に構築される分散処理環境を用いた計算システムを利用し、離散最適化問題に対する厳密解法および近似解法の設計・開発・評価を通して、分散処理基盤を有効に活用する発展的な技術や研究について指導する。 （【11】 小島 篤博） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、学習管理システム(LMS)の運用技術および拡張機能等のシステム開発、スマート端末等の最新技術の教育関連分野への応用、また一般情報教育・プログラミング等の情報教育の改善に関する実践的研究など、教育工学分野における種々の基礎的・応用的な研究・技術を指導する。 （19 佐賀 亮介） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、大規模データベースからの知識発見とその利活用のためのシステム開発を研究の主テーマとして取り上げ、可視化技術やデータベース構築技術、要因分析に関する基礎技術の他、システム工学・サービス科学の視点を基とした経営情報システム構築や情報推薦技術、仮想現実などの応用技術に関して研究指導する。	

授業科目の概要 （情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻研究指導科目	学際情報学特別研究２	（20 永田 好克） 「学際情報学特別研究１」に引き続き、空間情報システムを核としたさまざまな情報を収集、分析、発信するシステムの開発をテーマとした研究に向け、人文社会科学分野での活用に関連する発展的な研究・技術について指導する。 （【12】 林 佑樹） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、ヒトの高度知的活動に資するヒューマン･アウェアな知的支援技術の探求を目的とする。本特別研究では、この基盤知識となる人工知能、認知科学、学習工学、人間工学等に関する学際的知見に基づく知識情報システムを開発することを主たるテーマとして研究・技術を指導する。 （22 平林 直樹） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、情報通信技術を駆使した効率的かつ高精度な生産管理システムの開発を主たるテーマとし、その構成要素となる不確実環境下でのリアルタイム生産スケジューリング、進化型計算によるダイナミック設備レイアウトなどに関して、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術を指導する。 （23 桝田 聖子） 「学際情報学特別研究Ｉ」に引き続き、見出したヘルスケア領域の課題を解決するために必要なヘルスケアシステムおよびヘルスケアサービスの構築を主たるテーマとし、健康を維持増進するための理論やヘルスデータの利活用に関する具体的な研究テーマを絞り、発展的な研究・技術について指導する。 （【13】 森永 英二） 「学際情報学特別研究１」に引き続き、生産システムの統合化設計・管理・運用の方法論構築に関する研究を発展させる。例えば、高度に分散化された知的生産システムにおける生産管理手法や、データ駆動型生産管理手法、知識融合型計算機支援設計手法などに関連する発展的な研究・技術を指導する。 （【14】 柳本 豪一） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、自然言語処理技術と機械学習手法を用いた大規模なデータ(テキストデータなど)からの知識発見を主たるテーマとし、計算機による言語理解や観測データからの潜在的な特徴量の発見に関連する発展的な研究・技術を指導する。 （【15】 吉田 大介） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、地理情報システム（GIS）をはじめとした空間情報システムに関する応用研究を主たるテーマとして、具体的な研究テーマを絞り発展的な研究・技術について指導する。 （27 楠木 祥文 ） 「学際情報学特別研究１」 に引き続き、最適化・数理計画法に基づくモデリング技法とアルゴリズムを用いた、データ分析や機械学習、意思決定支援、制御工学などに対するアプローチを通して、数理モデリングに基づく問題解決に関する基礎的な研究・技術を指導する。	
	専攻基幹科目	学際情報学基礎論	授業形態：講義 目標：現代社会においては、すべての人が多様な場と状況において、情報システムとかかわらざるをえない。その際に正しくかつ適切な対応をするためには、情報の技術面だけでなく、その人間的および社会的な側面の正しい理解が必要である。これは情報社会人の基本的素養であり、知ることによって無知から自由になることができるという意味であるリベラルアーツそのものと言うことができる。本講義の目的は、このような素養を、講義と演習とを通じて身に付けることである。 具体的には、情報の人間に関連する側面、情報の社会に関連する側面、情報の問題解決に関する側面について講義する。 授業計画：情報の表現、認知、伝達、情報システム、情報関連の法、情報技術と社会、データと計算のモデル、計算の複雑さのそれぞれを、独立にではなく、他の側面の理解が可能なレベルまで掘り下げて講義を行うとともに学生による文献調査および発表を行うことによって、情報の概念を多面的に捉え、学際的に情報学を応用する能力を修得させる。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	情報工学系科目	情報通信システム特論	授業形態：講義 目標：近年、情報・通信システムは社会を構成するインフラとなり、その重要性がますます高まっている。本講義では、情報ネットワークやモバイル通信システム等の基盤となるハードウェア技術について講義する。また、情報システムの具体的な例としてWebベース情報システムを取り上げ、システムを設計・開発するための基盤となるソフトウェア技術および情報システムを構築する際のセキュリティについて講義する。 授業計画（オムニバス方式／全15回） （【3】 太田 正哉/7回） モバイル通信システムの講義により、デジタル通信のハードウェア技術に関する発展的内容を習得させる。 （【9】 青木 茂樹/8回） 情報システムの設計と開発、Webベース情報システムの実践の講義により、情報システムの基盤となるソフトウェア技術並びに情報システムのセキュリティに関する発展的内容を習得させる。	オムニバス方式
			情報ネットワーク特論	授業形態：講義 目標：この授業では、インターネットに代表される巨大なネットワークシステムと、そのようなコンピュータネットワークにおいて運用されている自律分散的な制御技術について理解し、さらにデジタルトランスフォーメーションの基盤となるIoTや5Gを支える新たな通信技術に関する知識を身に付けることを目指す。 授業計画：通信プロトコルの階層化、ネットワークにおける自律分散的な制御方式、IoTや5G通信システムを実現するための技術について、講義を行うとともに学生自身による文献調査およびレポート作成によって、知識を修得させる。	
			情報セキュリティ特論	授業形態: 講義 目標: 本科目は、現代社会において、インターネットは不可欠なインフラとなり、情報システムや情報ネットワークにおける情報セキュリティの重要性が非常に高まっている。本講義では、情報セキュリティの技術的な側面として暗号技術、認証技術、セキュリティプロトコル、アプリケーションプロトコルなどの要素技術的、情報セキュリティの最新動向など、情報セキュリティの技術的な知識について参考資料を事前に精読・調査して発表資料を作成しグループごとに発表する。 授業計画: 講義内容としては、TCP/IP（通信プロトコル）、情報セキュリティ（利用者認証技術、アクセス制御技術、暗号技術など）について取り上げる。	
			データサイエンス特論	授業形態：講義 目標：データサイエンスに必要な数学的知識を理解することと、および、データサイエンスのアルゴリズムを実装するための技術的知識を学習すること。 授業計画：線形代数や確率統計のうち特にデータサイエンスと関連のある内容について復習するとともに、カーネル法やベイズ学習、アンサンブル学習などのデータサイエンスで用いられる基本的な手法を学習する。コンピュータを用いたプログラミング実習も行う。	
			知識科学特論	授業形態：講義・演習 目標：知識システム構築のこれまでのアプローチの限界が指摘され、新たな方法論の構築が必要であることが共通の認識となっている。その主たる限界の１つに、あるシステムや機能を開発したとしても、少し対象領域が変わるだけで使えなくなってしまうことがある。人間の知的活動を活性化／支援するシステムの開発においては、その支援対象が暗黙的かつ潜在的であることから、支援機能に込められた設計意図が曖昧になりがちになるため、特にこの問題が顕在化する。このような問題を克服する「設計モデル指向のシステム開発アプローチ」の修得を目指す。 授業計画（オムニバス方式／全15回） （【11】　小島篤博／5回） これまでに開発された知識システムの事例として、学習管理システムやエキスパートシステムなどを取り上げ、それぞれのシステムにおいて知識をどのように表現し計算の対象として扱うかについて修得させる。 （【5】　瀬田和久／5回）取り上げた具体的システムの設計意図をオントロジー工学的手法に基づいてモデリングし、知識システム構築における設計モデル指向開発アプローチを修得させる。 （【12】　林佑樹／5回）設計モデルに基づく知識システムの内部処理および、システムインタフェースデザインの設計・評価法について修得させる。	オムニバス方式 講義 20時間 演習 10時間
			自然言語処理特論	授業形態：講義 目標：自然言語処理は人工知能における大きなタスクの一つである。この授業では、自然言語処理の基礎理論と機械学習を利用した先端的な研究手法を理解することを目標とする。学生ごとに自然言語処理に関するタスクを設定し、実験を行い最後にプレゼンによる実験結果の発表を行う。 授業計画：自然言語処理の数学的基礎、言語学と自然言語処理、言語モデル、形態素解析、構文解析、ニューラル自然言語処理に関するトピックについて、教員からの協議を行ったのちに、プロジェクトベースの課題取り組みによって、学生の主体的な学びに基づく知識を修得させる。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	情報工学系科目	機械学習特論	授業形態：講義 目標：本授業では、機械学習の基礎理論を理解し、データ解析ツールとして正しく活用するための知識を養うことを目的とする。機械学習における教師あり学習、教師無し学習、強化学習に関して理解し、計算機上に実装する方法を解説する。また、機械学習手法の性能を評価するための指標についても解説する。	共同
			画像情報処理特論	授業形態：講義 目標：画像の持つ情報の膨大さと冗長さを考慮した解析、復元、変換、識別、理解などの手法について総合的に解説し、特に人間との情報交換や機械の知能化に必要な画像の認識・理解の概念を理解する。一般に、画像（2次元）から物体や環境（3次元）を求めるには、次元が縮退しているため困難であるが、画像特有の拘束条件を用いることにより復元が可能となる場合がある。2次元情報から3次元情報を獲得する仕組みを理解し、様々な分野への応用を考察する。 授業計画：カメラモデル、エピポーラ幾何、点からのエピポーラ幾何の復元、直線からのエピポーラ幾何の復元、ステレオ法、複数物体の運動解析といったトピックについて講義を行う。	
			情報基盤システム特論	授業形態: 講義 目標: 本科目は、社会基盤として位置づけられ、その上で提供される各種サービスを含めて必要不可欠な存在となっているインターネットに代表される情報通信ネットワークについての理解を深める科目であり、利用者にとってより安全かつ便利に利用できるような柔軟性を備えた情報ネットワークを構築するための基盤となる技術や、管理者にとって効率的かつ迅速で確実な対応を可能とする管理・運用のための技術に関する知識を修得することを目標とする。 授業計画: 講義内容としては、情報基盤システム、通信プロトコル、利用者認証技術、アクセス制御技術、SDN(Software Defined Network)について取り上げる。	
			分散システム特論	＜授業形態＞講義 ＜目標＞複数のコンピュータをネットワークで接続し、互いにメッセージを交換しながらサービスを実現する分散システムが実用化されている。本講義では、分散システムの概念、設計、アルゴリズムなどについて論じる。 ＜授業計画の概要＞以下の項目を講義する。 ・分散システム概論 ・ネットワークとインターネット ・プロセスとスレッド、仮想化 ・プロセス間通信 ・サーバクライアントシステム ・Peer-to-Peerシステム ・分散アルゴリズム	
			情報検索システム特論	＜授業形態＞講義 ＜目標＞インターネット、パソコンやスマートフォンの普及に伴い、個人や集団が扱うデジタルデータは膨大な量になってきている。 本講義では「webと検索エンジン」を例にあげ、テキスト処理を中心とする「情報検索システムの開発と評価」について講義する。「情報検索」に関する基礎的な知識の修得を目標とする。 ＜授業計画の概要＞以下の項目を講義する。 ・情報検索の概要と歴史 ・情報検索の基礎（索引作成、形態素解析、重み付けとランキング、検索モデル） ・情報検索システムの評価（適合率と再現率） ・情報検索とユーザインタラクション（適合性フィードバック） ・情報検索と関連技術（自動分類とクラスタリング） ・情報検索研究の最近の動向	
		学際情報系科目	マーケティング特論	授業形態:講義 目標:現代において企業がマーケティング戦略を構築するためには、ITの進展などの社会環境の変化がもたらす消費者の行動を的確に把握することが不可欠となっている。本講義では、消費者行動の理論を基礎として、マーケティング戦略をとらえ、消費者行動データの分析事例などを通してマーケティング・マネジメントに関する応用手法を習得させる。 授業計画の概要:市場機会分析、ポジショニング戦略、マーケティング政策（製品対応、価格対応、コミュニケーション対応、流通チャネル対応）、消費者行動モデル、ＣＲＭ、消費者データの収集とマーケティング・リサーチ、消費者行動と消費パターンの分析について講義する。	
			経営情報分析特論	授業形態：講義 目標：データマイニングにおける手法の基礎となる基本的概念の発展的な理解、分類予測問題における発展的学習、およびアソシエーション分析における基本的なアルゴリズムの理解とその発展的な学習を行うとともに、実際の企業において応用される状況を想定し、データの活用方法について発展的な学習を深める。 授業計画：ビジネスモデルや、マイニングアルゴリズムの理解およびその適用方法について、口頭発表を通じて学習を深める。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	学際情報系科目	情報経済特論	授業形態：講義 目標：デジタル経済・経営問題を、情報学の視点から分析できる能力の養成を行う。具体的には、The Oxford Handbook of the Digital Economyで取り上げられているテーマからピックアップし、そのテーマと関連性の高い論文を読解し、各自の論文で発展的な研究ができる能力を身につける。 授業計画：情報経済の分析手法、構造・標準化・プラットフォーム、販売の変容、ユーザー作成コンテンツ、デジタル化とインターネットの脅威、情報保護　特許の経済分析について講義を行う。	
			ヘルスケア情報学特論	授業形態：演習 目標：ヘルスケア分野における情報学の役割をグローバルな視点で理解し、課題を選定しその解決策を考える。 授業計画：1～14回目に少子高齢化社会におけるヘルスケアの役割、生涯におけるヘルスケア情報の収集・二次利用、ヘルスケア領域への１CT、AI、ビッグデータ等の貢献に関する原著論文(和英)を選定、輪読・ディスカッションを行う。15回目は、ヘルスケア領域でのICT、AI、ビッグデータ等の貢献についてディスカッションを行う。輪読・ディスカッション、ポートフォリオをとおして到達目標を達成させる。 論文の選定およびプレゼンテーション指導を行い、適切な論文の選定、分かりやすいプレゼンテーション資料の作成および発信力を習得させる。これらの指導をとおしてグローバルな視点を踏まえたヘルスケア分野における情報学の役割についての理解を深めさせる。	共同
			生産科学特論	＜授業形態＞講義 ＜目標＞ 生産活動における作業項目は、単独の独立した存在ではなく、複雑に関連し合っており、全体によってものづくりの目的が達成される。すなわち、生産活動全体を大規模・複雑なシステムとして捉え、適切に設計・計画して運用・管理することが重要である。このことを背景として、本講義では、適正な生産システムの実現に必要となる、システムの設計、モデリング、および、解析についての発展的内容を学び、その実践能力とシステム的視点で物事を捉える力を養う。 ＜授業計画の概要＞ 生産活動をシステム的視点で捉えて問題の抽出と解決を図り、適正な生産システムを実現するために必要となる、(1) システムの設計、(2) システムのモデリング、(3) システムの解析、の発展的内容について講義し、演習と総合討論を通してその実践能力とシステム視点での俯瞰的思考力を培わせる。	
			生産システム科学特論	＜授業形態＞講義 ＜目標＞生産システムおよびサプライチェーンの設計・管理・運用を最適化するための重要なソフトウェアツールとして、数理最適化ソルバー、生産シミュレータがある。本講義では、生産システムおよびサプライチェーンの設計・管理・運用に関する実践的な問題を概説すると共に、数理最適化ソルバーおよび生産シミュレーションの原理、役割を学ぶ。また、実践的な問題として、生産量の決定、生産拠点間の搬送量決定、消費者市場の解析などを取り上げ、数理最適化ソルバーおよび生産シミュレータを用いて問題を解決するためのモデリング手法、最適化手法について学ぶ。 ＜授業計画の概要＞ 生産システムおよびサプライチェーンにおける設計・管理・運用のソフトウェアツールを用いた最適化の授業として、(1) 生産システムおよびサプライチェーンにおける設計・管理・運用の実践的な問題、(2) 数理最適化の原理と役割、(3) 数理ソルバーを用いた数理モデルの作成および最適化を行う方法、(4) 生産シミュレーションの原理と役割、(5) 生産シミュレータを用いたシミュレーションモデルの作成および最適化、について講義を行う。	
			生産管理システム特論	授業形態：講義 目標：知識情報処理の代表的な活用対象である生産管理システムにおける近年の重点課題およびこれらを解決するための諸手法について学習する。まず、生産スケジューリング、工程設計、MRPおよびトヨタ生産システムなどの生産管理における諸手法を活用できるようにする。その上で、生産目標の多様化や需要構造の変動などの環境ダイナミクスに柔軟に対応しうるFAネットワーク環境をベースとした次世代高度生産システムの運用法を理解できるようにする。 授業計画：数理計画法やメタ戦略を理解し、活用できるようにした後に、自律分散型スケジューリング、自己組織化生産システム、不確実環境下における柔軟な生産管理方式、APSおよびインバースマニュファクチャリングなどの次世代高度生産システムに関する諸知識を修得させる。	
			空間情報システム特論	授業形態: 講義 目標: 空間情報は現代社会において様々な分野で活用されており、人々の暮らしを支える社会基盤システムの一つとして使われている。本講義では空間情報に関係するシステムやデータ、それを活用した様々な事例や研究について解説し、多様な空間情報を研究の中で応用できる素養を培う。 授業計画の概要： 空間情報システム基礎（システム、データ形式）、空間情報の処理技術（GNSS、写真測量）、空間情報の可視化技術（Webマッピング）、空間情報の応用事例（オープンデータの活用）、空間情報システムの最新動向について講義する。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻 博士前期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	専攻専門科目	学際情報系科目	材料情報学特論	授業形態：講義 目標：材料情報学は情報科学を通じて新材料の効率的な探索と設計、材料製造プロセスの最適化を行う取り組みであり、材料工学と情報科学の融合分野である。本講義では、材料情報学に関する課題と専門的な知識を修得させる。また、機械学習と第一原理計算を用いた実際の材料開発研究を適宜紹介することにより、先端の材料情報学の手法について理解させる。 授業計画：材料情報学の概念と要素技術、材料の特徴量、ニューラルネットワークを中心とした機械学習、第一原理計算の基礎と課題、逆問題への対応について講義を行うとともに、材料情報学の実際について学生による文献調査および発表を行うことによって、知識を修得させる。	
			認知心理学特論	授業形態：講義・演習 目標：認知心理学は、心理学の中でも基礎的な心的過程を扱う領域である。この授業は、ヒトの認知機能（視覚、聴覚、運動制御、注意、記憶）のメカニズムと、認知機能と遺伝・進化との関係について、先端的研究に基づいて理解することを目標とする。 授業計画：脳機能の測定、遺伝のメカニズム、心の進化、心と遺伝、学習と記憶、眼球光学系と網膜、色の知覚、形の認知、立体視、注意と眼球運動、アフォーダンスとミラーニューロン、体性感覚と運動制御、音の大きさと高さの知覚、意識的処理と無意識的処理といったトピックについて、学生による発表と質疑を行った後、教員による講義を行うことによって、学生の主体的な学びに基づく知識を修得させる。	講義　15時間 演習　15時間

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	研究指導科目	基幹情報学特別研究３	（概要） 博士前期課程における幅広い学びを踏まえ、情報学および関連分野に関する幅広い知識を基盤とし、高度な専門的知識、技能、創造的思考力を身につけるとともに、研究の実践過程における経験を通じ、自ら研究を立案し遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、学位論文作成に向けて研究計画を作成する。 （【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。 （【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。 （【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。 （【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。 （【8】　藤本　典幸 ） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。	
		基幹情報学特別研究４	（概要） 「基幹情報学特別研究３」に引き続き、情報学および関連分野に関する幅広い知識を基盤とし、高度な専門的知識、技能、創造的思考力を身につけるとともに、研究の実践過程における経験を通じ、自ら研究を立案し遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、学会における研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	研究指導科目	基幹情報学特別研究４	（【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。 （【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。 （【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。 （【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。 （【8】　藤本　典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。	
		基幹情報学特別研究５	（概要） 「基幹情報学特別研究４」に引き続き、情報学および関連分野に関する幅広い知識を基盤とし、高度な専門的知識、技能、創造的思考力を身につけるとともに、研究の実践過程における経験を通じ、自ら研究を立案し遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、学会における研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行う。 （【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	研究指導科目	基幹情報学特別研究５	（【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。 （【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。 （【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。 （【8】　藤本　典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。	
		基幹情報学特別研究６	（概要） 「基幹情報学特別研究５」に引き続き、情報学および関連分野に関する幅広い知識を基盤とし、高度な専門的知識、技能、創造的思考力を身につけるとともに、研究の実践過程における経験を通じ、自ら研究を立案し遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、学会における研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行う。 （【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。 （【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	研究指導科目	基幹情報学特別研究６	（【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。 （【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。 （【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。 （【8】　藤本　典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。	
		基幹情報学特別研究７	（概要） 「基幹情報学特別研究６」に引き続き、情報学および関連分野に関する幅広い知識を基盤とし、高度な専門的知識、技能、創造的思考力を身につけるとともに、研究の実践過程における経験を通じ、自ら研究を立案し遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、学会における研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行うとともに、学位論文の執筆をする。 （【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。 （【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	研究指導科目	基幹情報学特別研究７	（【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。 （【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。 （【8】　藤本　典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。	
		基幹情報学特別研究８	（概要） 「基幹情報学特別研究７」に引き続き、情報学および関連分野に関する幅広い知識を基盤とし、高度な専門的知識、技能、創造的思考力を身につけるとともに、研究の実践過程における経験を通じ、自ら研究を立案し遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、学会における研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行うとともに、学位論文を執筆し完成させる。 （【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する研究指導を行う。 （【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する研究指導を行う。 （【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する研究指導を行う。 （【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	研究指導科目		基幹情報学特別研究８	（【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する研究指導を行う。 （【8】　藤本　典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する研究指導を行う。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する研究指導を行う。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する研究指導を行う。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する研究指導を行う。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する研究指導を行う。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する研究指導を行う。	
専門科目	特別演習科目	知能情報学分野	基幹情報学特別演習Ｉ－１	（概要） 知能情報学、およびシステム情報学を始めとする関連分野でのそれぞれの大学院生の専門領域における理論、方法論、最新の知見等を、各院生の発表とそれに続く討議を通して修得する。各院生は、指導教員の助言を受けながら、それぞれの専門分野における学術論文や書籍等を系統的に調べ、自らの研究に必要な文献を選んで発表を行う。教員及び他の院生による質疑応答を通して、専門領域の先端的研究に関する理解を深めることを目指す。 （【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。	共同

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	特別演習科目	知能情報学分野	基幹情報学特別演習Ｉ－２	（概要） 「基幹情報学特別演習Ｉ－１」に引き続き、知能情報学、およびシステム情報学を始めとする関連分野でのそれぞれの大学院生の専門領域における理論、方法論、最新の知見等を、各院生の発表とそれに続く討議を通して修得する。各院生は、指導教員の助言を受けながら、それぞれの専門分野における学術論文や書籍等を系統的に調べ、自らの研究に必要な文献を選んで発表を行う。教員及び他の院生による質疑応答を通して、専門領域の先端的研究に関する理解を深めることを目指す。 （【2】　宇野　裕之） ネットワークやグラフを含むさまざまな離散構造を研究対象とし、それらに対するアルゴリズムの設計や解析に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【4】　黄瀬　浩一） メディア情報処理、人工知能や知能増強を研究課題とし、知能メディア処理に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【11】　吉岡　理文） 信号処理や深層学習を研究課題として、深層学習に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【10】　森　直樹） 進化型計算と機械学習を研究課題として、感性と人工知能に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【9】　本多　克宏） ファジィデータ解析やデータマイニングを研究課題として、ソフトコンピューティングに関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【7】　能島　裕介） 進化型多目的最適化や知識獲得を研究課題とし、計算知能に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。	共同
		システム情報学分野	基幹情報学特別演習Ｓ－１	（概要） システム情報学、および知能情報学を始めとする関連分野でのそれぞれの大学院生の専門領域における理論、方法論、最新の知見等を、各院生の発表とそれに続く討議を通して修得する。各院生は、指導教員の助言を受けながら、それぞれの専門分野における学術論文や書籍等を系統的に調べ、自らの研究に必要な文献を選んで発表を行う。教員及び他の院生による質疑応答を通して、専門領域の先端的研究に関する理解を深めることを目指す。 （【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【8】　藤本　典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。	共同

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　基幹情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	特別演習科目	システム情報学分野	基幹情報学特別演習Ｓ－２	（概要） 「基幹情報学特別演習Ｓ－１」に引き続き、システム情報学、および知能情報学を始めとする関連分野でのそれぞれの大学院生の専門領域における理論、方法論、最新の知見等を、各院生の発表とそれに続く討議を通して修得する。各院生は、指導教員の助言を受けながら、それぞれの専門分野における学術論文や書籍等を系統的に調べ、自らの研究に必要な文献を選んで発表を行う。教員及び他の院生による質疑応答を通して、専門領域の先端的研究に関する理解を深めることを目指す。 （【5】　戸出　英樹） 知的情報ネットワーキングを研究課題とし、ネットワークシステム設計や制御に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【8】　藤本　典幸） GPGPUなどの並列計算を研究課題とし、高性能計算に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【1】　阿多　信吾） 情報ネットワーキングを研究課題として、ネットワークの高速化技術やネットワーク仮想化、ルーティングおよびスイッチング、マルチメディア伝送技術、自律的な資源発見プロトコルの設計など、高度情報通信ネットワークにおける基盤技術に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【3】　大野　修一） 無線通信、信号処理および通信方式を研究課題とし、ディジタル通信、数理モデル、変調方式を用いた安全かつ高効率な無線通信に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。 （【6】　中野　賢） 情報通信システム、バイオナノマシンを研究課題とし、分子通信をはじめとする新しい通信モデルとその応用に関する最新の研究動向などを文献発表およびそれに続く討論を通して学ぶ。	共同

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究３	（概要） 本特別研究科目では、博士前期課程における幅広い学びを踏まえ、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野に関する研究を遂行するための高度な専門的知識、技能、創造的思考力を身につけるとともに、自ら研究を立案し遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、学位論文作成に向けて研究計画を作成する。 （【1】 安倍　広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する研究および研究指導を行う。 （【3】 石橋　勇人） 情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software-Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について研究指導を行う。 （【4】 泉　正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （【5】 岩村　幸治） 機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について研究指導を行う。 （【6】 太田　正哉） 信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【7】 菅野　正嗣） センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について研究指導を行う。 （【8】 瀬田　和久） 人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【9】 中島　智晴） 人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【10】 真嶋　由貴惠） 医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について研究指導を行う。 （【11】 宮本　貴朗） 情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【12】 村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究３	（【13】　森田　裕之） 経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。 （【14】渡邊　真治） 経済学、経営学、情報学等に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて研究指導を行う。	
			学際情報学特別研究４	（概要） 本特別研究科目では、「学際情報学特別研究３」に引き続き、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野に関する研究を自ら立案し、遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行う。 （【1】　安倍　広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する研究および研究指導を行う。 （【3】　石橋　勇人） 情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software-Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について研究指導を行う。 （【4】　泉　正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （【5】　岩村　幸治） 機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について研究指導を行う。 （【6】　太田　正哉） 信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【7】　菅野　正嗣） センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について研究指導を行う。 （【8】　瀬田　和久） 人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【9】　中島　智晴） 人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【10】　真嶋　由貴惠） 医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について研究指導を行う。 （【11】　宮本　貴朗） 情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）					
科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究４	（【12】　村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について研究指導を行う。 （【13】　森田　裕之） 経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。 （【14】　渡邊　真治） 経済学、経営学、情報学等に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて研究指導を行う。	
			学際情報学特別研究５	（概要） 本特別研究科目では、「学際情報学特別研究４」に引き続き、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野に関する研究を自ら立案し、遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行う。 （【1】　安倍　広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する研究および研究指導を行う。 （【3】　石橋　勇人） 情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software-Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について研究指導を行う。 （【4】　泉　正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （【5】　岩村　幸治） 機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について研究指導を行う。 （【6】　太田　正哉） 信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【7】　菅野　正嗣） センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について研究指導を行う。 （【8】　瀬田　和久） 人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【9】　中島　智晴） 人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）					
科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究５	（【10】　真嶋　由貴惠） 医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について研究指導を行う。 （【11】　宮本　貴朗） 情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【12】　村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について研究指導を行う。 （【13】　森田　裕之） 経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。 （【14】　渡邊　真治） 経済学、経営学、情報学等に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて研究指導を行う。	
			学際情報学特別研究６	（概要） 本特別研究科目では、「学際情報学特別研究５」に引き続き、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野に関する研究を自ら立案し、遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行う。 （【1】　安倍　広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する研究および研究指導を行う。 （【3】　石橋　勇人） 情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software-Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について研究指導を行う。 （【4】　泉　正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （【5】　岩村　幸治） 機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について研究指導を行う。 （【6】　太田　正哉） 信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【7】　菅野　正嗣） センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）					
科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究６	（【8】　瀬田　和久） 人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【9】　中島　智晴） 人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【10】　真嶋　由貴恵） 医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について研究指導を行う。 （【11】　宮本　貴朗） 情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【12】　村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について研究指導を行う。 （【13】　森田　裕之） 経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。 （【14】　渡邊　真治） 経済学、経営学、情報学等に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて研究指導を行う。	
			学際情報学特別研究７	（概要） 本特別研究科目では、「学際情報学特別研究６」に引き続き、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野に関する研究を自ら立案し、遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行うとともに、学位論文を執筆する。 （【1】　安倍　広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する研究および研究指導を行う。 （【3】　石橋　勇人） 情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software-Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について研究指導を行う。 （【4】　泉　正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。 （【5】　岩村　幸治） 機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について研究指導を行う。 （【6】　太田　正哉） 信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）					
科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究７	（【7】　菅野　正嗣） センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について研究指導を行う。 （【8】　瀬田　和久） 人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【9】　中島　智晴） 人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【10】　真嶋　由貴惠） 医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について研究指導を行う。 （【11】　宮本　貴朗） 情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【12】　村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について研究指導を行う。 （【13】　森田　裕之） 経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。 （【14】　渡邊　真治） 経済学、経営学、情報学等に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて研究指導を行う。	
			学際情報学特別研究８	（概要） 本特別研究科目では、「学際情報学特別研究７」に引き続き、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野に関する研究を自ら立案し、遂行する能力を身につける。また、研究の実践過程における経験を通じて高い使命感、責任感、倫理観を涵養することを目的とする。具体的には、指導教員および副指導教員の指導の下、各院生の専門領域における研究を実施し、研究発表や学術論文の投稿など研究成果の発信を行うとともに、学位論文を執筆し完成させる。 （【1】　安倍　広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する研究および研究指導を行う。 （【3】　石橋　勇人） 情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software-Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について研究指導を行う。 （【4】　泉　正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について研究指導を行う。	

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	研究指導科目	学際情報学特別研究８	（【5】　岩村　幸治） 機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について研究指導を行う。 （【6】　太田　正哉） 信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【7】　菅野　正嗣） センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について研究指導を行う。 （【8】　瀬田　和久） 人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【9】　中島　智晴） 人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【10】　真嶋　由貴惠） 医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について研究指導を行う。 （【11】　宮本　貴朗） 情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について研究指導を行う。 （【12】　村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について研究指導を行う。 （【13】　森田　裕之） 経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。 （【14】　渡邊　真治） 経済学、経営学、情報学等に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて研究指導を行う。	
		特別演習科目	学際情報学特別演習３	（概要） 本演習科目では、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野でのそれぞれの大学院生の専門領域における理論、方法論、最新の知見等を、各院生の発表とそれに続く討議を通して修得する。各院生は、指導教員の助言を受けながら、それぞれの専門分野における学術論文や書籍等を系統的に調べ、自らの研究に必要な文献を選んで発表を行う。教員及び他の院生による質疑応答を通して、専門領域の先端的研究に関する理解を深めることを目指す。 （【1】　安倍　広多） 多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する理論や方法論、最新の知見などを、各大学院生の発表とそれに引き続く討議を通して修得する。基本的に大学院生が自らの研究で重要と思われる文献を選択し、発表する。教員および他の院生との質疑応答を通して、この専門領域の先端的研究に関する理解を深める。	共同

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	特別演習科目	学際情報学特別演習３	（【3】　石橋　勇人） 情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software- Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について、設計・構築方式や実験・解析手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【4】　泉　正夫） 動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について、動画像の解析手法、機械学習に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【5】　岩村　幸治） 機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について、在庫管理、生産管理、設備投資計画などに関する最近の研究動向を、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【6】　太田　正哉） 信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、アルゴリズム、実装法、実験手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【7】　菅野　正嗣） センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について、対象とするシステムの性能評価手法、さまざまなデバイスを用いた実環境による評価手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【8】　瀬田　和久） 人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、モデルベースの開発方法論、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【9】　中島　智晴） 人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、開発方法論、実験・解析手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【10】　真嶋　由貴惠） 医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について、モデルベースの開発方法論、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。	共同

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	特別演習科目	学際情報学特別演習３	（【11】　宮本　貴朗） 情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、モデルベースの開発方法論、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【12】　村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について、情報工学及び図書館情報学や認知科学における開発・実験・解析手法や最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【13】　森田　裕之） 経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。大学院生が興味をもつ具体的なデータを題材として、最新の研究動向を踏まえながら、データハンドリング、フレームワーク構築、分析モデルの設計、分析アルゴリズムの検討などを実際に行い、他の大学院生や教員との討議を通じて研究内容をブラッシュアップする。 （【14】渡邊　真治） 経済学、経営学、情報学に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。	共同
			学際情報学特別演習４	（概要） 本演習科目では、「学際情報学特別演習３」に引き続き、知識科学、情報工学分野を基盤とした関連分野でのそれぞれの大学院生の専門領域における理論、方法論、最新の知見等を、各院生の発表とそれに続く討議を通して修得する。各院生は、指導教員の助言を受けながら、それぞれの専門分野における学術論文や書籍等を系統的に調べ、自らの研究に必要な文献を選んで発表を行う。教員及び他の院生による質疑応答を通して、専門領域の先端的研究に関する理解を深めることを目指す。 （【1】　安倍　広多） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、多数の計算機をネットワークで接続し、高い耐故障性とスケーラビリティを実現するための自律分散アルゴリズム、基盤ソフトウェアおよび応用システムの設計、開発、評価に関する理論や方法論、最新の知見などを、各大学院生の発表とそれに引き続く討議を通して修得する。基本的に大学院生が自らの研究で重要と思われる文献を選択し、発表する。教員および他の院生との質疑応答を通して、この専門領域の先端的研究に関する理解を深める。 （【3】　石橋　勇人） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、オーバレイネットワーク、Software-Defined Network等に関する知見に基づき、安全かつ利便性の高い情報ネットワークや様々なネットワークサービスの提供に関わる情報システムの構築に関連する研究について、設計・構築方式や実験・解析手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【4】　泉　正夫） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、動画像処理、物体認識、機械学習等に関する学際的知見に基づき、画像特に動画像を用いた人間の動作や行動に基づく認識システムの研究、および社会への応用へ向けたアプリケーションやサービスに関する研究について、動画像の解析手法、機械学習に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。	共同

授　業　科　目　の　概　要

（情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）

科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	特別演習科目	学際情報学特別演習４	（【5】 岩村　幸治） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、機械学習、数理最適化、シミュレーションなどに関する学際的知見に基づき、生産システム及び生産システムを含むサプライチェーンにおける設計、計画、運用の手法に関する研究、また、それらのシステムを開発する研究について、在庫管理、生産管理、設備投資計画などに関する最近の研究動向を、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【6】 太田　正哉） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、信号処理、機械学習等に関する学際的知見に基づき、通信システム、Web・モバイルアプリケーション、拡張現実、機械学習に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、アルゴリズム、実装法、実験手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【7】 菅野　正嗣） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、センサネットワーク、自律分散システム、バーチャルリアリティ等に関する学際的知見に基づき、知的環境を実現するためのネットワークシステムの構築と、センシングによって収集したデータの利活用、またそれらをリハビリテーションなどのヘルスケア分野に応用する研究について、対象とするシステムの性能評価手法、さまざまなデバイスを用いた実環境による評価手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【8】 瀬田　和久） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、人工知能、学習科学等に関する学際的知見に基づき、人間を系に含む情報システムの知的高度化とそのユーザとなる人間の知的活動の活性化を両立する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、モデルベースの開発方法論、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【9】 中島　智晴） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、人工知能や機械学習、ソフトコンピューティング等に関する学際的知見に基づき、コンピュータと人、環境が相互にうまく結びつき人間社会がより便利になるためのコンピュータサイエンスの実践に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、開発方法論、実験・解析手法に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【10】 真嶋　由貴惠） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、医学・看護・医療等に関する学際的知見に基づき、ヘルスケア分野全般における情報システム、情報サービスの構築、ヘルスケアに関する行動変容の実践とモデル開発、医療実践家における教育システムの構築等に関する研究について、モデルベースの開発方法論、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【11】 宮本　貴朗） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、機械学習等に関する学際的知見に基づき、分散環境における情報システム構築と情報セキュリティ保護に関連する研究、また、そのようなシステムの開発方法論を構築する研究について、モデルベースの開発方法論、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。 （【12】 村上　晴美） 情報検索、人工知能、ユーザインタフェース等に関する学際的知見に基づき、情報検索システムの開発と評価、情報の抽出と視覚化、知識情報の利用に関連する研究について、情報工学及び図書館情報学や認知科学における開発・実験・解析手法や最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。	共同

授　業　科　目　の　概　要 （情報学研究科　学際情報学専攻　博士後期課程）					
科目区分			授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	学際情報学専攻	特別演習科目	学際情報学特別演習４	（【13】　森田　裕之） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、経営学、マーケティングサイエンス、サービスサイエンス、機械学習などに関する学際的な知見に基づき、社会科学分野におけるデータサイエンスに関連した研究についての研究指導を行う。大学院生が興味をもつ具体的なデータを題材として、最新の研究動向を踏まえながら、データハンドリング、フレームワーク構築、分析モデルの設計、分析アルゴリズムの検討などを実際に行い、他の大学院生や教員との討議を通じて研究内容をブラッシュアップする。 （【14】渡邊　真治） 「学際情報学特別演習３」に引き続き、経済学、経営学、情報学に関する学際的知見に基づき、情報技術の経済・経営への影響に関する研究、また、情報技術の利活用を促進し成果を上げる仕組みについて、実験・解析手法、学習科学に関する最近の研究動向などを、各院生の発表とそれに続く討議を通して学ぶ。発表に用いる文献は、各院生が自らの研究に関連する文献を系統的に探すことによって選択する場合と、各院生の今後の研究に必要な文献を指導教員が指定する場合とがある。	共同